

# 大学院カリキュラム

## 〔博士課程〕

*Syllabus*

2025

久留米大学大学院医学研究科

# 目 次

久留米大学大学院医学研究科の教育・研究上の目的.....	1
久留米大学大学院医学研究科.....	2
久留米大学の年譜.....	4
大 学 院 の 組 織.....	6
久留米大学大学院医学研究科博士課程学生に対する通知事項.....	7
2025年度オフィスアワーについて.....	10
久留米大学大学院医学研究科博士課程概要.....	17
久留米大学大学院医学研究科博士課程カリキュラム概要.....	21
専攻内容及び指導教授.....	26
2025年度（令和7年度）大学院医学研究科博士課程学年暦および主要な行事予定.....	35
2025年度（令和7年度）大学院医学研究科博士課程7曜表.....	36
2025年度（令和7年度）大学院医学研究科博士課程科目および担当責任者一覧.....	37
カ リ キ ュ ラ ム	
[ 共通科目 ]	
講義の概要・教育目標.....	49
共通科目 授業科目・単位数および担当者・時間割.....	51
共通科目 「大学院セミナーシリーズ（特別講義）」講義計画.....	52
[ 専攻科目 ]	
（生 理 系）	
解剖学 肉眼・臨床解剖分野.....	57
解剖学 顕微解剖・生体形成分野.....	58
生理学 脳機能分野.....	59
生理学 統合自律機能分野.....	61
医 化 学.....	62
薬 理 学.....	64
分 子 生 命 科 学.....	66
（病 理 系）	
病 理 学.....	68
感染医学 基礎感染医学分野.....	70
感 染 制 御 学.....	71
感染医学 真核微生物学分野.....	72
免 疫 学.....	73
（社会医学系）	
環 境 医 学.....	75
公 衆 衛 生 学.....	76
健 康 科 学.....	77
法医学・人類遺伝学.....	78
バ イ オ 統 計 学.....	79

看護学	80
(個別最適医療系)	
先端癌治療学	82
心血管先端医療学	84
高次脳疾患学	86
皮膚細胞生物学	88
先進医療対象疾患学	90
先端癌治療学 悪性腫瘍専門医養成ユニット	94
[ 論文実習 ]	
授業概要等	99
久留米大学大学院学則	103
久留米大学大学院医学研究科規程	148
久留米大学学位規則	165
久留米大学大学院医学研究科学位規則施行細則	171
医学研究科参考論文に関する申し合せ	178
大学院医学研究科博士課程における学位授与に関する手続き 及び審査基準に関する内規	179
学位申請の取扱いについて(申し合わせ)(博士)	183
大学院早期修了者(3年以上4年未満在学)の論文審査手続について	185
久留米大学大学院医学研究科における学位論文指導計画等策定に関する内規	187
単位修得満期退学者の取扱い	188
大学院医学研究科博士課程入学生の専攻科目分担についての取扱い	189
久留米大学大学院医学研究科奨学金規程	190
久留米大学大学院医学研究科奨学金規程施行細則	192
久留米大学大学院医学研究科学生納入金減額規程	194
久留米大学大学院私費外国人留学生学納金免除規程	195
優れた学位論文に対する表彰制度要項	196
久留米大学学生医療費補助規程	198
大学病院及び医療センターにおいて本学学生が受診した場合の診療費の 還付方法について	200
久留米大学医学図書館利用細則	203
久留米大学御井図書館利用細則	206
久留米大学校歌	209
久留米大学旭町キャンパス配置図	210
久留米大学案内図	214

## 久留米大学大学院医学研究科の教育・研究上の目的

久留米大学大学院は、学校教育法に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、文化の進展に寄与することを目的とする。

(「久留米大学大学院学則第1章 総則 第1条 目的」より)

久留米大学大学院医学研究科は、医学・医療の分野で先駆的な学術研究を推進するとともに、幅広い視野、高度の専門性と豊かな教養及び人間性を備え、国際的に活躍し、地域医療に貢献しうる優れた人材を育成することを目的とする。

本研究科博士課程は、医学・医療の各専攻分野において、自立した研究者として学術研究を推進する能力をもつ人材を育成するとともに、高度に専門的な医療業務に従事するために必要とされる幅広い学識、国際的視野ならびに豊かな教養と人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

(「久留米大学大学院医学研究科規程第1章 医学研究科の目的 第1条」より)

# 久留米大学大学院医学研究科

## 【博士課程】

<p>アドミッションポリシー (入学者受け入れ方針)</p>	<p>本研究科博士課程は、主に医学部・歯学部・獣医学部などの卒業者を対象としている。</p> <p>医学の臨床、基礎の各分野で自立した研究者として先駆的な学術研究を推進する能力をもつ人材を育成するとともに、高度に専門的な医療業務に従事するために必要とされる幅広い学識、国際的視野並びに豊かな教養と人間性を備えた人材を育成することを目的としているので以下のような人材を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本課程修了後に医療現場におけるスペシャリストとして、また教育・研究の場で指導的立場として国際的な活躍を目指す人。</li> <li>2) 医療・福祉系の大学院前期(修士)課程修了者や医療系の現場・大学・官公庁・企業などにおいて一定の研究経験を有する者、さらに、一定の条件を満たせば外国人留学生も歓迎する。</li> <li>3) 医療・保健に従事している社会人(臨床研修医を含む)が、働きながらスキルアップを目指すべく、業務と学修の両立を目指す意欲ある者を歓迎する。</li> </ol>
<p>カリキュラムポリシー (教育課程の編成・実施の方針)</p>	<p>博士課程は生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻及び個別最適医療系専攻の4つの専攻からなる。</p> <p>多彩な学生のニーズに対応するため、コースワークとして、「臨床医学コース」「臨床、基礎・社会医学コース」「基礎・社会医学コース」「高度専門職業人育成コース」の4コースを設けている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 共通科目において研究に必須な基礎知識を体系的に修得する。</li> <li>2) 社会で活躍している国内外の優れた講師を招聘した特別講義を履修できる。</li> <li>3) 1～2年次は志望する専攻科目を基礎に、高度な医学研究を支える専門的知識を修得する科目を組合せて履修する。</li> <li>4) 1～4年次にかけて指導教授からの研究指導を通じて研究題目の設定、研究計画書の策定、データ収集を行い、博士学位論文を作成する。</li> </ol>
<p>ディプロマポリシー (学位授与の方針)</p>	<p>【博士(医学)】</p> <p>博士課程では、4年(標準在籍期間)以上在学し、所定の単位を取得し、以下の要件を満たし、学位論文審査及び学位論文を中心とした最終試験に合格した者に「博士(医学)」の学位を授与する。ただし、3年以上在学し研究業績を上げたもので所定の要件を満たした場合には同学位を授与することがある。</p> <p>(達成すべき要件)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人類が直面している健康にかかわる諸問題の克服に向けて、課題を抽出し、それを解決するための研究計画を策定し、実行できる。</li> <li>2) 計画した研究を自律的に、かつ、動的能力を駆使して遂行し、得られた結果を客観的に解析し、科学的根拠に基づく新たな概念を発信できる(学位論文の作成、投稿、掲載受諾まで遂行できる)。</li> <li>3) 人間の尊厳と権利を尊重・擁護し、医の倫理および研究倫理を遵守して、問題解決に取り組む能力を有する(eラーニングの修了)。</li> </ol>

ディプロマポリシー  
(学位授与の方針)

- 4) 研究結果発信のための、論理的な発表と科学的根拠に基づく議論を行う能力を有する(学術集会の発表および質疑応答を経験する)。
- 5) 地域さらには世界の医療に貢献できる国際的コミュニケーション能力を有する(英語論文作成および英語による発表・質疑応答を経験する)。
- 6) 研究遂行の基盤となる研究費補助金の申請能力を有する(大学院生が申請可能な研究費補助金の申請を経験する)。

【博士(医学バイオ統計学)】

博士課程社会医学系バイオ統計学専攻では、4年(標準在籍期間)以上在学し、所定の単位を取得し、以下の要件を満たし、学位論文審査及び学位論文を中心とした最終試験に合格した者に「博士(医学バイオ統計学)」の学位を授与する。ただし、3年以上在学し研究業績を上げたもので所定の要件を満たした場合には同学位を授与することがある。

(達成すべき要件)

- 1) 数理統計学の理論を理解し、与えられた研究目的に適した解析手法を選択し、適切に解析を行い、結果を正しく解釈することができる。
- 2) 研究デザインを理解し、統計学的な観点から研究目的を達成するための研究計画を策定することができる。
- 3) 人間の尊厳と権利を擁護し、倫理観をもとに問題解決を探求することができる。
- 4) 研究発表・質疑応答・レポートにおいて、論旨・主張を論理的に説明でき、科学的な議論を行うことができる。
- 5) 英語論文を含む文献レビューを行い、研究の目的・意義を明確に説明できる。
- 6) 学位論文を作成し、投稿、掲載受諾まで遂行できる。

【博士(看護学)】

博士課程社会医学系看護学専攻では、医学研究科の教育・研究上の目的に則り、次のような能力を身につけ、修了に必要な単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で学位論文の審査および最終試験に合格した者に「博士(看護学)」の学位を授与する。ただし、3年以上在学し研究業績を上げたもので所定の要件を満たした場合には同学位を授与することがある。

(達成すべき要件)

- 1) あらゆる年代、健康レベルにある人の社会・環境における問題を捉えることのできる能力を有する。
- 2) 人々の健康問題解決に向けて俯瞰的な視点で分析し、新たな看護の発見やケアの開発につながる高度な研究能力を有する。
- 3) 人間の尊厳と権利を擁護できる倫理観を備え、看護問題を解決する能力を有する。
- 4) 最新のエビデンスをもとに新たな知識と技術を創造し、看護学の学問体系の構築に寄与する能力を有する。
- 5) 学際的かつグローバルに取り組み、新たな看護の知識や技術を社会に発信できる能力を有する。
- 6) 学位論文を作成し、投稿、掲載受諾まで遂行できる。



# 久留米大学の年譜

本学は、高い教養と深い専門知識を有する気概ある篤実な人材を育成し、あわせて学術の進展と文化の向上に寄与することを使命としています。

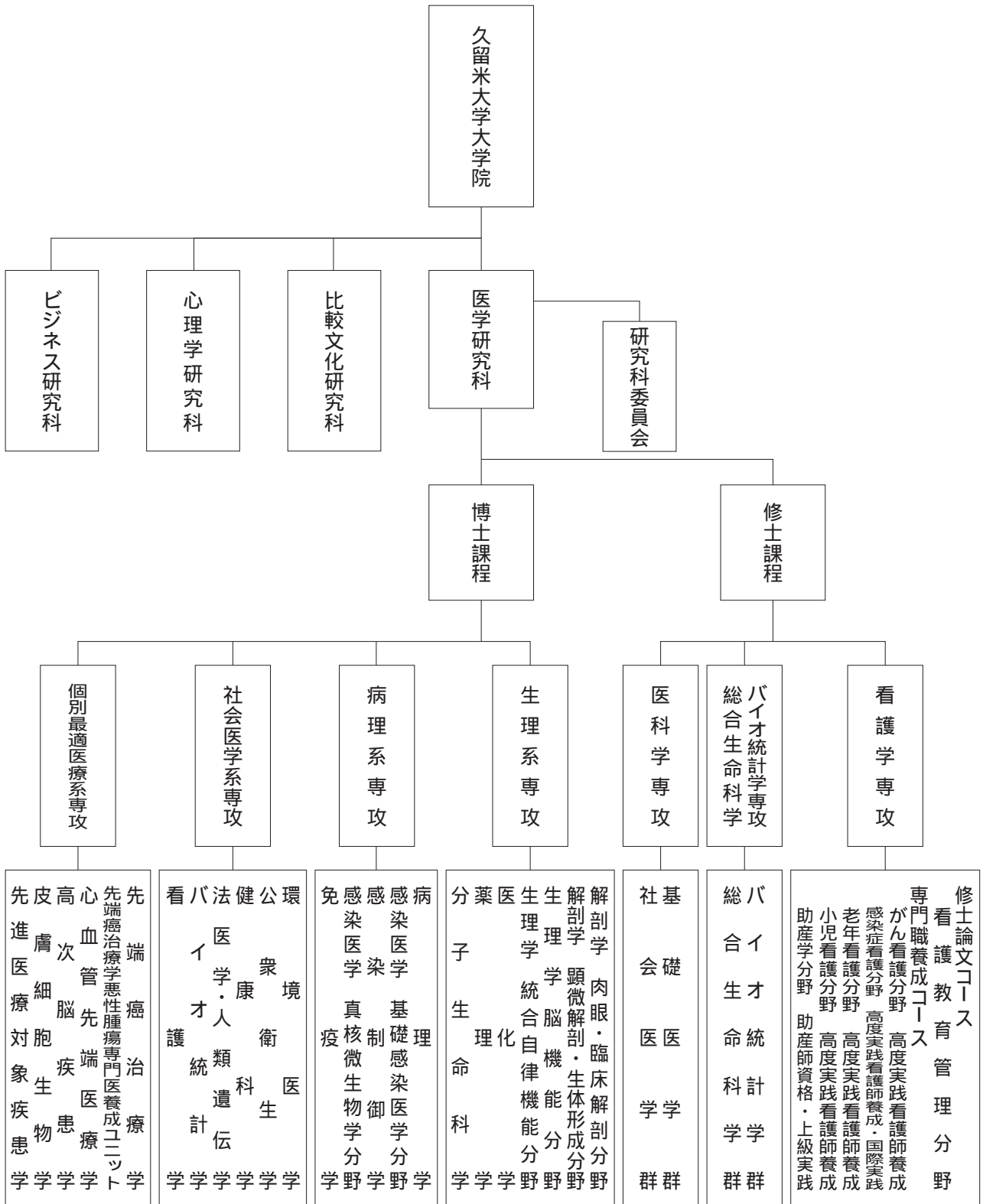
(学校の部)

昭和3年2月	専門学校令による九州医学専門学校を設置
同 4月	附属病院を開院
昭和14年3月	九州医学専門学校に5年制の課程を設置
昭和17年9月	九州医学専門学校(4年制)を廃止
昭和18年2月	九州医学専門学校5年制課程を九州高等医学専門学校に改称
昭和21年3月	大学令による久留米医科大学及び同予科を設置
同 5月	久留米医科大学予科第2学年を編成
昭和23年2月	久留米医科大学学部を開設
昭和25年2月	教育基本法及び学校教育法による久留米大学を設置し商学部商学科を開設
同 2月	久留米大学附設高等学校を設置
昭和26年3月	久留米医科大学予科を廃止
昭和27年2月	久留米大学医学部を開設
同 12月	九州高等医学専門学校を廃止
昭和29年9月	学位令による久留米医科大学学位授与を施行
昭和30年1月	久留米大学医学部に医学進学課程を設置
昭和31年3月	久留米大学大学院を設置し医学研究科博士課程を開設
昭和36年3月	久留米医科大学を廃止
昭和41年3月	久留米大学医学部附属高等看護学校を設置
昭和43年2月	久留米大学医学部附属衛生検査技師学校を設置
昭和44年4月	久留米大学附設中学校を設置
昭和47年4月	久留米大学医学部附属衛生検査技師学校を久留米大学医学部附属臨床検査技師学校に校名を変更
昭和48年4月	久留米大学医学部附属高等看護学校に二部(夜間課程)を併設
昭和50年4月	久留米大学商学部に経済学科を増設
昭和51年6月	久留米大学医学部附属高等看護学校を久留米大学医学部附属看護専門学校に校名を変更
同 6月	久留米大学医学部附属臨床検査技師学校を久留米大学医学部附属臨床検査専門学校に校名を変更
昭和59年4月	久留米大学コンピュータ教育センターを設置
昭和62年2月	久留米大学比較文化研究所を設置
同 3月	久留米大学医学部附属看護専門学校二部(夜間課程)を廃止
同 4月	久留米大学法学部法律学科を開設
平成元年4月	久留米大学分子生命科学研究所を設置
同 4月	久留米大学大学院比較文化研究科修士課程を開設
平成3年4月	久留米大学大学院比較文化研究科博士課程を開設
平成4年3月	久留米大学医学部進学課程を廃止
同 4月	久留米大学文学部人間科学科・国際文化学科を開設
同 4月	久留米大学保健体育センターを開設
平成5年4月	久留米大学外国語教育研究所を開設
平成6年4月	久留米大学医学部に看護学科を増設
同 4月	久留米大学法学部に国際政治学科を増設
平成6年4月	久留米大学商学部経済学科を久留米大学経済学部経済学科に改組転換
同 7月	久留米大学医学部附属医療センターを開院
平成8年4月	久留米大学文学専攻科・法学専攻科・商学専攻科を設置
平成9年1月	久留米大学先端癌治療研究センターを設置
同 3月	久留米大学医学部附属看護専門学校を廃止
平成10年4月	久留米大学経済学専攻科を設置

同 6月	久留米大学循環器病研究所を設置
平成11年4月	久留米大学留学生別科を設置
平成12年4月	久留米大学文学部に社会福祉学科を増設
同 4月	久留米大学コンピュータ教育センターを久留米大学情報教育センターに名称を変更
同 4月	久留米大学保健体育センターを久留米大学健康・スポーツ科学センターに名称を変更
平成13年4月	久留米大学大学院医学研究科修士課程を開設
同 4月	久留米大学大学院心理学研究科を開設
平成14年1月	久留米大学国際交流センターを設置
同 4月	久留米大学文学部人間科学科を久留米大学文学部心理学科及び情報社会学科に改組転換
同 4月	久留米大学経済学部文化経済学科を増設
同 4月	久留米大学高次脳疾患研究所を設置
平成15年4月	久留米大学大学院医学研究科博士課程個別最適医療系専攻を開設（内科系・外科系を改組）
同 4月	久留米大学知的財産本部を設置
同 10月	久留米大学バイオ統計センターを設置
平成16年4月	久留米大学法科大学院法務研究科を設置
同 4月	久留米大学教育・学習支援センターを設置
平成17年4月	久留米大学大学院ビジネス研究科を設置
同 8月	久留米大学ビジネス研究所を設置
同 11月	久留米大学産学官連携戦略本部を設置
平成20年4月	久留米大学認定看護師教育センターを設置
平成21年4月	久留米大学臨床試験センターを設置
平成22年1月	久留米大学皮膚細胞生物学研究所を設置
同 4月	久留米大学経済社会研究所を設置
平成25年4月	久留米大学がんワクチンセンターを設置
平成26年7月	久留米大学地域連携センターを設置
平成27年4月	久留米大学臨床試験センターを廃止し、久留米大学医学部附属病院臨床試験センターに改組
同 4月	久留米大学保健管理センターを設置
同 8月	久留米大学 IR 室を設置
同 12月	久留米大学臨床研究支援機構を設立
平成28年4月	久留米大学学生支援室を設置
平成29年4月	久留米大学人間健康学部総合子ども学科・スポーツ医科学科を開設
同 4月	久留米大学臨床研究支援センターを設置
平成30年3月	久留米大学法科大学院法務研究科を廃止
同 4月	久留米大学産学官連携戦略本部を廃止し、久留米大学研究推進戦略センターに改組
平成31年4月	久留米大学臨床研究支援センターを廃止し、久留米大学医学部附属病院臨床研究センターに改組
同 4月	久留米大学教育学習支援センターを廃止し、久留米大学基盤教育研究センターに改編
同 4月	久留米大学アドミッションオフィスを設置
令和2年3月	久留米大学がんワクチンセンターを廃止
令和3年3月	久留米大学健康・スポーツ科学センターを廃止
同 4月	久留米大学保健管理センターを大学附置センター化
（法人の部）	
昭和3年2月	財団法人九州医学専門学校を設立
昭和18年8月	財団法人九州高等医学専門学校に変更
昭和21年3月	財団法人久留米医科大学に変更
昭和25年3月	財団法人久留米大学に変更
昭和26年3月	学校法人久留米大学に変更し現在に至る



# 大 学 院 の 組 織



# 久留米大学大学院医学研究科博士課程学生に対する通知事項

## 1 教務事務に関する相談

大学院関係の教務事務は医学部事務部教務課を主管として行っている。場所は教育1号館2階にある。何か相談があれば、直接か、もしくは講座等を通じて質問されたい。

また、各種届と願の相談も受け付けるが、医学研究科委員会の承認を得るものもあるので、必ず事前に相談のこと。

時間：8：30～17：00

(必要であれば、17：00以降も相談を受けるが、事前に連絡のこと)

## 2 連絡・通達について

学生への通知・連絡は基本的に所属講座等を通じて文書にて行うが、急な連絡や通達を行うことがある。学外の社会人学生へは直接文書を郵送またはEメールにて対応するので、連絡先等変更があった場合は速やかに届け出ること。

その他、基礎1・2号館の1階のロビー内の掲示板、臨床研究棟1階入口と2階の渡り廊下に掲示板があり、大学院関係の掲示を行う。

また、行事の紹介等で年に4回「大学院ニュースレター」を発行しているが、重要な事務情報なども掲載しているので目を通すこと。

尚、電子シラバス(Hondana)および大学ホームページ(在学生・保護者の方)に学生向け情報(教務・学務等)を掲載するので必ずチェックすること。

電子シラバス(Hondana) <https://hondana.kurume-u.ac.jp>

大学ホームページ <https://www.kurume-u.ac.jp>

## 3 大学病院・医療センターにおける医療費補助について

大学院生は本学大学病院・医療センターにおいて医療を受けた場合、還付申請を行うことで医療費の一部が補助される。

受診の際は保険証とともに学生証を受付に提示して、自己負担額を一旦支払うこと。

還付を希望する場合は、期限内に還付の申請手続きを行うこと。申請がない場合は還付されない。

還付手続き：領収書発行日の翌月から起算して6ヶ月目の末日まで医学部事務部教務課にて受け付ける。(詳細は診療費の還付方法についての頁参照)

## 4 保健室・相談室の利用について

医学部B棟1階には旭町保健室があり、保健・健康相談を行っている。

## 5 保育所の利用について

本学に在籍する教職員が、昼夜開講制度を導入している本学医学研究科に進学した場合、久留米大学保育所を利用することができます。

## 6 医学図書館・御井図書館の利用について

本学には御井キャンパスに御井図書館，旭町キャンパスに医学図書館がある。この施設を利用する場合は，学生証が必要になる。また，両施設とも施設利用規則等を遵守するとともに，各図書館員の指示に従うこと。

なお，図書の延滞は自身に不利益を被ることになるので厳に慎むこと。

## 7 奨学金の申請について

奨学金（日本学生支援機構等）の申請用紙は医学部事務部教務課に用意している。申請されたい方は個別の窓口にて詳細の説明と申請用紙配布を行うので，事前に連絡すること。

また，久留米大学大学院医学研究科奨学金やその他各種奨学金があるので，相談されたい。

## 8 定期券発行のための通学証明書，学会出張や旅行等のための学割証，在学証明書，単位修得証明書，修了（見込み）証明書の発行について（一部有料）

医学部事務部教務課にて発行しているので申し込むこと。なお，作成には2～3日，場合によっては数日必要となるため余裕を持って申し込むこと（英文証明書は一週間程度必要）。

学外から依頼の場合，必要な書類の種類，発行希望枚数，返信用封筒（発行枚数で変化するが，切手を貼ること。要記載：返送先住所・氏名），発行に必要な手数料（郵便・普通小為替），本件に係る連絡先，等を明記の上，医学部事務部教務課へ郵送すること。

## 9 学生教育研究災害傷害保険（学研災）について

正課中・学校行事中及び課外活動中に災害・傷害を被った場合並びに通学中及び大学施設等相互間の移動中の事故に対して，その被害の程度に応じて保険金が支払われる全国規模の保険である。学生の加入は任意となっているので希望者は医学部事務部教務課まで申し出ること。

## 10 授業料の納付

大学院医学研究科の授業料等の納付は，前期分（4～9月）を4月末日に，後期分（10月～3月）を10月末日に指定口座より口座振替することとしている。なお，定められた期日が過ぎ督促を受けても納めない場合は，除籍等の措置を講ずる場合もある。

経済的理由によりやむを得ず所定の期日までに納入できない場合は，納入延期制度もあるので，事務室まで相談すること。

## 11 オフィスアワーについて

授業内容や大学院生活全般に関する学生の質問・相談に応じるための時間として，オフィスアワーを設定している。対象となる教員，場所・時間帯等は10ページ一覧を参照すること。

## 12 電子シラバス (Hondana) について

電子シラバス (Hondana) には、講義ごとの「講義の概要・教育目標」「講義計画・教材」「評価方法」等が掲載されています。また、その他、連絡事項について、随時掲載します。

授業の前に必ず確認しておいてください。

久留米大学医学部 電子シラバス (Hondana)

場所：<https://hondana.kurume-u.ac.jp>

### 【問い合わせ先】

ログインに関すること、システムの不具合について

医学教育研究センター（教育1号館6F）にお問い合わせください。

カリキュラムの内容についての質問

医学部事務部教務課にお問い合わせください。

以上

大学院医学研究科学生事務・教務事務に関するお問合せ先

〒830 0011 福岡県久留米市旭町67

久留米大学医学部事務部教務課 大学院担当

e-mail: [igaku-kyomu@kurume-u.ac.jp](mailto:igaku-kyomu@kurume-u.ac.jp)

TEL (0942) 31 7528 (直通) 内線3024 FAX (0942) 31 4374

## 2025年度オフィスアワーについて

下記の通り、各教員にオフィスアワーの時間を設けていますが、都合（学会に出席，海外出張等）により、不在の場合もあります。その場合は、直接教員の都合を確認してください。

また、非常勤の先生については授業終了後に教室等で質問を受け付けていただく時間がオフィスアワーとなります。

所 属	役職	氏名	曜日	時間帯始から時間帯終	場 所	備 考
学長直属	教授	佐藤 敏信	水-金	9:00~17:30	北館1階特命教授室	水:午前中,木:午後,金:終日
研究推進戦略センター	主幹	松尾 綾	月	9:00~17:00	医学部基礎3号館研究推進戦略センター	メールでの質問も対応します。 matsuo_a@kurume-u.ac.jp
腫瘍センター	助教	沼田 早苗	水	17:00~18:00	本館3F 遺伝外来診察室	
文学部情報社会学科	教授	梶原 晃				事前にご連絡ください
文学部社会福祉学科	教授	片岡 靖子	月	10:45~12:10	御井キャンパス500号館5階研究室	事前連絡必要 kataoka_yasuko@kurume-u.ac.jp
人間健康学部総合子ども学科	准教授	小津草太郎				
人間健康学部スポーツ医科学科 学長直属	教授	吉田 典子	水	18:00~18:30	御井キャンパス御井本館6階研究室	講義前の時間
保健管理センター	教授	安川 秀雄	火	15:00~16:00	保健管理センター内教員室	
保健管理センター	准教授	大江美佐里	木	16:00~17:00	保健管理センター内教員室	事前予約を希望します
保健管理センター	講師	松岡美智子	木	13:30~14:30	保健管理センター内教員室	事前にご連絡ください
分子生命科学研究所(細胞工学部門)	教授	齋藤 成昭	月	13:00~14:00	分子生命科学研究所細胞工学研究部門研究室	
分子生命科学研究所(細胞工学部門)	講師	豊田 雄介	火	13:00~14:00	分子生命科学研究所細胞工学研究部門	
分子生命科学研究所(細胞工学部門)	講師	石川 健	水	13:00~14:00	分子生命科学研究所細胞工学研究部門	
分子生命科学研究所(遺伝情報部門)	教授	佐藤 貴弘	月	16:00~17:00	分子生命科学研究所遺伝情報研究部門内	来室前にご連絡ください (0942 37 6313)
分子生命科学研究所(遺伝情報部門)	准教授	佐野 浩子	金	16:00~17:00	分子生命科学研究所遺伝情報研究部門	
分子生命科学研究所(遺伝情報部門)	講師	椎村 祐樹	水	16:00~17:00	分子生命科学研究所遺伝情報研究部門	
医療検査学科	教授	伴 匡人	月	16:00~17:00	看護・医療検査学科2号館4階2416	
分子生命科学研究所(個体システム生物学研究部門)	准教授	山田 陸裕	水	16:00~17:00		事前にご連絡ください
生物学	准教授	大沼 雅明	月	17:00~18:00	基礎2号館2階生物学教室図書室	
生物学	講師	森部 弘樹	月	16:00~17:00	生物学教室(教育2号館3階)	
生物学	助教	高橋 知子	月	16:00~17:00	生物学教室	
化学	教授	東元祐一郎	月	16:30~17:30	基礎2号館3階化学教室セミナー室	
化学	准教授	本田 健	水-金	12:00~13:00	基礎2号館3階化学教室セミナー室	
化学	助教	坂口 達也	金	16:30~17:30	基礎2号館3階化学教室セミナー室	
物理学	教授	長澤真樹子	木	16:00~17:00	基礎2号館3階物理学教室	後期
解剖学(肉眼・臨床解剖部門)	教授	渡部 功一	水	9:00~12:00	基礎1号館4階解剖学講座(肉眼・臨床)	
解剖学(肉眼・臨床解剖部門)	講師	田平 陽子	水	18:00~19:00	基礎1号館4階解剖学講座(肉眼・臨床)	
解剖学(肉眼・臨床解剖部門)	助教	井上 誠一	水	9:00~12:00	基礎1号館4階解剖学講座(肉眼・臨床)	
解剖学(肉眼・臨床解剖部門)	助教	中村 悠	水	12:00~13:00	基礎1号館4階解剖学講座(肉眼・臨床)	
解剖学(顕微解剖・生体形成部門)	教授	嶋 雄一	月-金	17:30~18:30	基礎1号館4階解剖学講座(顕微解剖・生体形成部門)	事前に連絡をお願いします (内線3153) yshima@med.kurume-u.ac.jp
先端イメージング研究センター	教授	太田 啓介	火	17:00~18:00	基礎1号館4階先端イメージング研究センター	事前に連絡をお願いします (内線3854) kohta@med.kurume-u.ac.jp
解剖学(顕微解剖・生体形成部門)	助教	井上 実紀	月	12:30~13:30	基礎1号館4階解剖学講座(顕微解剖・生体形成部門)	事前に連絡をお願いします (内線3153) inoue_miki@kurume-u.ac.jp
解剖学(顕微解剖・生体形成部門)	助教	嶋 香奈子	月-金	16:00~18:20	基礎1号館4階解剖学講座(顕微解剖・生体形成部門)	事前に連絡をお願いします (内線3153) shima_kanako@med.kurume-u.ac.jp
生理学(脳・神経機能部門)	教授	吉田 史章	木	12:00~13:30	基礎2号館7階生理学講座(脳・神経機能部門)図書室	
生理学(脳・神経機能部門)	准教授	村井 恵良	木	12:00~13:30	基礎2号館7階生理学講座(脳・神経機能部門)図書室	
生理学(脳・神経機能部門)	准教授	菊池 清志				
生理学(統合自律機能部門)	教授	中島 則行	月	12:00~13:00	基礎2号館7階生理学統合自律機能部門	事前連絡が望ましい
生理学(統合自律機能部門)	准教授	柳 圭子	月	12:00~13:00	基礎2号館7階生理学講座(統合自律機能部門)准教授室	事前連絡が望ましい
生理学(統合自律機能部門)	助教	中島 明子	月	12:00~13:00	基礎2号館7階生理学統合自律機能部門	事前にご連絡ください



所 属	役職	氏名	曜日	時間帯始から時間帯終	場 所	備 考
医化学	教授	山本 健	月	12:00 ~ 14:00	基礎2号館6階医化学講座教授室	
医化学	准教授	佐藤 秀明	金	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階医化学講座	
医化学	准教授	杉島 正一	金	17:00 ~ 18:00	基礎2号館6階医化学講座	
医化学	講師	原田 二郎	月	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階医化学講座図書室	
医化学	助教	塚口 舞	月	14:00 ~ 15:00	基礎2号館6階医化学講座	
医化学	助教	王 麗香	月	15:00 ~ 16:00	基礎2号館6階医化学講座	事前にご連絡ください
薬理学	教授	西 昭徳	月	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座図書室	
薬理学	准教授	河原 幸江	水-金	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座	
薬理学	准教授	首藤 隆秀	金	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座講師室	
薬理学	講師	黒岩真帆美	水	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座講師室	
薬理学	助教	大西 克典	水	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座第1研究室	
薬理学	助教	中村 祐樹	水	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座図書室	
病理学	教授	秋葉 純	火	15:00 ~ 17:00	基礎1号館5階病理学講座教授室	事前にご連絡ください
病理学	教授	三好 寛明	火	13:00 ~ 14:00	基礎1号館5階病理学講座教授室	事前にご連絡ください
病理診断科・病理部	准教授	草野 弘宣	水	16:00 ~ 17:00	北館3階病理診断科・病理部部長室	事前にご連絡ください
病理診断科・病理部	講師	古田 拓也	火	14:00 ~ 15:00	基礎1号館5階病理学講座第8研究室	事前にご連絡ください
病理学	講師	中山 正道	火	16:00 ~ 17:00	基礎1号館5階第1研究室	事前にご連絡ください
病理学	講師	近藤礼一郎	火	16:00 ~ 17:00	基礎1号館5階病理学講座講師室	事前にご連絡ください
病理学	助教	谷川 雅彦	水	13:00 ~ 14:00	基礎1号館5階病理学講座第1研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	山田 恭平	火	15:00 ~ 16:00	基礎1号館5階病理学講座第2研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	森坪麻友子	火	13:00 ~ 14:00	基礎1号館5階病理学講座第8研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	塩賀 太郎	木	16:00 ~ 17:00	基礎1号館5階病理学講座第1研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	筒井 佳奈	火	13:00 ~ 14:00	基礎1号館5階病理学講座第6研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	時澤 冴子	火	16:00 ~ 17:00	基礎1号館5階病理学講座第1研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	光山佳菜子	火	15:00 ~ 16:00	基礎1号館5階病理学講座第2研究室	事前にご連絡ください
病理部	助教	木村 美緒	月	14:00 ~ 15:00	基礎1号館5階病理学講座第2研究室	事前にご連絡ください
臨床検査部	准教授	内藤 嘉紀	火	16:00 ~ 17:00	病院北館3階臨床検査部部長室	
感染医学（基礎感染医学部門）	教授	小椋 義俊	月-水	16:00 ~ 18:00	感染医学講座基礎感染医学部門教授室	
感染医学（基礎感染医学部門）	講師	山本 武司	月-水	14:00 ~ 16:00	感染医学講座基礎感染医学部門スタッフ室（1）	事前にご連絡ください
感染医学（基礎感染医学部門）	講師	奥野 未来	月-木	16:00 ~ 18:00	感染医学講座基礎感染医学部門スタッフ室（1）	事前にご連絡ください
感染制御学	教授	渡邊 浩	木	17:00 ~ 18:00	基礎1号館6階感染制御学講座医局	
感染制御学	准教授	原 好勇	火	16:00 ~ 17:00	基礎1号館6階感染制御学講座医局	
感染制御学	講師	後藤 憲志	水	15:00 ~ 16:00	基礎1号館6階感染制御学講座医局	
感染制御学	講師	岩橋 潤	水	16:00 ~ 17:00	基礎1号館6階感染制御学講座医局	
感染医学（真核微生物学部門）	教授	井上 雅広	月	16:00 ~ 17:00	基礎1号館7階感染医学講座（真核微生物学部門）図書室	
感染医学（真核微生物学部門）	准教授	栗原 悠介	月	16:00 ~ 17:00	基礎1号館7階感染医学講座（真核微生物学部門）図書室	
免疫学	教授	溝口 充志	月	16:00 ~ 17:00	基礎1号館7階免疫学講座	
免疫学	教授	溝口恵美子	月	16:00 ~ 17:00	基礎1号館7階免疫学講座	
免疫学	助教	岡田 季之	水	16:00 ~ 17:00	基礎1号館7階免疫学講座	
環境医学	教授	石竹 達也	火	16:00 ~ 17:00	基礎2号館5階環境医学講座図書室	
環境医学	准教授	森松 嘉孝	火	16:00 ~ 17:00	基礎2号館5階環境医学講座図書室	
環境医学	講師	森 美穂子	火	16:00 ~ 17:00	基礎2号館5階環境医学講座図書室	
環境医学	助教	増田 宏	火	16:00 ~ 17:00	基礎2号館5階環境医学講座図書室	
公衆衛生学	教授	谷原 真一	月	17:00 ~ 18:00	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	
公衆衛生学	准教授	中尾 元幸	火	18:00 ~ 19:00	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	
公衆衛生学	講師	山内 圭子	木	18:00 ~ 19:00	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	
公衆衛生学	助教	桑木光太郎	月	16:00 ~ 17:00	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	
法医学	教授	神田 芳郎	月-金	16:00 ~ 18:30	基礎1号館3階法医学講座教授室	
法医学	准教授	副島美貴子	月-金	16:00 ~ 18:30	基礎1号館3階法医学講座第1研究室	
質量分析医学応用研究施設	教授	渡邊 順子	金	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟6階小児科学講座医局	
質量分析医学応用研究施設	講師	田口 顕正	木	16:00 ~ 17:00	病院北館4階内科学講座（腎臓内科部門）医局	事前にご連絡ください
疾患モデル研究センター	教授	塩澤 誠司				事前にご連絡ください
疾患モデル研究センター	講師	坂井 勇介	月-金	9:00 ~ 17:00	基礎3号館6階疾患モデル研究センター	
医学教育研究センター	教授	山田 圭	月木	10:00 ~ 12:00 16:00 ~ 17:00	教育1号館6階医学教育研究センター	



所 属	役職	氏名	曜日	時間帯	時間開始から時間帯終	場 所	備 考
医学教育研究センター	教授	柏木 孝仁	水	16:00~17:00		教育1号館6階医学教育研究センター	
医学教育研究センター	准教授	小松 誠和	月	16:00~17:00		教育1号館6階医学教育研究センター	
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	教授	星野 友昭	水	12:00~13:00		臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	教授	井田 弘明	金	16:00~17:00		臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	教授	川山 智隆	月 水 木 金	13:00~17:00 10:00~17:00 9:00~17:00 13:00~17:00		臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	金曜日は第1, 3, 5週のみ (内線:3686, 3687)
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	准教授	立石 貴久	火水	16:00~17:00		臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	事前にご連絡ください (内線:3686, 3687)
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	講師	時任 高章				臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	事前にご連絡ください (内線:3686, 3687)
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	助教	佐々木 潤				臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	事前にご連絡ください (内線:3686, 3687)
内科学(消化器内科部門)	教授	川口 巧	水	18:00~19:00		消化器内科医局(臨床研究棟8階)	事前にご連絡ください (内線:3714)
内科学(消化器内科部門)	教授	古賀 浩徳	金	16:00~17:00		基礎2号館4階先端癌治療研究センター肝臓部門	要事前連絡(内線:3357)
内科学(消化器内科部門)	教授	黒松 亮子	火	17:00~18:00		肝がんセンター	在室確認をしてください (内線:6321)
消化器病センター	教授	竹田津英稔	月	17:00~18:00		消化器内科医局(臨床研究棟8階)	事前にご連絡ください (内線:3714)
内科学(消化器内科部門)	准教授	中村 徹	水	14:00~17:00		基礎2号館4階先端癌治療研究センター肝臓部門スタッフ室	事前にご連絡ください (内線:3714)
内科学(消化器内科部門)	講師	向笠 道太	火	17:00~18:00		消化器内科医局(臨床研究棟8階)	事前にご連絡ください (内線:3714)
内科学(消化器内科部門)	助教	寺部 寛哉	月	17:00~18:00		消化器内科医局(臨床研究棟8階)	事前にご連絡ください (内線:3714)
内科学(心臓・血管内科部門)	教授	福本 義弘	火	14:00~15:00		臨床研究棟9階内科学講座(心臓・血管内科部門)教授室	
内科学(心臓・血管内科部門)	准教授	大江 征嗣	水	14:00~17:00		総合診療棟2階循環器病センター	
内科学(心臓・血管内科部門)	准教授	深水 亜子					事前にご連絡ください (内線:3746)
内科学(心臓・血管内科部門)	講師	仲吉 孝晴	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(心臓・血管内科部門)医局	
内科学(内分泌代謝内科部門)	教授	野村 政壽	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(内分泌代謝内科部門)医局	
内科学(内分泌代謝内科部門)	准教授	蘆田 健二	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(内分泌代謝内科部門)医局	
内科学(内分泌代謝内科部門)	講師	蓮澤 奈央	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(内分泌代謝内科部門)医局	
内科学(内分泌代謝内科部門)	助教	永山 綾子	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(内分泌代謝内科部門)医局	
内科学(内分泌代謝内科部門)	助教	梶島 正治	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(内分泌代謝内科部門)医局	
内科学(腎臓内科部門)	教授	深水 圭	火	16:00~17:00		病院北館4階(内科学講座腎臓内科部門)医局	来室前に在室を確認してください
内科学(腎臓内科部門)	准教授	柴田 了	水	16:00~17:00		病院北館4階(内科学講座腎臓内科部門)医局	事前にご連絡ください
内科学(腎臓内科部門)	講師	甲斐田裕介	木	16:00~17:00		病院北館4階(内科学講座腎臓内科部門)医局	事前にご連絡ください
内科学(血液・腫瘍内科部門)	教授	長藤 宏司	月	16:00~17:00		北棟5階内科学(血液・腫瘍)医局	
内科学(血液・腫瘍内科部門)	講師	毛利 文彦	月	16:00~17:00		北棟5階内科学(血液・腫瘍)医局	
小児科学	教授	水落 建輝	月・火	10:00~17:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	教授	西小森隆太	月・金	10:00~17:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	教授	須田 憲治	木	15:00~16:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	准教授	大園 秀一	火・金	14:00~15:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	講師	田中 征治	月	9:00~12:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	講師	原 宗嗣	火・木	11:00~17:00		高次脳疾患研究所	事前にご連絡ください
小児科学	講師	弓削康太郎	火	9:00~12:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	講師	寺町 陽三	金	15:00~17:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	助教	島田 翔					事前にご連絡ください
小児科学	助教	向井 純平	月	14:00~15:00		東棟6階病棟医師室	事前にご連絡ください
小児科学	助教	石井 隆大	火・金	9:00~10:00 16:00~17:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	助教	海野 聡子					事前にご連絡ください
総合周産期母子医療センター	講師	木下 正啓					事前にご連絡ください
総合周産期母子医療センター	助教	嶽間沢昌史	月	15:00~16:00		NICU	事前にご連絡ください
総合周産期母子医療センター	助教	海野 聡子	金	9:00~16:30		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
放射線医学	教授	田上 秀一	水	16:00~17:00		病院本館3階画像診断センター	事前にご連絡ください (内線:3790)

所 属	役職	氏名	曜日	時間帯	場 所	備 考
放射線医学	教授	藤本 公則	火	16:00～17:00	臨床研究棟10階放射線医学講座教室または病院本館3階画像診断センター	事前にご連絡ください (内線:3790)
放射線医学	教授	内山 雄介	木	16:00～17:00	病院本館3階画像診断センター	事前にご連絡ください (内線:3790)
放射線医学	准教授	小金丸雅道	月	16:00～17:00	臨床研究棟10階放射線医学講座	事前にご連絡ください (内線:3790)
放射線医学	准教授	長田 周治	火	16:00～17:00	病院本館3階画像診断センター	事前にご連絡ください (内線:3790)
放射線医学	助教	宮田 裕作	月	16:00～17:00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください (内線:5335)
放射線医学	助教	辻 千代子	金	16:00～17:00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください (内線:5335)
放射線医学	助教	明田 亮輔	月	16:00～17:00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください (内線:5335)
放射線部(放射線腫瘍センター)	教授	淡河恵津世	金	16:00～17:00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください (内線:5335)
放射線部(放射線腫瘍センター)	助教	服部 睦行	月	16:00～17:00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください (内線:5335)
放射線部(画像診断センター)	准教授	倉田 精二	木	16:00～17:00	核医学 PET センター	事前にご連絡ください (内線:3790)
神経精神医学	教授	小曽根基裕	火	17:00～18:00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
神経精神医学	教授	本岡 大道	木	12:00～14:00	総合診療棟2階精神神経科外来	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
臨床研修センター	教授	内野 俊郎	火	14:00～16:00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
医療センター(精神神経科)	准教授	土生川光成	火	11:00～12:00	総合診療棟2階精神科外来	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
神経精神医学	准教授	比江嶋啓至	月	16:00～17:00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
神経精神医学	講師	千葉比呂美	月	11:00～12:00	病院本館東7階精神神経科病棟	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
神経精神医学	助教	石田 哲也	木	16:00～17:00	病院本館西棟2階カウンセリングセンター	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
高次脳疾患研究所	教授	小路 純央	水	16:00～17:00	高次脳疾患研究所医局	事前ご連絡ください
高次脳疾患研究所	教授	高橋 知之	水	16:00～17:00	高次脳疾患研究所	事前ご連絡ください
皮膚科学	教授	後任教授				
皮膚科学	准教授	石井 文人	火	16:00～17:00	臨床研究棟8階皮膚科学講座医局	事前にご連絡ください
皮膚科学	准教授	古賀 浩嗣	水	16:00～17:00	臨床研究棟8階皮膚科学講座医局	事前にご連絡ください
皮膚細胞生物学研究所	助教	Teye Kwesi	水	16:00～17:00	臨床研究棟8階皮膚科学講座医局	事前にご連絡ください
外科学	教授	藤田 文彦	月	18:00～19:00	臨床研究棟1階外科学講座教室	事前にご連絡ください
外科学	教授	光岡 正浩	木	15:00～16:00	臨床研究棟2階外科学講座教室	事前にご連絡ください
外科学	教授	唐 宇飛	月・金	16:00～17:00	総合診療棟2階乳腺外科外来	
外科学	教授	石橋 生哉	水・金	15:00～16:00	臨床研究棟1階外科学講座教室	事前にご連絡ください
先端癌治療研究センター(分子標的)	准教授	主藤 朝也	木	17:00～18:00	基礎2号館2階外科研究室	事前にご連絡ください
外科学	准教授	森 直樹	水	16:00～17:00	西棟10階病棟	事前にご連絡ください
外科学	講師	磯邊 太郎	月・金	月 12:00～16:00 金 16:00～17:00	西棟10階病棟	事前にご連絡ください
外科学	講師	吉田 武史	月・水・金	18:00～19:00	臨床研究棟1階外科医局	事前にご連絡ください
外科学	助教	中川 志乃				事前にご連絡ください
外科学	教授	田山 栄基			臨床研究棟2階外科学講座教室	事前にご連絡ください
外科学	教授	久下 亨				事前にご連絡ください
医療センター(フットケア・下肢血管病センター)	教授	廣松 伸一	火	13:00～14:00	医療センター医局医師室3教授室	
外科学	准教授	酒井 久宗				事前にご連絡ください
外科学	准教授	大塚 裕之				事前にご連絡ください
外科学	准教授	高瀬谷 徹				事前にご連絡ください
外科学	准教授	高木 数実				事前にご連絡ください

所 属	役職	氏名	曜日	時間帯から時間帯	場 所	備 考
集中治療部	准教授	有永 康一	木	13:00 ~ 15:00	総合診療棟 7 階 SICU 記録室	
外科学	講師	庄嶋 賢弘				事前にご連絡ください
外科学	講師	後藤 祐一				事前にご連絡ください
外科学	講師	新谷 悠介				事前にご連絡ください
脳神経外科学	教授	森岡 基浩	金	16:00 ~ 18:00	臨床研究棟 3 階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	教授	廣畑 優	月	13:00 ~ 15:00	臨床研究棟 3 階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	教授	中村 英夫	月 金	15:00 ~ 17:00 16:00 ~ 17:00	臨床研究棟 3 階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	准教授	坂田 清彦	月	9:00 ~ 12:00	臨床研究棟 3 階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	講師	服部 剛典	月	15:00 ~ 16:00	臨床研究棟 3 階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	講師	折戸 公彦	木	17:00 ~ 18:00	臨床研究棟 3 階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	助教	音琴 哲也	月	15:00 ~ 16:00	臨床研究棟 4 階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	助教	菊池 仁	火	15:00 ~ 16:00	臨床研究棟 5 階脳神経外科学講座医局	
整形外科	教授	平岡 弘二	火・木	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟 5 階整形外科講座医局	
整形外科	教授	佐藤 公昭	月	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟 5 階整形外科講座医局	事前にご連絡ください
リハビリテーション部	教授	松瀬 博夫	月	14:00 ~ 16:00	リハビリテーション部医師室	
整形外科	准教授	瀧田 哲矢	月・水・金	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟 5 階整形外科講座医局	
整形外科	講師	吉田 史郎	月	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟 5 階整形外科講座医局	事前にご連絡ください (0942 31 7568)
整形外科	講師	橋田 竜騎	月	14:00 ~ 15:00	リハビリテーション部医師室	事前にご連絡ください
眼科学	教授	吉田 茂生	木	15:00 ~ 17:00	臨床研究棟 7 階眼科教授室	事前にご連絡ください
眼科学	教授	門田 遊	月	17:00 ~ 18:00	病院本館西棟13階眼科病棟	事前にご連絡ください
眼科学	教授	春田 雅俊	水	15:00 ~ 17:00	臨床研究棟 7 階眼科学講座医局	事前にご連絡ください
眼科学	助教	坂井貴三彦	月	15:00 ~ 16:00	臨床研究棟 7 階眼科学講座医局	事前にご連絡ください
産婦人科学	教授	津田 尚武	木	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟 3 階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	准教授	西尾 真	木	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟 3 階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	講師	堀之内崇士	火	16:00 ~ 18:00	臨床研究棟 3 階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	三田尾 拓	火	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟 3 階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	横峯 正人	火	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟 3 階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	宗 邦夫	火	16:00 ~ 17:00	病院本館西棟 5 階病棟	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	田崎 和人	木	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟 3 階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	武藤 愛	火	16:00 ~ 17:00	病院本館西棟 5 階病棟	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	岡村 優	火	16:00 ~ 17:00	病院本館西棟 5 階病棟	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	清水 隆宏	火	16:00 ~ 17:00	病院本館西棟 5 階病棟	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
泌尿器科学	教授	井川 掌	木	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟 5 階泌尿器科学講座教授室	事前にご連絡ください
泌尿器科学	准教授	名切 信	月	15:00 ~ 16:00	臨床研究棟 5 階泌尿器科学講座医局	事前にご連絡ください
泌尿器科学	講師	上村慶一郎	木	14:00 ~ 16:00	臨床研究棟 5 階泌尿器科学講座医局	事前にご連絡ください
泌尿器科学	講師	西原 聖頭	火	14:00 ~ 16:00	臨床研究棟 5 階泌尿器科学講座講師室	事前にご連絡ください
泌尿器科学	講師	植田 浩介	水	14:00 ~ 17:00	臨床研究棟 5 階泌尿器科学講座医局	事前にご連絡ください
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授	梅野 博仁	水 火	14:00 ~ 15:00 14:00 ~ 16:00	臨床研究棟 4 階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授	千年 俊一	月・木 水	17:00 ~ 18:00 18:00 ~ 19:00	臨床研究棟 4 階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	手術によっては不在
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	准教授	小野 剛治	月 金	17:00 ~ 18:00	臨床研究棟 4 階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	手術によっては不在
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	講師	栗田 卓	月・木・金	14:00 ~ 17:00	臨床研究棟 4 階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	手術によっては不在
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	講師	末吉慎太郎	金	17:00 ~ 18:00	臨床研究棟 4 階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	手術によっては不在
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	助教	田中久一郎	月	17:00 ~ 18:00	臨床研究棟 4 階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	手術によっては不在
麻酔学	教授	平木 照之	月・火・木	16:00 ~ 17:00	総合診療棟 4 階中央手術部麻酔科医控室	
麻酔学	准教授	原 将人	月・水	16:00 ~ 17:00	総合診療棟 4 階中央手術部麻酔科医控室	
麻酔学	講師	中川 景子	月・水・金	16:00 ~ 17:00	総合診療棟 4 階中央手術部麻酔科医控室	

所 属	役職	氏名	曜日	時間帯始から時間帯終	場 所	備 考
麻酔学	講師	大下 健輔	月・火・木	16:00～17:00	総合診療棟4階中央手術部麻酔科医控室	
麻酔学	講師	亀山 直光	月・火・木	16:00～17:00	総合診療棟4階中央手術部麻酔科医控室	
救急医学	教授	高須 修	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
高度救命救急センター	教授	山下 典雄	水	12:00～13:00	高度救命救急センター内カンファレンス室	
救急医学	講師	鍋田 雅和	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
救急医学	助教	金苗 幹典	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
救急医学	助教	宮崎 允宏	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
救急医学	助教	国武 和也	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
救急医学	助教	副島 靖寛	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
救急医学	助教	伊勢 将大	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
形成外科・顎顔面外科学	教授	力丸 英明	火	16:00～17:00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファレンス室	
形成外科・顎顔面外科学	准教授	守永 圭吾	月	16:00～17:00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファレンス室	
形成外科・顎顔面外科学	講師	右田 尚	月	16:00～17:00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファレンス室	
形成外科・顎顔面外科学	講師	力丸由起子	水	16:00～17:00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファレンス室	
看護学科	教授	益守かづき	火	18:00～19:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室4(益守研究室)	事前の予約を希望します
看護学科	教授	田中 佳代	水	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(田中研究室)	事前の予約を希望します
看護学科	教授	重松由佳子	月	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(重松研究室)	事前予約必要 shigematsu_yukako@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	教授	古村美津代	金	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(古村研究室)	
看護学科	教授	嵯峨 堅	木・金	16:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(嵯峨研究室)	メールでの事前予約を希望 saga@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	教授	加悦 美恵	水	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室10(加悦研究室)	メールでの事前予約を希望 kaetsu@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	教授	崎浜 智子	木 金	15:00～18:00 9:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室11(崎浜研究室)	事前予約を希望
看護学科	教授	桐明あゆみ	水	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(桐明研究室)	メールでの事前予約を希望 kiriake_ayumi@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	准教授	佐藤 祐佳	水	15:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(佐藤研究室)	
看護学科	准教授	椛 勇二郎	月～金	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室	事前予約を希望
看護学科	准教授	加藤 陽子	月	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室	学内メールで事前に予約 が好ましい wasaki_youko@kurume-u.ac.jp
看護学科	准教授	恒松佳代子	火	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(恒松研究室)	事前予約を希望
看護学科	准教授	松本 悠貴				事前に連絡ください
看護学科	講師	草場 知子	水	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室19(草場研究室)	内線3958
看護学科	講師	河原田康貴	月～金	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(河原田研究室)	メールでの事前予約を希望 y_kawaharada@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	講師	姫野 深雪	水	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室	メールでの事前予約を希望 miyuki@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	講師	渡邊 理恵	水	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(渡邊研究室内 線3929)	事前予約を希望 watanabe_rie@kurume-u.ac.jp
看護学科	講師	孫田 千恵	月～木	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(孫田研究室)	
看護学科	講師	徳澤麻梨子		12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(徳澤研究室)	
看護学科	講師	永田真理子	月～金	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(永田研究室)	事前の予約を希望します
看護学科	助教	岡村 光子	月～金	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(岡村光子研究 室)	事前の予約を希望します
看護学科	助教	石橋 秋奈	火・水・木	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室	事前予約を希望
看護学科	助教	竹藤 徳子			看護・医療検査学科1号館5階研究室	事前の予約を希望
看護学科	助教	松本くらら	月～金	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(松本研究室)	事前の予約を希望します
看護学科	助教	松島亜希子	火・木	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(松島研究室)	
歯科口腔医療センター	教授	楠川 仁悟	金	15:00～17:00	臨床研究棟6階歯科口腔医療センター医局	要連絡。
歯科口腔医療センター	准教授	中村 守厳				事前にご連絡ください
歯科口腔医療センター	講師	関 直子				事前にご連絡ください
歯科口腔医療センター	講師	喜久田翔伍				
バイオ統計センター	教授	古川 恭治	金	11:00～12:00	医学部B棟7階バイオ統計センター古川教授室	
バイオ統計センター	教授	安川 圭司	金	11:00～12:00	医学部B棟7階バイオ統計センター安川教授室	



所 属	役職	氏名	曜日	時間帯始から時間帯終	場 所	備 考
医療検査学科	教授	室谷 健太	金	11:00 ~ 12:00	医学部B棟7階バイオ統計センター室谷教授室	
バイオ統計センター	准教授	大山 哲司	木	15:00 ~ 17:00	医学部B棟7階バイオ統計センター大山准教授室	
バイオ統計センター	助教	五百路徹也				メールで事前にご連絡ください
循環器病研究所	教授	青木 浩樹	月	10:00 ~ 11:00	基礎3号館2階循環器病研究所	
外科学(小児外科部門)	教授	加治 建	木	16:00 ~ 17:00	病院北館5階外科学(小児外科)講座医局	
外科学(小児外科部門)	助教	古賀 義法	月	16:00 ~ 17:00	病院北館5階外科学(小児外科)講座医局	
外科学(小児外科部門)	助教	橋詰 直樹	金	16:00 ~ 17:00	病院北館5階外科学(小児外科)講座医局	
保険診療管理部	教授	牛島 高介				事前にご連絡ください
医療安全管理部	教授	横山 晋二	火	16:00 ~ 17:00	医療安全管理部	
循環器病センター	教授	田原 宣広	水	15:00 ~ 16:00	臨床研究棟9階内科学講座(心臓・血管内科部門)医局	事前にご連絡ください(内線3746)
循環器病センター	准教授	佐々木健一郎				事前にご連絡ください(内線3746)
循環器病センター	講師	大野 聡子	火	16:00 ~ 17:00	循環器病研究所	内線8800
医療センター 先進漢方治療センター	教授	恵紙 英昭	火	18:00 ~ 19:00	医療センター先進漢方治療センター	
医療センター 消化器内科	教授	井出 達也	木	16:00 ~ 17:00	医療センター医局	事前にご連絡ください
医療センター 整形外科・関節外科センター	教授	大川 孝浩	月	14:00 ~ 16:00	医療センター整形外科・関節外科センター医局	事前の予約必要
医療センター 整形外科・関節外科センター	准教授	後藤 昌史	月~金	17:30 ~ 19:00	医療センター3階西カンファルーム	
医療センター 整形外科・関節外科センター	講師	田淵 幸祐	月 火 金	16:00 ~ 17:00 17:00 ~ 19:00 17:00 ~ 19:00	医療センター医局	
医療センター 整形外科・関節外科センター	助教	大園 宏城				
医療センター 小児科	講師	大津 寧	月	16:00 ~ 17:00	医療センター医局横図書室	事前にご連絡ください
医療検査学科	准教授	関 律子	火	17:00 ~ 18:00	教育2号館1階	
緩和ケアセンター	兼任講師	塗木 京子				講義後1時間程度他、メールで連絡あれば時間調整可
認定看護師教育センター	兼任講師	原 美穂	月~金	8:30 ~ 17:00	総合診療棟6階緩和ケアセンター	
薬剤部	兼任講師	酒井 義朗				事前にメールにてご連絡ください。
薬剤部	兼任講師	高橋 誠	金	17:00 ~ 18:00	薬剤部(総合診療棟1階)	
薬剤部	兼任講師	七田和佳子	月~金			事前にご連絡ください
看護部管理室	兼任講師	吉井 千穂				事前にメールにてご連絡ください。
看護部管理室	兼任講師	西村 知子	月	15:00 ~ 16:00	TQMセンター	事前連絡をお願いします(内線:14234)
西棟5階病棟	兼任講師	市川 博美				事前にご連絡ください
西棟5階病棟	兼任講師	日野 詩織				事前にご連絡ください
新生児病棟	兼任講師	坂田 理絵				事前にご連絡ください sakata_rie@kurume-u.ac.jp
新生児病棟	兼任講師	野間口有加				事前にご連絡ください
西棟10階病棟	兼任講師	物部 千穂			担当講義の部屋	担当講義前の30分
腫瘍センター看護部	兼任講師	副枝 恵美				事前にメールにてご連絡ください。
医療センター栄養室	兼任講師	坂口 美紀	水	13:00 ~ 17:00	医療センター栄養室	来室前に連絡をお願いします。
医療センター看護部管理室	兼任講師	原崎 礼子	水	14:00 ~ 15:00	医療センター看護部管理室	
医療安全・感染対策室	兼任講師	江崎 祐子				事前に連絡をお願いします。
新生児病棟	兼任講師	下地 夏姫				
医療センター4階西入院棟	兼任講師	伊藤 裕子				質問や相談に対応できる時間や方法をその都度連絡していきます。

# 久留米大学大学院医学研究科博士課程概要

## 1 目 的

本研究科は医学の臨床，基礎の各分野で先駆的な学術研究を推進するとともに，幅の広い視野，高度の専門性と豊かな人間性を備え，国際的にも活躍しうる優れた臨床家，研究者を育成することを目的とする。

## 2 標準修業年限

博士課程 4年（特例として3年）

## 3 履修の方法

学生は所定の期間内に指導教授の指示により，次に定める科目を含め30単位以上を取得しなければならない。

単位取得の認定は試験あるいは実習・実験報告によって行う。

（令和3年度までの入学者）

専攻名	専攻科目	論文実習	共通科目
生理系 病理系 社会医学系 個別最適医療系	20単位以上（講義8単位，実習12単位を含む）	5単位	6単位以上

専攻名	コース名	専攻科目（必修）	コース科目（必修）	論文実習	共通科目
個別最適医療系先端 癌治療学 悪性腫瘍 専門医養成ユニット	化学・薬物療法専門 医養成コース	12単位	講義8単位 実習12単位	5単位	6単位以上
	放射線療法専門医養成 コース	4単位	講義4単位 実習16単位		
	緩和医療専門医養成 コース	4単位	講義8単位 実習16単位		
	希少がん診療養成 コース	4単位	講義4単位 実習12単位		



(令和5年度までの入学者)

専攻名	専攻科目	論文実習	共通科目
生理系 病理系 社会医学系 個別最適医療系	20単位以上(講義8単位, 実習12単位を含む)	5単位	6単位以上

専攻名	専攻科目	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	論文実習	共通科目
個別最適医療系先端 癌治療学悪性腫瘍 専門医養成ユニット	化学・薬物療法専門 医養成コース	12単位	講義8単位 実習12単位	5単位	6単位以上
	放射線療法専門医養成 コース	4単位	講義4単位 実習16単位		
	希少がん診療養成 コース	4単位	講義4単位 実習12単位		

(令和6年度以降の入学者)

専攻名	専攻科目	論文実習	共通科目
生理系 病理系 社会医学系 個別最適医療系	20単位以上(講義8単位, 実習12単位を含む)	5単位	6単位以上

専攻名	専攻科目	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	論文実習	共通科目
個別最適医療系先端 癌治療学悪性腫瘍 専門医養成ユニット	化学・薬物療法専門 医養成コース	12単位	講義8単位 実習12単位	5単位	6単位以上
	放射線療法専門医養成 コース	4単位	講義10単位 実習16単位		
	希少がん診療養成 コース	4単位	講義4単位 実習12単位		

#### 4 昼夜開講(教育方法の特例適用)による履修及び研究方法

##### 1 趣旨・目的

社会人が最新の医学知識・技術を学び取り, 高度の医学研究能力, 臨床医能力を身につけその成果を社会に還元したいという声に応え, 平成14年度から昼夜開講制を導入している。

昼夜開講制とは, 夜間や特定の時間又は時期に授業・研究指導の時間を設け, 現に実地診療に当たっている開業医や病院勤務医, 医学及び関連分野の研究者等の社会人に大学院の授業, 研究指導をより受け入れ易くする制度である。

[ 大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例を適用 ]

## 2 授業科目の開設方法

有職者への便宜を図るため、勤務態様等の特性に応じ、授業科目は第1～5時限の他に、第6時限（18：00～19：30）、第7時限（19：40～21：10）の授業を行う。また、土曜日、日曜日、夏期休業期間中にも授業科目を開設する。

## 5 学位授与

本研究科に4年以上在学し、所定の単位を取得し、更に独創的な研究に基づく学位論文を提出してその審査及び学位論文を中心とした最終試験に合格した者に、博士(医学)の学位を授与する。ただし、在学期間に関しては、3年以上在学し優れた研究業績を上げた者で所定の要件を満たした場合には、学位を授与することがある。

## 6 久留米大学大学院医学研究科博士課程の教育研究を基盤としている事業・学内プロジェクトについて

本学大学院医学研究科博士課程に開設している専攻系の教育を基盤として、さまざまな教育・研究を実施しているが、これらの教育は、大変ユニークかつ独創的な教育・研究であるとして高い評価を得ている。中には、社会に還元できるよう国の外部資金を獲得して実施しているものもあり、これらの教育・研究が如何に高い評価を得ているものであるかご理解できよう。

これまでも「文部科学省21世紀 COE プログラム」、「文部科学省科学技術振興調整費委託事業 新興人材養成分野 バイオ統計分野人材養成」、「文部科学省未来医療研究人材拠点形成事業」などの大型外部研究資金を受けて国内外でも高い評価を得た研究プロジェクトを推進し、2021年度まで以下のような教育・研究プロジェクトを実施しました。

文部科学省「次世代のがんプロフェッショナル人材養成プラン」

がんは、我が国の死因第一位の疾患であり、生涯のうちに約2人に1人が、がんにかかるかと推計されているなど、国民の生命及び健康にとって重大な問題となっており、新たながん対策が求められています。また、「今後のがん対策の方向性について」や、「がん対策加速化プラン」などにおいては、ゲノム医療の実用化に向けた取組の加速化、小児がん及び希少がん対策、AYA（Adolescent and Young Adult）世代や高齢者等のライフステージに応じたがん対策のほか、緩和ケアに関する教育の推進等が、新たな二

ズとして求められています。本プランでは、大学間の連携による「がん医療人材養成拠点」において、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築し、がん医療の新たなニーズに対応できる優れた「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」を養成することで、我が国におけるがん医療の一層の推進が求められています。

そのような中、本医学研究科においては、これまでの10年に及ぶ九州内の医療系大学との継続的ながん教育連携を基盤とし、多様なニーズに対応するがん専門医療人を育成してきました。令和5年度から新たに本プランの共同採択を受けました。

大学院医学研究科博士課程個別最適医療系専攻「先端癌治療学悪性腫瘍専門医養成ユニット」放射線療法専門医養成コース

以 上

# 大学院医学研究科博士課程カリキュラム概要

## 1 カリキュラム制度の概要

博士課程は「生理系」「病理系」「社会医学系」「個別最適医療系」の各専攻科目が設置されており、学生諸氏はいずれかの「系・科目」に配置されている。カリキュラムブックで各自確認すること。

博士課程カリキュラムはすべて履修方式となっている。従って、**履修登録を行って頂かなければ単位認定（成績評価）は得られない**ので注意すること。履修登録および単位認定は修了要件に大きく影響するので、遺漏なきこと。

## 2 履修登録の概要

履修に関する共通説明事項

カリキュラムブックを参照し履修届を提出のこと。提出日時については別途定める。

時間割によっては同時間内に科目が重複することもあるが、この場合は履修登録は認められないので注意すること。

履修単位は原則として3年次までに所定の科目を履修すること。

履修登録の概要説明

### 平成29年度までの入学者

(履修の基本)

- 専攻科目は、総計20単位履修する必要があり、講義から8単位以上、実験または実習から12単位以上を1年次から3年次に履修すること。
- 専攻科目を分担している場合は、それぞれの科目から講義4単位、実験・実習から4単位以上を履修すること（これにより修了要件の専攻科目20単位以上（講義8単位、実習12単位を含む）を満たすこと）。
- 論文実習は「研究発表」（2年次または3年次必修）1単位、「論文基礎研究実習（2年次必修）」から2単位、「論文応用研究実習（3年次必修）」から2単位をそれぞれ履修すること。
- 専攻科目を分担している場合は、それぞれの「論文基礎研究実習（2年次必修）」から2単位、「論文応用研究実習（3年次必修）」から2単位をそれぞれ履修すること。
- 共通科目は当該授業科目から6単位履修すること。

(個別最適医療系先端癌治療学 悪性腫瘍専門医養成ユニットを専攻科目として履修する場合)  
個別最適医療系先端癌治療学悪性腫瘍専門医養成ユニットを履修する場合、以下の条件に合致すること。

- 「化学・薬物療法専門医養成コース」については、個別最適医療系先端癌治療学の「癌集学治療学総論(2単位)」「消化器癌総論(2単位)」「消化器癌の免疫機構と治療(2単位)」「ニューロオンコジー(2単位)」「がんワクチン療法の実際(2単位)」「肝発癌の予防および肝癌治療の実習(2単位)」「臨床腫瘍学・基礎編(4単位)」「臨床腫瘍学・臨床編(4単位)」「悪性腫瘍の集学的治療の実習(12単位)」を必修とする。

実習については、1～3年次のうち、1年間集中的に履修すること。

- 「放射線療法専門医養成コース」については、「臨床腫瘍学・基礎編(4単位)」「放射線腫瘍療法セミナー(4単位)」「放射線腫瘍治療学実習(8単位)」「応用臨床画像診断学実習(8単位)」を必修とする。
- 「緩和医療専門医養成コース」については、「臨床腫瘍学・基礎編(4単位)」「臨床腫瘍学・臨床編(4単位)」「緩和医療学(4単位)」「緩和医療学実習(16単位)」を必修とする。

### 令和3年度までの入学者

(履修の基本)

- 専攻科目は、総計20単位履修する必要があり、講義から8単位以上、実験または実習から12単位以上を1年次から3年次に履修すること。
- 専攻科目を分担している場合は、それぞれの科目から講義4単位、実験・実習から4単位以上を履修すること(これにより修了要件の専攻科目20単位以上(講義8単位、実習12単位を含む)を満たすこと)。
- 論文実習は「研究発表」(2年次または3年次必修)1単位、「論文基礎研究実習(2年次必修)」から2単位、「論文応用研究実習(3年次必修)」から2単位をそれぞれ履修すること。
- 専攻科目を分担している場合は、それぞれの「論文基礎研究実習(2年次必修)」から2単位、「論文応用研究実習(3年次必修)」から2単位をそれぞれ履修すること。
- 共通科目は当該授業科目から6単位履修すること。

(個別最適医療系先端癌治療学 悪性腫瘍専門医養成ユニットを専攻科目として履修する場合)  
個別最適医療系先端癌治療学悪性腫瘍専門医養成ユニットを履修する場合、以下の条件に合致すること。

- 「化学・薬物療法専門医養成コース」については、個別最適医療系先端癌治療学の「癌

集学治療学総論( 2 単位 )」「消化器癌総論( 2 単位 )」「消化器癌の免疫機構と治療( 2 単位 )」「ニューロオンコジー ( 2 単位 )」「がんワクチン療法の実際 ( 2 単位 )」「肝発癌の予防および肝癌治療の実習 ( 2 単位 )」「臨床腫瘍学・基礎編 ( 4 単位 )」「臨床腫瘍学・臨床編 ( 4 単位 )」「悪性腫瘍の集学的治療の実習 ( 12 単位 )」を必修とする。

実習については、1～3年次のうち、1年間集中的に履修すること。

- 「放射線療法専門医養成コース」については、「臨床腫瘍学・基礎編 ( 4 単位 )」「放射線腫瘍療法セミナー ( 4 単位 )」「放射線腫瘍治療学実習 ( 8 単位 )」「応用臨床画像診断学実習 ( 8 単位 )」を必修とする。
- 「緩和医療専門医養成コース」については、「臨床腫瘍学・基礎編 ( 4 単位 )」「臨床腫瘍学・臨床編 ( 4 単位 )」「緩和医療学 ( 4 単位 )」「緩和医療学実習 ( 16 単位 )」を必修とする。

## 令和5年度までの入学者

(履修の基本)

- 専攻科目は、総計20単位履修する必要があり、講義から8単位以上、実験または実習から12単位以上を1年次から3年次に履修すること。
- 専攻科目を分担している場合は、それぞれの科目から講義4単位、実験・実習から4単位以上を履修すること(これにより修了要件の専攻科目20単位以上(講義8単位、実習12単位を含む)を満たすこと)。
- 論文実習は「研究発表」(2年次または3年次必修)1単位、「論文基礎研究実習(2年次必修)」から2単位、「論文応用研究実習(3年次必修)」から2単位をそれぞれ履修すること。
- 専攻科目を分担している場合は、それぞれの「論文基礎研究実習(2年次必修)」から2単位、「論文応用研究実習(3年次必修)」から2単位をそれぞれ履修すること。
- 共通科目は当該授業科目から6単位履修すること。

(個別最適医療系先端癌治療学悪性腫瘍専門医養成ユニットを専攻科目として履修する場合)  
個別最適医療系先端癌治療学悪性腫瘍専門医養成ユニットを履修する場合、以下の条件に合致すること。

- 「化学・薬物療法専門医養成コース」については、個別最適医療系先端癌治療学の「癌集学治療学総論 ( 2 単位 )」「消化器癌総論 ( 2 単位 )」「消化器癌の免疫機構と治療 ( 2 単位 )」「ニューロオンコジー ( 2 単位 )」「がんワクチン療法の実際 ( 2 単位 )」「肝発癌の予防および肝癌治療の実習 ( 2 単位 )」「臨床腫瘍学・基礎編 ( 4 単位 )」「臨床腫瘍学・臨床編 ( 4 単位 )」「悪性腫瘍の集学的治療の実習 ( 12 単位 )」を必修とす



る。

実習については、1～3年次のうち、1年間集中的に履修すること。

「放射線療法専門医養成コース」については、「臨床腫瘍学・基礎編（4単位）」「放射線腫瘍療法セミナー（4単位）」「放射線腫瘍治療学実習（8単位）」「応用臨床画像診断学実習（8単位）」を必修とする。

## 令和6年度以降の入学者

（履修の基本）

- 専攻科目は、総計20単位履修する必要があり、講義から8単位以上、実験または実習から12単位以上を1年次から3年次に履修すること。
- 専攻科目を分担している場合は、それぞれの科目から講義4単位、実験・実習から4単位以上を履修すること（これにより修了要件の専攻科目20単位以上（講義8単位、実習12単位を含む）を満たすこと）。
- 論文実習は「研究発表」（2年次または3年次必修）1単位、「論文基礎研究実習（2年次必修）」から2単位、「論文応用研究実習（3年次必修）」から2単位をそれぞれ履修すること。
- 専攻科目を分担している場合は、それぞれの「論文基礎研究実習（2年次必修）」から2単位、「論文応用研究実習（3年次必修）」から2単位をそれぞれ履修すること。
- 共通科目は当該授業科目から6単位履修すること。

（個別最適医療系先端癌治療学悪性腫瘍専門医養成ユニットを専攻科目として履修する場合）

個別最適医療系先端癌治療学悪性腫瘍専門医養成ユニットを履修する場合、以下の条件に合致すること。

- 「化学・薬物療法専門医養成コース」については、個別最適医療系先端癌治療学の「癌集学治療学総論（2単位）」「消化器癌総論（2単位）」「消化器癌の免疫機構と治療（2単位）」「ニューロオンコロジー（2単位）」「がんワクチン療法の実際（2単位）」「肝発癌の予防および肝癌治療の実習（2単位）」「臨床腫瘍学・基礎編（4単位）」「臨床腫瘍学・臨床編（4単位）」「悪性腫瘍の集学的治療の実習（12単位）」を必修とする。

実習については、1～3年次のうち、1年間集中的に履修すること。

「放射線療法専門医養成コース」については、「放射線療法・総論（2単位）」「放射線療法・概論（4単位）」「臨床腫瘍学・基礎編（4単位）」「放射線腫瘍療法セミナー（4単位）」「放射線腫瘍治療学実習（8単位）」「応用臨床画像診断学実習（8単位）」を必修とする。

### 3 授業の実施について

授業の開始日については別途指示する。

履修された科目の授業は基本的に指導教授や指導担当者と進行方法を確認すること。

### 4 学位申請に関する件

久留米大学大学院学則により3年次段階で一定要件が満たされれば、早期修了は可能である。

学位申請に関する事務は 医学部事務部庶務課にて行っている(教務課と同じフロア)。

研究題目及び研究計画を毎年2月頃に調査するので、専攻科目指導教授の指示を受け、決定すること(期日厳守の上提出のこと)。

### 5 大学院特別講義について

通常の講義とは別に、本学では「大学院医学研究科特別講義」を企画している。国内外の優れた講師の先生を招聘しての講義が行なわれている。平成20年度からは「大学院セミナーシリーズ」として単位修得可能としている(1単位)。

なお、決定された日程については、カリキュラムブックに掲載しているので参照のこと。

以上

#### 個人情報の取り扱いについて

- \* 本学では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じている。
- \* 出題及び入学手続きにあたって提出頂いた個人情報は、入学試験の実施、合格発表、入学手続き、入学後の履修関係、教務・学籍関係、及び学生生活関係に必要な業務において使用している。
- \* 本学が取得した個人情報は、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはない。

## 専攻内容及び指導教授

専攻	専攻科目	指導教授	主な研究分野
生 理 系	解剖学 肉眼・臨床解剖分野	解剖学 (肉眼・臨床解剖部門) 渡部 功一	肉眼解剖学的研究 臨床解剖学的研究(低侵襲治療法の開発) ・心臓, 血管系の形態 ・運動器の機能解剖学(下肢など) ・胸腹部内臓の解剖学 ・頭頸部顔面領域の解剖学 ・移植組織(皮弁など)の血行形態の解析
	解剖学 顕微解剖・ 生体形成分野	解剖学 (顕微解剖・生体形成部門) 嶋 雄一	・視床下部-下垂体-性腺軸の発達を制御する転写制御機構の解明 ・性行動を制御する視床下部ニューロンの新規亜集団の同定 ・脾臓の組織構築において核内受容体 NR5A1 が果たす役割の解明
	解剖学 顕微解剖・ 生体形成分野	先端イメージング 研究センター 太田 啓介	・FIB-SEM tomography など電顕三次元解析技術を用いた細胞性ネットワークの可視化とその生理学的意義 ・ミトコンドリア形態と組織生理の関係 ・3D 光電子相関顕微鏡法(CLEM)によるミトコンドリアの空間的動的構造解析
	生理学 脳機能分野	生理学 (脳・神経機能部門) 吉田 史章	神経・精神生理学 1. 不随意運動疾患を引き起こす発症機構の解明と, それに対する生理学的知見を活用した新規治療法の開発 2. 精神疾患を引き起こす発症機構の解明と, それに対する生理学的知見を活用した新規治療法の開発
	生理学 統合自律機能分野	生理学 (統合自律機能部門) 中島 則行	・イオンチャネルの電気生理学および分子生物学的解析 ・細胞内シグナリングの生理学 ・神経の活動電位発生メカニズムの解析 ・中枢神経系における HCN チャネルの機能解析
	医 化 学	医 化 学	医化学 山本 健
自然科学・化学 東元 祐一郎			・タンパク質の翻訳後修飾による機能調節機構の解明 ・核酸アプタマーの作成と疾患モデル動物への応用 ・質量分析法による疾患プロテオミクス
薬 理 学	薬理学 ○西 昭徳	・ドーパミンにより活性化される細胞内情報伝達系, 特にリン酸化シグナルの研究 ・ドーパミン神経の変性と再生に関する研究 ・Microdialysis 法を用いた神経伝達物質放出に関する研究 ・薬物依存の神経化学的及び行動薬理学的研究	

専攻	専攻科目	指導教授	主な研究分野
生理系	分子生命科学	分子生命科学研究所 (遺伝情報研究部門) 佐藤 貴弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飢餓適応に関する研究 (特に, 摂食制御と体温制御の側面からの理解) [分子生物学・神経内分泌学]</li> <li>・ 食嗜好の形成機構に関する研究 [分子生物学・神経内分泌学]</li> <li>・ 新規生理活性ペプチドの探索研究 [分子生物学・生化学]</li> </ul>
		分子生命科学研究所 (細胞工学部門) 齋藤 成昭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養環境変化に应答する細胞増殖制御機構の解明</li> <li>・ 細胞分裂期における正確な染色体分配を保障する分子機構の解明</li> </ul>
病理系	病理学	病理学 秋葉 純	人体病理, 腫瘍の組織発生
		病理学 三好 寛明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リンパ腫を主体とした血液疾患の分子臨床病理学的検討</li> <li>・ 腫瘍周囲環境分子の空間的発現・変異解析</li> <li>・ 病理画像 AI を用いたバイオマーカーの検索</li> </ul>
	感染医学 基礎感染医学分野	感染医学 (基礎感染医学部門) 小椋 義俊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 細菌学</li> <li>・ ゲノム微生物学</li> <li>・ 病原性進化学</li> <li>・ 細菌に対する感染防衛機構</li> <li>・ 細菌感染症の新規治療薬の開発</li> </ul>
		感染制御学 ○渡邊 浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症</li> <li>・ 院内感染対策</li> <li>・ 熱帯医学</li> <li>・ 旅行医学</li> </ul>
	感染医学 真核微生物学分野	医学教育研究センター 柏木 孝仁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウイルス学</li> <li>・ 生化学 (ウイルス遺伝子複製酵素の解析)</li> <li>・ 分子生物学 (ウイルス遺伝子とタンパク質の解析)</li> </ul>
		感染医学 (真核微生物学部門) 井上 雅広	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒトのアフリカ睡眠病や家畜のナガナ病の原因となるトリパノソーマ原虫の駆除を可能にする分子標的薬の開発</li> <li>・ トリパノソーマ分子シャペロンのユニークな機能を利用した治療薬のスクリーニング</li> <li>1) トリパノソーマの14-3-3 (Tb14-3-3) 分子の機能解析</li> <li>2) Tb14-3-3 に結合するキナーゼ AKB-1 の機能解析</li> </ul>
免疫学	免疫学	免疫学 溝口 充志	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 腸管免疫</li> <li>・ 炎症性腸疾患の治療戦略開発</li> <li>・ 上皮再生免疫</li> <li>・ 臓器特異的免疫</li> </ul>
		免疫学 溝口 恵美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マウスモデルおよびヒト臨床検体を用いた, 炎症性腸疾患 (IBD) 発症とその病因における腸管細胞上皮細胞の機能的な機序解明</li> <li>・ アレルギー疾患, 慢性炎症性疾患, および感染症における基礎と臨床の橋渡し研究 (トランスレーショナルリサーチ) への取り組み</li> </ul>

専攻	専攻科目	指導教授	主な研究分野	
社会医学系	環境医学	環境医学 ○石竹達也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業医学</li> <li>1) 高圧環境(潜水)の健康影響</li> <li>2) 振動障害の予防と健康管理</li> <li>3) 医療・福祉従事者の健康管理</li> <li>・環境医学</li> <li>1) 電磁波による生体への健康影響</li> <li>2) 室内空気汚染, シックハウス症候群</li> <li>・地域保健</li> <li>1) HIA (Health Impact Assessment) の適用研究</li> </ul>	
	公衆衛生学	公衆衛生学 谷原真一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療政策</li> <li>・医療経済</li> <li>・疫学</li> <li>・医療リアルワールドデータ分析</li> </ul>	
	健康科学	学長直属 吉田典子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の変化と生体機能・疾病予防に関する臨床的研究 (身体活動や栄養摂取が血管内皮機能および生体内の酸化ストレスに及ぼす影響)</li> <li>・スポーツ医学に関する研究</li> </ul>	
	法医学・人類遺伝学	法医学 ○神田芳郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形態形成に關与する遺伝子多型解析</li> <li>・ハプトグロビン遺伝子欠失の診断法の開発とその臨床応用</li> <li>・自然選択を受けている遺伝子群の多型解析</li> </ul>	
	バイオ統計学		バイオ統計センター 古川恭治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生存時間データの解析手法</li> <li>・環境疫学データの統計モデリングとリスク解析</li> <li>・ベイズ統計モデル</li> </ul>
			バイオ統計センター 安川圭司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械学習を用いたバイタル/生活習慣データの解析</li> <li>・生体機能イメージングの統計学的画像再構成法の開発</li> <li>・疾患におけるレドックスの統計解析</li> </ul>
			医療検査学科 室谷健太	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な臨床試験デザイン開発・研究</li> <li>・診断法比較のための統計解析法の開発・研究</li> <li>・実践的なバイオ統計コンサルテーション</li> </ul>
	看護学	看護学	看護学科 益守かづき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの看護に関する研究</li> <li>・病気を抱える子どもの家族への看護に関する研究</li> <li>・小児看護教育に関する研究</li> </ul>
			看護学科 田中佳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病を持つ女性のウィメンズヘルスケアに関する研究</li> <li>・糖代謝異常妊娠のケアに関する研究</li> <li>・セクシュアリティに関する研究</li> <li>・助産学に関する研究</li> </ul>
			看護学科 重松由佳子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携における看護職の役割に関する研究</li> <li>・看護職のパートナーシップ構築に関する研究</li> <li>・保健師の保健活動技術及び教育に関する研究</li> </ul>
看護学科 古村美津代			<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の早期対応・支援および支援体制に関する研究</li> <li>・多職種連携・チームアプローチによる高齢者支援に関する研究</li> <li>・老年看護学および老年看護教育</li> </ul>	

専攻	専攻科目	指導教授	主な研究分野
社会医学系	看護学	看護学科 嵯峨 堅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体構造の基本と看護学領域への応用研究</li> <li>・人体解剖学，肉眼解剖学，組織学，形態形成，比較解剖学</li> <li>・骨形態形成，血管形態形成，末梢神経形態形成，内分泌形態形成</li> <li>・特に知覚神経分布と痛み発生のメカニズムの解析</li> <li>・研究・教育標本作製（ヒト，各種動物）</li> <li>・解剖学教育，教育教材開発，プレゼンテーション技法研究</li> </ul>
		看護学科 加悦美 恵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護教育と管理および看護技術や看護倫理に関する研究</li> </ul>
		看護学科 崎浜 智子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関連感染症の予防と管理に関する実装研究</li> <li>・医療関連感染症のリスク因子の探求に関する研究</li> <li>・リーダーシップとマネジメントに関する研究</li> <li>・患者安全に関する研究</li> </ul>
		看護学科 桐明 あゆみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性疾患を持つ患者と家族に対する看護に資する尺度開発</li> <li>・慢性疾患をも持つ患者と家族のセルフマネジメント支援に関する介入研究</li> <li>・ICT を活用した地域連携ケアシステムに関する研究</li> </ul>
個別最適医療系	先端癌治療学	病理学 秋葉 純	人体病理，腫瘍の組織発生
		病理学 三好 寛明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リンパ腫を主体とした血液疾患の分子臨床病理学的検討</li> <li>・腫瘍周囲環境分子の空間的発現・変異解析</li> <li>・病理画像 AI を用いたバイオマーカーの検索</li> </ul>
		免疫学 溝口 恵美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炎症性腸疾患（IBD）および IBD 関連性大腸癌の発症の過程における腸管上皮細胞と腸内細菌叢（特に潜在的に病因に関わるような細菌群）との相互作用</li> <li>・キチン質と結合能を持つ哺乳類キチナーゼに属する chitinase 3-like 1（CHI3L1/YKL 40）の発癌性への機序解明</li> </ul>
		内科学（血液・腫瘍内科部門） 長藤 宏司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造血器腫瘍細胞の増殖機構の解析</li> <li>・血栓症発症に関する血液凝固血小板異常の解析</li> </ul>
		内科学（消化器内科部門） 川口 巧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脂肪肝・代謝異常とがん</li> <li>・肝がん患者に対する栄養・運動療法</li> <li>・消化器がんの臓器相関</li> </ul>
		内科学（消化器内科部門） 古賀 浩徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器癌（肝癌，膵癌）の幹細胞</li> <li>・Wnt シグナル</li> <li>・ウイルス肝炎の病態と治療</li> <li>・肝細胞の再生</li> <li>・肝細胞癌に対する薬物療法</li> </ul>
		内科学（消化器内科部門） 黒松 亮子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹部超音波検査の基礎と臨床</li> <li>・肝癌の早期診断・治療</li> </ul>



専攻	専攻科目	指導教授	主な研究分野	
個別	先端癌治療学	外科学 藤田文彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>消化管癌の診断と治療</li> <li>後腹膜腫瘍の診断と治療</li> <li>大腸癌の集学的治療</li> <li>消化器疾患の外科治療</li> </ul>	
		外科学 唐宇飛	<ul style="list-style-type: none"> <li>腫瘍外科学</li> <li>乳腺腫瘍学</li> <li>腫瘍免疫学</li> </ul>	
		脳神経外科学 中村英夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳神経外科領域における機能的解剖学</li> <li>脳腫瘍の分子生物学</li> <li>がん生物学</li> <li>脳腫瘍病理学</li> </ul>	
		産婦人科学 津田尚武	<ul style="list-style-type: none"> <li>婦人科悪性腫瘍の診断学</li> <li>婦人科悪性腫瘍の病態生理</li> <li>婦人科悪性腫瘍の集学的治療</li> </ul>	
		泌尿器科学 井川掌	<ul style="list-style-type: none"> <li>泌尿器科腫瘍学</li> <li>泌尿器科腫瘍の集学的治療・低侵襲治療</li> </ul>	
		消化器病センター 竹田津英稔	<ul style="list-style-type: none"> <li>消化器癌における診断と治療</li> <li>炎症性発癌の原因解明</li> </ul>	
		泌尿器科学 唐宇飛	<ul style="list-style-type: none"> <li>腫瘍外科学</li> <li>乳腺腫瘍学</li> <li>腫瘍免疫学</li> </ul>	
最適	悪性腫瘍治療専門医養成ユニット	放射線療法専門医養成コース	放射線部 (放射線腫瘍センター) 淡河恵津世	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線腫瘍学一般</li> <li>放射線療法の技術的学習</li> <li>実臨床における放射線療法の応用</li> </ul>
		化学薬物療法専門医養成コース	外科学 唐宇飛	<ul style="list-style-type: none"> <li>腫瘍外科学</li> <li>乳腺腫瘍学</li> <li>腫瘍免疫学</li> </ul>
		希少がん診療養成コース	整形外科 平岡弘二	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨軟部腫瘍の基礎と臨床</li> <li>転移性骨腫瘍の基礎と臨床</li> <li>筋骨格系のリハビリテーション学</li> <li>術後筋骨格系機能改善の研究</li> </ul>
療系	心血管先端医療学	内科学(心臓・血管内科部門) 福本義弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>動脈硬化, 心不全, 不整脈, 大動脈疾患, 肺高血圧の病態と治療</li> <li>血管新生</li> <li>心血管病の疫学</li> <li>腫瘍循環器病学</li> </ul>	
		外科学 田山栄基	<ul style="list-style-type: none"> <li>心臓血管外科学(後天性心臓病の病態と治療, 大動脈疾患の病態と治療)</li> <li>人工心臓(補助循環装置の研究開発と臨床応用)</li> <li>人工弁の特性に関する研究と臨床評価</li> </ul>	
		循環器病研究所 青木浩樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>心血管系の細胞内情報伝達および細胞間情報伝達</li> <li>大動脈疾患の分子細胞生物学</li> </ul>	
		小児科学 ○須田憲治	<ul style="list-style-type: none"> <li>川崎病血管炎</li> <li>胎児疾患</li> <li>先天性心疾患のカテーテル治療</li> </ul>	
		循環器病センター 田原宣広	<ul style="list-style-type: none"> <li>血管生物学</li> <li>心血管病の炎症病態</li> <li>動脈硬化, 肺高血圧症, 心筋症, 血管炎の病態と治療</li> </ul>	

専攻	専攻科目	指導教授	主な研究分野
個別最適医療系	心血管先端医療学	医療安全管理部 横山晋二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理学</li> <li>・循環器内科学</li> <li>・冠動脈インターベンション</li> </ul>
	高次脳疾患学	神経精神医学 小曾根基裕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神医学</li> <li>・精神生理学</li> <li>・睡眠学</li> </ul>
		高次脳疾患研究所 小路純央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神生理学（精神神経疾患及び高次脳機能障害における探索眼球運動，事象関連電位，functional magnetic resonance imaging: fMRI，近赤外線スペクトロスコピー Near-infrared Spectroscopy: NIRS を用いた研究）</li> <li>・老年精神医学（予防，診断・治療・ケア，地域連携）</li> </ul>
		高次脳疾患研究所 高橋知之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞生物学</li> <li>・分子生物学</li> <li>・発生生物学</li> </ul>
		脳神経外科学 ○森岡基浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳虚血性細胞障害の分子メカニズム</li> <li>・神経再生</li> <li>・血管新生</li> </ul>
		脳神経外科学 廣畑優	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳血管障害の基礎と臨床</li> </ul>
		脳神経外科学 中村英夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳神経外科領域における機能的解剖学</li> <li>・脳腫瘍の分子生物学</li> <li>・がん生物学</li> <li>・脳腫瘍病理学</li> </ul>
		神経精神医学 本岡大道	<ul style="list-style-type: none"> <li>てんかん</li> <li>精神医学</li> <li>精神生理学</li> <li>心理教育</li> </ul>
	皮膚細胞生物学	皮膚科学 後任教授	
	先進医療対象疾患学	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門） 星野友昭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸器病学</li> <li>・肺がん</li> </ul>
		内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門） ○井田弘明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己炎症症候群における iPS 細胞を利用した病態解析</li> </ul>
		内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門） 川山智隆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気道炎症の診断および評価</li> <li>・気道過敏性の診断および評価</li> <li>・気管支喘息と COPD の病態解明および新規治療薬の開発に関する研究など</li> </ul>
		リウマチ・膠原病センター（医療センター） 中島宗敏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関節リウマチの治療</li> <li>・リウマチ性疾患における MEFV 遺伝子の関わり</li> </ul>
		内科気血液・腫瘍内科部門） 長藤宏司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造血器腫瘍細胞の増殖機構の解析</li> <li>・血栓症発症に関する血液凝固血小板異常の解析</li> </ul>

専攻	専攻科目	指導教授	主な研究分野
個別最適医療系	先進医療対象疾患学	内科学(消化器内科部門) 川口 巧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脂肪肝の病態と治療</li> <li>・肝硬変患者の栄養・運動療法</li> <li>・消化器疾患の臓器相関</li> </ul>
		内科学(消化器内科部門) 古賀 浩徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器癌(肝癌, 膵癌)の幹細胞</li> <li>・Wnt シグナル</li> <li>・ウイルス肝炎の病態と治療</li> <li>・肝細胞の再生</li> <li>・肝細胞癌に対する薬物療法</li> </ul>
		内科学(消化器内科部門) 黒松 亮子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹部超音波検査の基礎と臨床</li> <li>・肝癌の早期診断・治療</li> </ul>
		消化器病センター 竹田津 英稔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炎症性腸疾患の診断と治療</li> <li>・炎症性腸疾患の病態解明</li> <li>・消化管免疫</li> <li>・消化器疾患の診断と治療</li> </ul>
		消化器内科 (医療センター) 井出 達也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイルス性肝炎</li> <li>・肝疾患の診断と治療</li> </ul>
		内科学(内分泌代謝内科部門) 野村 政壽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2型糖尿病の病態生理に基づく革新的治療法の研究開発</li> <li>・サルコペニアの分子メカニズムの解明と予防法の開発</li> </ul>
		内科学(腎臓内科部門) 深水 圭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急性・慢性腎障害, 透析合併症の進展機序の解明と新規治療法開発</li> <li>・腎臓再生へ向けた最先端研究</li> </ul>
		小児科学 水落 建輝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児消化器肝臓病</li> <li>・小児炎症性腸疾患のバイオマーカーと治療</li> <li>・小児C型肝炎の疫学と治療</li> <li>・小児胆汁うっ滞症の診断と治療</li> </ul>
		小児科学 西小森 隆太	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己炎症症候群の原因遺伝子探索</li> <li>・自己炎症症候群の病態解明</li> <li>・自己炎症症候群の治療法開発</li> </ul>
		保険診療管理部(小児科学) ○牛島 高介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険診療</li> <li>・病院管理学</li> <li>・小児科学</li> <li>・小児栄養消化器肝臓病学</li> </ul>
		放射線医学 田上 秀一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神経放射線診断学</li> <li>・画像下治療(脳脊髄血管病変, 血管腫・血管奇形, 頭頸部癌)</li> <li>・脳脊髄血管の画像解剖学</li> </ul>
		放射線医学 藤本 公則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像診断学全般</li> <li>(特に呼吸器・縦隔疾患・肝疾患の画像診断)</li> </ul>
		放射線医学 内山 雄介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線診断学(画像診断学一般, 神経放射線領域, 頭頸部領域)</li> </ul>
放射線部 (放射線腫瘍センター) 淡河 恵津世	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線腫瘍学一般</li> <li>・放射線療法の技術的学習</li> <li>・実臨床における放射線療法の応用</li> </ul>		

専攻	専攻科目	指導教授	主な研究分野
個別最適医療系	先進医療対象疾患学	外科学 藤田文彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化管癌の診断と治療</li> <li>・後腹膜腫瘍の診断と治療</li> <li>・大腸癌の集学的治療</li> <li>・消化器疾患の外科治療</li> </ul>
		外科学 久下亨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器外科（肝胆膵）</li> <li>・腫瘍外科</li> <li>・集学治療</li> <li>・外科病理</li> </ul>
		外科学 光岡正浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸器外科学</li> <li>・肺癌の外科治療</li> <li>・呼吸器インターベンション</li> </ul>
		外科学 唐宇飛	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腫瘍外科学</li> <li>・乳腺腫瘍学</li> <li>・腫瘍免疫学</li> </ul>
		外科学 石橋生哉	消化器外科学，外科代謝学，周術期栄養学，外科感染症学，術後早期回復，担癌生体でのアミノ酸代謝，侵襲下におけるアミノ酸代謝，腸内細菌と外科侵襲，体組成変化と生体反応
		外科学（小児外科） 加治建	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児外科（消化器，呼吸器，泌尿生殖器）</li> <li>・新生児外科学</li> <li>・小児内視鏡外科学</li> <li>・外科代謝・栄養学</li> <li>・外科教育学</li> </ul>
		整形外科学 平岡弘二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨軟部腫瘍の基礎と臨床</li> <li>・転移性骨腫瘍の基礎と臨床</li> <li>・筋骨格系のリハビリテーション学</li> <li>・術後筋骨格系機能改善の研究</li> </ul>
		整形外科・関節外科センター （医療センター） ○大川孝浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨・関節機能再建を目的とする人工関節手術および関節</li> <li>・温存手術を中心とした研究と臨床</li> </ul>
		整形外科学 佐藤公昭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脊椎・脊髄疾患</li> </ul>
		リハビリテーション部 松瀬博夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動療法による健康増進</li> <li>・慢性疼痛に対する運動療法</li> <li>・電気刺激療法</li> <li>・運動器のバイオメカニクス</li> <li>・不活動による筋骨格系の萎縮と予防法に関する研究</li> <li>・筋骨連関と運動に関する研究</li> <li>・宇宙空間での筋骨格機能の維持，運動法に関する研究</li> </ul>
医学教育研究センター 山田圭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・術中脊髄機能モニタリング（電気生理学的検査）</li> <li>・運動器の疼痛の研究</li> </ul>		

専攻	専攻科目	指導教授	主な研究分野
個別最適医療系	先進医療対象疾患学	眼科学 吉田茂生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眼内増殖組織のゲノムワイド遺伝子発現解析に基づいた革新的眼内増殖抑制治療戦略の体系的構築</li> <li>・糖尿病網膜症・網膜静脈閉塞症や加齢黄斑変性に対する個別化分子標的治療の開発</li> <li>・硝子体手術の奏功機序解明と治療への応用</li> <li>・眼疾患のゲノム解析と迅速診断システムの構築</li> <li>・眼内血管新生の分子機構の解明</li> </ul>
		眼科学 門田遊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角膜移植</li> <li>・羊膜移植</li> <li>・前眼部疾患</li> </ul>
		眼科学 春田正俊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢黄斑変性</li> <li>・黄斑円孔</li> <li>・糖尿病性網膜症</li> <li>・裂孔原性網膜剥離</li> <li>・網膜前膜</li> <li>・網膜分離症</li> </ul>
		産婦人科学 津田尚武	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人科悪性腫瘍における低侵襲治療法</li> </ul>
		泌尿器科学 井川掌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泌尿器科腫瘍学(特に,前立腺癌,腎癌,尿路上皮癌)</li> <li>・泌尿器内分泌学(特に,副腎疾患)</li> <li>・尿路結石症の基礎と臨床</li> </ul>
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 梅野博仁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声外科学・嚥下医学・喉頭科学における基礎と臨床</li> <li>・頭頸部腫瘍学における基礎と臨床</li> </ul>
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 千年俊一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭頸部外科学</li> <li>・頭頸部癌の機能温存治療</li> <li>・低侵襲・機能改善手術法の開発</li> </ul>
		麻酔学 平木照之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神経麻酔</li> <li>・手術医学</li> </ul>
		形成外科・顎顔面外科学 力丸英明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容外科</li> <li>・頭蓋顎顔面外科</li> <li>・再生医療の研究と臨床</li> <li>・抗加齢医療</li> </ul>
		救急医学 高須修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過大侵襲と生体反応</li> <li>・重症患者における臓器障害発症メカニズム</li> <li>・敗血症の病態生理</li> <li>・重症敗血症に伴う臓器不全</li> </ul>
		高度救命救急センター 山下典雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医学(主に外傷学,災害医療,病院前救急医学)</li> </ul>
		歯科口腔医療センター 楠川仁悟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔インプラント</li> <li>・顎変形症の診療と治療</li> <li>・口腔組織の再生</li> <li>・口腔腫瘍の臨床病理</li> </ul>

参考 1. の指導教授は令和7年度退職予定である。



## 学年暦および主要な行事予定

区分	月	日	曜日	行 事	
前          期	4月	2日		大学院入学式	
				大学院新入学生オリエンテーション	
		3日		履修登録開始	
		8日		健康診断（4月8日～11日） 新入生は4月10日・11日のみ	
		11日			
	11日	履修登録締切			
	5月	7日	前期授業開始（9月22日まで：15週）		
	6月	上旬	現住所調査（全学年対象）		
	8月	6日	夏季休暇開始（9月7日まで：5週）		
	9月	下旬	学位論文進捗状況及び研究題目調査（4年次対象）		
9月	22日	前期授業終了			
後          期	10月	14日		後期授業開始（2月9日まで：15週）	
	12月	8日		大学院医学研究科研究発表会	
		9日			
		23日		冬季休暇開始（1月4日まで：2週）	
	下旬		当年度内学位論文（共著）提出締切予定		
	1月	4日		冬期休暇終了	
		中旬		当年度内学位論文（単著）提出締切予定	
		2月		9日	後期授業終了
		2月		中旬	研究題目及び研究計画調査予定（全学年対象）
3月		中旬			
25日	大学院学位記授与式（AM11：00～筑水会館2階イベントホール）				

通常の授業期間以外にも、集中講義、特別講義等を実施する。

学位記授与式は修了日によって日時、場所が異なることがある。詳細は案内状にて確認すること。

# 2025年度(令和7年度)大学院医学研究科博士課程 7曜表

4月	日	月	火	水	木	金	土	10月	日	月	火	水	木	金	土
		入学式	1	2	3	4	5					1	2	3	4
	6	7	8	9	10	11	12		5	6	7	8	9	10	11
	13	14	15	16	17	18	19		12		14	15	16	17	18
	20	21	22	23	24	25	26		19	20	21	22	23	24	25
	27	28		30			履修登録締切		26	27	28	29	30	31	
					1	2									1
5月				7	8	9	10	11月	2		4	5	6	7	8
	11	12	13	14	15	16	17			9	10	11	12	13	14
	18	19	20	21	22	23	24		16	17	18	19	20	21	22
	25	26	27	28	29	30	31		30		25	26	27	28	29
							前期授業開始								
6月	日	月	火	水	木	金	土	12月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4	5
	8	9	10	11	12	13	14		7	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20	21		14	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27	28		21	22	23	24	25	26	27
	29	30							28	29	30	31			
7月	日	月	火	水	木	金	土	1月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5								2
	6	7	8	9	10	11	12		4	5	6	7	8	9	10
	13	14	15	16	17	18	19		11		13	14	15	16	17
	20		22	23	24	25	26		18	19	20	21	22	23	24
	27	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31
8月	日	月	火	水	木	金	土	2月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2			1	2	3	4	5	6
	3	4	5	6	7	8	9		8	9	10		12	13	14
	10		12	13	14	15	16		15	16	17	18	19	20	21
	17	18	19	20	21	22	23		22		24	25	26	27	28
	24	25	26	27	28	29	30								
	31														
9月	日	月	火	水	木	金	土	3月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13		8	9	10	11	12	13	14
	14		16	17	18	19	20		15	16	17	18	19		21
	21	22		24	25	26	27		22	23	24	25	26	27	28
	28	29	30				前期授業終了		29	30	31				

= 祝日及び振替休日

入学式：4月2日

前期授業：5月7日～9月22日

後期授業：10月14日～2月9日

夏季休暇：8月6日～9月7日

冬季休暇：12月23日～1月4日

研究発表会：12月8日，9日

...授業期間

期間外であっても授業を行うことがある

## 2025年度(令和7年度)大学院医学研究科博士課程科目および担当責任者一覧

科目コード	科目区分	専攻科目	科目名	科目名の英語表記	単位数	講義・演習別	科目担当者氏名	担当者職名
B010101001	共通科目		ゲノムドラフトの解明	History of Genome Sequencing Projects	1	講義	伴 匡人	教授
B010101003	共通科目		ゲノム創薬の進歩	Genome-based Drug Discovery	1	講義	佐藤 貴弘	教授
B010101005	共通科目		免疫関連分子とT細胞抗原レセプター多様性の解明	Immune-related Molecules and T-cell Antigen Receptor (TCR) Diversity	1	講義	満口恵美子	教授
B010101007	共通科目		科学的根拠に基づく医療 (EBM)	Evidence-based Medicine	1	講義	川口 巧	教授
B010101009	共通科目		臨床・基礎研究と生命倫理 (コンサルテーション)	Bioethics in Basic and Clinical Research (Ethics Consultation)	1	講義	津田 尚武	教授
B010101010	共通科目		バイオ統計基礎ユニット	Introductory Biostatistics	1	講義	大山 哲司	准教授
B010101012	共通科目		大学院セミナーシリーズ (特別講義)	Special Lecture Series for Graduate Students	1	講義	満口 充志	教授
B010101013	共通科目		バイオ統計応用ユニット	Applied Biostatistics	2	講義	室谷 健太	教授
B010101014	共通科目		知的財産権論	Introduction to Intellectual Property The Basis and Practice	2	講義	松尾 綾	主幹
B010101015	共通科目		臨床試験実習	Introduction to clinical research	2	実習	満口 充志	教授
B010101016	共通科目		トランスレーショナルリサーチ実習	Translational Research Practicum	2	実習	古賀 浩徳	教授
B010101017	共通科目		臨床研究入門	Introduction to clinical research	2	講義	満口 充志	教授
B010101018	共通科目		臨床研究入門	Introduction to clinical research	2	講義	満口 充志	教授
B010101019	共通科目		実験動物学	Laboratory Animal Science	1	講義	塩澤 誠司	教授
B010101020	共通科目		医学英語論文スキルアップ	Medical Writing Tips	1	講義	川口 巧	教授
B010101021	論文実習		研究発表	Research Presentation and Discussion	1	講義	満口 充志	教授
B010101022	共通科目		医療経営 基礎	Basic Healthcare Management	2	講義	梶原 晃	教授
B010101023	共通科目		医療経営 上級	Advanced Healthcare Management	2	講義	梶原 晃	教授
B010101024	共通科目		医療経済学 基礎	Basic Healthcare Economics	2	講義	梶原 晃	教授
B010101025	共通科目		医療経済学 上級	Advanced Healthcare Economics	2	講義	梶原 晃	教授
B010101026	共通科目		遺伝子多型 (SNVs)	DNA Polymorphisms (SNVs)	1	講義	神田 芳郎	教授
B010101027	共通科目		論文の解剖学 (初級)	Anatomy of research paper, beginner level	1	講義	青木 浩樹	教授
B010101028	共通科目		論文の解剖学 (中級)	Anatomy of research paper, intermediate level	1	講義	青木 浩樹	教授
B010201002	個別最適医療系	先端癌治療学	癌集学治療学総論	Multidisciplinary Cancer Treatment	2	講義	藤田 文彦	教授
B010201003	個別最適医療系	先端癌治療学	消化器癌総論	Gastrointestinal Cancer	2	講義	川口 巧	教授
B010201004	個別最適医療系	先端癌治療学	免疫生物学・細胞性免疫学	Immunobiology and Cellular Immunology	2	講義	満口恵美子	教授
B010201005	個別最適医療系	先端癌治療学	肝の発癌機構と治療	Oncogenesis and Treatment of Hepatocellular Carcinoma	2	講義	川口 巧	教授
B010201006	個別最適医療系	先端癌治療学	消化器癌の免疫機構と治療	Immunotherapy for Gastrointestinal Cancer	2	講義	竹田津英稔	教授
B010201007	個別最適医療系	先端癌治療学	ニューロオンコロジー	Neuro-oncology	2	講義	森岡 基浩	教授
B010201008	個別最適医療系	先端癌治療学 (悪性腫瘍専門医養成ユニット)	臨床腫瘍学・基礎編	Introduction to Clinical Oncology	4	講義	藤田 文彦	教授
B010201009	個別最適医療系	先端癌治療学 (悪性腫瘍専門医養成ユニット)	臨床腫瘍学・臨床編	Applied Clinical Oncology	4	講義	藤田 文彦	教授
B010201010	個別最適医療系	先端癌治療学 (悪性腫瘍専門医養成ユニット)	放射線腫瘍療法セミナー	Seminar in Radiation Oncology	4	講義	淡河恵津世	教授
B010201012	個別最適医療系	先端癌治療学 (悪性腫瘍専門医養成ユニット)	放射線療法・総論	Radiation Therapy-General Discussion	2	講義	淡河恵津世	教授
B010201013	個別最適医療系	先端癌治療学 (悪性腫瘍専門医養成ユニット)	放射線療法・概論	Radiation Therapy-Specifics	4	講義	淡河恵津世	教授

科目コード	科目区分	専攻科目	科目名	科目名の英語表記	単位数	講義・演習別	科目担当者氏名	担当者職名
B010203002	個別最適医療系	先端癌治療学	癌集学治療学の実際	Multidisciplinary Cancer Treatment (Practicum)	4	実習	藤田 文彦	教授
B010203003	個別最適医療系	先端癌治療学	消化器癌の遺伝子解析	Gene Analysis in Gastrointestinal Cancer (Practicum)	4	実習	川口 巧	教授
B010203005	個別最適医療系	先端癌治療学	肝の発癌機構の解析法	Oncogenic Analysis of Hepatocellular Carcinoma (Practicum)	2	実習	川口 巧	教授
B010203006	個別最適医療系	先端癌治療学	肝癌治療の基礎研究実習	Treatment of Hepatocellular Carcinoma (Practicum)	2	実習	川口 巧	教授
B010203007	個別最適医療系	先端癌治療学	消化管前癌病変モデル作製	Development of Animal Models of Precancerous Lesions of the Gastrointestinal Tract (Lab)	2	実習	竹田津英稔	教授
B010203008	個別最適医療系	先端癌治療学	消化管前癌病変モデルの免疫機序の解析法	Immunological Analysis of Animal Models with Precancerous Lesions of the Gastrointestinal Tract (Lab)	2	実習	竹田津英稔	教授
B010203009	個別最適医療系	先端癌治療学(悪性腫瘍専門医養成ユニット)	悪性腫瘍の集学的治療の実習	Multidisciplinary Treatments for Cancer Patients (Practicum)	12	実習	川口 巧	教授
B010203010	個別最適医療系	先端癌治療学(悪性腫瘍専門医養成ユニット)	放射線腫瘍治療学実習	Radiation Oncology (Practicum)	8	実習	淡河惠津世	教授
B010203011	個別最適医療系	先端癌治療学(悪性腫瘍専門医養成ユニット)	応用臨床画像診断学実習	Clinical Diagnostic Imaging in Cancer Patients (Practicum)	8	実習	田上 秀一	教授
B010203014	個別最適医療系	先端癌治療学	肝発癌の予防および肝癌治療の実習	Training for the prevention of hepatocarcinogenesis and the treatment of hepatocellular carcinoma	2	実習	川口 巧	教授
B010301001	個別最適医療系	心血管先端医療学	血管生物学総論	Vascular Biology	2	講義	福本 義弘	教授
B010301002	個別最適医療系	心血管先端医療学	血栓症総論	Introduction to Thrombosis	2	講義	横山 晋二	教授
B010301003	個別最適医療系	心血管先端医療学	循環制御調節解析学	Circulatory Control	2	講義	深水 亜子	准教授
B010301004	個別最適医療系	心血管先端医療学	循環器分子生物学	Cardiovascular Molecular Biology	2	講義	佐々木健一郎	准教授
B010301005	個別最適医療系	心血管先端医療学	血管再生医療総論	Vascular Generative Therapy	2	講義	佐々木健一郎	准教授
B010301006	個別最適医療系	心血管先端医療学	心臓血管病外科治療学総論	Cardiovascular Surgery	2	講義	田山 栄基	教授
B010301007	個別最適医療系	心血管先端医療学	冠動脈再建外科学	Coronary Arterial Surgery	2	講義	高木 数実	准教授
B010301008	個別最適医療系	心血管先端医療学	末梢血管疾患学総論	Peripheral Vascular Disease	2	講義	廣松 伸一	教授
B010301009	個別最適医療系	心血管先端医療学	小児心疾患の先端医療	State-of-the-art Pediatric Cardiology	2	講義	須田 憲治	教授
B010301010	個別最適医療系	心血管先端医療学	血管平滑筋細胞学	Vascular Smooth Muscle Cell Biology	2	講義	古田 拓也	講師
B010303008	個別最適医療系	心血管先端医療学	遺伝子発現解析法	Analysis of gene expression	3	実習	青木 浩樹	教授
B010303009	個別最適医療系	心血管先端医療学	心血管系細胞培養実験法	Culture of cardiovascular cells	3	実習	青木 浩樹	教授
B010303003	個別最適医療系	心血管先端医療学	組織遺伝子発現解析法	Analysis of Tissue Gene Expression (Lab)	3	実習	三好 寛明	教授
B010303004	個別最適医療系	心血管先端医療学	組織移植実習	Tissue Transplantation (Lab)	3	実習	安川 秀雄	教授
B010303005	個別最適医療系	心血管先端医療学	内皮前駆細胞標識実習	EPC Labeling (Lab)	3	実習	安川 秀雄	教授
B010303006	個別最適医療系	心血管先端医療学	血小板機能検査実習	Clinical Study of Platelet Function (Lab)	2	実習	安川 秀雄	教授
B010303007	個別最適医療系	心血管先端医療学	心血管病検査法の実際	Cardiovascular Examination (Practicum)	2	実習	佐々木健一郎	准教授
B010401003	個別最適医療系	高次脳疾患学	発達神経学	Developmental Neurology	2	講義	原 宗嗣	講師
B010401006	個別最適医療系	高次脳疾患学	中枢神経系放射線診断学	Diagnostic and Interventional Neuroradiology	4	講義	田上 秀一	教授
B010401007	個別最適医療系	高次脳疾患学	高次脳機能診断学	Diagnosis of Higher Brain Dysfunction	4	講義	立石 貴久	准教授
B010401008	個別最適医療系	高次脳疾患学	脳損傷治療学	Pathophysiology and Management of Acute Brain Injury	4	講義	廣畑 優	教授
B010401009	個別最適医療系	高次脳疾患学	高次脳機能障害治療学	Higher Brain Dysfunction	4	講義	森岡 基浩	教授
B010401010	個別最適医療系	高次脳疾患学	睡眠覚醒障害の病態と治療	Pathology and Treatment of Sleep-wake Disorders	4	講義	小曾根基裕	教授
B010401011	個別最適医療系	高次脳疾患学	機能性精神障害の認知機能	Cognitive Function in Functional Psychoses	4	講義	小路 純央	教授
B010401012	個別最適医療系	高次脳疾患学	中枢神経機能学	Drugs Acting on the Central Nervous System	4	講義	西 昭徳	教授

科目コード	科目区分	専攻科目	科目名	科目名の英語表記	単位数	講義・演習別	科目担当者氏名	担当者職名
B01040103	個別最適医療系	高次脳疾患学	小児神経学	Child Neurology	2	講義	原 宗嗣	講師
B010403001	個別最適医療系	高次脳疾患学	実践的脳虚血負荷実習	Neuronal Cell Death by Oxygen and Glucose Deprivation (Lab)	2	実習	吉田 史章	教授
B010403003	個別最適医療系	高次脳疾患学	中枢神経分子遺伝学の手技	Molecular Genetics of the Central Nervous System (Lab)	4	実習	高橋 知之	教授
B010403004	個別最適医療系	高次脳疾患学	中枢神経放射線診断学実習	Diagnostic and Interventional Neuroradiology (Lab)	4	実習	田上 秀一	教授
B010403005	個別最適医療系	高次脳疾患学	機能的脳画像実習	Functional Brain Imaging (Lab)	4	実習	倉田 精二	准教授
B010403006	個別最適医療系	高次脳疾患学	高次脳機能診断学実習	Diagnosis of Higher Brain Dysfunction (Lab)	4	実習	立石 貴久	准教授
B010403007	個別最適医療系	高次脳疾患学	認知機能測定実習	Measuring Cognitive Functions (Lab)	4	実習	小路 純央	教授
B010403008	個別最適医療系	高次脳疾患学	精神疾患リハビリテーション実習	Psychiatric Rehabilitation (Lab)	2	実習	内野 俊郎	教授
B010403009	個別最適医療系	高次脳疾患学	神経外傷・脳腫瘍学実習	Neurotrauma and Brain Tumor (Lab)	4	実習	坂田 清彦	准教授
B010403010	個別最適医療系	高次脳疾患学	マイクロダイアリシス法	In vivo Microdialysis (Lab)	4	実習	河原 幸江	准教授
B010403011	個別最適医療系	高次脳疾患学	精神症状評価実習	Psychiatric symptom Assessment Practice assessment	4	実習	大江美佐里	准教授
B010501001	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	呼吸器疾患学総論	Introduction to Respiratory Diseases	4	講義	星野 友昭	教授
B010501002	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	感染症医学総論	Introduction to Infectious Diseases	4	講義	川口 巧	教授
B010501003	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	自己免疫アレルギー疾患学総論	Introduction to Autoimmune and Allergic Diseases	4	講義	井田 弘明	教授
B010501004	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	消化器疾患学総論	Introduction to Digestive Diseases	4	講義	藤田 文彦	教授
B010501005	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	血液疾患学総論	Introduction to Hematologic Diseases	4	講義	長藤 宏司	教授
B010501006	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	内分泌代謝疾患学総論	Introduction to Endocrine and Metabolic Diseases	4	講義	野村 政壽	教授
B010501007	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	腎疾患総論	Introduction to Kidney Diseases	4	講義	深水 圭	教授
B010501008	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	小児外科学総論	Introduction to Pediatric Surgery	4	講義	加治 建	教授
B010501009	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	整形外科学総論	Introduction to Orthopedics	4	講義	平岡 弘二	教授
B010501010	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	視覚病態学	Introduction to Ophthalmology	4	講義	吉田 茂生	教授
B010501011	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	産婦人科・新生児医学総論	Introduction to Perinatology	4	講義	津田 尚武	教授
B010501012	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	耳鼻咽喉・頭頸部外科学総論	Introduction to Otolaryngology-Head and Neck Surgery	4	講義	梅野 博仁	教授
B010501013	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	包括的顎口腔機能再生学	Introduction to Maxillofacial Regenerative Medicine	4	講義	楠川 仁悟	教授
B010501014	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	救急医学総論	Introduction to Emergency Medicine	4	講義	高須 修	教授
B010501015	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	臨床画像医学・放射線腫瘍学総論	Introduction to Diagnostic Radiology and Radiation Oncology	4	講義	田上 秀一	教授
B010501016	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	生体機能管理学総論	Introduction to Anesthesiology	4	講義	平木 照之	教授
B010501018	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	遺伝性疾患学総論	Introduction to Genetic Disorders	4	講義	西小森隆太	教授
B010501019	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	再建医学総論	Introduction to Reconstructive Surgery	4	講義	力丸 英明	教授
B010501020	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	皮膚分子病態学総論	Introduction to Molecular Dermatology	4	講義	石井 文人	准教授
B010501021	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	泌尿器科学総論	Introduction to Urology	4	講義	井川 掌	教授
B010503001	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	呼吸器疾患学実習	Respiratory Diseases (Practicum)	4	実習	星野 友昭	教授
B010503002	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	感染症医学実習	Infectious Diseases (Practicum)	4	実習	川口 巧	教授
B010503003	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	自己免疫アレルギー疾患学実習	Autoimmune and Allergic Diseases (Practicum)	4	実習	竹田津英稔	教授
B010503004	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	消化器疾患学実習	Digestive Diseases (Practicum)	4	実習	藤田 文彦	教授



科目コード	科目区分	専攻科目	科目名	科目名の英語表記	単位数	講義・演習別	科目担当者氏名	担当者職名
B010503005	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	血液疾患学実習	Hematologic Diseases (Practicum)	4	実習	毛利 文彦	講師
B010503006	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	内分泌代謝疾患学実習	Endocrine and Metabolic Diseases (Practicum)	4	実習	野村 政壽	教授
B010503007	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	腎疾患実習	Kidney Diseases (Practicum)	4	実習	深水 圭	教授
B010503008	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	小児外科学実習	Pediatric Surgery (Practicum)	4	実習	加治 建	教授
B010503009	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	整形外科学実習	Practical Orthopaedics (Practicum)	4	実習	佐藤 公昭	教授
B010503010	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	眼科学実習	Ophthalmology (Practicum)	4	実習	吉田 茂生	教授
B010503011	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	産婦人科・新生児医学実習	Perinatology (Practicum)	4	実習	津田 尚武	教授
B010503012	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	耳鼻咽喉・頭頸部外科学実習	Otolaryngology-Head and Neck Surgery (Lab)	4	実習	梅野 博仁	教授
B010503013	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	包括的顎口腔機能再生学実習	Maxillofacial Regenerative Medicine (Lab)	4	実習	楠川 仁悟	教授
B010503014	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	救急医学実習	Emergency Medicine (Practicum)	4	実習	高須 修	教授
B010503015	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	臨床画像医学・放射線腫瘍学実習	Diagnostic Radiology and Radiation Oncology (Practicum)	4	実習	藤本 公則	教授
B010503016	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	生体機能管理学実習	Anesthesiology (Practicum)	4	実習	平木 照之	教授
B010503018	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	遺伝性疾患学実習	Genetic Disorders (Practicum)	4	実習	西小森隆太	教授
B010503019	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	再建医学実習	Reconstructive Surgery (Practicum)	4	実習	力丸 英明	教授
B010503020	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	皮膚分子病態学実習	Molecular Dermatology (Practicum)	4	実習	古賀 浩嗣	准教授
B010503021	個別最適医療系	先進医療対象疾患学	泌尿器科学実習	Urology (practicum)	4	実習	井川 掌	教授
B010601001	個別最適医療系	皮膚細胞生物学	自己免疫性水疱症総論	Lecture of Autoimmune Bullous Disease	2	講義	石井 文人	准教授
B010601002	個別最適医療系	皮膚細胞生物学	遺伝性皮膚疾患総論	Lecture of Hereditary Skin Disease	2	講義	石井 文人	准教授
B010601003	個別最適医療系	皮膚細胞生物学	皮膚免疫学総論	Lecture of Skin Immunology	2	講義	名嘉真武園	教授
B010601004	個別最適医療系	皮膚細胞生物学	毛髪科学総論	Lecture of Hair Research	2	講義	夏秋 洋平	講師
B010603001	個別最適医療系	皮膚細胞生物学	免疫組織学実習	Immunohistology (Practicum)	4	実習	石井 文人	准教授
B010603002	個別最適医療系	皮膚細胞生物学	蛋白解析実習	Protein Analysis (Practicum)	2	実習	古賀 浩嗣	准教授
B010603003	個別最適医療系	皮膚細胞生物学	遺伝子操作実習	Gene Manipulation (Practicum)	2	実習	Teye kwesi	助教
B010603004	個別最適医療系	皮膚細胞生物学	細胞生物学実習	Cell Biology (Practicum)	4	実習	Teye kwesi	助教
B010603005	個別最適医療系	皮膚細胞生物学	皮膚免疫学実習	Skin Immunology (Practicum)	4	実習	石井 文人	准教授
B010603006	個別最適医療系	皮膚細胞生物学	毛髪科学実習	Hair Research (Practicum)	2	実習	古賀 浩嗣	准教授
B020101001	共通科目		先進的・分野特異的研究手法体験ユニット	Advanced and Specialized Research Techniques (Lab)	2	講義	西 昭徳	教授
B020201001	生理系	解剖学 肉眼・臨床解剖分野	系統解剖学総論	Introduction to Systemic Gross Anatomy	1	講義	渡部 功一	教授
B020201008	生理系	解剖学 肉眼・臨床解剖分野	系統解剖学各論 運動器系	Systemic Gross Anatomy I: Skeletal System	2	講義	渡部 功一	教授
B020201009	生理系	解剖学 肉眼・臨床解剖分野	系統解剖学各論 脈管・神経系	Systemic Gross Anatomy II: Circulatory and Nervous System	3	講義	渡部 功一	教授
B020201010	生理系	解剖学 肉眼・臨床解剖分野	系統解剖学各論 内臓・感覚器系	Systemic Gross Anatomy III: Splanchnic Nervous System	2	講義	嵯峨 堅	教授
B020203005	生理系	解剖学 肉眼・臨床解剖分野	骨学実習	Osteology (Lab)	1	実習	渡部 功一	教授
B020203006	生理系	解剖学 肉眼・臨床解剖分野	系統解剖学実習	Systemic Gross Anatomy (Lab)	9	実習	渡部 功一	教授
B020203007	生理系	解剖学 肉眼・臨床解剖分野	臨床解剖学実習	Clinical Gross Anatomy (Lab)	2	実習	渡部 功一	教授
B020301006	生理系	解剖学 顕微解剖・生体形成分野	器官別組織学	Organ Histology	4	講義	嶋 雄一	教授

科目コード	科目区分	専攻科目	科目名	科目名の英語表記	単位数	講義・演習別	科目担当者氏名	担当者職名
B020301007	生理系	解剖学 顕微解剖・生体形成分野	組織学総論（一般論，光顕・電顕・組織化学）	General Histology (Light and Electron Microscopic Histochemistry)	4	講義	嶋 雄一	教授
B020303008	生理系	解剖学 顕微解剖・生体形成分野	組織学研究実習（一般論）	General Histology Lab	2	実習	嶋 雄一	教授
B020303009	生理系	解剖学 顕微解剖・生体形成分野	組織学研究実習（光学顕微鏡：実体・透過・蛍光・共焦点レーザー顕微鏡，その応用）	General Histology Lab (Light Microscopy: Stereo, Transmission, Fluorescence, Confocal Laser)	3	実習	太田 啓介	教授
B020303010	生理系	解剖学 顕微解剖・生体形成分野	組織学研究実習（電子顕微鏡透過型・走査型，その応用）	General Histology Lab (Electron Microscopy: Transmission, Scanning)	3	実習	太田 啓介	教授
B020303011	生理系	解剖学 顕微解剖・生体形成分野	組織学研究実習（器官別応用）	General Histology Lab IV (Organ Histology)	4	実習	嶋 雄一	教授
B020401001	生理系	生理学 脳機能分野	生理学総論 - 生体膜と物質輸送	Introduction to Physiology -(1): Biological Membranes and Transporters	1	講義	吉田 史章	教授
B020401002	生理系	生理学 脳機能分野	生理学総論 - 興奮性膜	Introduction to Physiology -(2): Excitable Membranes	2	講義	吉田 史章	教授
B020401003	生理系	生理学 脳機能分野	生理学総論 伝達物質と受容体	Introduction to Physiology : Transmitters and Receptors	2	講義	吉田 史章	教授
B020401004	生理系	生理学 脳機能分野	生理学総論 - 神経系の発生・分化と可塑性	Introduction to Physiology -(1): Neuronal Development, Differentiation and Plasticity	1	講義	村井 恵良	准教授
B020401005	生理系	生理学 脳機能分野	生理学総論 - 高次脳機能	Introduction to Physiology -(2): Higher Brain Function	1	講義	村井 恵良	准教授
B020401006	生理系	生理学 脳機能分野	生理学各論 細胞内情報伝達過程	Advanced Physiology I: Intracellular Signal Transduction	1	講義	村井 恵良	准教授
B020401012	生理系	生理学 脳機能分野	生理学各論 脳とその疾患	Advanced Neurophysiology: The Brain and its Diseases	1	講義	村井 恵良	准教授
B020403001	生理系	生理学 脳機能分野	生理学実習 - 微小電極による細胞内電位記録（静止電位・活動電位・シナプス電位）	Physiology : Intracellular Microelectrode Recordings (Resting, Action, Synaptic Potentials) (Lab)	3	実習	吉田 史章	教授
B020403002	生理系	生理学 脳機能分野	生理学実習 - パッチクランプ法によるイオン電流記録	Physiology -1: Patch-clamp Techniques (Lab)	2	実習	吉田 史章	教授
B020403003	生理系	生理学 脳機能分野	生理学実習 - 色素注入法による神経細胞の形態観察	Physiology -2: Observation of Neurons by Dye-injection (Lab)	1	実習	吉田 史章	教授
B020403004	生理系	生理学 脳機能分野	生理学実習 - 神経細胞の単離・培養	Physiology -3: Isolation and Culture of Neurons (Lab)	1	実習	吉田 史章	教授
B020403005	生理系	生理学 脳機能分野	生理学実習 - 神経・グリア細胞内Ca <sup>2+</sup> 測定	Physiology -4: Measurement of Intracellular Ca <sup>2+</sup> (Lab)	1	実習	吉田 史章	教授
B020403006	生理系	生理学 脳機能分野	生理学実習 細胞外記録法によるインパルスおよび集合電位記録	Physiology : Extracellular Recording of Compound Action Potential (Lab)	3	実習	村井 恵良	准教授
B020403007	生理系	生理学 脳機能分野	生理学実習 - HPLCによる化学伝達物質の同定と放出測定	Physiology : Identification and Quantification of Chemical Transmitters by HPLC	1	実習	吉田 史章	教授
B020501011	生理系	生理学 統合自律機能分野	分子細胞生理学総論	Molecular & Cellular Physiology: General physiology	4	講義	中島 則行	教授
B020501012	生理系	生理学 統合自律機能分野	分子細胞生理学各論	Molecular & Cellular Physiology: cardiovascular system & nervous system	4	講義	中島 則行	教授
B020503007	生理系	生理学 統合自律機能分野	分子生理学実習	Basic experiment skill training course : Molecular biology	4	実習	中島 則行	教授
B020503008	生理系	生理学 統合自律機能分野	細胞生理学実習	Basic experiment skill training course : Electrophysiology	4	実習	中島 則行	教授
B020503009	生理系	生理学 統合自律機能分野	神経生理学実習	Basic experiment skill training course : Neurology	4	実習	中島 則行	教授
B020601006	生理系	医化学	代謝学	Human Metabolism	4	講義	山本 健	教授
B020601007	生理系	医化学	生体物質論	Biomolecules	4	講義	佐藤 秀明	准教授
B020601008	生理系	医化学	酵素学	Enzymology	4	講義	佐藤 秀明	准教授
B020601009	生理系	医化学	疾患プロテオミクス解析学	Medical Proteomics	4	講義	東元祐一郎	教授
B020603001	生理系	医化学	酵素の精製法と結晶化	Enzyme Purification and Crystallography (Lab)	4	実習	杉島 正一	准教授
B020603006	生理系	医化学	蛋白質解析技術	Protein Assay Methods (Lab)	4	実習	原田 二郎	講師
B020603007	生理系	医化学	遺伝生化学解析	Genetic Biochemistry	4	実習	山本 健	教授
B020603008	生理系	医化学	疾患プロテオミクス解析実習	Medical Proteomics(Lab)	4	実習	東元祐一郎	教授
B020701010	生理系	薬理学	臨床薬理学	Clinical Pharmacology	4	講義	西 昭徳	教授
B020701011	生理系	薬理学	中枢神経薬理学	Neuropharmacology	4	講義	西 昭徳	教授
B020701012	生理系	薬理学	細胞間・細胞内情報伝達	Inter- and Intracellular Signaling	4	講義	西 昭徳	教授

科目コード	科目区分	専攻科目	科目名	科目名の英語表記	単位数	講義・演習別	科目担当者氏名	担当者職名
B020703011	生理系	薬理学	リン酸化シグナル解析	Protein Phosphorylation and Signal Transduction	4	実習	西 昭徳	教授
B020703014	生理系	薬理学	マウス脳内 AAV ウイルス注入法および行動実験手法	Primary Neural Cell Culture Techniques	4	実習	大西 克典	助教
B020703013	生理系	薬理学	行動薬理学解析	Behavioural Pharmacology	4	実習	河原 幸江	准教授
B020801001	生理系	分子生命科学	分子遺伝学	Molecular Genetics	4	講義	佐藤 貴弘	教授
B020801002	生理系	分子生命科学	生体高分子化学	Biomolecular Chemistry	4	講義	伴 匡人	教授
B020801003	生理系	分子生命科学	細胞生物学	Cell Biology	4	講義	齋藤 成昭	教授
B020801008	生理系	分子生命科学	タンパク質科学	Protein Science	2	講義	伴 匡人	教授
B020801009	生理系	分子生命科学	蛋白質反応解析	Analysis of Protein Reactions	4	講義	伴 匡人	教授
B020803001	生理系	分子生命科学	蛋白質精製分析実習	Protein Purification and Analysis (Lab)	2	実習	佐藤 貴弘	教授
B020803002	生理系	分子生命科学	生体高分子化学実習	Biomolecular Chemistry (Lab)	4	実習	伴 匡人	教授
B020803003	生理系	分子生命科学	遺伝子単離法実習	Gene Isolation (Lab)	2	実習	佐藤 貴弘	教授
B020803008	生理系	分子生命科学	蛋白質化学実習	Protein Biochemistry (Lab)	1	実習	佐藤 貴弘	教授
B020803009	生理系	分子生命科学	細胞周期制御論実習	Cell Cycle Regulation (Lab)	4	実習	齋藤 成昭	教授
B020803010	生理系	分子生命科学	染色体機能学実習	Chromosome Function (Lab)	4	実習	齋藤 成昭	教授
B020803011	生理系	分子生命科学	疾患遺伝子解析実習	Genetic Analysis of Disease (Lab)	2	実習	佐藤 貴弘	教授
B030101001	病理系	病理学	病理学総論	General Pathology	6	講義	三好 寛明	教授
B030101002	病理系	病理学	一般外科病理学	General Surgical Pathology	4	講義	秋葉 純	教授
B030101003	病理系	病理学	肝臓病理学	Liver Pathology	2	講義	秋葉 純	教授
B030101007	病理系	病理学	肝臓分子病理学	Molecular Pathology of the Liver	2	講義	秋葉 純	教授
B030101008	病理系	病理学	神経病理学	Neuropathology	2	講義	古田 拓也	講師
B030101009	病理系	病理学	血液・腫瘍病理学	Hemato-oncopathology	2	講義	三好 寛明	教授
B030101010	病理系	病理学	血液・腫瘍分子病理学	Molecular Hemato-oncopathology	2	講義	三好 寛明	教授
B030101011	病理系	病理学	腫瘍・炎症免疫病理学	Immunopathology of Tumors and Inflammation	2	講義	三好 寛明	教授
B030103001	病理系	病理学	病理学総論実習肉眼観察・顕微鏡観察(剖検, 迅速診断を含む)	Practicum in General Pathology (Visual, Microscopic including autopsy and rapid diagnostics)	7	実習	三好 寛明	教授
B030103002	病理系	病理学	一般外科病理学実習	General Surgical Pathology (Practicum)	5	実習	秋葉 純	教授
B030103010	病理系	病理学	肝臓病理学実習	Liver Pathology (Practicum)	4	実習	近藤礼一郎	講師
B030103011	病理系	病理学	神経病理学実習	Neuropathology (Practicum)	4	実習	古田 拓也	講師
B030103012	病理系	病理学	血液・腫瘍病理学実習	Hemato-oncopathology (Practicum)	4	実習	三好 寛明	教授
B030103013	病理系	病理学	血液・腫瘍分子病理学実習	Molecular Hemato-oncopathology (Practicum)	4	実習	三好 寛明	教授
B030103014	病理系	病理学	腫瘍・炎症免疫病理学実習	Immunopathology of Tumors and Inflammation (Practicum)	4	実習	三好 寛明	教授
B030103015	病理系	病理学	肝臓分子病理学実習	Liver Molecular Pathology (Practicum)	4	実習	秋葉 純	教授
B030201002	病理系	感染医学 医学分野	基礎感染 細菌遺伝学	Bacterial Genetics	2	講義	小椋 義俊	教授
B030201004	病理系	感染医学 医学分野	基礎感染 分子生物学	Molecular Biology	2	講義	奥野 未来	講師
B030201005	病理系	感染医学 医学分野	基礎感染 化学療法	Chemotherapy	2	講義	小椋 義俊	教授
B030201006	病理系	感染医学 医学分野	基礎感染 感染と生体応答	Immune Responses Against Infection	2	講義	山本 武司	講師

科目コード	科目区分	専攻科目	科目名	科目名の英語表記	単位数	講義・演習別	科目担当者氏名	担当者職名
B030203002	病理系	感染医学 基礎感染医学分野	分子生物学実習	Molecular Biology (Lab)	6	実習	奥野 未来	講師
B030203003	病理系	感染医学 基礎感染医学分野	細菌遺伝学実習	Bacterial Genetics (Lab)	4	実習	小椋 義俊	教授
B030203005	病理系	感染医学 基礎感染医学分野	化学療法実習	Chemotherapy (Lab)	2	実習	小椋 義俊	教授
B030203006	病理系	感染医学 基礎感染医学分野	感染免疫学実習	Infectious Immunology (Lab)	4	実習	山本 武司	講師
B030301001	病理系	感染制御学	感染症学総論	Introduction to Infectious Diseases	2	講義	渡邊 浩	教授
B030301002	病理系	感染制御学	臨床感染症総論	Clinical Microbiology	2	講義	渡邊 浩	教授
B030301003	病理系	感染制御学	ウイルス学総論	General Virology	2	講義	後藤 憲志	講師
B030301004	病理系	感染制御学	ウイルス学各論	Specific Virus Families	2	講義	後藤 憲志	講師
B030303001	病理系	感染制御学	ウイルス学実習(基礎編)	Basic Virology (Lab)	4	実習	原 好勇	准教授
B030303002	病理系	感染制御学	ウイルス学実習(基礎編)	Basic Virology (Lab)	4	実習	柏木 孝仁	教授
B030303003	病理系	感染制御学	ウイルス学実習(応用編)	Advanced Virology (Lab)	4	実習	柏木 孝仁	教授
B030303004	病理系	感染制御学	ウイルス学実習(応用編)	Advanced Virology (Lab)	4	実習	原 好勇	准教授
B030401008	病理系	感染医学(真核微生物学分野)	原虫の遺伝子発現	Protozoan Gene Expression	4	講義	井上 雅広	教授
B030401009	病理系	感染医学(真核微生物学分野)	原虫のシグナル伝達	Protozoan Signal Transduction	4	講義	井上 雅広	教授
B030403006	病理系	感染医学(真核微生物学分野)	原虫のシグナル伝達実習	Protozoan Gene Expression (Lab)	6	実習	井上 雅広	教授
B030403007	病理系	感染医学(真核微生物学分野)	原虫の遺伝子発現実習	Protozoan Signal Transduction (Lab)	4	実習	井上 雅広	教授
B030403008	病理系	感染医学(真核微生物学分野)	原虫の感染による宿主脂質代謝の変化	Host lipid metabolic changes induced by protozoan infection (1)	1	実習	栗原 悠介	准教授
B030403009	病理系	感染医学(真核微生物学分野)	原虫の感染による宿主脂質代謝の変化	Host lipid metabolic changes induced by protozoan infection (2)	1	実習	栗原 悠介	准教授
B030501005	病理系	免疫学	コンピューター免疫学	Computational Immunology	2	講義	満口 充志	教授
B030501006	病理系	免疫学	腫瘍免疫学	Tumor Immunology	2	講義	小松 誠和	准教授
B030501007	病理系	免疫学	疾患免疫学	Disease Immunology	2	講義	満口 充志	教授
B030501008	病理系	免疫学	粘膜免疫学	Mucosal Immunology	2	講義	満口 充志	教授
B030503006	病理系	免疫学	コンピューター免疫学実習	Computational Immunology (Lab)	2	実習	満口 充志	教授
B030503007	病理系	免疫学	腫瘍免疫学実習	Tumor Immunology (Lab)	4	実習	小松 誠和	准教授
B030503008	病理系	免疫学	疾患免疫学実習	Disease Immunology (Lab)	4	実習	満口 充志	教授
B030503009	病理系	免疫学	粘膜免疫学実習	Mucosal Immunology (Lab)	4	実習	満口 充志	教授
B040101003	社会医学系	環境医学	環境医学総論	Introduction to Environmental Medicine	4	講義	石竹 達也	教授
B040101004	社会医学系	環境医学	産業医学総論	Introduction to Occupational Medicine	4	講義	石竹 達也	教授
B040103006	社会医学系	環境医学	環境医学研究	Research in Environmental Medicine (Practicum)	4	実習	石竹 達也	教授
B040103007	社会医学系	環境医学	産業医学研究	Research in Occupational Medicine (Practicum)	4	実習	石竹 達也	教授
B040103008	社会医学系	環境医学	産業医学研究	Research in Occupational Medicine (Practicum)	4	実習	石竹 達也	教授
B040201001	社会医学系	公衆衛生学	公衆衛生学総論	Public Health (1)	4	講義	谷原 真一	教授
B040201002	社会医学系	公衆衛生学	公衆衛生学各論	Public Health (2)	4	講義	谷原 真一	教授
B040203001	社会医学系	公衆衛生学	公衆衛生学研究 1	Public Health Practicum (1)	4	実習	谷原 真一	教授
B040203002	社会医学系	公衆衛生学	公衆衛生学研究 2	Public Health Practicum (2)	4	実習	谷原 真一	教授

科目コード	科目区分	専攻科目	科目名	科目名の英語表記	単位数	講義・演習別	科目担当者氏名	担当者職名
B040203003	社会医学系	公衆衛生学	公衆衛生学研究 3	Public Health Practicum (3)	4	実習	谷原 真一	教授
B040203004	社会医学系	公衆衛生学	公衆衛生学研究 4	Public Health Practicum (4)	4	実習	谷原 真一	教授
B040301012	社会医学系	健康科学	健康科学総論	Introduction to Health Science	4	講義	吉田 典子	教授
B040301015	社会医学系	健康科学	健康教育学	Health Education	2	講義	安川 秀雄	教授
B040301016	社会医学系	健康科学	精神保健学 1	mental health 1	2	講義	大江美佐里	准教授
B040301016	社会医学系	健康科学	Well-being のためのコミュニケーション心理学	Communication psychology for well-being	2	講義	安川 秀雄	教授
B040301017	社会医学系	健康科学	精神保健学 2	mental health 2	2	講義	大江美佐里	准教授
B040303014	社会医学系	健康科学	運動負荷テスト実習	Exercise Tolerance Test (Practicum)	4	実習	吉田 典子	教授
B040303015	社会医学系	健康科学	健康度・形態測定実習	Anthropometry (Practicum)	4	実習	吉田 典子	教授
B040303016	社会医学系	健康科学	健康・スポーツ医学実習	Health and Sports Medicine (Practicum)	4	実習	吉田 典子	教授
B040401002	社会医学系	法医学・人類遺伝学	法医学各論	Advanced Forensic Medicine	2	講義	神田 芳部	教授
B040401005	社会医学系	法医学・人類遺伝学	人類遺伝学総論	Introduction to Human Genetics	2	講義	神田 芳部	教授
B040401006	社会医学系	法医学・人類遺伝学	人類遺伝学各論	Advanced Human Genetics	2	講義	神田 芳部	教授
B040401007	社会医学系	法医学・人類遺伝学	法医学概論	Introduction to Forensic Medicine	2	講義	神田 芳部	教授
B040403005	社会医学系	法医学・人類遺伝学	法医学実習 1	Forensic Medicine Practicum 1	4	実習	神田 芳部	教授
B040403006	社会医学系	法医学・人類遺伝学	法医学実習 2	Forensic Medicine Practicum 2	4	実習	神田 芳部	教授
B040403007	社会医学系	法医学・人類遺伝学	人類遺伝学実習 1	Human Genetics Practicum 1	4	実習	神田 芳部	教授
B040403008	社会医学系	法医学・人類遺伝学	人類遺伝学実習 2	Human Genetics Practicum 2	4	実習	神田 芳部	教授
B040501002	社会医学系	バイオ統計学	離散データ解析大意	Fundamentals of Categorical Data Analysis	2	講義	川口 淳	非常勤講師
B040501003	社会医学系	バイオ統計学	臨床試験の基礎とデータ解析大意	Applied Biostatistics in Clinical Trials	2	講義	室谷 健太	教授
B040501005	社会医学系	バイオ統計学	先端疫学統計	Applied Statistical Epidemiology	1	講義	田栗 正隆	非常勤講師
B040501007	社会医学系	バイオ統計学	先端バイオインフォマティクス特論	Applied Bioinformatics	1	講義	井元 清哉	非常勤講師
B040501010	社会医学系	バイオ統計学	ゲノム統計学大意	Fundamentals of Genomic Science	2	講義	山田 亮	客員教授
B040501013	社会医学系	バイオ統計学	先端オミクス解析特論	Applied omics analysis	1	講義	中柄 昌弘	非常勤講師
B040501019	社会医学系	バイオ統計学	バイオデータ解析大意	Fundamentals of Bio-Data Analysis	2	講義	大山 哲司	准教授
B040501020	社会医学系	バイオ統計学	先端環境データ解析	Applied Environmental Statistics	1	講義	古川 恭治	教授
B040501022	社会医学系	バイオ統計学	生存データ解析大意	Fundamentals of Survival Analysis	2	講義	赤澤 宏平	客員教授
B040501023	社会医学系	バイオ統計学	観察データ解析大意	Fundamentals of Statistical Epidemiology	2	講義	米本 孝二	非常勤講師
B040501024	社会医学系	バイオ統計学	先端観察データ解析	Advanced Observational Data Analysis	1	講義	小笹晃太郎	客員教授
B040501025	社会医学系	バイオ統計学	先端薬物動態・薬力学データ解析	Fundamentals of Pharmacokinetic/Pharmacodynamic	1	講義	安川 圭司	教授
B040501026	社会医学系	バイオ統計学	先端臨床データ解析	Advanced Topics in Clinical Data Analysis	1	講義	平川 晃弘	非常勤講師
B040503001	社会医学系	バイオ統計学	バイオ統計学講義	Biostatistics Seminar	4	実習	安川 圭司	教授
B040503002	社会医学系	バイオ統計学	バイオ統計学講義	Biostatistics Seminar	4	実習	安川 圭司	教授
B040503003	社会医学系	バイオ統計学	バイオ統計学講義	Biostatistics Seminar	4	実習	古川 恭治	教授
B040503004	社会医学系	バイオ統計学	バイオ統計学講義	Biostatistics Seminar	4	実習	古川 恭治	教授



科目コード	科目区分	専攻科目	科目名	科目名の英語表記	単位数	講義・演習別	科目担当者氏名	担当者職名
B040603005	社会医学系	バイオ統計学	バイオデータ解析演習	Bio-Data Analysis (Lab)	2	実習	古川 恭治	教授
B040603006	社会医学系	バイオ統計学	バイオデータ解析演習	Bio-Data Analysis (Lab)	2	実習	安川 圭司	教授
B040603008	社会医学系	バイオ統計学	プロトコル作成と研究デザイン実習	Protocol Development and Study Design (Practicum)	1	実習	室谷 健太	教授
B040601001	社会医学系	看護学	基礎看護技術総論	Nursing Art	2	講義	加悦 美恵	教授
B040601002	社会医学系	看護学	健康支援看護特論	Adult & Family Health Nursing Science	2	講義	崎浜 智子	教授
B040601003	社会医学系	看護学	健康支援看護特論	Adult & Family Health Nursing Science	2	講義	崎浜 智子	教授
B040601004	社会医学系	看護学	健康支援看護特論	Adult & Family Health Nursing Science	2	講義	桐明あゆみ	教授
B040601005	社会医学系	看護学	健康支援看護特論	Adult & Family Health Nursing Science	2	講義	桐明あゆみ	教授
B040601006	社会医学系	看護学	性・生殖看護学特講	Advanced Reproductive Health Nursing	2	講義	田中 佳代	教授
B040601007	社会医学系	看護学	小児看護支援特論	Child and Family Health Nursing: Theory and System	2	講義	益守かづき	教授
B040601008	社会医学系	看護学	小児看護支援特論	Child and Family Health Nursing: Theory and System	2	講義	益守かづき	教授
B040601009	社会医学系	看護学	高齢者看護学特論	Gerontology nursing theory	2	講義	古村美津代	教授
B040601010	社会医学系	看護学	公衆衛生看護学特論	Advanced Public Health Nursing	2	講義	重松由佳子	教授
B040601011	社会医学系	看護学	病態研究	Pathological Study	2	講義	松本 悠貴	准教授
B040601013	社会医学系	看護学	看護人体構造学	Nursing anatomy	2	講義	嵯峨 堅	教授
B040603001	社会医学系	看護学	健康支援看護研究実習	Adult & Family Health Nursing Practicum	12	実習	崎浜 智子	教授
B040603002	社会医学系	看護学	健康支援看護研究実習	Adult & Family Health Nursing Practicum	12	実習	桐明あゆみ	教授
B040603003	社会医学系	看護学	性・生殖看護学研究実習	Advanced Reproductive Health Nursing (Lab)	12	実習	田中 佳代	教授
B040603004	社会医学系	看護学	小児看護学研究実習	Child Health Nursing Methodology	12	実習	益守かづき	教授
B040603005	社会医学系	看護学	高齢者看護学研究実習	Gerontology nursing study training	6	実習	古村美津代	教授
B040603006	社会医学系	看護学	高齢者看護学研究実習	Gerontology nursing study training	6	実習	古村美津代	教授
B040603007	社会医学系	看護学	公衆衛生看護学研究実習	Public Health Nursing Practicum	12	実習	重松由佳子	教授
B040603009	社会医学系	看護学	看護人体構造学実習	Nursing anatomy training	12	実習	嵯峨 堅	教授



# 博士課程 「共通科目」



## 博士課程「共通科目」

### ○ 講義の概要・教育目標

大学院医学研究科博士課程に入学してくる学生諸君は、医学部卒業生（医師）あるいは修士課程を修了した人であり、系統だった医学知識はすでに備えているものと考えられる。しかし、博士課程では将来研究者を目指すわけであるから、現代の医学研究を支えている基礎的知識をより深く習得することが望まれる。そこで本博士課程では、ゲノムおよびポストゲノム医学関連科目、臨床研究を行う際に必須となる科目（EBM・CRC・生命倫理）、バイオ統計・医学英語論文スキルアップ・大学院セミナーシリーズおよびその周辺領域の共通科目を用意している。学生諸君は自分の専攻分野に応じて、6単位を選択履修することになっている。なお従来より実施している大学院特別講義を「大学院セミナー・シリーズ」として単位認定（1単位）することとしている。



○ 科目一覧

科目コード	科目区分	科 目 名	単位数	講義・実習別
B010101001	共通科目	ゲノムドラフトの解明	1	講義
B010101026	共通科目	遺伝子多型 (SNVs)	1	講義
B010101003	共通科目	ゲノム創薬の進歩	1	講義
B010101005	共通科目	免疫関連分子とT細胞抗原レセプター多様性の解明	1	講義
B010101009	共通科目	臨床・基礎研究と生命倫理 (コンサルテーション)	1	講義
B010101007	共通科目	科学的根拠に基づく医療 (EBM)	1	講義
B020101001	共通科目	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	講義
B010101010	共通科目	バイオ統計基礎ユニット	1	講義
B010101013	共通科目	バイオ統計応用ユニット	2	講義
B010101020	共通科目	医学英語論文スキルアップ	1	講義
B010101012	共通科目	大学院セミナーシリーズ (特別講義)	1	講義
B010101014	共通科目	知的財産権論	2	講義
B010101015	共通科目	臨床試験実習	2	実習
B010101016	共通科目	トランスレーショナルリサーチ実習	2	実習
B010101017	共通科目	臨床研究入門	2	講義
B010101018	共通科目	臨床研究入門	2	講義
B010101019	共通科目	実験動物学	1	講義
B010101022	共通科目	医療経営 基礎	2	講義
B010101023	共通科目	医療経営 上級	2	講義
B010101024	共通科目	医療経済学 基礎	2	講義
B010101025	共通科目	医療経済学 上級	2	講義
B010101027	共通科目	論文の解剖学 (初級)	1	講義
B010101028	共通科目	論文の解剖学 (中級)	1	講義

必修科目

学位論文を日本語で提出する場合は、必須となります。

## 共通科目 授業科目・単位数および担当者

( 印は科目担当責任者を示す )

区分	授業科目	単位	担当者
共通科目	ゲノムドラフトの解明	1	伴 匡人 (医療検査学科)
	遺伝子多型 (SNVs)	1	神田芳郎 (法医学)
	ゲノム創薬の進歩	1	佐藤貴弘 (分子研)
	免疫関連分子とT細胞抗原レセプター多様性の解明	1	溝口恵美子 (免疫), 小松誠和 (免疫学)
	臨床・基礎研究と生命倫理 (コンサルテーション)	1	津田尚武 (産婦人), 西小森隆太 (小児科), 谷原真一 (公衆), 稲葉一人 (客員)
	科学的根拠に基づく医療 (EBM)	1	川口 巧 (消化器), 古賀浩徳 (消化器)
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	西 昭徳 (薬理学) 他生理系講座教員
	バイオ統計基礎ユニット	1	大山哲司 (バイオ統計セ)
	医学英語論文スキルアップ	1	川口 巧 (消化器)
	大学院セミナーシリーズ (特別講義)	1	溝口充志 (免疫) 内容, 講演者は別掲
	バイオ統計応用ユニット	2	室谷健太 (医療検査学科), 五百路徹也 (バイオ統計セ)
	知的財産権論	2	松尾 綾 (研究推進戦略センター)
	臨床試験実習	2	溝口充志 (免疫)
	トランスレーショナルリサーチ実習	2	古賀浩徳 (消化器)
	臨床研究入門	2	溝口充志 (免疫)
	臨床研究入門	2	溝口充志 (免疫)
	実験動物学	1	塩澤誠司 (疾患モデル研究センター), 坂井勇介 (疾患モデル研究センター)
	医療経営 / 基礎	2	梶原 晃 (文学部・医療経営)
	医療経営 / 上級	2	梶原 晃 (文学部・医療経営)
	医療経済学 / 基礎	2	梶原 晃 (文学部・医療経営)
医療経済学 / 上級	2	梶原 晃 (文学部・医療経営)	
論文の解剖学 (初級)	1	青木浩樹 (循研), 力丸由起子 (形成), 大野聡子 (循研), 田口顕正 (質量分析)	
論文の解剖学 (中級)	1	青木浩樹 (循研), 力丸由起子 (形成), 大野聡子 (循研), 田口顕正 (質量分析)	

( 必修科目を示す )

## 共通科目 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間	1	2	3	4	5	6	7
曜	8:40-10:10	10:20-11:50	12:40-14:10	14:20-15:50	16:00-17:30	18:00-19:30	19:40-21:10
月						ゲノムドラフトの解明 実験動物学	
火						ゲノム創薬の進歩	
水							
木					実験動物学	遺伝子多型 (SNPs)	
金							
土							

時間	1	2	3	4	5	6	7
曜	8:40-10:10	10:20-11:50	12:40-14:10	14:20-15:50	16:00-17:30	18:00-19:30	19:40-21:10
月						トランスレーショナルリサーチ実習	トランスレーショナルリサーチ実習
火						知的財産権論	
水						臨床研究主任研究者養成ユニット	
木						臨床研究と生命倫理 (コンサルテーション)	
金						科学的根拠に基づく医療 (EBM)	
土							

詳細については、別途通知する。

## 博士課程「大学院セミナーシリーズ」講義計画

### ○ 講義の概要

通常の講義とは別に、本学では「大学院セミナーシリーズ」として、「大学院医学研究科特別講義」を実施している。この講義は、国内外の優れた講師の先生を招聘して講義が行なわれており、令和7年度は13コマが計画（令和7年3月現在）されている。

### ○ 教育の目的

本講義は本学大学院の使命を達成するため、社会で活躍している有為な人材で特に医療分野において authority である方を講師として招聘し、大学院学生に講義を行うものとし、自身の学識を高めるものとする。

### ○ 大学院学生の履修について

#### 履修方法

本講義については、時間が不定期であることから、履修登録上の制限を緩和する。

#### 評価方法

年間5回以上のセミナー（特別講義）に参加し、セミナーごとにA4・1枚程度のレポートを医学部事務部教務課に、原則講義修了後1週間以内に提出すること。医学研究科長のレポート評価により、単位成績を判定する。

### ○ 大学院学生以外の聴講方法

本講義は大学院医学研究科学生のみならず、広く学内外者の聴講も可能としている。大学院学生以外の方は履修登録等の必要はなく、自由聴講としているので、医学生や臨床現場のドクターなど、幅広い方の聴講を期待する。

### ○ 令和7年度大学院セミナーシリーズ「大学院特別講義」カリキュラム

別掲を参照のこと。

## 令和7年度 大学院セミナーシリーズ「大学院特別講義」カリキュラム

【令和7年度コマ数 13コマ（院生会実施1コマ含む）】

担当講座	講義日時	会場	講演者	講義テーマ
疾患モデル研究センター	9月24日 17:00～18:30	基礎3号館1階 セミナー室	岡野 栄之 先生 (慶應義塾大学医学部生理学教室 教授)	未定
外科学講座	10月21日 もしくは10月28日	基礎3号館1階 セミナー室	紅林 淳一 先生 (川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学科 特任教授)	乳癌の生物学とトランスレーショナル研究(仮題)
皮膚科学講座	11月20日 18:00～19:30	基礎3号館1階 セミナー室	未定	未定
解剖学講座(顕微解剖・生体形成部門)	11月27日 17:30～19:00	基礎3号館1階 セミナー室	樋田 一徳 先生 (川崎医科大学 解剖学講座 教授)	未定
	1月9日 17:30～19:00	基礎3号館1階 セミナー室	吉田 松生 先生 (自然科学研究機構 基礎生物学研究所 発生生物学領域 生殖細胞研究部門 教授)	未定
医学教育研究センター	9月以降	基礎3号館1階 セミナー室	及川 沙耶佳 先生 (秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻 社会環境医学系 先進デジタル医学・医療教育学講座 特任教授)	未定
感染医学講座(基礎感染医学部門)	未定	基礎3号館1階 セミナー室	長谷部 太 先生 (長崎大学 熱帯医学研究所 教授)	Treasure every meeting - アフリカで繋がった感染症研究, アルボウイルス研究からコウモリ由来感染症調査研究 -
法医学講座	未定	基礎3号館1階 セミナー室	近藤 稔和 先生 (和歌山県立医科大学法医学講座 教授)	未定
感染医学講座(真核微生物学部門)	未定	基礎3号館1階 セミナー室	真柳 浩太 先生 (九州大学 薬学研究院 臨床薬学部門 講師)	未定
医療検査学科	未定	基礎3号館1階 セミナー室	柳沢 正史 先生 (筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 機構長)	未定
公衆衛生学講座	未定	基礎3号館1階 セミナー室	未定	未定
整形外科学講座	未定	基礎3号館1階 セミナー室	未定	未定
院生会担当/生理学講座(統合自律機能部門)	未定	基礎3号館1階 セミナー室	未定	未定

未定の日程については、決定後、医学研究科ホームページで情報提供します。

また、日程や講義会場が変更になることがあります。変更後の情報も医学研究科ホームページで紹介します。



# 博士課程 「専攻科目」





# 専攻科目名 生理系 解剖学 肉眼・臨床解剖分野

## 本科目の教育目標

医学研究者として自立するために必要な形態学の基礎知識と思考法を習得することを目標とする。

大学院生は系統解剖学ならびに局所解剖学講義・実習を通じて肉眼解剖学の知識を習得し、併せて各人の選択した自らの研究を発展させ、その成果を広く国内外に発表することを求められる。

## 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
渡部 功一	教授	解剖学（肉眼・臨床解剖部門）
嵯峨 堅	教授	看護学科
田平 陽子	講師	解剖学（肉眼・臨床解剖部門）
井上 誠一	助教	解剖学（肉眼・臨床解剖部門）
中村 悠	助教	解剖学（肉眼・臨床解剖部門）

## 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月			系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	臨床解剖学実習 (渡部, 田平, 中村)
火			系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	臨床解剖学実習 (渡部, 田平, 中村)
水			系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	系統解剖学実習 (渡部 嵯峨, 田平, 中村)	臨床解剖学実習 (渡部, 田平, 中村)
木			系統解剖学総論 (渡部)	系統解剖学各論 内臓・感覚器系 (嵯峨)			
金							
土							

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月							
火							
水							
木						系統解剖学各論 脈管・神経系 (渡部)	系統解剖学各論 脈管・神経系 (渡部)
金				系統解剖学各論 運動器系 (渡部, 田平)		骨学実習 (渡部, 田平, 中村)	
土							

# 専攻科目名 生理系 解剖学 顕微解剖・生体形成分野

## 本科目の教育目標

解剖学講座（顕微解剖・生体形成部門）は、「顕微解剖」を研究・教育の主たる対象としている。本講座において大学院生は、ヒトあるいは動物の組織の機能形態について、各々その興味の志向するところに従って研究を行い、それを通じて、新事実を解明し、学位論文を完成し、かつ、組織学に対する深い造詣を持つ研究者として成長することを主務とする。従って、本講座において大学院生の教育は、上記の目的のために必要とされる基本的研究手技の修得、並びに、研究目標を達成するにあたってのその方法の妥当性の吟味・研究結果のまとめ・学会発表や論文完成における考察等の基礎となる組織学的知識を涵養することにある。

## 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
嶋 雄 一	教 授	解剖学（顕微解剖・生体形成部門）
太 田 啓 介	教 授	先端イメージング研究センター，
井 上 実 紀	助 教	解剖学（顕微解剖・生体形成部門）
嶋 香奈子	助 教	解剖学（顕微解剖・生体形成部門）

## 時 間 割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月						組織学研究 実習	組織学研究 実習
火						組織学研究 実習	組織学研究 実習
水						組織学研究 実習	組 織 学 総 論
木							組 織 学 総 論
金						器 官 別 組 織 学	器 官 別 組 織 学
土							

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月						組織学研究 実習	組織学研究 実習
火							組織学研究 実習
水						組織学研究 実習	組織学研究 実習
木							
金						組織学研究 実習	組織学研究 実習
土							

## 専攻科目名 生理系 生理学 脳機能分野

### 本科目の教育目標

生体の機能をホメオスタシスという観点から研究を進めることが生理学の基本となる。

ホメオスタシスを維持する調節機構は神経性調節と液性調節に大別されるが、この両者は不可分の関係にある。本分野では神経細胞がいかなる機序によって情報を伝達するか、これらの信号がいかに統合されて脳の高次機能が発現するかを学習・研究し、さらに神経系と内分泌系の関連について理解を深めることを目的とする。

具体的には次の通りである。

- 1) 神経科学における重要な問題点をまず把握し、その解決法を見いだす能力を養成する。
- 2) 神経機能を解析する基本的手技を修得する。
- 3) 研究データの解析が的確にできるようにする。
- 4) 研究成果を国内・外で発表し、海外の研究者とも自由に交流できるようにする。
- 5) 修得した知識、経験、判断力を将来志向する分野で適切に応用できる研究者を育成する。

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
吉田史章	教授	生理学(脳・神経機能部門)
村井恵良	准教授	生理学(脳・神経機能部門)
菊池清志	准教授	生理学(脳・神経機能部門)

# 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 履修回数	1	2	3	4	5	6	7
	8:40～10:10	10:20～11:50	12:40～14:10	14:20～15:50	16:00～17:30	18:00～19:30	19:40～21:10
月						生理学総論 - (吉田)	
火		生理学総論 - (吉田)	生理学総論 (吉田)			生理学実習 (吉田, 村井)	生理学実習 (吉田, 村井)
水							
木							
金		生理学実習 - (吉田)	生理学実習 - (吉田)	生理学実習 - (吉田)	生理学実習 - (吉田)	生理学実習 (吉田, 村井)	生理学実習 (村井)
土							

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 履修回数	1	2	3	4	5	6	7
	8:40～10:10	10:20～11:50	12:40～14:10	14:20～15:50	16:00～17:30	18:00～19:30	19:40～21:10
月		生理学総論 - (村井)				生理学実習 - (吉田)	生理学実習 (村井)
火		生理学各論 (村井) 生理学各論 (村井)				生理学実習 (村井)	生理学実習 (吉田)
水							
木							
金							
土							

# 専攻科目名 生理系 生理学 統合自律機能分野

## 本科目の教育目標

基礎及び臨床医学研究者の養成を目指し、生理学に於ける十分な力量と、深い造詣を持つ人材を作る事を目的とし、次の項目が達成されるよう指導する。

ライフサイエンスとしての生理学を研究するための基本的手技の修得及び器具・機器の操作が適切に行えるようになる。

論文を読み、理解し、自らの研究を特色有るものに発展する事ができる。

自らの研究成果を国内、外で発表でき、海外の研究者とも学术交流ができる。

自らの研究を臨床医学に還元できるかどうか考慮する事ができる。

## 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
中 島 則 行	教 授	生理学（統合自律機能部門）
柳 圭 子	准教授	生理学（統合自律機能部門）
中 島 明 子	助 教	生理学（統合自律機能部門）

## 時 間 割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月	分子生理学実習 (中島)	分子生理学実習 (中島)				分子細胞生理学各論 (中島・柳・中島明子)	
火							
水				細胞生理学実習 (中島・柳・中島明子)	細胞生理学実習 (中島・柳・中島明子)		
木	神経生理学実習 (中島・中島明子)	神経生理学実習 (中島・中島明子)		分子細胞生理学各論 (中島)			
金							
土							

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月		分子細胞生理学各論 (中島・柳)					
火	細胞生理学実習 (中島・柳・中島明子)	細胞生理学実習 (中島・柳・中島明子)					分子細胞生理学各論 (中島・柳・中島明子)
水							
木							
金	分子生理学実習 (中島)	分子生理学実習 (中島)					
土		神経生理学実習 (中島・中島明子)	神経生理学実習 (中島・中島明子)				



## 専攻科目名 生理系 医化学

### 本科目の教育目標

生命科学の領域のなかで、生化学は、生命現象がそれによって成り立っている機構を、化学的な方法と論理を用いて解明しようとする基礎学科である。ウイルスの様な特殊な生命体を除外すれば、生命の基本は細胞である。しかし、細胞内で生起する生命の営みをとくほぐすために、生化学者は、細胞を破壊してその一部の解析を進めることにより、生命現象全体のイメージを構築してきた。つまり、生化学は細胞の個性性のある程度犠牲にして、生体構成物質の化学とその代謝過程および調節についての堅牢なロジックを編み上げることに成功したのである。しかし我々の対象とする人体は、神経・肝・腎・筋などのように様々に分化を遂げた細胞からなる。従って、医科生化学は、必然的に個別的な細胞生物化学の側面を合わせ持つわけである。一方、1970年代から遺伝子操作技術が飛躍的に発達したことにより、従来の生化学的手法ではメスを入れることが出来なかった遺伝物質を、核酸という化学物質のレベルで取り扱うことが可能となり、発生・分化・遺伝性疾患・癌などの解明に大きく寄与している。また遺伝子工学の発達に触発されたようなかたちで、X線結晶学・高分解能 NMR による核酸や蛋白質の高次構造の解析も長足の進歩を遂げた。この事は、従来の分光法で得られた知見を、三次元構造の観点から見直すことができるようになった事を意味している。

以上のように、生化学という学問が合わせ持っている2つの側面、即ち Biological Chemistry と Chemical Biology は、今や分子生物学 (Molecular Biology) という言葉で統一されてもよい時期である。さらに言うならば、今述べた分子生物学は、遺伝子レベルの研究を主体としたコンベンショナルな意味での分子生物学と、構造と機能の関連を追求する構造生物学 (Structural Biology) の両面から、より深く統一的に理解される方向に向かうものと思われる。

このような背景から、本講座では、ゲノム科学から物理化学に至るまでの理論及び実験技術を存分に取り入れながら、生命の成り立ちとその異常としての疾病発現の分子機構の解明を目指している。院生として過ごす4年間に、幅広い知識と技術を習得すると同時に、一貫したテーマを追求することにより、生化学研究者としてのセンスを磨くことを目標とする。

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
山本 健	教授	医化学
東元 祐一郎	教授	自然科学・化学
佐藤 秀明	准教授	医化学
杉島 正一	准教授	医化学
原田 二郎	講師	医化学
塚口 舞	助教	医化学
王 麗香	助教	医化学

### 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日 曜日数	前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日						
	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月							
火							
水	代謝学 (山本, 原田,王)	代謝学 (山本, 原田,王)					
木				遺伝生 化学解析 (山本, 塚口,王)	遺伝生 化学解析 (山本, 塚口,王)	遺伝生 化学解析 (山本, 塚口,王)	遺伝生 化学解析 (山本, 塚口,王)
金	生体物 質論 (佐藤, 山本)	生体物 質論 (佐藤, 山本)		酵素の 精製法と 結晶化 (杉島, 佐藤)	酵素の 精製法と 結晶化 (杉島, 佐藤)	酵素の 精製法と 結晶化 (杉島, 佐藤)	酵素の 精製法と 結晶化 (杉島, 佐藤)
土							

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日 曜日数	後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日						
	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月							
火	疾患プロ テオミク ス解析学 (東元)	疾患プロ テオミク ス解析学 (東元)					
水							
木				蛋白質 解析技術 (山本, 原田)	蛋白質 解析技術 (山本, 原田)	蛋白質 解析技術 (山本, 原田)	蛋白質 解析技術 (山本, 原田)
金	酵素学 (山本, 佐藤)	酵素学 (山本, 佐藤)		疾患プロ テオミク ス解析実 習(東元)	疾患プロ テオミク ス解析実 習(東元)	疾患プロ テオミク ス解析実 習(東元)	疾患プロ テオミク ス解析実 習(東元)
土							

## 専攻科目名 生理系 薬理学

### 本科目の教育目標

薬理学とは、生物系と化学物質との特異的相互作用を明らかにしていく生物科学のひとつの部門である。適切な薬物療法を行っていくための基礎となる学問であり、さらには創薬といわれる新しい薬物の開発の基礎を築いて行く学問である。生物系と化学物質との相互作用に関する研究は、分子レベル、細胞レベル、個体レベルで行われることになる。

したがって、大学院生はまず薬理作用を理解するために必要な薬理学に関する基本的考え方、基本的技術を身につけ、その上でより専門的なコースによる講義、実習、演習を行う必要がある。

このようなコースを通じて、薬理学的思考及び方法を身につけるとともに、それらを用いて専門的な薬理学的研究を行うことを目的としている。

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
西 昭 徳	教 授	薬理学
河 原 幸 江	准教授	薬理学
首 藤 隆 秀	准教授	薬理学
黒 岩 真帆美	講 師	薬理学
大 西 克 典	助 教	薬理学
中 村 祐 樹	助 教	薬理学

# 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月							中枢神経薬理学 (講義)
火						リン酸化シグナル解析 (実習)	リン酸化シグナル解析 (実習)
水				臨床薬理学 (講義)	臨床薬理学 (講義)	リン酸化シグナル解析 (実習)	リン酸化シグナル解析 (実習)
木						神経初代培養法 (実習)	神経初代培養法 (実習)
金		中枢神経薬理学 (講義)	細胞間・細胞内情報伝達 (講義)	細胞間・細胞内情報伝達 (講義)		神経初代培養法 (実習)	神経初代培養法 (実習)
土							

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月							
火							
水						行動薬理学解析 (実習)	行動薬理学解析 (実習)
木						行動薬理学解析 (実習)	行動薬理学解析 (実習)
金							
土							

## 専攻科目名 生理系 分子生命科学

### 本科目の教育目標

基礎研究者として将来独立できる実力を備えた人材の育成を目的とする。そのために次の項目が達成されるように総合的な教育と指導を行う。

分子生命科学に関する基礎的な知識や技術を習得している。

大きな研究目的に添って、実験の進め方と方法を自分で立案できる。

自分の実験結果について正しい判断ができ、状況に応じて研究方法を適切に修正できる。

最終的な成果を学会発表や論文という形でまとめ上げることができる。

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
児 島 将 康	客員教授	分子生命科学研究所（遺伝情報）
齋 藤 成 昭	教 授	分子生命科学研究所（細胞工学）
佐 藤 貴 弘	教 授	分子生命科学研究所（遺伝情報）
伴 匡 人	教 授	医学部医療検査学科
佐 野 浩 子	准教授	分子生命科学研究所（遺伝情報）
豊 田 雄 介	講 師	分子生命科学研究所（細胞工学）
椎 村 祐 樹	講 師	分子生命科学研究所（遺伝情報）
石 川 健	講 師	分子生命科学研究所（細胞工学）

# 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月	分子遺伝学 (佐藤・佐野・椎村)	分子遺伝学 (佐藤・佐野・椎村)					
火				細胞周期制御論 実習 (齋藤・豊田・石川)	細胞周期制御論 実習 (齋藤・豊田・石川)	蛋白質反応解析 (伴)	
水		生高分子学 実習 (伴)	生高分子学 実習 (伴)	染色体学 実習 (齋藤・豊田・石川)	染色体学 実習 (齋藤・豊田・石川)		
木			生高分子学 実習 (伴)				
金		細胞生物学 (齋藤)					
土				タンパク質学 (伴)		蛋白質化学実習 (佐藤・児島)	

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月							
火		生高分子学 実習 (伴)	生高分子学 実習 (伴)	細胞周期制御論 実習 (齋藤・豊田・石川)	細胞周期制御論 実習 (齋藤・豊田・石川)	蛋白質反応解析 (伴)	
水	疾患遺伝子 解析実習 (佐藤)	疾患遺伝子 解析実習 (佐藤)		染色体学 実習 (齋藤・豊田・石川)	染色体学 実習 (齋藤・豊田・石川)		
木	遺伝子単離 実習 (佐藤・佐野・椎村)	遺伝子単離 実習 (佐藤・佐野・椎村)	生高分子学 実習 (伴)			蛋白質精製 実習 (佐藤・椎村)	蛋白質精製 実習 (佐藤・椎村)
金		細胞生物学 (齋藤)					
土							



## 専攻科目名 病理系 病理学

### 本科目の教育目標

病理学は基礎医学であると同時に臨床医学でもあり，その特徴を生かし，基礎医学者，臨床医学者の養成を目指し，病理学を出発点に，自立した人材を育成することを目的とする。

- 1．病理学における肉眼的観察，組織学的，電顕的，組織化学的，免疫学的，化学的手法などの基本的な技術を修得し，目的に応じて適切な技術を選択し，その疾患の本能へアプローチすることができる。
- 2．論文を理解し，自らの研究を発展させることができる。
- 3．研究成果を国内的にも国際的にも発表する能力を身につける。
- 4．病理学的所見を正確に記載でき，しかも臨床での意義について説明できる。

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
秋 葉 純	教 授	病理学
三 好 寛 明	教 授	病理学
草 野 弘 宣	准教授	病理学，病理診断科病理部
近 藤 礼一郎	講 師	病理学
中 山 正 道	講 師	病理学
古 田 拓 也	講 師	病理学，病理診断科病理部
山 田 恭 平	助 教	病理学
森 坪 麻友子	助 教	病理学
塩 賀 太 郎	助 教	病理学
谷 川 雅 彦	助 教	病理学

# 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月	病理学 総論	病理学 総論実習	病理学 総論実習	神経学 病理学		神経学 病理学 実習	
火	血液・ 腫瘍 病理学	肝臓 病理学	病理学 総論	血液・ 腫瘍 病理学 実習		肝臓 病理学 実習	
水		一般外科 病理学 実習	一般外科 病理学 実習			肝臓 病理学 実習	
木	神経学 病理学 実習	一般外科 病理学 実習	一般外科 病理学 実習	病理学 総論 実習		血液・ 腫瘍 病理学 実習	
金		肝臓分子 病理学	病理学 総論 実習	病理学 総論 実習		肝臓分子 病理学 実習	
土		病理学 総論 実習	病理学 総論 実習	血液・ 腫瘍 病理学 実習	血液・ 腫瘍 病理学 実習		

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月	神経学 病理学 実習	血液・ 腫瘍 分子 病理学	一般外科 病理学 実習	神経学 病理学 実習		血液・ 腫瘍 分子 病理学 実習	
火		肝臓分子 病理学 実習	腫瘍・ 炎症 免疫 病理学	腫瘍・ 炎症 免疫 病理学 実習		肝臓分子 病理学 実習	肝臓 病理学 実習
水						肝臓 病理学 実習	
木		血液・ 腫瘍 分子 病理学 実習	腫瘍・ 炎症 免疫 病理学 実習	腫瘍・ 炎症 免疫 病理学 実習		一般外科 病理学 実習	
金		血液・ 腫瘍 分子 病理学 実習	腫瘍・ 炎症 免疫 病理学 実習	血液・ 腫瘍 分子 病理学 実習		一般外科 病理学 実習	
土			肝臓分子 病理学 実習				

## 専攻科目名 病理系 感染医学 基礎感染医学分野

### 本科目の教育目標

1. 細菌の特徴と病原性の分子機構について学ぶ
2. 細菌感染症に対する宿主の生体防衛機構を理解し，病原性の侵入・発症から治癒までの経過を把握する。
3. 細菌感染症に対する化学療法の知識を修得し，感染症に対応しうる基礎知識を得る。

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
小 椋 義 俊	教 授	感染医学（基礎感染医学部門）
山 本 武 司	講 師	感染医学（基礎感染医学部門）
奥 野 未 来	講 師	感染医学（基礎感染医学部門）

### 時 間 割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月						化学療法	
火						感染と生体応答	
水							
木							
金							
土		細菌分子 遺伝学 生物学					

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月	分子生物学 実習	分子生物学 実習	分子生物学 実習	分子生物学 実習	分子生物学 実習	分子生物学 実習	分子生物学 実習
火	細菌遺伝学 実習	細菌遺伝学 実習	細菌遺伝学 実習	細菌遺伝学 実習			
水	免疫学 実習	免疫学 実習	免疫学 実習	免疫学 実習			
木							
金							
土		化学療法 実習	化学療法 実習				

# 専攻科目名 病理系 感染制御学

## 本科目の教育目標

病気の分子的解明に取り組むことのできる研究者の養成を目的とする。

高度な技能を要する感染症の診断能力の養成を目的とする。

(細目)

ウイルス感染症をはじめとする感染症の病原性の分子的解明に取り組む。

その背景としての分子生物学，生化学，細胞生物学，形態学の広範囲な知識，技能を習得する。

## 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
渡 邊 浩	教授	感染制御学
柏 木 孝 仁	教授	医学教育研究センター
原 好 勇	准教授	感染制御学
後 藤 憲 志	講師	感染制御学

## 時 間 割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月						感染症学 総論 (渡邊)	
火						ウイルス学 総論 (後藤)	
水						ウイルス学 各論 (後藤)	
木						臨床感染症 総論 (渡邊)	
金							
土							

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月							
火		ウイルス学実習 (基礎編)(原)					
水		ウイルス学実習 (基礎編)(柏木)					
木		ウイルス学実習 (応用編)(柏木)					
金		ウイルス学実習 (応用編)(原)					
土							

## 専攻科目名 病理系 感染医学 真核微生物学分野

### 本科目の教育目標

原虫(真核単細胞生物),主にアフリカ睡眠病をヒトに引き起こすブ魯ース トリパノソーマ原虫を対象とする。:ブ魯ース トリパノソーマ原虫は,ヒトと最も進化上離れている(酵母,植物などより遙かに離れている)生物で,これを用いた研究によりRNA editing(RNAの再編成)などが発見された。ブ魯ース トリパノソーマ遺伝子の発現様式のヒトとの差異を学ぶ。さらにブ魯ース トリパノソーマの代謝およびシグナル伝達のヒトとの差異を学ぶ。ヒトと全くことなる生物を研究することで,新しい視点に立った only one の医学研究をはじめめるモチベーションを持つ。

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
井上 雅 広	教授	感染医学(真核微生物学部門)
栗原 悠 介	准教授	感染医学(真核微生物学部門)

### 時間割

前期履修期間:2025年5月7日~2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40~10:10	2 10:20~11:50	3 12:40~14:10	4 14:20~15:50	5 16:00~17:30	6 18:00~19:30	7 19:40~21:10
月						原虫の感染による宿主脂質代謝の変化 実習(栗原)	
火						原虫の感染による宿主脂質代謝の変化 実習(栗原)	
水						原虫の遺伝子発現(井上)	
木						原虫の遺伝子発現実習(井上)	原虫のシグナル伝達実習(井上)
金							
土			原虫の遺伝子発現実習(井上)	原虫のシグナル伝達(井上)	原虫のシグナル伝達実習(井上)	原虫のシグナル伝達実習(井上)	

後期履修期間:2025年10月14日~2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40~10:10	2 10:20~11:50	3 12:40~14:10	4 14:20~15:50	5 16:00~17:30	6 18:00~19:30	7 19:40~21:10
月						原虫のシグナル伝達(井上)	原虫のシグナル伝達実習(井上)
火						原虫のシグナル伝達実習(井上)	
水						原虫の遺伝子発現実習(井上)	
木						原虫のシグナル伝達実習(井上)	
金							
土				原虫の遺伝子発現(井上)	原虫の遺伝子発現実習(井上)		

## 専攻科目名 病理系 免疫学

### 本科目の教育目標

生体の健康的維持にとって有害な非自己（病原微生物など）の排除は大切なことである。この生体防御機構には多くの免疫細胞が関与しているが、免疫不全症候群（SCID や AIDS など）、アレルギー反応（花粉症や食物アレルギーなど）、自己免疫疾患（炎症性腸疾患や1型糖尿病など）、臓器移植における拒絶反応やがん、または代謝疾患や神経疾患など、様々な病態に関連していることが知られている。

近年の Omics 解析をプラットフォームとしたコンピューター医学の技術革新により「免疫学」の進歩は目覚ましく、その理解には、常に最新の動向を考察し、新たな基礎的・臨床的知見を習得していく必要がある。

本科目では、講義・演習・実習を通じてコンピューター医学樹立のためのウェット側のデータ集積を進めるとともに、粘膜免疫及び免疫抑制細胞を利用した斬新な免疫治療法開発につながる知見を見出し、医学の発展に貢献することを目的とする。

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
溝口 充 志	教授	免疫学
溝口 恵美子	教授	免疫学
小松 誠 和	准教授	医学教育研究センター
岡田 季 之	助教	免疫学



# 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 履修回数	1	2	3	4	5	6	7
8:40～10:10							
10:20～11:50							
12:40～14:10							
14:20～15:50							
16:00～17:30					疾患免疫学実習 (博1/4単位) 溝口・小松・岡田	疾患免疫学実習 (博1/4単位) 溝口・小松・岡田	
18:00～19:30							
19:40～21:10							
月	コンピューター免疫学 (博2単位) 溝口・小松・岡田 溝口恵						
火					粘膜免疫学実習 (博1/4単位) 溝口・溝口恵	粘膜免疫学実習 (博1/4単位) 溝口・溝口恵	
水					腫瘍免疫学実習 (博1/4単位) 小松・溝口恵 ・岡田	腫瘍免疫学実習 (博1/4単位) 小松・溝口恵 ・岡田	
木							
金					コンピューター免疫学実習 (博1/2単位) 溝口・溝口恵 小松・岡田	コンピューター免疫学実習 (博1/2単位) 溝口・溝口恵 小松・岡田	
土							

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 履修回数	1	2	3	4	5	6	7
8:40～10:10							
10:20～11:50							
12:40～14:10							
14:20～15:50							
16:00～17:30					疾患免疫学実習 (博1/4単位) 溝口・小松・岡田	疾患免疫学実習 (博1/4単位) 溝口・小松・岡田	
18:00～19:30							
19:40～21:10							
月	疾患免疫学 (博2単位) 溝口・小松・岡田						
火					粘膜免疫学実習 (博1/4単位) 溝口・溝口恵	粘膜免疫学実習 (博1/4単位) 溝口・溝口恵	
水					腫瘍免疫学実習 (博1/4単位) 小松・溝口恵 ・岡田	腫瘍免疫学実習 (博1/4単位) 小松・溝口恵 ・岡田	
木							
金							
土							

# 専攻科目名 社会医学系 環境医学

## 本科目の教育目標

環境医学と産業医学の基礎と臨床を理解して造詣を深め，かつ理論の実践能力を引き出して培い，予防医学を目指す研究者と実践者を社会に提供することを目的とする。

## 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
石 竹 達 也	教 授	環境医学
森 松 嘉 孝	准教授	環境医学
森 美穂子	講 師	環境医学
増 田 宏	助 教	環境医学

## 時 間 割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月					産業医学 総論 (石竹)	環境医学 総論 (石竹・ 森松)	
火			産業医学研究 (石竹・森松・増田)				
水				環境医学研究 (石竹，森)			
木							
金			産業医学研究 (石竹)				
土							

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月					産業医学 総論 (石竹)	環境医学 総論 (石竹・ 森松)	
火			産業医学研究 (石竹・森松・増田)				
水					環境医学研究 (石竹，森)		
木			産業医学研究 (石竹)				
金			産業医学研究 (石竹)				
土							

# 専攻科目名 社会医学系 公衆衛生学

## 本科目の教育目標

公衆衛生学は回避可能な健康問題の発生確率低減に関する総合的な学問である。本科目では、第一に疾病発生に関する因果推論の基礎理論を修得する。その上で、近年重要視されているビッグデータ並びにリアルワールドデータを中心に、現実世界における種々の問題について原因と結果の関係を正確に把握し、対策立案から実行および評価に至るまでの過程に関する思考力と実践力を培うことを教育目標とする。

## 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
谷原 真一	教授	公衆衛生学
中尾 元幸	准教授	公衆衛生学
山内 圭子	講師	公衆衛生学
桑木 光太郎	助教	公衆衛生学

## 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 履回数	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月						公衆衛生学研究1 (谷原 中尾 山内 桑木)	
火						公衆衛生学 総論 (谷原 中尾, 山内 桑木)	
水						公衆衛生学 各論 (谷原 中尾, 山内 桑木)	
木						公衆衛生学研究3 (谷原 中尾 山内 桑木)	
金						公衆衛生学研究4 (谷原 中尾 山内 桑木)	
土		公衆衛生学研究2 (谷原 中尾 山内 桑木)					

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 履回数	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月						公衆衛生学研究1 (谷原 中尾 山内 桑木)	
火						公衆衛生学 総論 (谷原 中尾, 山内 桑木)	
水						公衆衛生学 各論 (谷原 中尾, 山内 桑木)	
木				公衆衛生学研究3 (谷原 中尾 山内 桑木)			
金						公衆衛生学研究4 (谷原 中尾 山内 桑木)	
土		公衆衛生学研究2 (谷原 中尾 山内 桑木)					

# 専攻科目名 社会医学系 健康科学

## 本科目の教育目標

健康とは、WHOによると physical (体) と mental (心)、そして社会性のバランスがとれている状態および、spiritual (たとえば生きがい、心のやすらぎ、癒し) な良好ということも加えられている。したがって健康の維持・増進には、身体活動(運動・スポーツ)、栄養、休養、ストレスなどの生活行動要因が大きく関わっている。

本教室ではこれらの要因との関わりから健康現象を追求するとともに、疾病の予防や健康の維持・増進を実現する方法論を確立するための「健康科学」という医学的のみならず、総合科学的な新しい領域を切り開く人材を育成することを目標とする。

## 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
吉田典子	教授	学長直属
安川秀雄	教授	保健管理センター
大江美佐里	准教授	保健管理センター
松岡美智子	講師	保健管理センター

## 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月						健康・ スポーツ 医学実習 (吉田)	健康・ スポーツ 医学実習 (吉田)
火						健康科学 総論 (吉田)	健康科学 総論 (吉田)
水						健康度・ 形態測定 実習 (吉田)	健康度・ 形態測定 実習 (吉田)
木							
金						運動負荷 テスト 実習 (吉田)	運動負荷 テスト 実習 (吉田)
土						健康 教育学 (安川)	精神 保健学1 (大江 松岡)

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月						健康・ スポーツ 医学実習 (吉田)	健康・ スポーツ 医学実習 (吉田)
火							
水						健康度・ 形態測定 実習 (吉田)	健康度・ 形態測定 実習 (吉田)
木							
金						運動負荷 テスト 実習 (吉田)	運動負荷 テスト 実習 (吉田)
土							精神 保健学2 (大江 松岡)

# 専攻科目名 社会医学系 法医学・人類遺伝学

## 本科目の教育目標

医学研究に従事するもの、臨床医学を目指すものを問わず、法医学・人類遺伝学に精通した優秀な人材を養成することを目的とする。法医学は、実に多種多様な内容を包含しており、例えば法医解剖実務により解剖学、病理学、救急医学、毒物学、薬理学、細菌学、犯罪心理学、自殺学を、親子鑑定実務により輸血学、血清学、遺伝学、分子遺伝学を自然に身に付けることが出来る。したがって法医学はもちろん、病理学、生理学、生化学、人類遺伝学等の領域の研究を、自ら責任をもって行うことによって、研究成果を学術集会で発表し、学術誌に投稿、掲載する能力を培う。

## 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
神田 芳郎	教授	法医学
副島 美貴子	准教授	法医学

## 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月		法医学概論				人類遺伝学総論	
火					人類遺伝学実習1	人類遺伝学実習1	
水							
木	法医学実習1	法医学実習1			人類遺伝学実習1	人類遺伝学実習1	
金					法医学実習1	法医学実習1	
土							

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40-10:10	2 10:20-11:50	3 12:40-14:10	4 14:20-15:50	5 16:00-17:30	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
月		法医学各論				人類遺伝学各論	
火	法医学実習2	法医学実習2			人類遺伝学実習2	人類遺伝学実習2	
水							
木					人類遺伝学実習2	人類遺伝学実習2	
金					法医学実習2	法医学実習2	
土							

## 専攻科目名 社会医学系 バイオ統計学

### 本科目の教育目標

臨床試験やゲノム情報の医療利用を目的とするトランスレーショナルリサーチ（探索的医学研究）において、「研究計画に参画できる専門知識(デザイン, 症例数)」および「データ解析の専門知識」をもち「包括的な研究のデザインを立案」したり「既存の統計手法の斬新な適用と問題解決」や「新しい統計手法の開発」ができる人材の養成を目的とする。

併せて医師, コンピュータ技士, 看護師等, 関連分野の専門家と高い対話能力をもつとともに, 高い倫理性をもって共同作業ができる人材の養成を目的としている。

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
古川 恭治	教授	バイオ統計センター
安川 圭司	教授	バイオ統計センター
室谷 健太	教授	医学部医療検査学科
大山 哲司	准教授	バイオ統計センター
五百路 徹也	助教	バイオ統計センター
矢野 望夢	助教	バイオ統計センター
柳川 堯	客員教授	バイオ統計センター
廣瀬 英雄	客員教授	バイオ統計センター
赤澤 宏平	客員教授	バイオ統計センター
小笹 晃太郎	客員教授	京都府立医科大学(特任教授)
三嶋 秀行	客員教授	東大阪がん総合研究所(所長)/愛知医科大学(名誉教授)
山田 亮	客員教授	京都大学(名誉教授)
江村 剛志	客員教授	統計数理研究所(教授)
井元 清哉	非常勤講師	東京大学医科学研究所(教授)
川口 淳	非常勤講師	佐賀大学医学部(教授)
坂田 律	非常勤講師	(公財)放射線影響研究所疫学部(部長代理)
田栗 正隆	非常勤講師	東京医科大学(教授)
中朽 昌弘	非常勤講師	名古屋大学大学院医学研究科(准教授)
平川 晃弘	非常勤講師	東京科学大学大学院(教授)
米本 孝二	非常勤講師	琉球大学医学部(教授)
スポスト リチャード	非常勤講師	(公財)放射線影響研究所統計部(部長)
吉次 広如	非常勤講師	MSD 株式会社グローバル研究開発本部臨床薬理領域(上席部長)
加唐 誠剛東	非常勤講師	MSD 株式会社グローバル研究開発本部臨床薬理領域(シニアサイエンティスト)

### 時間割

別途履修者に配布する。

## 専攻科目名 社会医学系 看護学

### 本科目の教育目標

看護学における深い学識にもとづき、グローバルな視野に立って地域社会や看護学の発展に貢献しうる看護学研究を自立して行うために必要な研究能力を修得し、保健医療福祉・国際保健における諸問題に関して、新しい看護モデルの開発やケアの質を保証するための組織化とシステム開発等、看護学の発展・進化及び看護のさらなる質向上に資するためのエビデンスに基づく問題解決の思考過程や研究技法の醸成を目標とする。

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
益 守 かづき	教 授	看護学科
田 中 佳 代	教 授	看護学科
重 松 由佳子	教 授	看護学科
古 村 美津代	教 授	看護学科
嵯 峨 堅	教 授	看護学科
加 悦 美 恵	教 授	看護学科
崎 浜 智 子	教 授	看護学科
桐 明 あゆみ	教 授	看護学科
佐 藤 祐 佳	准教授	看護学科
椀 勇三郎	准教授	看護学科
加 藤 陽 子	准教授	看護学科
松 本 悠 貴	准教授	看護学科
河原田 康 貴	講 師	看護学科
草 場 知 子	講 師	看護学科



## 時間割

前期履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月					性・生殖看護学研究実習 (田中)	性・生殖看護学研究実習 (田中)	性・生殖看護学研究実習 (田中)
火				健康支援看護研究実習 (横浜)	健康支援看護研究実習 (横浜)	健康支援看護研究実習 (横浜)	健康支援看護研究実習 (横浜)
水					健康支援看護研究実習 (桐明・河原田)	健康支援看護研究実習 (桐明・河原田)	健康支援看護研究実習 (桐明・河原田)
木			健康支援看護特論 (桐明・河原田)		高齢者看護学研究実習 (古村・桜・草場)	高齢者看護学研究実習 (古村・桜・草場)	高齢者看護学研究実習 (古村・桜・草場)
金				性・生殖看護学特講 (田中)	性・生殖看護学研究実習 (田中)	高齢者看護学特論 (古村・舞弓・桐明)	高齢者看護学研究実習 (古村・桜・草場)
土	健康支援看護研究実習 (桐明・河原田) 小児看護学研究実習 (益守)	小児看護学研究実習 (益守)	小児看護学研究実習 (益守)	小児看護学研究実習 (益守)	小児看護学研究実習 (益守)	小児看護学支援特論 (益守)	小児看護学支援特論 (益守)
	健康支援看護特論 (横浜)	健康支援看護研究実習 (横浜)	健康支援看護研究実習 (横浜)			性・生殖看護学研究実習 (田中)	性・生殖看護学研究実習 (田中)

公衆衛生看護学研究実習は研究の進度にあわせて日程を設定します。

後期履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間 曜日	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月					性・生殖看護学研究実習 (田中)	性・生殖看護学研究実習 (田中)	性・生殖看護学研究実習 (田中)
火				健康支援看護研究実習 (横浜)	健康支援看護研究実習 (横浜)	基礎看護技術総論 (加悦)	健康支援看護研究実習 (横浜)
水					健康支援看護研究実習 (桐明・河原田)	健康支援看護研究実習 (桐明・河原田)	健康支援看護研究実習 (桐明・河原田)
木			健康支援看護特論 (桐明・河原田)		高齢者看護学研究実習 (古村・桜・草場)	高齢者看護学研究実習 (古村・桜・草場)	高齢者看護学研究実習 (古村・桜・草場)
金					高齢者看護学研究実習 (古村・桜・草場)	高齢者看護学研究実習 (古村・桜・草場)	高齢者看護学研究実習 (古村・桜・草場)
土	健康支援看護研究実習 (桐明・河原田) 小児看護学研究実習 (益守)	小児看護学研究実習 (益守)	小児看護学研究実習 (益守)	小児看護学研究実習 (益守)	小児看護学研究実習 (益守)	小児看護学研究実習 (益守)	小児看護学研究実習 (益守)
	健康支援看護特論 (横浜・佐藤)	健康支援看護研究実習 (横浜)	健康支援看護研究実習 (横浜)		性・生殖看護学研究実習 (田中)	性・生殖看護学研究実習 (田中)	性・生殖看護学研究実習 (田中)

公衆衛生看護学研究実習は研究の進度にあわせて日程を設定します。

## 専攻科目名 個別最適医療系 先端癌治療学

### 本科目の教育目標

各科目参照

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
溝口 恵美子	教授	免疫学
川口 巧	教授	内科学（消化器内科部門）
古賀 浩徳	教授	内科学（消化器内科部門）
黒松 亮子	教授	内科学（消化器内科部門）
藤田 文彦	教授	外科学
光岡 正浩	教授	外科学
唐 宇飛	教授	外科学
石橋 生哉	教授	外科学
久下 亨	教授	外科学
森岡 基浩	教授	脳神経外科学
中村 英夫	教授	脳神経外科学
竹田津 英稔	教授	消化器病センター
小松 誠和	准教授	医学教育研究センター
主藤 朝也	准教授	先端癌治療研究センター
坂田 清彦	准教授	脳神経外科学

個別最適医療系専攻 先端癌治療学

《前期》履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月					癌集学治療学の実際 ----- 消化管前癌病変 モデル作製	癌集学治療学総論 (外科学医局)	
火					消化管前癌病変 モデルの免疫機 序の解析法		肝の発癌機構の 解析法
水							
木	消化器癌総論	免疫生物学・細 胞性免疫学 (先端癌センターが んワクチン部門)	肝の発癌機構と 治療	肝発癌の予防 および肝癌 治療の実習	消化器癌の遺伝 子解析	消化器癌の遺伝子 解析	肝の発癌機構の 解析法
金							
土				肝癌治療の基礎研 究実習(教育1号 館1501教室)	肝癌治療の基礎 研究実習		

《後期》履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月					癌集学治療学の実際 ----- 消化管前癌病変 モデル作製		
火					消化管前癌病変 モデルの免疫機 序の解析法		
水			ニューロオンコジ-		消化器癌の免疫 機構と治療		
木				肝発癌の予防お よび肝癌治療の 実習	消化器癌の遺伝 子解析	消化器癌の遺伝 子解析	
金							
土							

個別最適医療系

## 専攻科目名 個別最適医療系 心血管先端医療学

### 本科目の教育目標

各科目参照

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
福本 義弘	教授	内科学（心臓・血管内科部門）
田山 栄基	教授	外科学
須田 憲治	教授	小児科学
安川 秀雄	教授	保健管理センター
田原 宣広	教授	循環器病センター
青木 浩樹	教授	循環器病研究所
横山 晋二	教授	医療安全管理部
廣松 伸一	教授	医療センター(フットケア・下肢血管病センター)
三好 寛明	教授	病理学
大江 征嗣	准教授	内科学（心臓・血管内科部門）
有永康一	准教授	集中治療部
佐々木 健一郎	准教授	循環器病センター
深水 亜子	准教授	内科学（心臓・血管内科部門）
大塚 裕之	准教授	外科学
高瀬谷 徹	准教授	外科学
高木 数実	准教授	外科学
庄嶋 賢弘	講師	外科学
古田 拓也	講師	病理学，病理診断科病理部
仲吉 孝晴	講師	内科学（心臓・血管内科部門）

個別最適医療系専攻 心血管先端医療学

《前期》履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月		血管再生医療総論 (臨床研究棟9階 心臓・血管内科医局)					遺伝子発現解析法 (循環器病研究所)
火							
水						心血管系細胞培 養実験法 (循環器病研究所)	
木	心血管病検査法 の実際 (循環器病センター)	心血管病検査法 の実際 (循環器病センター)				遺伝子発現解析法 (循環器病研究所)	遺伝子発現解析法 (循環器病研究所)
金						心血管系細胞培 養実験法 (循環器病研究所)	
土							

《後期》履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月		血管再生医療総論 (臨床研究棟9階 心臓・血管内科医局)					
火							
水	末梢血管疾患学総論 (外科5階病棟カン ファランスルーム)					末梢血管疾患学総論 (外科5階病棟カン ファランスルーム)	
木	心血管病検査法 の実際 (循環器病センター)	心血管病検査法 の実際 (循環器病センター)					
金							
土	末梢血管疾患学総論 (外科5階病棟カン ファランスルーム)						

## 専攻科目名 個別最適医療系 高次脳疾患学

### 本科目の教育目標

各科目参照

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
吉田史章	教授	生理学(脳・神経機能部門)
西昭徳	教授	薬理学
田上秀一	教授	放射線医学
小曽根基裕	教授	神経精神医学
本岡大道	教授	神経精神医学
森岡基浩	教授	脳神経外科学
廣畑優	教授	脳神経外科学
中村英夫	教授	脳神経外科学
小路純央	教授	高次脳疾患研究所
高橋知之	教授	高次脳疾患研究所
内山雄介	教授	放射線医学
恵紙英昭	教授	先進漢方治療センター
内野俊郎	教授	臨床研修センター
森田喜一郎	客員教授	高次脳疾患研究所
村井恵良	准教授	生理学(脳・神経機能部門)
菊池清志	准教授	生理学(脳・神経機能部門)
河原幸江	准教授	薬理学
倉田精二	准教授	放射線部
土生川光成	准教授	神経精神医学
坂田清彦	准教授	脳神経外科学
大江美佐里	准教授	保健管理センター
立石貴久	准教授	内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)
比江嶋啓至	准教授	神経精神医学
原宗嗣	講師	小児科学
千葉比呂美	講師	神経精神医学
折戸公彦	講師	脳神経外科学
服部剛典	講師	脳神経外科学
松岡美智子	講師	保健管理センター
大西克典	助教	薬理学
石田哲也	助教	神経精神医学
音琴哲也	助教	脳神経外科学
菊池仁	助教	脳神経外科学
吉本幸治	非常勤講師	高次脳疾患研究所

## 個別最適医療系専攻 高次脳疾患学

### 《前期》履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月			中枢神経系放射線診断学(放射線医学医局)	高次脳機能診断学実習(東12階カンファランスルーム)	発達神経学(小児科医局)	マイクロダイアリシス法	マイクロダイアリシス法
火		精神疾患リハビリテーション実習(神経科デイケアセンター)		小児神経学(小児科医局) 機能的脳画像実習(RI核医学検査室) 神経外傷・脳腫瘍学実習(脳神経外科学医局)	小児神経学(小児科医局) 機能的脳画像実習(RI核医学検査室) 神経外傷・脳腫瘍学実習(脳神経外科学医局)	マイクロダイアリシス法	マイクロダイアリシス法 発達神経学( )
水				脳損傷治療学(脳神経外科学医局) 認知機能測定実習(高次脳疾患研究所)	脳損傷治療学(脳神経外科学医局) 認知機能測定実習(神経精神医学医局) 中枢神経機能学	中枢神経系放射線診断学実習(CT・MRI読影室)	中枢神経機能学
木	機能性精神障害の認知機能(高次脳研医局)			高次脳機能診断学(臨床研究棟カンファランスルーム)	高次脳機能診断学実習(東12階カンファランスルーム)	中枢神経系放射線診断学実習(CT・MRI読影室)	
金			睡眠覚醒障害の病態と治療(神経精神医学医局)	神経外傷・脳腫瘍学実習(脳神経外科学医局)	神経外傷・脳腫瘍学実習(脳神経外科学医局)		
土							

夏期集中講義の予定(8月上旬)。詳細は科目担当責任者へ確認のこと。

### 《後期》履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月			中枢神経系放射線診断学(放射線医学医局)	高次脳機能診断学実習(東12階カンファランスルーム)	発達神経学(小児科医局)	実践的脳虚血負荷実習(生理学第1研究室)	実践的脳虚血負荷実習(生理学第1研究室)
火		精神疾患リハビリテーション実習(神経科デイケアセンター)		機能的脳画像実習(RI核医学検査室) 中枢神経分子遺伝学的手法(高次脳研医局)	機能的脳画像実習(RI核医学検査室) 中枢神経分子遺伝学的手法(高次脳研医局)		
水				高次脳機能障害治療学(脳神経外科学医局) 認知機能測定実習(高次脳疾患研究所)	高次脳機能障害治療学(脳神経外科学医局) 認知機能測定実習(神経精神医学医局)	中枢神経系放射線診断学実習(CT・MRI読影室)	
木	機能性精神障害の認知機能(高次脳研医局)			高次脳機能診断学(臨床研究棟カンファランスルーム)	小児神経学(小児科医局) 高次脳機能診断学実習(東12階カンファランスルーム)	中枢神経系放射線診断学実習(CT・MRI読影室)	
金			睡眠覚醒障害の病態と治療(神経精神医学医局)				
土							



## 専攻科目名 個別最適医療系 皮膚細胞生物学

本科目の教育目標

各科目参照

### 担当教員一覧

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
後任教授	教授	皮膚科学
石井文人	准教授	皮膚科学
古賀浩嗣	准教授	皮膚科学
Teye kwesi	助教	皮膚細胞生物研究所

個別最適医療系専攻 皮膚細胞生物学

《前期》履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月							
火					遺伝性皮膚疾患 総論 (石井)		
水							
木							
金	毛髪科学総論 (古賀)				自己免疫性水疱 症総論 (石井)		
土							

講義は皮膚科研究室で行う。

《後期》履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月				蛋白解析実習 (古賀)			
火				遺伝子操作実習 (Teye)			
水				細胞生物学実習 (Teye)			
木	免疫組織学実習 (石井)			皮膚免疫学実習			
金	毛髪科学実習						
土							

実習は皮膚科研究室にて行う。

## 専攻科目名 個別最適医療系 先進医療対象疾患学

### 本科目の教育目標

各科目参照

### 担当教員一覧

科目担当者氏名	担当者職名	担当者所属	科目担当者氏名	担当者職名	担当者所属
渡邊 順子	教授	質量分析医学応用研究施設	楠川 仁悟	教授	歯科口腔医療センター
星野 友昭	教授	内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	山下 典雄	教授	高度救命救急センター
井田 弘明	教授	内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	牛島 高介	教授	保険診療管理部
川山 智隆	教授	内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	井出 達也	教授	医療センター(消化器内科)
川口 巧	教授	内科学(消化器内科部門)	大川 孝浩	教授	医療センター(整形外科・関節外科センター)
古賀 浩徳	教授	内科学(消化器内科部門)	淡河恵津世	教授	放射線部(放射線腫瘍センター)
黒松 亮子	教授	内科学(消化器内科部門)	竹田津英稔	教授	消化器病センター
野村 政壽	教授	内科学(内分泌代謝内科部門)	蘆田 健二	准教授	内科学(内分泌代謝内科部門)
深水 圭	教授	内科学(腎臓内科部門)	柴田 了	准教授	内科学(腎臓内科部門)
長藤 宏司	教授	内科学(血液・腫瘍内科部門)	小金丸雅道	准教授	放射線医学
西小森隆太	教授	小児科学	長田 周治	准教授	放射線医学
田上 秀一	教授	放射線医学	石井 文人	准教授	皮膚科学
藤本 公則	教授	放射線医学	古賀 浩嗣	准教授	皮膚科学
内山 雄介	教授	放射線医学	酒井 久宗	准教授	外科学
藤田 文彦	教授	外科学	森 直樹	准教授	外科学
光岡 正浩	教授	外科学	濱田 哲矢	准教授	整形外科学
石橋 生哉	教授	外科学	西尾 真	准教授	産婦人科学
久下 亨	教授	外科学	名切 信	准教授	泌尿器科学
加治 建	教授	外科学(小児外科部門)	小野 剛治	准教授	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
平岡 弘二	教授	整形外科学	原 将人	准教授	麻酔学
佐藤 公昭	教授	整形外科学	守永 圭吾	准教授	形成外科・顎顔面外科学
吉田 茂生	教授	眼科学	中村 守巖	准教授	歯科口腔医療センター
門田 遊	教授	眼科学	倉田 精二	准教授	放射線部(画像診断センター)
春田 雅俊	教授	眼科学	後藤 昌史	准教授	医療センター(整形外科・関節外科センター)
津田 尚武	教授	産婦人科学	蓮澤 奈央	講師	内科学(内分泌代謝内科部門)
井川 掌	教授	泌尿器科学	甲斐田裕介	講師	内科学(腎臓内科部門)
梅野 博仁	教授	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	毛利 文彦	講師	内科学(血液・腫瘍内科部門)
千年 俊一	教授	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	弓削康太郎	講師	小児科学
平木 照之	教授	麻酔学	長田 周治	講師	放射線医学
高須 修	教授	救急医学	吉田 武史	講師	外科学
力丸 英明	教授	形成外科・顎顔面外科学	磯邊 太郎	講師	外科学

科目担当者氏名	担当者職名	担当者所属	科目担当者氏名	担当者職名	担当者所属
後藤 祐一	講師	外科学	田淵 幸祐	講師	医療センター整形外科・関節外科センター
新谷 悠介	講師	外科学	永山 綾子	助教	内科学(内分泌代謝内科部門)
吉田 史郎	講師	整形外科	海野 聡子	助教	小児科学
橋田 竜騎	講師	整形外科	古賀 義法	助教	外科学(小児外科部門)
堀之内崇士	講師	産婦人科学	坂井貴三彦	助教	眼科学
上村慶一郎	講師	泌尿器科学	三田尾 拓	助教	産婦人科学
西原 聖顕	講師	泌尿器科学	田崎 和人	助教	産婦人科学
植田 浩介	講師	泌尿器科学	田中久一郎	助教	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
橋詰 直樹	講師	外科学(小児外科部門)	金苗 幹典	助教	救急医学
栗田 卓	講師	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	宮崎 允宏	助教	救急医学
末吉慎太郎	講師	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	国武 和也	助教	救急医学
中川 景子	講師	麻酔学	副島 靖寛	助教	救急医学
大下 健輔	講師	麻酔学	伊勢 将大	助教	救急医学
亀山 直光	講師	麻酔学	Teyekwesi	助教	皮膚細胞生物学研究所
鍋田 雅和	講師	救急医学	大園 宏城	助教	医療センター整形外科・関節外科センター
右田 尚	講師	形成外科・顎顔面外科学	名取 徹	非常勤講師	名取歯科医院(院長)
力丸由起子	講師	形成外科・顎顔面外科学	浦野 和雄	非常勤講師	うらの矯正歯科クリニック(院長)
喜久田翔伍	講師	歯科口腔医療センター	高向 和宜	非常勤講師	たかむきメンタルクリニック(院長)
木下 正啓	講師	総合周産期母子医療センター	岡村 光信	非常勤講師	岡村歯科医院(院長)
田口 顕正	講師	質量分析医学応用研究施設	金 賢哲	非常勤講師	Living Well Dental Hospital(院長)
大野 聡子	講師	循環器病センター	中村 芳明	非常勤講師	済生会日田病院
大津 寧	講師	医療センター(小児科)	古賀 真	非常勤講師	元町歯科診療所

個別最適医療系専攻 先進医療対象疾患学

《前期》履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月			小児外科学総論 (小児外科医局)		腎疾患総論 (腎臓内科医局)	腎疾患総論 (腎臓内科医局)	
					感染症医学実習 (臨床研究棟カンファランスルーム)	自己免疫・アレルギー疾患学総論 (講義担当医局)	
					包括的顎口腔機能再生学(歯科口腔医療センター医局)	感染症医学実習 (臨床研究棟カンファランスルーム)	
				小児外科学実習 (本館東棟6階小児病棟カンファランスルーム)	小児外科学実習 (本館東棟6階小児病棟カンファランスルーム)	血液疾患学総論 (講義担当者医局)	
			再建医学実習 (形成外科・顎顔面外科学講座研究室)	再建医学実習 (形成外科・顎顔面外科学講座研究室)	遺伝性疾患学実習 (小児科医局)	遺伝性疾患学総論 (小児科学医局)	
火		呼吸器疾患学総論 (臨床研究棟カンファランスルーム)	産婦人科・新生児医学総論(臨床研究棟3階産婦人科医局)		視覚病態学 (眼科学医局)	救急医学総論 (臨床研究棟カンファランスルーム)	
	皮膚分子病態学総論 (皮膚科研究室)	泌尿器科学実習 (泌尿器科医局)	生体機能管理学総論(中央手術部)	臨床画像医学・放射線腫瘍学実習(放射線治療センターCT・MRI室)	整形外科学実習 (整形外科病棟カンファランスルーム)	内分泌代謝疾患学実習(内分泌代謝内科医局)	眼科学実習 (眼科学研究室)
水		消化器疾患学実習 (外科6階カンファランスルーム)		消化器疾患学実習 (外科6階カンファランスルーム)		泌尿器科学総論 (泌尿器科医局)	整形外科学総論 (医セ・リハビリテーションセンター)
	呼吸器疾患学実習 (内科学 講座医局他)夏期集中予定	呼吸器疾患学実習 (内科学 講座医局他)夏期集中予定	産婦人科・新生児医学実習(産科病棟新生児センター)	産婦人科・新生児医学実習(産科病棟新生児センター)	血液疾患学実習		
		再建医学総論 (形成外科・顎顔面外科学講座医局)	呼吸器疾患学実習 (内科学 講座医局他)夏期集中予定	耳鼻咽喉・頭頸部外科学実習(耳鼻咽喉・頭頸部外科学医局・外来)	耳鼻咽喉・頭頸部外科学実習(耳鼻咽喉・頭頸部外科学医局・外来)		
木		再建医学実習 (形成外科・顎顔面外科学講座医局)	消化器疾患学総論 (臨床研究棟カンファランスルーム)	臨床画像医学・放射線腫瘍学総論 (放射線医学医局)	耳鼻咽喉・頭頸部外科学総論(耳鼻咽喉・頭頸部外科学図書室)	泌尿器科学総論 (泌尿器科医局)	
		泌尿器科学実習 (泌尿器科医局)			臨床画像医学・放射線腫瘍学総論(放射線医学医局)	内分泌代謝疾患学実習(内分泌代謝内科医局)	
金	生体機能管理学実習 (中央手術部)	生体機能管理学実習 (中央手術部)	自己免疫・アレルギー疾患学実習	自己免疫・アレルギー疾患学実習	感染症医学総論 (消化器内科医局)	内分泌代謝疾患学総論(内分泌代謝内科医局)	眼科学実習 (眼科学研究室)
			包括的顎口腔機能再生学実習(歯科口腔医療センター医局)	包括的顎口腔機能再生学実習(歯科口腔医療センター医局)	救急医学実習(高度救命救急センター)		
土							

夏期集中方法で講義の予定(8月上旬)。詳細は科目担当責任者へ。

個別最適医療系専攻 先進医療対象疾患学

《後期》履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月			小児外科学総論 (小児外科医局)			自己免疫・アレルギー疾患学総論 (講義担当医局)	遺伝性疾患学総論 (小児科学医局)
					包括的顎口腔機能再生学(歯科口腔医療センター医局)		
					感染症医学実習(臨床研究棟カンファランスルーム)	感染症医学実習(臨床研究棟カンファランスルーム)	
					腎疾患実習(臨床研究棟カンファランスルーム)	腎疾患実習(臨床研究棟カンファランスルーム)	
			小児外科学実習(本館東棟6階小児病棟カンファランスルーム)	小児外科学実習(本館東棟6階小児病棟カンファランスルーム)		血液疾患学総論(講義担当者医局)	
			再建医学実習(形成外科・顎顔面外科学講座研究室)	再建医学実習(形成外科・顎顔面外科学講座研究室)	遺伝性疾患学実習(脳研実習室、小児科医局 臨床研究棟カンファランスルーム)		
火		呼吸器疾患学総論(臨床研究棟カンファランスルーム)	産婦人科・新生児医学総論(臨床研究棟3階産婦人科医局)		視覚病態学(眼科学医局)	救急医学総論(臨床研究棟カンファランスルーム)	
	皮膚分子病態学総論(皮膚科研究室)	泌尿器科学実習(泌尿器科医局)	生体機能管理学総論(中央手術部)	腎疾患実習(臨床研究棟カンファランスルーム)	整形外科学実習(整形外科病棟カンファランスルーム)	内分泌代謝疾患学実習(内分泌代謝内科医局)	眼科学実習(眼科学研究室)
						整形外科学実習(整形外科病棟カンファランスルーム)	
水		消化器疾患学実習(外科6階カンファランスルーム)	産婦人科・新生児医学実習(産科病棟新生児センター)	消化器疾患学実習(外科6階カンファランスルーム)	血液疾患学実習	泌尿器科学総論(泌尿器科医局)	整形外科学総論(医セ・リハビリテーションセンター)
	呼吸器疾患学実習(内科学 講座医局他 夏期集中予定)	呼吸器疾患学実習(内科学 講座医局他 夏期集中予定)	呼吸器疾患学実習(内科学 講座医局他 夏期集中予定)	産婦人科・新生児医学実習(産科病棟新生児センター)			
木		再建医学総論(形成外科 顎顔面外科学講座医局)	消化器疾患学総論(臨床研究棟カンファランスルーム)	臨床画像医学・放射線腫瘍学実習(放射線治療センター CT・MRI室)	耳鼻咽喉・頭頸部外科学実習(耳鼻咽喉・頭頸部外科学医局・外来)	内分泌代謝疾患学実習(内分泌代謝内科医局)	
		泌尿器科学実習(泌尿器科医局)			耳鼻咽喉・頭頸部外科学総論(耳鼻咽喉・頭頸部外科学図書室)	泌尿器科学総論(泌尿器科医局)	
金	生体機能管理学実習(中央手術部)	生体機能管理学実習(中央手術部)	自己免疫・アレルギー疾患学実習	自己免疫・アレルギー疾患学実習	感染症医学総論(消化器内科医局)	内分泌代謝疾患学総論(内分泌代謝内科医局)	眼科学実習(眼科学研究室)
				包括的顎口腔機能再生学実習(歯科口腔医療センター医局)	包括的顎口腔機能再生学実習(歯科口腔医療センター医局)		
				救急医学実習(高度救命救急センター)	救急医学実習(高度救命救急センター)		
土							

夏期集中方法で講義の予定(8月上旬)。詳細は科目担当責任者へ。

個別最適医療系

専攻科目名 **個別最適医療系 先端癌治療学**  
**悪性腫瘍専門医養成ユニット**

本科目の教育目標

各科目参照

**担当教員一覧**

担当者氏名	担当者役職	担当者所属
川口 巧	教授	内科学（消化器内科部門）
長藤 宏司	教授	内科学（血液・腫瘍内科部門）
田上 秀一	教授	放射線医学
藤本 公則	教授	放射線医学
内山 雄介	教授	放射線医学
淡河 恵津世	教授	放射線部
藤田 文彦	教授	外科学
光岡 正浩	教授	外科学
唐 宇飛	教授	外科学
石橋 生哉	教授	外科学
久下 亨	教授	外科学
森岡 基浩	教授	脳神経外科学
主藤 朝也	准教授	先端癌治療研究センター
宮田 裕作	助教	放射線医学
辻 千代子	助教	放射線医学
村木 宏一郎	助教	放射線部
服部 睦行	助教	放射線部
明田 亮輔	助教	放射線医学



個別最適医療系専攻 先端癌治療学 悪性腫瘍専門医養成ユニット

《前期》履修期間：2025年5月7日～2025年9月22日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月			癌集学治療学総論 (集学治療センター・カンファランスルーム)				
火	応用臨床画像 診断学実習(CT・MRI)						
	緩和医療学						
水		消化器癌総論 (教育1号館 1501教室)	放射線腫瘍療法 セミナー (放射線腫瘍セ ンター)		臨床腫瘍学・基礎編		
木		悪性腫瘍の集学 的治療の実習 (集学治療センター・カン ファランスルーム)			臨床腫瘍学・臨床編		
金	放射線腫瘍治療学実習 (放治センター)						
	緩和医療学						
土							

《後期》履修期間：2025年10月14日～2026年2月9日

時間	1 8:40～10:10	2 10:20～11:50	3 12:40～14:10	4 14:20～15:50	5 16:00～17:30	6 18:00～19:30	7 19:40～21:10
月							
火	応用臨床画像 診断学実習(CT・MRI)				緩和医療学実習 (PCU)		
	緩和医療学実習 (PCU)			臨床腫瘍学・基礎編			
水	緩和医療学実習 (PCU)		ニューロオンコジ- 放射線腫瘍療法セミナー (放射線腫瘍センター)	緩和医療学実習 (PCU)	消化器癌の免疫 機構と治療		
木	緩和医療学実習 (PCU)						
金	放射線腫瘍治療学実習 (放射線腫瘍センター)				緩和医療学実習 (PCU)		
	緩和医療学実習 (PCU)			臨床腫瘍学・臨床編			
土							

指定時間帯以外に実習等が行われる。



# 博士課程 「論文実習」



## 博士課程「論文基礎研究実習」(2単位：2年次必修)

## 博士課程「論文応用研究実習」(2単位：3年次必修)

### (授業概要)

学位論文を作成するにはオリジナルの論文が要求される。こうした論文全体の構想を視野に入れながら、研究指導教授の指導のもとに作成する。特に、大学院医学研究科博士課程学生諸君は1年次修了時点で研究指導教授の指導の下「研究題目」(注：3年間の研究テーマであり、学位論文のテーマではない)を設定し、専門領域及び共通科目で修得した知識、技術を応用し、博士論文を作成することになる。

以上の目的を達成するため、論文指導については2年次に「論文基礎研究実習(2単位)」を、3年次に「論文応用研究実習(2単位)」を必修として履修し、研究指導教授を含む複数名の指導体制を確立し、論文指導を実施する。

尚、全体構想の設定については、指導教授のアドバイスが与えられる。

区分	授業科目名	講・実	単位数	履修学年	指導方法
論文実習	論文基礎研究実習	実習	2単位	2年次必修	2年次の開始前までに指導教授及び指導担当教官を選定し、医学部事務部教務課に届出すること。
	論文応用研究実習	実習	2単位	3年次必修	2年次に引き続き指導教授及び複数名の指導教官の下、論文作成を行う。

### (教育の目標)

学位論文の作成を指導教授の指導のもとに行う。

### (教材・演習計画)

各指導教授の指導の下、研究計画を作成し、論文作成を行うものとする。また、教材は各指導教授が指示する。具体的な指導方法は指導教授が指示する。なお、研究指導計画は「久留米大学大学院医学研究科における学位論文指導計画等策定に関する内規」に示す計画モデルを参考にし、各自において立案すること。

### (履修方法)

本科目は2年次及び3年次にそれぞれ必修(計4単位)となっている。また、平成19年度以前に入学した学生は履修できない。

### (評価方法)

2年次及び3年次の論文指導を修了するそれぞれの年度末に総合的に評価する。AA～Dの評語を持って表し、C以上を合格とする。なお、博士課程学位論文の最終審査の可否とは異なるので注意すること。

## 博士課程「研究発表」(1単位：2年次または3年次必修)

### (授業概要)

大学院医学研究科博士課程の学生諸君は、1年次修了時点で研究指導教授の指導のもと「研究題目」を設定し、4年次修了までに博士論文を作成することになる。博士論文作成には指導教授による指導や助言が最も重要であるが、同じ博士課程で研究に従事する学生、医学研究科教授や学内の研究者とディスカッションすることも、研究の幅を広げ、質を深めるためには重要である。研究発表会は、そのための絶好の機会であり、発表会で研究テーマの概要、研究計画及び得られた成果などを発表することにより、自らの研究の進捗状況や問題点もチェックできる好機となる。

2年次あるいは3年次での「研究発表」を必修としているが、その選択については、指導教授と研究の進捗状況などを相談し決定する事が望ましい。

**なお、原則として1年次に「研究発表会」を聴講することとする。**

### (教育の目標)

研究発表を指導教授の指導のもとに行う。

### (履修方法)

本科目は、2年次あるいは3年次に必修(1単位)となっている。ただし、27年度以前に入学した学生は履修できない。

### (評価方法)

2年次あるいは3年次が修了する年度末に総合的に評価する。AA～Dの評語を持って表し、C以上を合格とする。

### (開催時期)

2025年12月8日 ・ 9日

**\* 日程は変更する場合がある。**

# 規 則 集





# 久留米大学大学院学則

## 第1章 総 則

(目 的)

**第1条** 久留米大学大学院(以下「本大学院」という。)は、学校教育法に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、文化の進展に寄与することを目的とする。

2 第2条第1項に規定する各研究科又は専攻の人材育成及び教育研究上の目的については、別に定める。

(課程及び組織)

**第2条** 本大学院に比較文化研究科、心理学研究科、ビジネス研究科及び医学研究科を設け、比較文化研究科、心理学研究科及び医学研究科に博士課程を、ビジネス研究科に修士課程をおく。ただし、医学研究科には博士課程の他に修士課程をおく。

2 比較文化研究科及び心理学研究科は、前期博士課程(2年)及び後期博士課程(3年)に区分し、前者を修士課程として取り扱うものとし、後者を博士課程として取り扱うものとする。医学研究科は、前期・後期の区分を設けないものとする。

3 前期博士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うものとする。

4 後期博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

(専 攻)

**第3条** 本大学院の各研究科の専攻は、次の表のとおりとする。

研究科名	課程名	専攻名
比較文化研究科	前期博士課程	比較文化専攻
	後期博士課程	比較文化専攻
心理学研究科	前期博士課程	臨床心理学専攻 人間行動心理学専攻
	後期博士課程	心理学専攻
ビジネス研究科	修士課程	ビジネス専攻
医学研究科	修士課程	医科学専攻 看護学専攻 総合生命科学・バイオ統計学専攻
	博士課程	生理系専攻 病理系専攻 社会医学系専攻 個別最適医療系専攻

## 第2章 修業年限，在学期間，学年学期及び休業

(修業年限)

**第4条** 標準修業年限は、次のとおりとする。

比較文化研究科 前期博士課程2年，後期博士課程3年

心理学研究科 前期博士課程2年，後期博士課程3年

ビジネス研究科 修士課程2年

医学研究科 修士課程2年，博士課程4年

2 比較文化研究科若しくは心理学研究科の前期博士課程又はビジネス研究科若しくは医学研究科の修士課程において入学を許された者のうち、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する旨を申し出ることができる。(これに該当する者を「長期履修学生」という。)

3 長期履修学生の修業年限は、比較文化研究科前期博士課程及びビジネス研究科修士課程においては4年，心理学研究科前期博士課程及び医学研究科修士課程においては3年とする。

4 長期履修の申請手続きについては、所定の書式により申請を行わなければならない。

5 長期履修の申請要件については、別に定める。

6 長期履修については、当該研究科委員会が相当と認め得たときは許可する。

7 長期履修の許可後、標準修業年限への変更及び修業年限の短縮は認めない。

(在学期間)

**第5条** 在学期間は、次のとおりとする。

比較文化研究科 前期博士課程4年，後期博士課程6年を超えることができない。

心理学研究科 前期博士課程4年，後期博士課程6年を超えることができない。

ビジネス研究科 修士課程4年を超えることができない。

医学研究科 修士課程4年，博士課程8年を超えることができない。

2 長期履修学生の在学年限は、前項の規定にかかわらず、比較文化研究科前期博士課程及びビジネス研究科修士課程においては6年，心理学研究科前期博士課程及び医学研究科修士課程においては5年を超えることができない。

(学年及び学期)

**第6条** 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年は、次の2期にわけらる。

前期 4月1日から10月15日まで

後期 10月16日から翌年3月31日まで

(休業)

**第7条** 休業日は、本大学学則第27条を準用する。

### 第3章 学生定員

(学生定員)

第8条 本大学院の学生定員は、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	前期博士課程		後期博士課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
比較文化研究科	比較文化専攻	30名	60名	12名	36名
心理学研究科	臨床心理学専攻	15名	30名		
	人間行動心理学専攻	5名	10名		
	心理学専攻			5名	15名

研究科名	専攻名	修士課程		博士課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
ビジネス研究科	ビジネス専攻	12名	24名		
医学研究科	医科学専攻	8名	16名		
	看護学専攻	15名	30名		
	総合生命科学・バイオ統計学専攻	8名	16名		
	生理系専攻			4名	16名
	病理系専攻			3名	12名
	社会医学系専攻			8名	32名
	個別最適医療系専攻			20名	80名

### 第4章 授業科目、履修方法、単位取得の認定

(授業科目及び単位)

第9条 本大学院は、各専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する基礎的素養を涵養する教育上の目的を達成するため、必要な科目を設置する。

2 本大学院における授業科目及びその配当単位数は、別表第1の1、別表第1の2、別表第1の3、別表第2の1、別表第2の2、別表第2の3、別表第3、別表第4の1及び別表第4の2のとおりとする。

(履修方法)

第10条 学生は、その在学期間中に、それぞれの専攻において定められた授業科目につき所定の単位を履修し、かつ、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

(教育方法の特例)

第10条の2 医学研究科においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(履修の認定)

**第11条** 授業科目の履修の認定は、試験あるいは研究報告等により行い、合格した科目については所定の単位を与える。

(他大学の大学院における授業科目の履修)

**第11条の2** 研究科において教育上有益と認めるときは、他大学の大学院(外国の大学院を含む。)との協定に基づき、学生が当該大学院の授業科目を履修することができる。

(他大学の大学院等における研究指導)

**第11条の3** 研究科において教育上有益と認めるときは、他大学の大学院又は研究所等(外国の大学院又は研究機関を含む。)との協定に基づき、学生が当該大学院等において必要な研究指導を受けることができる。

(最終試験)

**第12条** 最終試験は、学位論文を中心とし、これに関連する授業科目について行うものとする。

## 第5章 教員免許状及び資格取得等に関する事項

(免許状に関する事項)

**第12条の2** 中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状授与の所要資格を有する者で、当該免許教科に係る中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を取得しなければならない。

2 本大学院の比較文化研究科、心理学研究科及びビジネス研究科において、当該所要資格を取得できる中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状の免許教科の種類は、次の表に掲げるとおりとする。取得方法については、別に定める。

研究科名	専攻名	免許教科の種類
比較文化研究科	比較文化専攻	中学校教諭専修免許状 国語
		中学校教諭専修免許状 社会
		中学校教諭専修免許状 英語
		高等学校教諭専修免許状 国語
		高等学校教諭専修免許状 地理歴史
		高等学校教諭専修免許状 公民
		高等学校教諭専修免許状 英語
心理学研究科	臨床心理学専攻	高等学校教諭専修免許状 公民
	人間行動心理学専攻	高等学校教諭専修免許状 公民
ビジネス研究科	ビジネス専攻	高等学校教諭専修免許状 商業

(日本語教育)

**第12条の3** 本大学院の比較文化研究科に、外国人に日本語を教育する教員の養成を行うために必要な授業科目を開設する。

2 前項の取扱いについては、別に定める。

(公認心理師国家試験受験資格)

**第12条の4** 大学院心理学研究科における公認心理師国家試験受験資格取得志望者は、公認心理師法に定める所要単位を修得しなければならない。

2 前項の取扱いについては、別に定める。

## 第6章 学 位

(学 位)

**第13条** 本大学において授与する学位は、次のとおりとする。

比較文化研究科 修士，博士

心理学研究科 修士，博士

ビジネス研究科 修士

医学研究科 修士，博士

(学位の授与)

**第14条** 修士及び博士の学位は、次の者に対して、学長がこれを授与する。

修士の学位は、比較文化研究科若しくは心理学研究科の前期博士課程又はビジネス研究科若しくは医学研究科の修士課程において2年以上在学し、所定の単位を履修し、かつ、学位論文審査及び最終試験に合格した者

博士の学位は、比較文化研究科若しくは心理学研究科においては5年以上（前期博士課程の在学期間を含む。）又は医学研究科博士課程においては4年以上在学し、所定の単位を履修し、かつ、学位論文審査及び最終試験に合格した者

2 前項の規定にかかわらず、優れた研究業績を上げた者については、ビジネス研究科修士課程若しくは医学研究科修士課程において1年以上又は医学研究科博士課程において3年以上在学すればたりるものとする。ただし、ビジネス研究科修士課程及び医学研究科修士課程における長期履修学生には適用しない。

ビジネス研究科修士課程又は医学研究科修士課程 1年以上

比較文化研究科後期博士課程又は心理学研究科後期博士課程

3年以上（前期博士課程の在学期間を含む。ただし、当該課程に2年を超えて在学し修了した者にあつては、2年在学したものと換算する。）

(博士課程によらない学位授与)

**第15条** 比較文化研究科及び医学研究科の課程を経ない者で学位論文を提出し、その審査及び試験に合格し、前条第2号に該当する者と同等以上の学力があると認められた者には、博士の学位を学長が授与する。ただし、心理学研究科に係る博士については、研究科課程が完成し、かつ、前条第2号による学位授与が行われた後これを行うものとする。

(学位記の様式)

**第16条** 学位記の様式は、別に定める。

(博士学位論文の公表)

**第17条** 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとし、この場合には「久留米大学審査学位論文」と明記し

なければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に印刷公表したときは、この限りでない。

- 2 博士の学位を授与された者が行う前項の規定による公表は、インターネットの利用により行うものとする。

## 第7章 入学，再入学及び転入学

(入学資格)

**第18条** 比較文化研究科前期博士課程，心理学研究科前期博士課程，ビジネス研究科修士課程及び医学研究科修士課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する者とする。ただし，心理学研究科前期博士課程及びビジネス研究科修士課程については第8号を，医学研究科修士課程については，第9号及び第10号を適用しない。

学校教育法第83条に定める大学の卒業生

学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者

外国において，学校教育における16年の課程を修了した者

専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者  
文部科学大臣の指定した者

学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって，当該者をその後に入学させる本研究科において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，22歳に達したもの

学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

**第18条の2** 比較文化研究科後期博士課程及び心理学研究科後期博士課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する者とする。

修士の学位又は専門職学位を有する者

外国において修士の学位又は専門職に相当する学位を授与された者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者



文部科学大臣の指定した者

本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したものの

**第18条の3** 医学研究科博士課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

大学（医学，歯学，獣医学又は修業年限が6年の薬学の学部）を卒業した者

外国において、学校教育法における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，獣医学又は薬学）を修了した者

文部科学大臣の指定した者

本大学院において、個別の入学資格審査により、大学（医学，歯学，獣医学又は修業年限が6年の薬学の学部）を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達した者

（入学の時期）

**第19条** 入学の時期は、毎学年の始めとする。ただし、医学研究科においては、教育上支障がない場合は、学年の途中においても入学を許可することができる。

（入学者の選抜）

**第20条** 入学者の選抜については、別に定める。

（入学の手続）

**第21条** 入学（再入学及び転入学を含む。）を許可された者は、別に定めるところにより入学の手続を行い、かつ、誓約書を提出しなければならない。

2 前項の規定に反した者に対しては、入学許可の取消しを行うことがある。

（再入学）

**第22条** 課程の途中において退学した者で、再び同一専攻に入学を志願する者には、退学後2年以内限り、これを許可することができる。

（転入学）

**第23条** 他大学院学生が本大学院に転入学しようとするときは、当該大学院設置の大学の学長又は所属研究科科長の紹介状を添え、学長に転入学願を提出しなければならない。

2 前項の願出があったときは、欠員ある場合に限り選考のうえ許可することができる。

## 第8章 休学，復学，転学及び退学

（休学）

**第24条** 学生は、次の場合学長の許可を得て、その学期又は学年を限り休学することができる。

病気のため引続き2カ月以上就学不能のとき。

その他特別の事由があるとき。

**第25条** 疾病その他の事由によって学習することが不相当と認められる場合には、学長は休学を命ずることができる。

**第26条** 休学の期間は、通算して研究科の修業年限を超えることができない。

2 休学期間は、在学年数に算入しない。

3 長期履修学生については、通算して2年を超えて休学することができない。



(復 学)

**第27条** 休学の期間満了の場合又は休学期間内であっても、その理由が消滅した場合には、学長の許可を得て復学することができる。

(転 学)

**第28条** 学生が他の大学院に転学しようとするときは、事由を具して、学生の所属する研究科科長を経て、学長に転学願を提出しなければならない。

(退 学)

**第29条** 学生が退学しようとするときは、事由を具して学長に願い出て、その許可を得なければならない。

## 第9章 納 入 金

(入学検定料)

**第30条** 入学、再入学及び転入学を志願する者は、入学検定料を納入しなければならない。

2 入学検定料の納入額及び納入の時期は、別表第5に定める。

(入 学 金)

**第31条** 入学、再入学及び転入学を許可された者は、入学金を納入しなければならない。(ただし、別に定める場合を除く。)

2 入学金の納入額及び納入の時期は、別表第5に定める。

(授 業 料)

**第32条** 学生は、授業料を納入しなければならない。(ただし、別に定める場合を除く。)

2 授業料の納入額及び納入の時期は、別表第5に定める。

3 長期履修学生の授業料の額は、標準修業年限で支払う額を長期履修学生の修業年限(3年又は4年)に平分して得た額とする。ただし、長期履修学生の修業年限を超えて在学する場合は別表第5による。

(教育充実料)

**第32条の2** 学生は、教育充実料を納入しなければならない。(ただし、別に定める場合を除く。)

2 教育充実料の納入額及び納入の時期は、別表第5に定める。

3 長期履修学生の教育充実料の額は、標準修業年限で支払う額を長期履修学生の修業年限(3年又は4年)に平分して得た額とする。ただし、長期履修学生の修業年限を超えて在学する場合は別表第5による。

(実験実習料)

**第33条** 学生(比較文化研究科及びビジネス研究科の学生は除く。)は、実験実習料を納入しなければならない。(ただし、別に定める場合を除く。)

2 実験実習料の納入額及び納入の時期は、別表第5に定める。

3 長期履修学生の実験実習料の額は、標準修業年限で支払う額を長期履修学生の修業年限(3年又は4年)に平分して得た額とする。ただし、長期履修学生の修業年限を超えて在学する場合は別表第5による。

(休学時在籍料)

**第33条の2** 学生は、休学中、別表第5に定める休学時在籍料を納入しなければならない。

(学納金の返還)

**第34条** 入学金、授業料その他の既納の学納金は返還しない。ただし、第14条第2項に該当する者で修士課程を1年以上2年未満、博士課程を3年以上4年未満で修了する者については、授業料及び実験実習料を月割りで返還する。

## 第10章 職員組織

(科長)

**第35条** 各研究科に科長をおく。

2 科長の選出については、別に定める。

(教員)

**第35条の2** 本大学院における授業及び研究指導は、その有資格者がこれを行う。

(事務員)

**第36条** 本大学院の事務を処理するため事務員若干名をおく。

## 第11章 運営組織

(研究科委員会)

**第37条** 各研究科に研究科委員会をおき、所属教授をもって組織する。ただし、必要ある場合には、准教授をこれに参加させることができる。

2 研究科委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議のうえ意見を述べるものとする。

学生の入学及び課程の修了に関する事項

学位の授与に関する事項

前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、研究科委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定める事項

3 研究科委員会は、前項に規定するもののほか、学長及び研究科長等(以下「学長等」という。)がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

4 研究科科長は、研究科委員会を招集し、その議長となる。

5 研究科委員会に関する規程は、別に定める。

**第38条** 削除

**第39条** 削除

**第40条** 削除

## 第12章 研究指導施設

(研究室, 実験実習室)

**第41条** 本大学院に学生研究室及び実験実習室をおく。

2 学部及び研究所の施設は, 必要に応じ, 学生の研究及び指導のために用いる。

## 第13章 科目等履修生, 委託生, 外国人学生, 研究生, 特別聴講学生及び特別研究学生

(科目等履修生, 委託生, 外国人学生, 研究生, 特別聴講学生, 特別研究学生)

**第42条** 本大学院に科目等履修生, 委託生, 外国人学生, 研究生, 特別聴講学生及び特別研究学生制度をおく。

2 前項に関する規定は, 別に定める。

## 第14章 厚生保健施設

(厚生保健施設)

**第43条** 本大学学則第80条に掲げる厚生保健施設を大学院学生にも使用させる。

## 第15章 賞 罰

(表 彰)

**第44条** 人物及び学業の優秀な者は, 表彰することがある。

(懲 戒)

**第45条** この学則又はこれに基づき定められた学内諸規則に違反し, 学生としての本分にもとる行為があった者は, 懲戒する。懲戒は情状により戒告, 停学及び退学とする。

2 懲戒退学は, 次の各号の一に該当する者に対してこれを命ずる。

品行不良にして改善の見込みなしと認められる者

成業の見込みなしと認められる者

正当の理由なくして出席常でない者

学校の秩序を乱し, その他学生としての本分に著しく反した者

附 則

**第1条** この規則は, 昭和31年4月1日から施行する。ただし, 第15条の規定は, 第14条の規定による博士の学位の授与があった日から適用する。

**第2条** この規則に定めるもののほか, 本大学学則及び同共通細則の規定は大学院に準用する。

2 本大学学則及び共通細則をこの学則に準用する場合は, 「学部長」を「研究科科长」と読みかえるものとする。

附 則

この規則は, 昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和43年7月23日から施行し、昭和43年4月1日から適用する。

附 則（44．11．28）

この規則は、昭和45年4月1日から施行する。

附 則（45．8．25）

この規則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則（51．12．7）

この規則は、昭和51年12月7日から施行し、昭和51年4月1日から適用する。

附 則（52．2．8）

この規則は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則（54．1．26）

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（56．12．25）

1 この学則は、昭和57年3月1日から施行する。

2 学則第30条、第31条及び第32条については、昭和56年度までの入学生には適用せず改正前の規定による。

附 則（59．7．27）

この学則は、昭和59年9月1日から施行する。

附 則（60．9．27）

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（61．1．24）

1 この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

2 学則第31条及び第32条については、昭和60年度までの入学生には適用せず改正前の規定による。

附 則（62．2．27）

1 この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

2 学則第32条及び第33条については、昭和61年度までの入学生には適用せず改正前の規定による。

附 則（63．1．29）

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（63．10．28）

この学則は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則（1．3．24）

1 この学則は、平成元年4月1日から施行する。

2 入学金については、学則第31条第2項の定めにかかわらず、平成元年度入学者で平成元年3月31日までに入学の意思表示をした者には適用せず、改正前の規定による。

附 則（1．8．25）

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則（2．1．26）

- 1 この学則は、平成2年4月1日から施行する。
- 2 第32条第2項については、平成元年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。  
附則(2.10.23)  
この学則は、平成3年4月1日から施行する。  
附則(3.3.22)  
この学則は、平成3年4月1日から施行する。  
附則(3.9.28)  
この学則は、平成3年9月28日から施行し、同年7月1日から適用する。  
附則(3.9.28)  
この学則は、平成3年10月1日から施行する。  
附則(3.12.20)
- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 学則第31条及び第32条については、平成3年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。  
附則(4.3.27)  
この学則は、平成4年4月1日から施行する。  
附則(4.8.28)  
この学則は、平成4年8月28日から施行する。  
附則(5.10.29)
- 1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 学則第12条の2については、平成6年度入学生から適用する。  
附則(5.12.24)  
この学則は、平成6年4月1日から施行する。  
附則(6.1.28)
- 1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 学則第31条及び第32条については、平成5年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。  
附則(6.11.25)  
この学則は、平成6年11月25日から施行する。  
附則(6.11.25)
- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 学則第32条については、平成6年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。  
附則(6.12.22)  
この学則は、平成7年4月1日から施行する。  
附則(7.2.24)  
この学則は、平成7年4月1日から施行する。  
附則(8.3.28)
- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 第12条の2については、平成8年度入学生から適用する。  
附則(8.9.27)  
この学則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則 ( 8 . 12 . 20 )

- 1 この学則は，平成9年4月1日から施行する。
- 2 学則第32条については，平成8年度までの入学生には適用せず，改正前の規定による。

附 則 ( 9 . 3 . 28 )

この学則は，平成9年4月1日から施行する。

附 則 ( 10 . 1 . 30 )

この学則は，平成10年4月1日から施行する。

附 則 ( 10 . 1 . 30 )

この学則は，平成10年4月1日から施行する。

附 則 ( 10 . 3 . 27 )

- 1 この学則は，平成10年4月1日から施行する。
- 2 第18条の3については，平成10年度入学生から適用する。

附 則 ( 11 . 1 . 29 )

- 1 この学則は，平成11年4月1日から施行する。
- 2 学則第32条については，平成10年度までの入学生には適用せず，改正前の規定による。

附 則 ( 11 . 2 . 26 )

この学則は，平成11年4月1日から施行する。

附 則 ( 11 . 7 . 23 )

- 1 この学則は，平成12年4月1日から施行する。
- 2 学則第14条第2項及び第32条第2項については，平成11年度までの入学生には適用せず，改正前の規定による。

附 則 ( 12 . 2 . 25 )

この学則は，平成12年4月1日から施行する。

附 則 ( 12 . 5 . 26 )

- 1 この学則は，平成13年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず心理学研究科前期博士課程及び医学研究科修士課程については，平成13年度の学生の収容定員は，次の表のとおりとする。

年度	摘要	研 究 科	専 攻	収容定員
13		心 理 学 研 究 科	臨 床 心 理 学 専 攻	15
			人 間 行 動 心 理 学 専 攻	5
		医 学 研 究 科	医 科 学 専 攻	10

- 3 学則第8条の規定にかかわらず心理学研究科後期博士課程については，平成13年度及び平成14年度の学生の収容定員は，次の表のとおりとする。

年度	摘要	研 究 科	専 攻	収容定員
13		心 理 学 研 究 科	心 理 学 専 攻	5
14		心 理 学 研 究 科	心 理 学 専 攻	10

附 則 ( 13 . 2 . 23 )

- 1 この学則は，平成13年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず比較文化研究科前期博士課程，心理学研究科前期博士課程・後期博士課程及び医学研究科修士課程・博士課程については，平成13年度から平成15年度までの学生の収容定員は，次の表のとおりとする。

年度	摘要	研究科名	専攻名	課程名	収容定員
13		比較文化研究科	比較文化専攻	前期博士課程	72名
		心理学研究科	臨床心理学専攻	前期博士課程	15名
	人間行動心理学専攻		前期博士課程	5名	
	心理学専攻		後期博士課程	5名	
	医学研究科		医科学専攻	修士課程	10名
			生理系専攻	博士課程	43名
			病理系専攻	博士課程	35名
社会医学系専攻			博士課程	21名	
内科系専攻			博士課程	52名	
外科系専攻	博士課程	70名			
14		心理学研究科	心理学専攻	後期博士課程	10名
		医学研究科	生理系専攻	博士課程	38名
	病理系専攻		博士課程	30名	
	社会医学系専攻		博士課程	18名	
	内科系専攻		博士課程	48名	
外科系専攻	博士課程	60名			
15		医学研究科	生理系専攻	博士課程	33名
			病理系専攻	博士課程	25名
			社会医学系専攻	博士課程	15名
			内科系専攻	博士課程	44名
			外科系専攻	博士課程	50名

附則(13.9.28)

この学則は，平成14年4月1日から施行する。

附則(14.2.22)

この学則は，平成14年4月1日から施行する。

附則(14.3.22)

- 1 この学則は，平成14年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第3の1及び別表第3の2については，平成13年度までの入学生には適用せず，改正前の規定による。

附則(14.5.24)

- 1 この学則は，平成15年4月1日から施行する。
- 2 削除

附則(15.2.28)



この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 ( 15 . 9 . 26 )

この学則は、平成15年10月1日から施行する。

附 則 ( 15 . 4 . 25 )

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 ( 15 . 9 . 26 )

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず比較文化研究科後期博士課程及び医学研究科修士課程については、平成16年度及び平成17年度の学生の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	摘要	研究科名	専攻名	課程名	収容定員
16		比較文化研究科	比較文化専攻	後期博士課程	24名
		医学研究科	医科学専攻	修士課程	35名
17		比較文化研究科	比較文化専攻	後期博士課程	30名

附 則 ( 16 . 1 . 23 )

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 ( 16 . 3 . 26 )

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 ( 16 . 3 . 26 )

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらずビジネス研究科修士課程については、平成17年度の学生の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	摘要	研究科名	専攻名	収容定員
17		ビジネス研究科	ビジネス専攻	12名

附 則 ( 17 . 9 . 24 )

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 ( 17 . 1 . 28 )

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 ( 17 . 1 . 28 )

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 ( 18 . 1 . 27 )

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条の別表第1の1及び別表第1の2の論文指導の単位数の改正及び九州アジア政策文化コースの廃止については、平成17年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 ( 18 . 11 . 24 )

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 ( 19 . 1 . 26 )

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。



2 学則第9条の別表第1の2に係る保健・福祉社会文化コースのコース名称変更及び日本語教育学文化コースの一部科目のB類からA類への区分変更については、平成18年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

3 学則第32条の2については、平成18年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (19.3.26)

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (20.1.25)

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (20.3.28)

1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

2 学則第9条の規定にかかわらず、医学研究科修士課程の平成19年度入学者のうち、臨床看護学群がん看護論がん看護専門看護師教育課程履修希望者については、以下のとおり科目を読み替えるものとする。

授業科目及び配当単位数（平成19年度入学者）			授業科目及び配当単位数（読替後）			
区 分	授 業 科 目	単位数	区 分	授 業 科 目	単位数	備 考
基礎科目	看 護 倫 理	2	共通科目	看 護 倫 理	2	
基礎科目	看 護 管 理 論	2	共通科目	看 護 研 究 方 法	2	
基礎科目	コンサルテーション論	2	共通科目	コンサルテーション論	2	
基礎科目	看 護 理 論	2	共通科目	看 護 理 論	2	
専門科目	が ん 看 護 論 〔 が ん と 免 疫 〕	2	専攻分野 共通科目	が ん と 治 療 学	2	がんと治療学 がんと免疫を 整理統合した もの
特別科目	が ん と 治 療 学	2				
専門科目	が ん 看 護 論 〔 が ん 看 護 理 論 〕	2	専攻分野 共通科目	が ん 看 護 学 特 論	2	
特別科目	が ん 看 護 援 助 論	2	専攻分野 共通科目	が ん 看 護 援 助 論	2	
特別科目	が ん 化 学 療 法 に お け る 看 護 学	2	専攻分野 専攻科目	が ん 化 学 療 法 看 護 特 論	2	
特別科目	が ん タ ー ミ ナ ル 看 護 学	2	専攻分野 専攻科目	緩 和 ケ ア 特 論	2	
専門科目	臨 床 看 護 学 演 習 〔 が ん 看 護 〕	8	専攻分野 共通科目	が ん 看 護 援 助 論	2	臨床看護学演習〔がん看護〕 の2単位分
			専攻分野 専攻科目	が ん 看 護 学 課 題 研 究	2	臨床看護学演習2 単位分(臨地実習 と関連したもの)
特別科目	臨 床 看 護 学 実 践 演 習	8	専攻分野 専攻科目	が ん 看 護 学 課 題 研 究	2	臨床看護学演習2 単位分(臨地実習 と関連したもの)
			実習科目	が ん 看 護 学 実 習	4	
			実習科目	が ん 看 護 学 実 習	2	

附 則 (20 . 9 . 17)

この学則は，平成20年9月1日から施行する。

附 則 (20 . 4 . 25)

- 1 この学則は，平成21年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず比較文化研究科前期博士課程については，平成21年度の学生の収容定員は，次の表のとおりとする。

年度	摘要	研究科名	専攻名	課程名	収容定員
21		比較文化研究科	比較文化専攻	前期博士課程	78名

附 則 (21 . 2 . 27)

この学則は，平成21年4月1日から施行する。

附 則 (21 . 6 . 26)

- 1 この学則は，平成22年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず医学研究科博士課程については，平成22年度から平成24年度までの学生の収容定員は，次の表のとおりとする。

年度	摘要	研究科名	専攻名	課程名	収容定員
22		医学研究科	生理系専攻	博士課程	25名
			病理系専攻	博士課程	18名
			社会医学系専攻	博士課程	17名
23		医学研究科	生理系専攻	博士課程	22名
			病理系専攻	博士課程	16名
			社会医学系専攻	博士課程	22名
24		医学研究科	生理系専攻	博士課程	19名
			病理系専攻	博士課程	14名
			社会医学系専攻	博士課程	27名

附 則 (21 . 11 . 27)

- 1 この学則は，平成22年4月1日から施行する。
- 2 学則第32条第2項，第32条の2第2項，第33条第2項の別表第5の授業料，教育充実料及び実験実習料については，平成21年度までの入学生には適用せず，改正前の規定による。
- 3 学則第33条の2については，平成21年度までの入学生には適用せず，改正前の規定による。

附 則 (22 . 2 . 26)

この学則は，平成22年4月1日から施行する。

附 則 (23 . 2 . 25)

この学則は，平成23年4月1日から施行する。

附 則 (23 . 3 . 24)

- 1 この学則は，平成23年4月1日から施行する。
- 2 第9条別表第1の1，別表第1の2，別表第1の3に係る改正については，平成22年度以前の入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は，改正前の規定による。

附 則 (24. 2. 24)

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (24. 4. 27)

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (24. 3. 22)

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (25. 2. 22)

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (25. 3. 22)

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (26. 1. 24)

この学則は、平成26年1月24日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則 (26. 2. 28)

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (26. 4. 25)

この学則は、平成26年4月25日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則 (27. 2. 27)

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (27. 3. 27)

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (28. 1. 22)

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (28. 2. 26)

1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。

2 学則第9条別表第4の1及び第4の2については、平成27年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (28. 2. 26)

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (28. 7. 22)

この学則は、平成28年8月1日から施行する。

附 則 (28. 7. 22)

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (29. 2. 24)

1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。

2 学則第9条別表第4の1及び第4の2については、平成28年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (29. 11. 24)

1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。

2 学則第9条別表第2の1及び第2の2については、平成29年度までの入学生には適用せず、改正前

の規定による。

附 則 ( 29 . 12 . 22 )

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第4の1については、平成29年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 ( 30 . 12 . 27 )

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず医学研究科修士課程については、平成31年度の学生の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	適用	研究科名	専攻名	収容定員
31		医学研究科	医科学専攻	18名
			総合生命科学・バイオ統計学専攻	8名

- 3 学則第9条の別表第4の1については、平成30年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 ( 1 . 12 . 26 )

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 別表第2の1については、令和元年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。

附 則 ( 2 . 1 . 24 )

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則 ( 2 . 3 . 27 )

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則 ( 3 . 2 . 26 )

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第1の1、別表第1の2、別表第2の1及び別表第2の2については、令和2年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。

附 則 ( 3 . 2 . 26 )

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則 ( 3 . 5 . 28 )

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第4の1については、令和3年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 ( 4 . 2 . 25 )

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第2の1については、令和3年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。
- 3 学則第9条別表第2の2については、令和3年度以前入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 ( 4 . 2 . 25 )

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第4の1については、令和3年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得して

いる場合は、改正前の規定による。

附 則（４．２．２５）

この学則は、令和５年４月１日から施行する。

附 則（５．２．２４）

- 1 この学則は、令和５年４月１日から施行する。
- 2 学則第９条別表第１の２に係る欧米文化・言語教育学（英語・日本語）コースへのコース名称変更については、令和４年度以前の入学生には適用せず、改正前の規定による。
- 3 学則第９条別表第２の１及び別表第２の２については、令和４年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。

附 則（５．２．２４）

この学則は、令和５年４月１日から施行する。

附 則（６．２．２２）

- 1 この学則は、令和６年４月１日から施行する。
- 2 学則第９条別表第４の２については、令和５年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。

附 則（７．１．２４）

- 1 この学則は、令和７年４月１日から施行する。
- 2 学則第９条別表第４の１及び４の２については、令和６年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。

別表第1の1（第9条関係）

比較文化研究科前期博士課程（比較文化専攻）総合文化コース

授業科目及び配当単位数						
	授業科目区分	単位数	授業科目区分	単位数		
	授業科目		授業科目			
基礎科目	人文科学方法論特講	2	文化構造機能論特講			
	人文科学方法論特講	2		中世日本文学研究	4	
	社会科学方法論特講	2		中世日本文学研究	4	
	社会科学方法論特講	2		近世日本文学研究	4	
	情報科学方法論特講	2		近世日本文学研究	4	
	情報科学方法論特講	2		近代日本文学研究	4	
専門科目 （文化理論研究領域）	文化構造機能論特講			近代日本文学研究	4	
	中国文学思想研究	4		近現代日本文学研究	4	
	中国文学思想研究	4		近現代日本文学研究	4	
	古文書学研究	4		日本語方言論研究	4	
	古文書学研究	4		日本語方言論研究	4	
	人文地理学研究	4		日本比較文学研究	4	
	人文地理学研究	4		日本比較文学研究	4	
	文化財情報管理論研究	4		法文化論特講		
	文化財情報管理論研究	4			比較法哲学研究	4
	文化財保存管理学研究	4			比較法哲学研究	4
	文化財保存管理学研究	4			比較憲法研究	4
	文化構造機能論特講				比較憲法研究	4
	日本史学研究	4	比較法医学研究		4	
	日本史学研究	4	比較法医学研究		4	
	東洋史学研究	4	比較民法研究 A		4	
	東洋史学研究	4	比較民法研究 B		4	
	中国社会史研究	4	比較民法研究 C		4	
	中国社会史研究	4	比較民法研究 A		4	
	比較宗教史学研究	4	比較民法研究 B		4	
	比較宗教史学研究	4	比較民法研究 C	4		
	文化構造機能論特講		比較民法研究 C	4		
	日本漢詩文研究	4	比較民事法研究	4		
	日本漢詩文研究	4	比較民事法研究	4		
	日本語学研究	4	比較民事訴訟法研究	4		
	日本語学研究	4	比較民事訴訟法研究	4		
	言語文化構造論研究	4	比較刑法研究	4		
	言語文化構造論研究	4	比較刑法研究	4		
	古代日本語研究	4	比較刑事訴訟法研究	4		
古代日本語研究	4	比較刑事訴訟法研究	4			
上代日本文学研究	4	比較商法研究	4			
上代日本文学研究	4	比較商法研究	4			
中古日本文学研究	4	比較会社法研究	4			
中古日本文学研究	4	比較会社法研究	4			
		比較税法研究	4			

授業科目及び配当単位数						
授業科目区分		単位数	授業科目区分			
授業科目			授業科目			
専門科目 (文化理論研究領域)	法文化論特講		専門科目 (文化理論研究領域)	経済機能論特講		
	比較税法研究	4		経済統計論研究 B	4	
	比較行政法研究	4		流通システム論研究	4	
	比較行政法研究	4		流通システム論研究	4	
	比較社会保障法研究	4		国際貿易論研究	4	
	比較社会保障法研究	4		国際貿易論研究	4	
	比較知的財産法研究	4		非営利組織研究	4	
	比較知的財産法研究	4		非営利組織研究	4	
	比較労働法研究	4		オペレーションズリサーチ研究	4	
	比較労働法研究	4		オペレーションズリサーチ研究	4	
	政治文化論特講			ミクロ経済学研究	4	
	理論政治学研究	4		マクロ経済学研究	4	
	理論政治学研究	4		金融論研究	4	
	日本政治思想史研究	4		金融論研究	4	
	日本政治思想史研究	4		国際金融論研究	4	
	西洋政治思想史研究	4		国際金融論研究	4	
	西洋政治思想史研究	4		東南アジア経済論研究	4	
	東洋政治思想史研究	4		東南アジア経済論研究	4	
	東洋政治思想史研究	4		財政学研究	4	
	比較政治論研究	4		財政学研究	4	
	比較政治論研究	4		総合理論経済学研究	4	
	東アジア政治史研究	4		総合理論経済学研究	4	
	東アジア政治史研究	4		経済史特講		
	国際政治史研究	4		比較経済史研究	4	
	国際政治史研究	4		比較経済史研究	4	
	国際政治理論研究	4		中国財政史研究	4	
	国際政治理論研究	4		中国財政史研究	4	
	平和学研究	4		西欧経済史研究	4	
	平和学研究	4		西欧経済史研究	4	
	環境政治論研究	4		環境論特講		
	環境政治論研究	4		環境学分野	環境政策研究	4
	国際関係研究	4			環境政策研究	4
	経済機能論特講				環境法研究	4
	理論経済学研究	4			環境経済学研究	4
	理論経済学研究	4			環境経済学研究	4
	経済政策研究	4			地球環境政治論研究	4
	経済政策研究	4			環境アセスメント研究	4
	国際経済論研究	4			環境リスク論研究	4
	国際経済論研究	4			環境文化論研究	4
	経済統計論研究	4			地域環境論研究	4
経済統計論研究	4	自然環境論研究	4			
経済統計論研究 B	4	環境エネルギー論研究	4			



授業科目及び配当単位数								
授業科目区分	授業科目	単位数	授業科目区分	単位数				
					授業科目	単位数		
専門科目 (文化理論研究領域)	環境論特講							
	環境学分野	環境教育論研究	4	専門科目 (文化理論研究領域)	保健福祉機能論特講	ソーシャルワーク研究	4	
		環境福祉学研究	4			家族政策論研究	4	
		アジア地域環境論研究	4			家族政策論研究	4	
		アジア地域環境論研究	4			高齢者保健福祉研究	4	
		地理学分野	都市社会地理学研究			4	高齢者保健福祉研究	4
	都市社会地理学研究		4			公的扶助研究	4	
	経済地理学研究		4			公的扶助研究	4	
	経済地理学研究		4			社会学分野	福祉社会学研究	4
	地理情報システム研究		4				福祉社会学研究	4
	環境地理学研究		4				家族社会学研究	4
	環境地理学研究		4				家族社会学研究	4
	観光地理学研究		4				ジェンダー論研究	4
	観光地理学研究		4				ジェンダー論研究	4
	地誌学研究		4				都市社会学研究	4
	地誌学研究		4				都市社会学研究	4
	地理学野外研究		2		社会構造論研究		4	
	地理学野外研究		2		社会構造論研究		4	
	歴史地理学研究		2		産業社会学研究		4	
	歴史地理学研究		2		産業社会学研究		4	
	保健医療分野		精神保健学研究		4	環境社会学研究	4	
			精神保健学研究		4	環境社会学研究	4	
		精神医学研究	4		計量社会学研究	4		
		精神医学研究	4		計量社会学研究	4		
		生理心理学研究	4		数理科学方法論研究	4		
		生理心理学研究	4		政治社会学研究	4		
		精神科リハビリテーション	4		数理情報処理研究	4		
		精神保健福祉論研究	4		社会学研究	4		
		地域保健学研究	4		日本文化構造機能論特講			
		地域保健学研究	4		日本思想史研究	4		
	社会福祉分野	社会福祉学研究	4		日本思想史研究	4		
		社会福祉学研究	4		対照日本語学研究	4		
		家族福祉論研究	4		対照日本語学研究	4		
		家族福祉論研究	4		日本法・政治文化論特講			
		老人福祉論研究	4		日本現代政治史研究	4		
		老人福祉論研究	4		日本現代政治史研究	4		
		児童福祉論研究	4		日本法医学研究	4		
		医療福祉論研究	4		日本法医学研究	4		
		地域福祉論研究	4		日本経済・企業機能論特講			
		地域福祉論研究	4		日本経済史研究	4		
		学校ソーシャルワーク研究	4		日本経済史研究	4		
					アジア中東地域文化特講			
		中国思想史研究	4					



授業科目及び配当単位数				
授業科目区分	単位数	授業科目区分	単位数	
				授業科目
専門科目 (地域文化研究領域)	アジア中東地域文化特講		欧米地域文化特講	
	中国思想史研究	4	EU 経済研究	4
	中国文学史研究	4	EU 経済研究	4
	中国文学史研究	4	EU 政治研究	4
	中国政治史研究	4	EU 政治研究	4
	中国政治史研究	4	イギリス文学研究	4
	東アジア地域政治研究	4	イギリス文学研究	4
	中国現代政治外交史研究	4	世界演劇研究	4
	中国現代政治外交史研究	4	世界演劇研究	4
	中近東文化研究	4	世界英語文学研究	4
	中近東文化研究	4	世界英語文学研究	4
	中近東政治研究	4	英語教育・教育行政研究	4
	中近東政治研究	4	英語教育・教育行政研究	4
	ASEAN 研究	4	言語習得研究	4
	ASEAN 研究	4	言語習得研究	4
	イスラエル文化研究	4	アメリカ政治研究	4
	イスラエル文化研究	4	アメリカ政治研究	4
	朝鮮政治史研究	4	ラテンアメリカ地域研究	4
	朝鮮政治史研究	4	古代ローマ史研究	4
	欧米地域文化特講		古代ローマ史研究	
フランス経済史研究	4	書科 習	論文指導	1
ドイツ・オーストリア政治研究	4		論文指導	2
ドイツ・オーストリア政治研究	4			

別表第1の2（第9条関係）

比較文化研究科前期博士課程（比較文化専攻）専修文化コース

授業科目及び配当単位数							
	授業科目区分		授業科目区分	単位数			
	授業科目	単位数			授業科目	単位数	
法文化コース	基礎科目	憲法特講	4	理論・思想研究	理論政治学特講	4	
		憲法特講	4		理論政治学特講	4	
		民法特講 A	4		西洋政治思想特講	4	
		民法特講 B	4		西洋政治思想特講	4	
		民法特講 C	4		日本政治思想特講	4	
		民法特講 A	4		日本政治思想特講	4	
		民法特講 B	4		東洋政治思想特講	4	
		民法特講 C	4		東洋政治思想特講	4	
		民事法特講	4		国際政治理論特講	4	
		民事法特講	4		国際政治理論特講	4	
		商法特講	4		比較政治論特講	4	
		商法特講	4		比較政治論特講	4	
		会社法特講	4		平和学特講	4	
		会社法特講	4		平和学特講	4	
		刑法特講	4		地球環境政治論特講	4	
		刑法特講	4		政治思想史特講	4	
		民事訴訟法特講	4		政治思想史特講	4	
		民事訴訟法特講	4		政治社会学特講	4	
	刑事訴訟法特講	4	数理情報処理特講	4			
	刑事訴訟法特講	4	日本政治外交史特講	4			
	行政法特講	4	日本政治外交史特講	4			
	行政法特講	4	現代日本政治史特講	4			
	法哲学特講	4	現代日本政治史特講	4			
	法哲学特講	4	朝鮮政治史特講	4			
	特殊研究科目	税法特講	4	政治史研究	朝鮮政治史特講	4	
		税法特講	4		中国政治外交史特講	4	
		労働法特講	4		中国政治外交史特講	4	
		労働法特講	4		東アジア政治史特講	4	
		国際関係特講	4		東アジア政治史特講	4	
		国際法特講	4		国際政治史特講	4	
		国際法特講	4		国際政治史特講	4	
		社会保障法特講	4		地域政治研究	アジア地域政治特講	4
		社会保障法特講	4			アメリカ地域政治特講	4
		法医学特講	4			アメリカ地域政治特講	4
		法医学特講	4			中近東地域政治特講	4
		日本法医学特講	4			中近東地域政治特講	4
日本法医学特講		4	アフリカ地域政治特講			4	
知的財産法特講		4	アフリカ地域政治特講			4	
知的財産法特講		4	スラヴ地域政治特講			4	

授業科目及び配当単位数								
授業科目区分		単位数	授業科目区分		単位数			
						授業科目	授業科目	
政治文化コース	地域政治研究	スラヴ地域政治特講	4	経済文化コース	経済機能論	ツーリズム特講	4	
		ヨーロッパ地域政治特講	4			ツーリズム特講	4	
		ヨーロッパ地域政治特講	4			財政学特講	4	
		EU 政治特講	4			財政学特講	4	
		EU 政治特講	4			西洋経済史特講	4	
		ASEAN 政治特講	4		経済史・歴史	西洋経済史特講	4	
		ASEAN 政治特講	4			日本経済史特講	4	
		イスラム政治特講	4			日本経済史特講	4	
		イスラム政治特講	4			中国経済史特講	4	
		イスラム政治特講	4			中国経済史特講	4	
経済文化コース	理論経済	理論経済学特講	4	日本・東アジア・イスラム文化コース	A類	中国経済史特講	4	
		理論経済学特講	4			日本思想史特講	4	
		理論経済学特講	4			日本思想史特講	4	
	経済統計	経済統計論特講	4			日本漢詩文特講	4	
		経済統計論特講	4			日本漢詩文特講	4	
		経済統計論特講 B	4			近代日本文学特講	4	
		経済統計論特講 B	4			近代日本文学特講	4	
	経済機能論	経済地理学特講	4			近代日本文学特講	4	
		経済地理学特講	4			近現代日本文学特講	4	
		イギリス経済論特講	4			近現代日本文学特講	4	
		イギリス経済論特講	4		日本・イスラム比較文化特講	4		
		文化教育行財政特講	4		日本・イスラム比較文化特講	4		
		文化教育行財政特講	4		朝鮮政治史特講	4		
		文化経済論特講	4		朝鮮政治史特講	4		
		文化経済論特講	4		中国文学史特講	4		
		環境政策特講	4		中国文学史特講	4		
		環境政策特講	4		イスラム文化特講	4		
		非営利組織特講	4		イスラム文化特講	4		
		非営利組織特講	4		中近東政治特講	4		
		国際経済論特講	4		中近東政治特講	4		
		国際経済論特講	4		英米文化・言語教育学(英語・日本語)コース	イギリス文化論特講	4	
		オペレーションズリサーチ特講	4			イギリス文化論特講	4	
		オペレーションズリサーチ特講	4			イギリス小説特講	4	
		ミクロ経済学特講	4			イギリス小説特講	4	
	マクロ経済学特講	4	イギリス詩特講			4		
	経済政策特講	4	イギリス詩特講			4		
	経済政策特講	4	イギリス批評特講			4		
	経済機能論	アジア地域環境論特講	4			イギリス批評特講	4	
		アジア地域環境論特講	4			アメリカ文化論特講	4	
		国際貿易論特講	4			アメリカ文化論特講	4	
		国際貿易論特講	4			アメリカ小説特講	4	
		東南アジア経済論特講	4			アメリカ小説特講	4	
		東南アジア経済論特講	4			イギリス思想特講	4	
							イギリス思想特講	4

授業科目及び配当単位数							
	授業科目区分		単位数	授業科目区分			
	授業科目			授業科目	単位数		
英米文化・言語教育学（英語・日本語）コース	A類	イギリス歴史特講	4	健康文化コース	健康行動・トレーニング論特講	4	
		イギリス歴史特講	4		身体動作論特講	4	
		日英社会構造比較特講	4		運動処方論特講	4	
		日英社会構造比較特講	4		健康度情報論特講	2	
		世界演劇論特講	4		運動コンディショニング論特講	2	
		世界演劇論特講	4		運動障害論特講	4	
		世界英語文学特講	4		アスレティック・リハビリテーション論特講	4	
		世界英語文学特講	4		バイオメカニクス特講	4	
		古代ローマ史特講	4		機能解剖学特講	4	
		古代ローマ史特講	4		健康心理学特講	2	
	B類	英語音声学特講	4	保健福祉社会学コース	健康文化・スポーツ医学	スポーツ・カウンセリング論特講	4
		英語音声学特講	4		伝統医学論特講（漢方）	2	
		英語統語論特講	4		伝統医学論特講（食養）	2	
		英語統語論特講	4		生涯スポーツ経営論特講	2	
		英語意味論特講	4		保健医療分野	精神保健学特講	4
		英語意味論特講	4			精神保健学特講	4
		英語教育・教育行政学特講	4			精神科リハビリテーション学特講	4
		英語教育・教育行政学特講	4			精神科リハビリテーション学特講	4
		対照言語学特講	4			医療心理学特講	4
		対照言語学特講	4			医療心理学特講	4
	第2言語習得機構	4	精神保健福祉論特講	4			
	言語教授法機構	4	障害心理学特講	4			
	研究方法論特講	4	地域保健学特講	4			
	日本語教育方法論特講	4	地域保健学特講	4			
	C類	日本語構造論特講	4	社会福祉分野	社会福祉学特講	4	
		日本語教授法実習	4		社会福祉学特講	4	
		日本語音声学特講	4		社会福祉援助技術特講	4	
		社会言語学特講	4		障害者福祉論特講	4	
		量的研究方法論特講	4		児童福祉論特講	4	
		言語テスト特講	4		家族福祉論特講	4	
	D類	異文化コミュニケーション特講	4	社会福祉社会学コース	家族福祉論特講	4	
		異文化コミュニケーション特講	4		老人福祉論特講	4	
		フランス文学特講	4		老人福祉論特講	4	
		フランス文学特講	4		地域福祉論特講	4	
		フランス歴史特講	4		地域福祉論特講	4	
	健康文化コース	健康科学	フランス歴史特講	4	社会福祉分野	医療福祉論特講	4
			運動生理学特講	4		学校ソーシャルワーク特講	4
			運動生化学特講	2		家族政策論特講	4
			運動細胞生物学特講	2		家族政策論特講	4
			身体構成学特講	4		高齢者保健福祉論特講	4
健康栄養学特講			2	公的扶助特講		4	
				公的扶助特講	4		

授業科目及び配当単位数						
授 業 科 目 区 分		単位数	授 業 科 目 区 分			
					授 業 科 目	単位数
保健福祉社会学コース	社会学分野	人間形成論特講	4	環境コース	地球環境政治論特講	4
		人間形成論特講	4		自治体環境行政法特講	2
		福祉社会学特講	4		企業環境法特講	2
		家族社会学特講	4		環境アセスメント制度特講	2
		ジェンダー論特講	4		環境アセスメント制度特講	2
		ジェンダー論特講	4		地理情報システム特講	4
	社会学分野	都市社会学特講	4		環境リスク論特講	4
		都市社会学特講	4		環境マネジメント特講	4
		計量社会学特講	4		地域環境保全論特講	4
		計量社会学特講	4		地域環境論特講	4
		理論社会学特講	4		自然環境論特講	4
		理論社会学特講	4		環境エネルギー論特講	4
		文献調査法特講	4		環境教育特講	4
		文献調査法特講	4		非営利組織特講	4
		産業社会学特講	4		アジア地域環境論特講	4
		産業社会学特講	4		アジア地域環境論特講	4
		政治社会学特講	4		環境経済論特講	4
		数理情報処理特講	4		環境経済論特講	4
		社会学研究特講	4		環境福祉学特講	4
		地理科学文化コース	経済地理学特講		4	地域社会・経済コース
経済地理学特講	4		ミクロ経済学特講	4		
人文地理学特講	4		マクロ経済学特講	4		
人文地理学特講	4		マクロ経済学特講	4		
都市社会地理学特講	4		経済政策特講	4		
都市社会地理学特講	4		経済開発特講	4		
地理情報システム特講	4		金融論特講	4		
地理学野外調査	2		国際貿易論特講	4		
地理学野外調査	2		国際経済論特講	4		
歴史地理学特講	2		国際金融論特講	4		
歴史地理学特講	2		ジェンダー経済論特講	4		
環境政策特講	4		筑後川流域社会経済論特講	4		
環境政策特講	4		日本経済論特講	4		
環境地理学特講	4		日本经济社会論特講	4		
環境地理学特講	4		西洋経済史特講	4		
観光地理学特講	4		ヨーロッパ社会経済論特講	4		
観光地理学特講	4		イギリス社会経済論特講	4		
地誌学特講	4		スウェーデン社会経済論特講	4		
地誌学特講	4		フィリピン社会経済論特講	4		
地誌学特講	4		東南アジア社会経済論特講	4		
環境コース	環境文化論特講	4	イスラム社会経済論特講	4		
	環境政策特講	4	ジェンダー社会論特講	4		
	環境政策特講	4	福祉社会論特講	4		

授業科目及び配当単位数							
	授業科目区分		単位数	授業科目区分		単位数	
	授業科目			授業科目			
経済コース 地域社会・	東南アジア経済論特講		4	経済コース 地域社会・	文化財保存管理論特講		4
	スペイン社会経済論特講		4		文化財保存管理論特講		4
	ラテンアメリカ社会経済論特講		4		論文指導		1
	文化財情報管理論特講		4		論文指導		2
	文化財情報管理論特講		4				

別表第1の3（第9条関係）

比較文化研究科後期博士課程（比較文化専攻）

授業科目及び配当単位数				
授業科目区分		単位数	授業科目区分	
授業科目			授業科目	
文化構造機能論研究系			法文化論研究系	
文化構造機能論特研			法文化論特研	
比較宗教文化学特別研究	4		比較税法特別研究	4
中国文学思想特別研究	4		政治文化論研究系	
人文地理学特別研究	4		政治文化論特研	
文化構造機能論特研			比較行政法特別研究	4
日本史学特別研究	4		理論政治学特別研究	4
日本漢文学史特別研究	4		政治思想史特別研究	4
中国思想史特別研究	4		西洋政治思想特別研究	4
東洋史学特別研究	4		日本現代政治史特別研究	4
中国社会史特別研究	4		東アジア地域政治特別研究	4
中国文学史特別研究	4		ドイツ・オーストリア政治特別研究	4
中国政治史特別研究	4		比較政治論特別研究	4
朝鮮政治史特別研究	4		国際政治理論特別研究	4
文化構造機能論特研			アメリカ政治特別研究	4
イギリス小説特別研究	4		EU 政治特別研究	4
イギリス詩特別研究	4		中近東政治特別研究	4
イギリス批評特別研究	4		ASEAN 政治特別研究	4
世界演劇論特別研究	4		朝鮮現代政治史特別研究	4
世界英語文学特別研究	4		経済機能論研究系	
古代ローマ史特別研究	4		経済機能論特研	
言語習得特別研究	4		理論経済学特別研究	4
日本漢詩文特別研究	4		比較経営論特別研究	4
日本思想史特別研究	4		経済統計論特別研究	4
日本言語学特別研究	4		商業論特別研究	4
言語文化構造論特別研究	4		流通経済論特別研究	4
古代日本語特別研究	4		証券経済論特別研究	4
上代日本文学特別研究	4		経営戦略論特別研究	4
中古日本文学特別研究	4		管理会計史特別研究	4
中世日本文学特別研究	4		韓国経済特別研究	4
近世日本文学特別研究	4		日本経済史特別研究	4
近現代日本文学特別研究	4		中国財政史特別研究	4
法文化論研究系			西欧経済史特別研究	4
法文化論特研			比較経済史特別研究	4
比較法哲学特別研究	4		社会科学方法論特別研究	4
比較憲法特別研究	4		経済政策特別研究	4
比較民法特別研究	4		国際ビジネス論特別研究	4
比較民事法特別研究	4		マーケティング論特別研究	4
比較刑法特別研究	4		人的資源管理論特別研究	4



授業科目及び配当単位数				
授業科目区分		単位数	授業科目区分	
授業科目			授業科目	
経済機能論研究系			保健福祉機能論特研	
経済機能論特研			家族福祉論特別研究	4
	資本金論特別研究	4	家族政策論特別研究	4
	オペレーションズ・リサーチ特別研究	4	老人福祉論特別研究	4
	総合理論経済学特別研究	4	地域福祉論特別研究	4
	原価計算論特別研究	4	精神医学特別研究	4
	会計監査論特別研究	4	精神保健学特別研究	4
	経営学史特別研究	4	福祉社会論特別研究	4
	国際金融論特別研究	4	ソーシャルワーク特別研究	4
環境論研究系			社会構造論特別研究	4
環境論特研			都市社会学特別研究	4
	環境政策特別研究	4	計量社会学特別研究	4
	環境法特別研究	4	数理科学方法論特別研究	4
	環境経済学特別研究	4	高齢者保健福祉特別研究	4
	環境アセスメント特別研究	4	論文指導	4
	環境リスク論特別研究	4		
	環境福祉学特別研究	4		
	環境教育論特別研究	4		
	地域環境論特別研究	4		
	都市社会地理学特別研究	4		
	経済地理学特別研究	4		
	地理学野外特別研究	2		
	地誌学特別研究	4		



別表第2の1（第9条関係）

心理学研究科前期博士課程（臨床心理学専攻）

授業科目及び配当単位数					
	授業科目区分	単位数	授業科目区分	単位数	
	授業科目		授業科目		
基礎科目	臨床心理学特論	4	専門	心の健康教育に関する理論と実践（健康心理学特論）	2
	臨床心理面接特論	4		健康心理学研究特論	2
	臨床心理査定演習（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2		健康心理学研究特論	2
	臨床心理査定演習	2		健康心理学研究特論	2
	臨床心理基礎実習	2		健康心理学研究特論	2
	心理実践実習	2		投映法特論	2
	臨床心理実習（心理実践実習）	2		福祉分野に関する理論と支援の展開（障害者（児）心理学特論）	2
	臨床心理実習	2		臨床薬理学特論	2
専門	心理実践実習	2	科目	心理支援に関する理論と実践（心理療法特論）	2
	心理実践実習	2		教育分野に関する理論と支援の展開（学校臨床心理学特論）	2
	臨床心理面接実習	4		キャリアカウンセリングの理論と実際	2
	心理学研究法特論（研究倫理を含む）	2		小児科学	2
	心理統計解析特論	2		行動療法特論	2
	心理統計解析特論	2		保健医療分野に関する理論と支援の展開（神経生理学特論）	2
	臨床心理学研究特論	2		臨床心理地域援助特論	2
	臨床心理学研究特論	2		産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2
	臨床心理学研究特論	2		知覚心理学特論	2
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践（家族心理学特論）	2		目	論文指導
発達心理学特論	2	論文指導	4		
認知心理学特論	2	論文指導	2		
教育心理学特論	2	論文指導	2		
教育心理学特論	2	論文指導	4		
科目	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開（犯罪心理学特論）	2			
	社会心理学特論	2			

別表第2の2（第9条関係）

心理学研究科前期博士課程（人間行動心理学専攻）

授業科目及び配当単位数					
	授業科目区分		授業科目区分	単位数	
	授業科目	単位数			授業科目
基礎科目	心理学研究法特論(研究倫理を含む)	2	専門科目	認知心理学特論	2
	心理統計解析特論	2		認知心理学研究特論	2
	心理統計解析特論	2		認知心理学研究特論	2
専門科目	人間行動心理学研究 A	2		認知心理学研究特論	2
	人間行動心理学研究 B	2		認知心理学研究特論	2
	人間行動心理学研究 A	2		知覚心理学特論	2
	人間行動心理学研究 B	2		知覚心理学研究特論	2
	人間行動心理学研究 A	2		知覚心理学研究特論	2
	人間行動心理学研究 B	2		知覚心理学研究特論	2
	発達心理学特論	2		知覚心理学研究特論	2
	発達心理学研究特論	2	キャリアカウンセリングの理論と実際	2	
	発達心理学研究特論	2	行動療法特論	2	
	発達心理学研究特論	2	その他の科目	福祉分野に関する理論と支援の展開(障害者(児)心理学特論)	2
	社会心理学特論	2		臨床薬理学特論	2
	社会心理学研究特論	2		保健医療分野に関する理論と支援の展開(精神医学特論)	2
	社会心理学研究特論	2		教育分野に関する理論と支援の展開(学校臨床心理学特論)	2
	社会心理学研究特論	2		論文指導	4
	教育心理学特論	2		論文指導	4
	教育心理学研究特論	2		論文指導	2
	教育心理学研究特論	2	論文指導	2	
教育心理学研究特論	2	論文指導	4		

別表第2の3（第9条関係）

心理学研究科後期博士課程（心理学専攻）

（平成31年度以前入学生適用）

授業科目及び配当単位数				
	授業科目区分	単位数	授業科目区分	単位数
	授業科目		授業科目	
人間行動心理・臨床心理	認知心理学特別研究	4	論文指導	4
	社会心理学特別研究	4	論文指導	4
	発達心理学特別研究	4	論文指導	4
	教育心理学特別研究	4		
	心理学研究法特別研究	4		
	健康心理学特別研究	4		
	臨床心理学特別研究	4		
	臨床心理学特別研究	4		
	臨床心理学特別研究	4		
	精神医学特別研究	4		
	心理学研究推進特別研究	4		

（令和2年度以降入学生適用）

授業科目及び配当単位数				
	授業科目区分	単位数	授業科目区分	単位数
	授業科目		授業科目	
人間行動心理・臨床心理	認知心理学特別研究	2	論文指導	4
	認知心理学特別研究	2	論文指導	4
	社会心理学特別研究	2	論文指導	4
	社会心理学特別研究	2		
	発達心理学特別研究	2		
	発達心理学特別研究	2		
	教育心理学特別研究	2		
	教育心理学特別研究	2		
	心理学研究法特別研究	2		
	心理学研究法特別研究	2		
	健康心理学特別研究	2		
	健康心理学特別研究	2		
	臨床心理学特別研究A	2		
	臨床心理学特別研究A	2		
	臨床心理学特別研究B	2		
	臨床心理学特別研究B	2		
	臨床心理学特別研究C	2		
	臨床心理学特別研究C	2		
	臨床心理学特別研究D	2		
	臨床心理学特別研究D	2		
	精神医学特別研究	2		
精神医学特別研究	2			
心理学研究推進特別研究	2			
心理学研究推進特別研究	2			

別表第3（第9条関係）

ビジネス研究科修士課程（ビジネス専攻）

授業科目及び配当単位数				
授業科目区分		単位数	授業科目区分	
授業科目			授業科目	
基礎科目			アカウンティングコース	
商学	2	簿記原理	4	
経営学	2	財務諸表論	4	
会計学	2	財務会計論	4	
基礎情報科学	2	会計情報論	4	
会社法	2	キャッシュフロー会計論	4	
演習		管理会計論	4	
演習（研究指導）	4	管理会計史	4	
演習（論文指導）	4	原価計算論	4	
演習（研究指導）	2	国際会計論	4	
演習（研究指導）	2	知財会計論	4	
演習（研究指導）	2	経営分析論	4	
演習（論文指導）	2	会計監査論	4	
マネジメントコース		原価企画論	4	
経営管理論	4	原価管理論	4	
経営診断論	4	税務会計論	4	
経営組織論	4	法人税法	4	
経営財務論	4			
経営史	4			
交通論	4			
証券市場論	4			
人的資源管理論	4			
商業論	4			
マーケティング論	4			
国際マーケティング論	4			
流通システム論	4			
保険論	4			
国際物流論	4			
経営戦略論	4			
経営情報システム論	4			
ITビジネス論	4			
ロジスティックス論	4			
イノベーションマネジメント論	4			
NPO経営論	4			
地域産業論	4			
国際ビジネス論	4			
比較経営論	4			
金融論	4			
経営科学論	4			
経営政策論	4			
サービスビジネス論	4			
観光ビジネス論	4			

別表第4の1(第9条関係)

医学研究科修士課程

		授業科目区分		単位数				授業科目区分		単位数				
		授業科目		講	演 実			授業科目		講	演 実			
基礎科目		人体構造学	2		感染症看護分野	専攻分野専門科目	感染制御学特論	2		老年看護分野	共通科目	老年看護学特論	2	
		人体機能学	2				感染看護学特論	2				老年看護学特論	2	
		臨床医学概論	2				感染看護学特論	2				老年看護学特論	2	
		社会医学概論	1				感染看護学特論	1				老年看護学特論	2	
		物理学特論	1				感染看護学特論	1				高齡者病態治療学	2	
		生物学特論	1				感染看護学特論	2				老年看護学演習	2	
		化学特論	1				感染看護学特論	2				老年看護学演習	2	
		医学教育学	4				感染症看護援助論	2				老年看護学特別研究	4	
		生命倫理	1				感染症看護援助論	2				老年看護学実習	2	
		臨床遺伝学	1				感染看護学特別研究	1				老年看護学実習	3	
		移植医学	1				感染看護学特別研究	3				老年看護学実習	5	
		リハビリテーション医学	1				感染看護学実習		2			小児看護学特論	1	
		医学工学概論	1				感染看護学実習		4			小児看護学特論	1	
		実験動物学	1				感染看護学実習		4			小児看護学特論	2	
		看護理論	2				国際感染看護学実習		2			小児看護対象論	2	
		看護倫理	2				国際感染看護学実習		4			小児看護援助論	2	
		コンサルテーション論	2									小児看護援助論	2	
		先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2									小児看護援助論	2	
		大学院セミナーシリーズ	1									小児診断治療学	2	
		看護研究方法	2									小児看護学特別研究	4	
		看護政策論	2									小児看護学実習	2	
		バイオ統計基礎ユニット	1									小児看護学実習	2	
		バイオ統計応用ユニット	2									小児看護学実習	2	
		知的財産権論	2									小児看護学実習	2	
		臨床研究入門	2									小児看護学実習	2	
		臨床薬理学概論	2									小児看護学実習	2	
フィジカルアセスメント	2					小児看護学実習	2							
病態生理学	2					小児看護学実習	2							
医療経営	2					小児看護学実習	2							
医療経済学	2					小児看護学実習	2							
看護管理論	2					小児看護学実習	2							
科目 共通		論文指導演習	4			共通科目	専攻分野							
専攻科目	基礎医学群	生体構造・細胞生物学	4		小児看護分野	実習科目	小児看護学特論	1		助産学分野	基礎	助産学概論	2	
		神経科学・臨床生理学	4				小児看護学特論	1				ウィメンズヘルス特論	2	
		代謝病態学	4				小児看護学特論	2				助産と生殖科学	2	
		臨床薬理学	4				小児看護対象論	2				助産学特論 - 妊娠期	2	
		病理・病態学	4				小児看護援助論	2				助産学特論 - 分娩期	2	
		感染病態学	4				小児看護援助論	2				助産学特論 - 産褥期	2	
		生体防御学	4				小児看護援助論	2				助産学特論 - 乳幼児期	2	
		化学生物学(ケミカルバイオロジー)	4				小児診断治療学	2				助産学特論 - ハイリスク	2	
		基礎医学演習	4				小児看護学特別研究	4						
		環境医学	4				小児看護学実習		2					
社会医学群	免疫・予防医学	4		助産学	技術学	地域母子保健特論	2		管理	助産	助産マネジメント論	2		
	人類遺伝学	4				助産学特論	2							
	健康科学	4				助産学特論	2							
	リハビリテーションバイオメカニクス学	4				助産学特論	2							
	社会医学演習	4				助産学特論	2							
看護教育	共通科目	看護教育管理特論	2		助産学	地域母子保健	看護教育管理特論	2		助産	管理			
		看護教育管理学演習	2				看護教育管理学演習	2						
		医療情報管理学演習	4				保健科学看護特論	2						
		保健科学看護特論	2				保健科学看護特論	2						
		保健科学看護特論	2				教育管理学研究演習	4						
		教育管理学研究演習	4				教育管理学特別研究	4						
		教育管理学特別研究	4											

		授業科目区分		単位数				授業科目区分		単位数	
		授業科目		講	演			実	授業科目		講
がん看護分野	共通科目	がん診断治療学	2			助産学分野	基礎科目	助産学基礎実習		8	
		がん看護特論	2					助産学基礎実習		2	
		がん看護援助論	2					地域助産学実習		1	
		がん緩和ケア地域連携教育論	2					ヒューマンセクシュアリティ論	1		
	専攻分野	がん薬物療法看護特論	2					ハイリスク周産期論	2		
		がん薬物療法看護特論	2					母子の心理・社会学	2		
		緩和ケア看護特論	2					高次助産診断・技術演習	2		
		緩和ケア看護特論	2					高次助産診断・技術演習	1		
	実習科目	がん看護学特別研究	4					ウィメンズヘルス演習	1		
		がん看護学実習		2				助産技術演習	1		
		がん看護学実習		1				周産期医療政策・環境論	2		
		がん看護学実習		3				国際助産論	1		
		がん看護学実習		2				ハイリスクシミュレーション演習	1		
					ハイリスク周産期実習		2				
					ハイリスク周産期実習		2				
					上級実践助産学実習		2				
					助産学研究演習		4				
					助産学特別研究		4				
総合生命科学群	専門応用科目	研究マネジメント	2			総合生命科学群	専門応用科目	バイオサイエンス実験法	2		
		サイエンスコミュニケーション	2					バイオサイエンス実験法(実習)		2	
		科学文章の書き方と論文作成	2					実験動物のサイエンス	2		
		バイオベンチャー論	2					実験動物のサイエンス(実習)		2	
		疾患の生命科学	2					モデル生物のサイエンス : 酵母	2		
		細胞内オルガネラの分子生物学	2					モデル生物のサイエンス : 酵母(実習)		2	
		細胞シグナリング	2					モデル生物のサイエンス : ショウジョウバエ, 線虫	2		
		臓器関連の分子生物学	2					モデル生物のサイエンス : ショウジョウバエ, 線虫(実習)		2	
		摂食・ストレス・老化の科学	2					バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論	2		
		生体のエネルギー代謝科学	2					バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論(実習)		2	
バイオ統計学群	専門応用科目	臨床試験の基礎とデータ解析	2			バイオ統計学群	専門応用科目	バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン	2		
		医用データ解析	2					バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン(実習)		2	
		バイオ統計データ解析入門	2					バイオベンチャー・インターンシップ		2	
		観察データ解析概論	2					生存分析とその応用	2		
		ゲノムサイエンス概論	2					観察データ解析特論	1		
		薬物動態・薬力学データの解析	1					バイオ統計セミナー	3		
		バイオ統計基礎	4					バイオインフォマティクスセミナー	3		
バイオ統計数理	4			プロトコル作成と研究デザイン	1						
総合生命科学群・バイオ統計学群	共通科目	研究倫理	2			総合生命科学群・バイオ統計学群	共通科目	観察データ解析特論	1		
		分子細胞生物学	2					バイオ統計セミナー	4		
		ゲノム生物学概論	2					バイオインフォマティクスセミナー	4		
		オミクス解析特論	1					環境データ解析特論	1		
		バイオインフォマティクス特論	1					バイオデータモデリング	2		
					機械学習特論		2				
					臨床データ解析特論		1				

(注) 講は講義, 演は演習, 実実習を示す。

別表第4の2（第9条関係）

医学研究科博士課程

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
共通科目		ゲノムドラフトの解明	1	
		遺伝子多型（SNVs）	1	
		ゲノム創薬の進歩	1	
		免疫関連分子とT細胞抗原レセプター多様性の解明	1	
		臨床・基礎研究と生命倫理（コンサルテーション）	1	
		科学的根拠に基づく医療（EBM）	1	
		先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	
		バイオ統計基礎ユニット	1	
		バイオ統計応用ユニット	2	
		医学英語論文スキルアップ	1	
		大学院セミナーシリーズ（特別講義）	1	
		知的財産権論	2	
		臨床試験実習		2
		トランスレーショナルリサーチ実習		2
		臨床研究入門	2	
		臨床研究入門	2	
		実験動物学	1	
		医療経営／基礎	2	
		医療経営／上級	2	
		医療経済学／基礎	2	
		医療経済学／上級	2	
		論文の解剖学（初級）	1	
	論文の解剖学（中級）	1		
論文実習		論文基礎研究実習		2
		論文応用研究実習		2
		研究発表	1	
生理系	解剖分野 肉眼・臨床解剖学	系統解剖学総論	1	
		骨学実習		1
		系統解剖学実習		9
		臨床解剖学実習		2
		系統解剖学各論 運動器系	2	
		系統解剖学各論 脈管・神経系	3	
		系統解剖学各論 内臓・感覚器系	2	
	生体形成分野 顕微解剖学	組織学総論（一般論，顕微・電顕・組織化学）	4	
		器官別組織学	4	
		組織学研究実習（一般論）		2
		組織学研究実習（光学顕微鏡；実態・透過・蛍光・共焦点レーザー顕微鏡，その応用）		3
		組織学研究実習（電子顕微鏡；透過型・走査型，その応用）		3
	脳機能分野 生理学	組織学研究実習（器官別応用）		4
		生理学総論 -（1）生体膜と物質輸送	1	
		生理学総論 -（2）興奮性膜	2	
		生理学総論 伝達物質と受容体	2	
		生理学総論 -（1）神経系の発生・分化と可塑性	1	
		生理学総論 -（2）高次脳機能	1	
		生理学各論 細胞内情報伝達過程	1	
		生理学実習 -（1）微小電極による細胞内電位記録（静止電位・活動電位・シナプス電位）		3
生理学実習 -（1）パッチクランプ法によるイオン電流記録			2	
生理学実習 -（2）色素注入法による神経細胞の形態観察			1	
生理学実習 -（3）神経細胞の単離・培養			1	



専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
生理系	脳機能 生理学	生理学実習 - (4) 神経・グリア細胞内 Ca <sup>2+</sup> 測定		1
		生理学実習 細胞外記録法によるインパルスおよび集合電位記録		3
		生理学実習 - (1) HPLC による化学伝達物質の同定と放出測定		1
		生理学各論 脳とその疾患	1	
	統合自律機能 生理学	分子細胞生理学総論	4	
		分子細胞生理学各論	4	
		分子生理学実習		4
		細胞生理学実習		4
		神経生理学実習		4
	医化学	代謝学	4	
		酵素の精製法と結晶化		4
		遺伝生化学解析		4
		生体物質論	4	
		酵素学	4	
		蛋白質解析技術		4
		疾患プロテオミクス解析学	4	
		疾患プロテオミクス解析実習		4
	薬理学	臨床薬理学	4	
		中枢神経薬理学	4	
		細胞間・細胞内情報伝達	4	
		リン酸化シグナル解析		4
		マウス脳内 AAV ウイルス注入法および行動実験手法		4
		行動薬理学解析		4
	分子生命科学	分子遺伝学	4	
		生体高分子化学	4	
		細胞生物学	4	
		タンパク質科学	2	
		蛋白質精製分析実習		2
		生体高分子化学実習		4
		遺伝子単離法実習		2
		疾患遺伝子解析実習		2
		蛋白質化学実習		1
		細胞周期制御論実習		4
染色体機能学実習			4	
蛋白質反応解析	4			
病理系	病理学	病理学総論	6	
		一般外科病理学	4	
		肝臓病理学	2	
		病理学総論実習 肉眼観察・顕微鏡観察(剖検, 迅速診断を含む)		7
		一般外科病理学実習		5
		肝臓病理学実習		4
		肝臓分子病理学実習		4
		肝臓分子病理学	2	
		神経病理学	2	
		血液・腫瘍病理学	2	
		血液・腫瘍分子病理学	2	
		腫瘍・炎症免疫病理学	2	
		神経病理学実習		4
		血液・腫瘍病理学実習		4
		血液・腫瘍分子病理学実習		4
腫瘍・炎症免疫病理学実習		4		



専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
病理系	基礎感染医学分野 感染医学	細菌遺伝学	2	
		分子生物学	2	
		化学療法	2	
		分子生物学実習		6
		細菌遺伝学実習		4
		化学療法実習		2
		感染と生体応答	2	
		感染免疫学実習		4
	感染制御学	ウイルス学総論	2	
		感染症学総論	2	
		ウイルス学各論	2	
		臨床感染症総論	2	
		ウイルス学実習（基礎編）		4
		ウイルス学実習（基礎編）		4
		ウイルス学実習（応用編）		4
	真核微生物学分野 感染医学	原虫のシグナル伝達	4	
		原虫の遺伝子発現	4	
		原虫のシグナル伝達実習		6
		原虫の遺伝子発現実習		4
		原虫の感染による宿主脂質代謝の変化		1
		原虫の感染による宿主脂質代謝の変化		1
	免疫学	コンピューター免疫学	2	
		腫瘍免疫学	2	
		疾患免疫学	2	
		粘膜免疫学	2	
		コンピューター免疫学実習		2
		腫瘍免疫学実習		4
疾患免疫学実習			4	
社会医学系	環境医学	環境医学総論	4	
		産業医学総論	4	
		環境医学研究		4
		産業医学研究		4
		産業医学研究		4
	公衆衛生学	公衆衛生学総論	4	
		公衆衛生学各論	4	
		公衆衛生学研究 1		4
		公衆衛生学研究 2		4
		公衆衛生学研究 3		4
	健康科学	健康科学総論	4	
		運動負荷テスト実習		4
		健康度・形態測定実習		4
		健康・スポーツ医学実習		4
		健康教育学	2	
精神保健学 1	2			
精神保健学 2	2			
Well-beingのためのコミュニケーション心理学	2			

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
社会医学系	法医学・人類遺伝学	法医学各論	2	
		人類遺伝学総論	2	
		人類遺伝学各論	2	
		法医学概論	2	
		法医学実習 1		4
		法医学実習 2		4
		人類遺伝学実習 1		4
		人類遺伝学実習 2		4
	バイオ統計学	離散データ解析大意	2	
		臨床試験の基礎とデータ解析大意	2	
		先端疫学統計	1	
		先端オミクス解析特論	1	
		先端バイオインフォマティクス特論	1	
		ゲノム統計学大意	2	
		生存データ分析大意	2	
		バイオデータ解析大意	2	
		先端環境データ解析	1	
		観察データ解析大意	2	
		先端観察データ解析	1	
		先端薬物動態・薬力学データ解析	1	
		先端臨床データ解析	1	
		バイオ統計学講究		4
		バイオ統計学講究		4
		バイオ統計学講究		4
		バイオ統計学講究		4
		バイオデータ解析演習		2
	バイオデータ解析演習		2	
	プロトコル作成と研究デザイン実習		1	
	看護学	基礎看護技術総論	2	
		健康支援看護特論	2	
		健康支援看護特論	2	
		健康支援看護特論	2	
		健康支援看護特論	2	
		健康支援看護研究実習		12
		健康支援看護研究実習		12
		性・生殖看護学特論	2	
性・生殖看護学研究実習			12	
小児看護支援特論		2		
小児看護支援特論		2		
小児看護学研究実習			12	
高齢者看護学特論		2		
高齢者看護学研究実習			6	
高齢者看護学研究実習			6	
公衆衛生看護学特論		2		
公衆衛生看護学研究実習			12	
病態研究		2		
看護人体構造学	2			
看護人体構造学実習		12		

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数			
		授業科目	単位数		
			講	実	
個別最適医療系	先端癌治療学	癌集学治療学総論	2		
		消化器癌総論	2		
		免疫生物学・細胞性免疫学	2		
		ニューロオンコロジー	2		
		肝の発癌機構と治療	2		
		消化器癌の免疫機構と治療	2		
		肝発癌の予防および肝癌治療の実習		2	
		癌集学治療学の実際		4	
		消化器癌の遺伝子解析		4	
		肝の発癌機構の解析法		2	
		肝癌治療の基礎研究実習		2	
		消化管前癌病変モデル作製		2	
		消化管前癌病変モデルの免疫機序の解析法		2	
		ユニット 悪性腫瘍専門医養成	臨床腫瘍学・基礎編	4	
			臨床腫瘍学・臨床編	4	
	放射線腫瘍療法セミナー		4		
	放射線療法・総論		2		
	放射線療法・概論		4		
	悪性腫瘍の集学的治療の実習			12	
	放射線腫瘍治療学実習			8	
	応用臨床画像診断学実習			8	
	専門科目 心血管先端医療学	血管生物学総論	2		
		血栓症総論	2		
		循環制御調節解析学	2		
		循環器分子生物学	2		
		血管再生医療総論	2		
		心臓血管病外科治療学総論	2		
		冠動脈再建外科学	2		
		末梢血管疾患学総論	2		
		小児心疾患の先端医療	2		
		血管平滑筋細胞学	2		
		遺伝子発現解析法		3	
		心血管系細胞培養実験法		3	
		組織遺伝子発現解析法		3	
		組織移植実習		3	
		内皮前駆細胞標識実習		3	
		血小板機能検査実習		2	
		心血管病検査法の実際		2	
		高次脳疾患学	発達神経学	2	
	小児神経学		2		
	中枢神経系放射線診断学		4		
	高次脳機能診断学		4		
	脳損傷治療学		4		
	高次脳機能障害治療学		4		
	睡眠覚醒障害の病態と治療		4		
	機能的な精神障害の認知機能		4		
	実践的脳虚血負荷実習			2	
中枢神経分子遺伝学手技			4		
中枢神経系放射線診断学実習			4		
機能的脳画像実習		4			

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
個別最適医療系	高次脳疾患学	高次脳機能診断学実習		4
		認知機能測定実習		4
		精神症状評価実習		4
		精神疾患リハビリテーション実習		2
		神経外傷・腫瘍学実習		4
		中枢神経機能学	4	
		マイクロダイアリシス法		4
	皮膚細胞生物学	自己免疫性水疱症総論	2	
		遺伝性皮膚疾患総論	2	
		皮膚免疫学総論	2	
		毛髪科学総論	2	
		免疫組織学実習		4
		蛋白解析実習		2
		遺伝子操作実習		2
		細胞生物学実習		4
		皮膚免疫学実習		4
		毛髪科学実習		2
	専門科目 先進医療対象疾患学	呼吸器疾患学総論	4	
		感染症医学総論	4	
		自己免疫・アレルギー疾患学総論	4	
		消化器疾患学総論	4	
		血液疾患学総論	4	
		内分泌代謝疾患学総論	4	
		腎疾患総論	4	
		小児外科学総論	4	
		整形外科学総論	4	
		視覚病態学	4	
		産婦人科・新生児医学総論	4	
		耳鼻咽喉・頭頸部外科学総論	4	
		包括的顎口腔機能再生学	4	
		救急医学総論	4	
		臨床画像医学・放射線腫瘍学総論	4	
		生体機能管理学総論	4	
		皮膚分子病態学総論	4	
		遺伝性疾患学総論	4	
		再建医学総論	4	
		泌尿器科学総論	4	
		呼吸器疾患学実習		4
		感染症医学実習		4
		自己免疫・アレルギー疾患学実習		4
		消化器疾患学実習		4
		血液疾患学実習		4
		内分泌代謝疾患学実習		4
腎疾患実習			4	
小児外科学実習			4	
整形外科学実習			4	
眼科学実習			4	
産婦人科・新生児医学実習		4		
耳鼻咽喉・頭頸部外科学実習		4		
包括的顎口腔機能再生学実習		4		

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
個別最適医療系	専門科目 先進医療対象 疾患学	救急医学実習		4
		臨床画像医学・放射線腫瘍学実習		4
		生体機能管理学実習		4
		皮膚分子病態学実習		4
		遺伝性疾患学実習		4
		再建医学実習		4
		泌尿器科学実習		4

- (注1) 講は講義・実の実験又は実習を示す。
- (注2) 専攻科目20単位のうち、講義から8単位以上、実験又は実習から12単位以上履修すること。
- (注3) 共通科目は6単位以上履修すること。
- (注4) 論文実習は「論文基礎研究実習(2単位)」を2年次に、「論文応用研究実習(2単位)」を3年次に履修すること。
- (注5) 個別最適医療系先端癌治療学「悪性腫瘍専門医養成ユニット」を履修する場合、以下の条件に合致すること。
- ・個別最適医療系先端癌治療学を専攻科目又は専攻科目分担を行っているものを対象とする。
  - ・「化学・薬物療法専門医養成コース」については、個別最適医療系先端癌治療学の「癌集学治療学総論(2単位)」「消化器癌総論(2単位)」「消化器癌の免疫機構と治療(2単位)」「ニューロオンコロジー(2単位)」「がんワクチン療法の実際(2単位)」「肝発癌の予防および肝癌治療の実習(2単位)」「臨床腫瘍学・基礎編(4単位)」「臨床腫瘍学・臨床編(4単位)」「悪性腫瘍の集学的治療の実習(12単位)」を必修とする。  
実習については、1～3年次のうち、1年間集中的に履修すること。
  - ・「放射線療法専門医養成コース」については、「放射線療法・総論(2単位)」「放射線療法・概論(4単位)」「臨床腫瘍学・基礎編(4単位)」「放射線腫瘍療法セミナー(4単位)」「放射線腫瘍治療学実習(8単位)」「応用臨床画像診断学実習(8単位)」を必修とする。

別表第5（第30条 - 第33条関係）

項目	研究科	比較文化 研究科	心理学 研究科	ビジネス 研究科	医学研究科	医学研究科 修士課程 看護学専攻 (助産学分野 助産師資格)	医学研究科 修士課程 看護学専攻 (助産学分野 上級実践)	納入期限
	金額・ 期限	納入金額	納入金額	納入金額	納入金額	納入金額	納入金額	
入学検定料		32,000円	32,000円	32,000円	30,000円	30,000円	30,000円	入学願書 受付締切日
入学金								
前期博士課程								
本学卒業生		120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	入学手続締切日
その他の者		240,000円	240,000円	240,000円	240,000円	240,000円	240,000円	入学手続締切日
後期博士課程					250,000円			入学手続締切日
本学前期博士課程 修了者以外の者		240,000円	240,000円					入学手続締切日
授業料								
前期博士課程								
前期		275,000円	275,000円	275,000円	240,000円	400,000円	240,000円	4月末日*
後期		275,000円	275,000円	275,000円	240,000円	400,000円	240,000円	10月末日
後期博士課程								
前期		275,000円	275,000円		240,000円			4月末日*
後期		275,000円	275,000円		240,000円			10月末日
教育充実料								
前期博士課程								
前期		5,000円	25,000円	5,000円	30,000円	30,000円	30,000円	4月末日*
後期		5,000円	25,000円	5,000円	30,000円	30,000円	30,000円	10月末日
後期博士課程								
前期		5,000円	25,000円					4月末日*
後期		5,000円	25,000円					10月末日
実験実習料								
前期博士課程								
前期			25,000円		60,000円	120,000円	90,000円	4月末日*
後期			25,000円		60,000円	120,000円	90,000円	10月末日
後期博士課程								
前期			25,000円		60,000円			4月末日*
後期			25,000円		60,000円			10月末日
休学時在籍料(月額)		10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	休学手続時

## 備考

- \*印は、新入生については、入学手続締切日と読替えるものとする。
- ビジネス研究科及び医学研究科については、前期博士課程を修士課程、後期博士課程を博士課程と読替えるものとする。
- 長期履修学生の授業料等については第32条第3項、第32条の2第3項、第33条第3項を参照する。

# 久留米大学大学院医学研究科規程

## 第1章 医学研究科の目的

**第1条** 久留米大学大学院医学研究科（以下「本研究科」という。）は、医学・医療の分野で先駆的な学術研究を推進するとともに、幅広い視野、高度の専門性と豊かな教養及び人間性を備え、国際的に活躍し、地域医療に貢献しうる優れた人材を育成することを目的とする。

2 本研究科修士課程は、各専攻分野の研究能力及び高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力、教養、人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

3 本研究科博士課程は、医学・医療の各専攻分野において、自立した研究者として学術研究を推進する能力をもつ人材を育成するとともに、高度に専門的な医療業務に従事するために必要とされる幅広い学識、国際的視野並びに豊かな教養と人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

## 第2章 入 学

**第2条** 入学時期、入学手続及び入学者選抜の方法は、医学研究科委員会の議を経て定める。

**第3条** 入学者の決定は、医学研究科委員会の議を経て、学長が行う。

## 第3章 授業科目及び履修方法

**第4条** 本研究科は、その目的を達成するため必要な教育課程を編成し、学生に対し学位論文の作成等に対する指導の計画を策定する。

2 前項の取扱いについては、別に定める。

3 専攻別授業科目及びその配当単位数は、久留米大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第9条の別表第4の1及び別表第4の2のとおりとする。ただし、研究科委員会の議を経て臨時に科目を開設することができる。

4 本研究科は、学生に対して、授業・研究指導の方法、内容及び1年間の授業並びに研究指導の計画をあらかじめ明示する。

**第5条** 研究科における授業及び研究指導には、原則として、本大学医学部の教授、准教授及び講師が担当する。

2 特定の科目は、本大学医学部以外の教員が担当することがある。

**第6条** 博士課程の修了に必要な授業科目の修得単位は30単位以上とし、次のように履修するものとする。

（平成27年度までの入学者）

専 攻 名	専 攻 科 目	論 文 実 習	共 通 科 目
生 理 系 病 理 系 社 会 医 学 系 個 別 最 適 医 療 系	20単位以上 （講義8単位、実習12単位を含む）	4 単位	6 単位以上



専攻名	コース名	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	共通科目
個別最適医療系先端癌治療学 悪性腫瘍専門医養成ユニット	化学・薬物療法 専門医 養成コース	12単位	講義8単位， 実習12単位	6単位以上
	放射線療法専門医 養成コース	4単位	講義4単位， 実習16単位	
	緩和医療専門医 養成コース	4単位	講義8単位， 実習16単位	

(平成29年度までの入学者)

専攻名	専攻科目	論文実習	共通科目
生理系 病理系 社会医学系 個別最適医療系	20単位以上 (講義8単位，実習12単 位を含む。)	5単位	6単位以上

専攻名	コース名	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	論文実習	共通科目
個別最適医療系先端癌治療学 悪性腫瘍専門医養成ユニット	化学・薬物療法 専門医 養成コース	12単位	講義8単位， 実習12単位	5単位	6単位以上
	放射線療法専門医 養成コース	4単位	講義4単位， 実習16単位		
	緩和医療専門医 養成コース	4単位	講義8単位， 実習16単位		

(令和3年度までの入学者)

専攻名	コース名	論文実習	共通科目
生理系 病理系 社会医学系 個別最適医療系	20単位以上 (講義8単位，実習12単 位を含む。)	5単位	6単位以上

専攻名	コース名	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	論文実習	共通科目
個別最適医療系先端癌治療学 悪性腫瘍専門医養成ユニット	化学・薬物療法 専門医 養成コース	12単位	講義8単位， 実習12単位	5単位	6単位以上
	放射線療法専門医 養成コース	4単位	講義4単位， 実習16単位		
	緩和医療専門医 養成コース	4単位	講義8単位， 実習16単位		
	希少がん診療 養成コース	4単位	講義4単位， 実習12単位		

(令和5年度までの入学者)

専攻名	専攻科目	論文実習	共通科目
生理系 病理系 社会医学系 個別最適医療系	20単位以上 (講義8単位, 実習12単位を含む)	5単位	6単位以上

専攻名	専攻科目	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	論文実習	共通科目
個別最適医療系先端 癌治療学悪性腫瘍 専門医養成ユニット	化学・薬物療法 専門医 養成コース	12単位	講義8単位, 実習12単位	5単位	6単位以上
	放射線療法専門医 養成コース	4単位	講義4単位, 実習16単位		
	希少がん診療 養成コース	4単位	講義4単位, 実習12単位		

(令和6年度以降の入学者)

専攻名	専攻科目	論文実習	共通科目
生理系 病理系 社会医学系 個別最適医療系	20単位以上 (講義8単位, 実習12単位を含む)	5単位	6単位以上

専攻名	専攻科目	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	論文実習	共通科目
個別最適医療系 先端癌治療学悪性腫瘍 専門医養成ユニット	化学・薬物療法 専門医 養成コース	12単位	講義8単位, 実習12単位	5単位	6単位以上
	放射線療法専門医 養成コース	4単位	講義10単位, 実習16単位		
	希少がん診療 養成コース	4単位	講義4単位, 実習12単位		

2 修士課程の修了に必要な授業科目の修得単位は30単位以上とし、次のように履修するものとする。  
 (平成27年度までの入学者)

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大 学 院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選 択 科 目
基礎医学群 社会医学群 分子生命科学群 臨床看護学群	10単位 以上	12単位以上 (演習4単位,論文指導 演習4単位を含む)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上
バイオ統計学群		30単位以上 (演習7単位を含む)			

学 群	共 通 科 目	専 攻 分 野	実 習 科 目
臨床看護学群がん看護論 がん看護専門看護師教育課程	講 義 10単位以上	共通科目 8単位 専攻科目 6単位	8単位
臨床看護学群臨床基礎看護論 感染看護専門看護師教育課程	講 義 10単位以上	専攻科目 16単位	6単位
臨床看護学群老年看護論 老人看護専門看護師教育課程	講 義 10単位以上	共通科目 10単位 専攻科目 6単位以上	6単位
臨床看護学群小児看護論 小児看護専門看護師教育課程	講 義 14単位以上	共通科目 16単位	10単位

感染看護専門看護師教育課程アドバンスプログラムコース

学 群	共 通 科 目	専 攻 分 野	実 習 科 目
臨床看護学群臨床基礎看護論 感染看護専門看護師教育課程	講 義 10単位以上	専攻科目 16単位	6単位

学 群	共通科目	専 攻 分 野	大 学 院 セミナーシリーズ	準 専 攻 科 目
基礎医学群感染病態学 社会医学群環境医学 臨床看護学群	10単位 以上	12単位以上 (演習4単位,論文指導 演習4単位を含む)	1単位	講義8単位 実習6単位

(平成28年度までの入学者)

医科学専攻

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大 学 院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選 択 科 目
基礎医学群 社会医学群 分子生命科学群	10単位 以上	12単位以上 (演習4単位,論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上
バイオ統計学群		30単位以上 (演習7単位を含む。)			

看護学専攻

修士論文コース

分 野	基礎科目	専攻分野	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目 8単位 その他 4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専攻分野	実習科目
がん看護分野 CNS養成	講義 10単位	共通科目 8単位 専門科目 8単位	8単位
感染症看護分野 CNS養成・国際実践	講義 10単位	専門科目 18単位	6単位
老年看護分野 CNS養成	講義 10単位	共通科目 10単位 専門科目 8単位	6単位
小児看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
助産学分野 助産師資格 (助産学分野専門科目「国際助産学演習」を含む。)	13単位以上	28単位	8単位 (「国際助産学演習」 を除く。)	1単位	8単位
助産学分野 上級実践 (助産学分野専門科目「国際助産学演習」を含む。)	7単位以上	4単位	10単位 実習 2単位 (「国際助産学演習」 を除く。)	1単位	8単位

(平成29年度までの入学者)

医科学専攻

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大 学 院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選 択 科 目
基礎医学群 社会医学群 分子生命科学群	10単位 以上	12単位以上 (演習 4単位, 論文指導 演習 4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上
バイオ統計学群		30単位以上 (演習 7単位を含む。)			

看護学専攻

修士論文コース

分 野	基礎科目	専攻分野	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目 8単位 その他 4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専 攻 分 野	実習科目
がん看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講 義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
助産学分野 助産師資格	13単位以上 (助産学分野専門科目「国際助産学演習」を含む。)	28単位	8単位 (「国際助産学演習」 を除く。)	1単位	8単位
助産学分野 上級実践	7単位以上 (助産学分野専門科目「国際助産学演習」を含む。)	4単位	10単位 実習2単位 (「国際助産学演習」 を除く。)	1単位	8単位

(平成30年度までの入学者)

医科学専攻

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大 学 院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選 択 科 目
基礎医学群 社会医学群 分子生命科学群	10単位 以上	12単位以上 (演習4単位, 論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上
バイオ統計学群		30単位以上 (演習7単位を含む。)			

看護学専攻

修士論文コース

分 野	基礎科目	専攻分野	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目8単位 その他4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専 攻 分 野	実習科目
がん看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講 義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	14単位以上 ( 助産学分野専門科目「国 際助産学演習」を含む。)	28単位	8単位 ( 「国際助産学演習」を除く。)	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上 ( 助産学分野専門科目「国 際助産学演習」を含む。)	4単位	10単位 実習2単位 ( 「国際助産学演習」を除く。)	8単位

(令和3年度までの入学者)

医科学専攻

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大 学 院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選 択 科 目
基礎医学群 社会医学群	10単位 以上	12単位以上 ( 演習4単位, 論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上

看護学専攻

修士論文コース

分 野	基礎科目	専攻分野	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目8単位 その他4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専 攻 分 野	実習科目
がん看護分野 C N S 養成	講 義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 C N S 養成	講 義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講 義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 C N S 養成	講 義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 C N S 養成	講 義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	14単位以上 ( 助産学分野専門科目「国 際助産学演習」を含む。)	28単位	8単位 ( 「国際助産学演習」を除く。)	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上 ( 助産学分野専門科目「国 際助産学演習」を含む。)	4単位	10単位 実習2単位 ( 「国際助産学演習」を除く。)	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学 群	基 礎 科 目	専 門 応 用 科 目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 ( 必修科目18単位, 選択 科目8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上

(令和4年度までの入学者)

医科学専攻

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大 学 院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選 択 科 目
基礎医学群	10単位 以上	12単位以上 ( 演習4単位, 論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上
社会医学群					



看護学専攻

修士論文コース

分野	基礎科目	専攻分野	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目 8単位 その他 4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分野	共通科目	専攻分野	実習科目
がん看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	8単位以上	31単位	14単位	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上		16単位	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学群	基礎科目	専門応用科目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 (必修科目18単位, 選択 科目 8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上

(令和6年度までの入学者)

医科学専攻

学群	基礎科目	専門科目	大学院 セミナー シリーズ	準専攻 科目	選択科目
基礎医学群 社会医学群	10単位以上	12単位以上 (演習 4単位, 論文指導 演習 4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修 した以外の 科目から 3 単位以上

看護学専攻

修士論文コース

分野	基礎科目	専攻分野	大学院セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目 8単位 その他 4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分野	共通科目	専攻分野	実習科目
がん看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分野	共通科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	8単位以上	31単位	14単位	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上		16単位	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学群	基礎科目	専門応用科目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 (必修科目18単位, 選択科目 8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上 (必修科目12単位, 選択必修科目 7単位, 選択科目11単位を含む)

(令和7年度以降の入学者)

医科学専攻

学群	基礎科目	専門科目	大学院セミナーシリーズ	準専攻科目	選択科目
基礎医学群 社会医学群	10単位以上	12単位以上 (演習 4単位, 論文指導 演習 4単位を含む。)	1単位	講義 4単位以上	自身が履修した以外の科目から 3単位以上

看護学専攻

修士論文コース

分野	基礎科目	専攻分野	大学院セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目 8単位 その他 4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分野	共通科目	専攻分野	実習科目
がん看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分野	共通科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	8単位以上	31単位	14単位	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上		16単位	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学群	基礎科目	専門応用科目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 (必修科目18単位, 選択科目 8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上 (必修科目12単位, 選択必修科目 7単位, 選択科目11単位を含む)

**第7条** 大学院学則第11条の2の規定により、研究科において教育上有益と認めるときは、学生は、研究科委員会の議を経て、本学又は研究科と協定している他大学（外国の大学を含む。以下同じ。）の大学院の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、研究科委員会の議を経て、10単位を限度として第6条に規定する単位として認めることができる。

**第8条** 大学院学則第11条の3の規定により、研究科において教育上有益と認めるときは、学生は、研究科委員会の議を経て、本学又は研究科と協定している他大学の大学院又は研究所等（外国の研究機

関を含む。)において研究指導を受けることができる。

**第9条** 学生は、専攻科目指導教授（修士課程においては「指導教授」に読み替える。以下同じ。）の指示を受け、博士課程にあつては2年次が始まる前までに、修士課程にあつては入学後所定の期日にそれぞれその研究題目を決定しなければならない。

**第10条** 学生は、前条によるほか、入学当初及び毎学年当初、専攻科目指導教授の指示を受け、当該学年内に履修しようとする授業科目を定め、所定の様式により届出でなければならない。

## 第4章 試 験

**第11条** 学生が単位修得を行う場合は、指導教授に確認の上、入学当初及び毎学年当初に履修届を提出しなければならない。

**第12条** 学生は、履修した授業科目について単位を取得しようとするときは、試験を受けなければならない。

2 試験は、原則として学期末に行う。

3 病気その他の事由により試験を受けることができなかつた者については、科目担当教員が特に必要と認めた場合、追試験を行うことがある。

**第13条** 各授業科目の試験成績はA A（100～90）・A（89～80）・B（79～70）・C（69～60）・D（59以下）の評語をもってあらわし、C以上を合格とする。

2 試験の成績判定基準は、当該科目に対する基礎及び専門学力の知識について、予め明示された達成目標に対する到達度を確認し、かつ講義・実習に対する参画意欲も加味して総合的に評価される。

3 合格した授業科目については、所定の単位を与える。

4 不合格の授業科目については、次の学期に追試験を受けることができる。

**第14条** 学位論文は、博士課程にあつては研究科に3年以上在学し、修士課程にあつては1年以上在学し、所定の単位を取得した後でなければ、これを提出することができない。

**第15条** 学位論文は、指定の期日以内に提出しなければならない。

**第16条** 最終試験の成績は、合格及び不合格の2種とする。

**第17条** 学位論文及び最終試験の合格及び不合格は、審査委員会の報告に基づき、研究科委員会の議を経て決定する。

2 学位論文及び最終試験の審査基準については、別に定める。

3 審査委員会の委員は、研究科委員会において選出する。

**第18条** 大学院学則第10条による試験は、口頭試問及び筆答試問とする。

## 第5章 専攻の変更

**第19条** 専攻の変更は、原則として認めない。ただし、特別の事情あるものに限り、研究科委員会の議を経て許可することがある。

**第20条** 専攻を変更した後の修業年限は、研究科委員会の議を経て、専攻の履修科目の内容により決定する。

2 前項により修業年限を変更された者の在学年限は、大学院学則第5条による修士課程4年、博士課程8年を超えることができない。

## 第6章 再入学

第21条 再入学者は、前在学中に所属した専攻に所属するものとする。

第22条 再入学者の修業年限は、研究科委員会の議を経て、これを決定する。

2 前項により再入学を許可された者の在学年限は、大学院学則第5条による修士課程4年、博士課程8年を超えることができない。

第23条 再入学者の前在学中における取得単位は、研究科委員会の議を経て、第6条に規定する単位に加えることができる。

## 第7章 転入学

第24条 転入学者の修業年限は、研究科委員会の議を経て、これを決定する。この場合の修業年限には、他大学院における在学期間を含めることができる。ただし、休学等の期間は算入しないものとする。

2 前項により転入学を許可された者の在学年限は、大学院学則第5条による修士課程4年、博士課程8年を超えることができない。

第25条 転入学者の他大学院における取得単位は、研究科委員会の議を経て、第6条に規定する単位に加えることができる。

## 第8章 科目等履修生

第26条 大学院の学生以外の者で、特定の授業科目の履修を願い出る者があるときは、正規の学生の学修に妨げない限り選考の上、科目等履修生として許可することがある。

第27条 科目等履修生として志願する者は、所定の願書に履歴書及び関係書類を添え、所定の期日までに年度ごと願出しなければならない。

第28条 科目等履修生として志願する者は、大学院の入学資格を有する者でなければならない。

第29条 科目等履修生として許可された者は、受講料等を次の表により納入しなければならない。

科目等履修生	区 分	金 額
	選 考 料	30,000円
	登 録 料	30,000円
	受 講 料	1単位につき、25,000円

第30条 科目等履修生が、選択した授業科目を履修して、その試験に合格したときは、その授業科目の所定の単位を与えることができる。

2 科目等履修生の授業科目、試験、単位認定等に関しては、正規の学生に関する規定を準用する。

## 第9章 委託生

第31条 官庁又は公共団体等から1学期以上を在学期間とし、学習科目を指定して学生委託の願出があるときは、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

第32条 入学の手続、入学資格及び授業料については、第27条、第28条及び第29条に準ずる。

**第33条** 委託生に関しては、本章の規定のほか、正規の学生に関する規定を準用する。

## 第10章 外国人学生

**第34条** 削 除

**第35条** 外国大学の卒業者については、その大学の種類、修学年限等について調査し、日本の大学と同等以上と認められた者について入学資格を認める。

**第36条** 前条による外国人学生の入学志願については、大学院学則第21条に定める入学手続上の書類のほかに、研究科委員会において、必要とする書類を提出させた上、日本語又は英語で試験を行う。

**第37条** 本学卒業の外国人又は本学以外の日本の大学を卒業した外国人の入学については、一般学生と同様に取扱うことを原則とするが、特に事情ある者については、特別選考を行うことがある。

## 第11章 特別聴講学生及び特別研究学生

**第38条** 研究科の授業科目を履修しようとする他の大学院の学生があるときは、当該大学院との協定に基づき、特別聴講学生として受入れることができる。

**第39条** 研究科において特定の課題について研究指導を受けようとする者（他の大学院等の学生等）があるときは、研究科委員会の議を経て、当該大学院等との協定に基づき、特別研究学生として受入れることができる。

## 第12章 教育内容等を改善するための研修

**第40条** 本研究科は、授業、研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修並びに研究を実施する。

2 前項の目的を達成するため、本研究科は必要に応じて関係教員を招集し、研修会等を実施する。

## 第13章 納入金の減免

**第41条** 大学院学則第31条、第32条及び第33条の入学金、授業料、教育充実料及び実験実習料については、特に必要がある場合には研究科委員会の議を経て減免することができる。

2 本学又は研究科と協定している外国の大学に留学する者の留学期間の本学における授業料及び実験実習料は、原則として、1年を限度として、これを免除する。

3 休学中の授業料及び実験実習料は、月割額にて免除する。

4 休学中の既納の授業料及び実験実習料については、復学後の納入額にて調整する。ただし、申出により返還できるものとする。

5 休学中の教育充実料は、その納期に属さない分は免除する。

6 4月1日から翌年3月31日までの学年を休学する者については、休学時在籍料を除く納入金を免除する。

7 大学院医学研究科学生納入金減額規程に基づいて減額を決定された者については、既納の学納金のうちから免除額を返還する。



附 則

この規程は、昭和31年4月1日から施行する。

附 則(54.1.26)

この規程は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則(56.12.25)

この規程は、昭和57年3月1日から施行する。

附 則(60.9.27)

この規程は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則(61.2.28)

この規程は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則(62.2.27)

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則(63.1.29)

この規程は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(63.12.23)

この規程は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則(1.3.24)

この規程は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(2.1.26)

この規程は、平成2年4月1日から施行する。

附 則(3.9.28)

この規程は、平成3年10月1日から施行する。

附 則(3.12.20)

この規程は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(4.8.28)

この規程は、平成4年8月28日から施行する。

附 則(4.12.25)

この規程は、平成4年12月25日から施行する。

附 則(5.12.24)

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(6.11.25)

この規程は、平成6年11月25日から施行する。

附 則(6.11.25)

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附 則(8.12.20)

この規程は、平成9年1月1日から施行する。

附 則(12.5.26)

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(14.3.22)

この規程は、平成14年4月1日から施行する。ただし、平成13年度までの入学生には適用せず、改正

前の規定による。

附 則（14.5.24）

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（15.2.28）

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（15.9.26）

この規程は、平成15年10月1日から施行する。

附 則（15.9.26）

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（16.3.26）

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（18.11.24）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（20.3.28）

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（21.2.27）

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（21.11.27）

1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。

2 第39条第6項における休学時在籍料については、平成22年度入学生から適用する。

附 則（22.2.26）

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（23.2.25）

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年8月1日から施行する。

附 則（24.11.22）

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（25.3.22）

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（27.2.27）

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（27.3.27）

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（27.6.26）

この規程は、平成27年7月1日から施行する。

附 則（28.2.26）

この規程は、平成28年4月1日から施行する。



附 則 ( 29 . 2 . 24 )

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 ( 29 . 12 . 22 )

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則 ( 30 . 12 . 27 )

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則 ( 2 . 12 . 16 )

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年6月17日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

# 久留米大学学位規則

(昭和34年11月11日)

## 第1章 総 則

(目 的)

**第1条** この規則は、学位規則(昭和28年文部省令第9号)、久留米大学大学院学則及び久留米大学学則(以下「学則」という。)により定めるよう規定されている事項、その他久留米大学(以下「本学」という。)が授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。

(学位の種類)

**第2条** 本学において授与する学位は、次のとおりとする。

大学院	比較文化研究科	修士(文学, 社会学, 保健福祉学, 法学, 政治学, 経済学, 学術)
		博士(文学, 社会学, 保健福祉学, 法学, 政治学, 経済学, 商学, 学術)
	心理学研究科	修士(臨床心理学, 心理学)
		博士(心理学)
	ビジネス研究科	修士(商学, 経営学)
	医学研究科	修士(医科学, 看護学)
		博士(医学, 医学バイオ統計学, 看護学)
大学	文学部	国際文化学科 学士(文学)
		社会福祉学科 学士(社会福祉学)
		心理学科 学士(心理学)
		情報社会学科 学士(社会学)
	人間健康学部	総合子ども学科 学士(教育学)
		スポーツ医科学科 学士(スポーツ医科学)
	法学部	法律学科 学士(法学)
		国際政治学科 学士(法学)
	経済学部	経済学科 学士(経済学)
		文化経済学科 学士(経済学)
	商学部	商学科 学士(商学)
	医学部	医学科 学士(医学)
		看護学科 学士(看護学)

(学位の授与)

**第3条** 本学において所定の課程を終えた者には、学則の定めるところにより学位を授与する。

## 第2章 比較文化研究科, 心理学研究科, ビジネス研究科及び医学研究科の学位記に関する事項

(修士論文の提出)

**第3条の2** 修士論文の審査を申請し得る者は、比較文化研究科前期博士課程、心理学研究科前期博士課程、ビジネス研究科又は医学研究科修士課程に1年以上在学し、所定の科目について20単位以上修得しなければ提出することができない。

2 論文は、在学期間中に提出するものとし、その期日は各研究科委員会において定める。

3 論文は、論文審査願に論文目録・論文要旨及び履歴書を添えて、各研究科科長を経て学長に提出するものとする。

(博士論文の提出)

**第4条** 博士論文の審査を申請し得る者は、比較文化研究科後期博士課程又は心理学研究科後期博士課程においては2年以上在学し、所定の科目について16単位以上を修得し、また、医学研究科博士課程においては3年以上在学し、所定の科目について15単位以上修得しなければ提出することができない。

2 論文は、在学期間中に提出するものとし、その期日は各研究科委員会において定める。

3 論文は、論文審査願に論文目録・論文要旨・履歴書及び審査料を添えて、当該研究科科長を経て学長に提出するものとする。

4 論文には、参考として他の論文を添付することができる。

(論文)

**第5条** 学長は、審査のため必要があるときは、論文の副本・訳本・参考資料等の提出を求めることがある。

2 受理した論文は返還しない。

(論文の審査付託)

**第6条** 学長は、論文を受理したときは、当該研究科委員会に、その審査を付託するものとする。

(審査委員)

**第7条** 各研究科委員会は、論文審査委員(以下「審査委員」という。)を定めて、論文の審査及び最終試験を行う。

2 審査委員は、3名以上とし、必要に応じ、研究科委員以外の者を加えることができる。

(最終試験)

**第8条** 最終試験は、論文を中心とし、これに関連ある科目について、口答及び筆答により行うものとする。

(審査期間)

**第9条** 論文の審査及び最終試験は、原則として、論文を受理した後速やかに終了するものとする。

(審査結果の報告)

**第10条** 審査委員は、論文審査及び最終試験を終了したときは、審査及び最終試験の結果の要旨を、文書をもって、当該研究科委員会に報告しなければならない。

(学位授与の議決等)

**第11条** 当該研究科委員会は、前条の報告にもとづき、学位を授与すべきか否かを決定する。

2 前項の決定を行うには、構成員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成があることを必要とする。

**第12条** 当該研究科委員会の前条の決定を行ったときは、その氏名・論文審査要旨・最終試験の成績及び議決の結果を、文書をもって、学長に報告しなければならない。

(論文提出による博士)

**第13条** 博士の学位は、第3条の規定にかかわらず、本学大学院の後期博士課程又は博士課程を経ない者が、論文を提出して、その審査に合格し、かつ、専攻学術に関し、後期博士課程又は博士課程を終えて学位を授与される者と同等以上の学力があることを、試問により確認された場合にも授与することができる。

2 前項により博士の学位を請求しようとする者は、学位申請書に、学位論文・同目録・論文要旨・履歴書及び審査料を添え、当該研究科科長を経て、学長に提出しなければならない。

(試問)

**第14条** 前条第1項の試問は、口答及び筆答によるものとし、専攻学術に関し、後期博士課程又は博士課程を終えて学位を授与される者と同等以上の学力を有し、かつ、研究を指導する能力を有するか否

かについて行う。この場合、外国語については、原則として2種類を課するものとする。

2 前項の試問は、第7条に定める審査委員が行い、これについては第9条及び第10条の規定を準用する。

(論文提出による博士の規程の準用)

**第15条** 第13条による学位申請論文の提出・審査・学力の確認等に関しては、第4条第4項から第12条までの規定を準用する。(ただし、最終試験とあるを学力の確認に読み替える。)

(学位の交付)

**第16条** 学長は、第12条の報告にもとづき、学位を授与すべき者に所定の学位記を授与し、学位記を授与できない者には、その旨を通知する。

(報告及び審査要旨の公表)

**第17条** 学長は、前条により博士の学位を授与したときは、文部科学大臣に所定の報告書を提出するとともに、学位を授与した日から3月以内に、その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

(学位論文の公表)

**第18条** 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りではない。

2 前項により論文を公表する場合には、久留米大学において審査を受けた学位論文であることを明記しなければならない。

3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、インターネットの利用により行うものとする。

### 第3章 学位の名称、取消及び書類様式

(学位の名称)

**第19条** 本学の修士、博士又は学士の学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、「修士(文学、社会学、保健福祉学、臨床心理学、心理学、法学、政治学、経済学、商学、経営学、学術、医科学、看護学)(久留米大学)」、「博士(文学、社会学、保健福祉学、心理学、法学、政治学、経済学、商学、学術、医学、医学バイオ統計学、看護学)(久留米大学)」又は「学士(文学、社会福祉学、心理学、社会学、教育学、スポーツ医科学、法学、経済学、商学、医学、看護学)(久留米大学)」と附記するものとする。

(学位授与の取消)

**第20条** 本学の学位を授与された者が、不正な方法により学位の授与を受けた事実が判明したとき、又は学位の荣誉を汚辱する行為があったときは、学長は、修士及び博士については研究科委員会の議を経て大学院合同委員会に、学士については教授会に諮り、既に与えた学位を取消し、学位記を返納させ、かつ、その旨を公表するものとする。

2 大学院合同委員会において前項の決定を行うには、構成委員の3分の2以上が出席し、出席者の4分の3以上の賛成があることを必要とする。

(書類の様式)

**第21条** 学位記の様式は、様式1、様式2及び様式3のとおりとする。

2 学位申請関係の書類の様式は別に定める。

附 則

この規則は、昭和34年10月1日から施行する。

附 則 (44.11.28)

この規則は、昭和45年4月1日から施行する。

附 則 (63.10.28)

この規則は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則 (2.12.21)

この規則は、平成2年12月21日から施行する。

附 則 (3.3.22)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則 (3.9.28)

この規則は、平成3年9月28日から施行し、同年7月1日から適用する。

附 則 (4.1.24)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則 (6.2.25)

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

2 平成5年度までに商学部経済学科に入学した学生については、改正後であっても、当該学科を卒業する場合には、学士(経済学)の学位を授与することができる。

附 則 (7.9.29)

この規則は、平成7年10月1日から施行する。

附 則 (9.3.28)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則 (9.10.24)

この規則は、平成10年1月1日から施行する。

附 則 (10.1.30)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則 (10.1.30)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則 (13.1.26)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (14.3.22)

1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。

2 規則第4条については、平成13年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (15.3.28)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (15.4.25)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (15.9.26)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (16.10.22)

この規則は、平成16年10月1日から施行する。

附 則 (17.3.25)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (19.2.23)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (20.9.17)

この規則は、平成20年10月1日から施行する。

附 則 (21.5.22)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (24.1.27)

1 この規則は、平成24年1月27日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

2 第18条の2については、平成22年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (26.1.24)

この規則は、平成26年1月24日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則 (26.7.25)

この規則は、平成26年7月25日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則 (26.12.25)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 第4条及び第14条については、平成26年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (28.2.26)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (28.10.28)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (30.3.23)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

割印

第  
号

年  
月  
日

久留米大学  
印

を修得し、学位論文審査および最終試験に合格したので修(博)士(一)の学位を授与する。  
本学大学院 研究科(修士・博士・前期博士・後期博士)において所定の単位

氏名  
生年月日

様式1(大学院の課程を修了した場合)  
学  
位  
記

様式2 (論文提出による場合)

学位記

氏名  
生年月日

本大学に学位論文を提出して所定の審査および試験に合格したので博士  
( )の学位を授与する。

年 月 日

久留米大学 印

割印

第 号

様式3 (大学を卒業した場合)

学位記

氏名  
生年月日

本学 学部  
を授与する。

学科所定の課程を修め本学を卒業したので学士( )の学位

年 月 日

久留米大学 学部長

印

大学印

久留米大学長

印

学部印



# 久留米大学大学院医学研究科学位規則施行細則

**第1条** 本学学位規則（以下「規則」という。）第4条第2項該当による大学院医学研究科（以下「本大学院」という。）博士課程の論文を提出する時期は、大学院医学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）において定める。

**第2条** 規則第13条第2項による論文提出により博士（医学，医学バイオ統計学，看護学）の学位を申請できる者は、本大学院の入学資格の有無にかかわらず，本学所定の研究歴のあるものとする。

2 前項の研究歴とは，次の各号に該当するものとする。

本学の専任職員として研究に従事した期間

本学医学部医学科助教（臨床研究員を含む。）として研究に従事した期間

本学医学部附属病院及び本学医療センターにおいて研修医として研究に従事した期間

本大学院を中途退学した者の場合は，大学院に在学した期間

本大学院に在学した期間

権威ある研究施設において専任職員として研究に従事した期間

本学が前各号と同等以上と認める方法により研究に従事した期間

**第3条** 学位の授与を受けようとする者は，次の書類を提出しなければならない。

学位論文審査願（本大学院在学中の者） 1通

学位申請書（論文提出による者） 1通

主論文

イ 修士論文 4通

ロ 博士論文 4通（必要に応じ別途部数を提出）

参考論文

イ 修士論文については参考論文がある場合，提出するものとする。

ロ 甲号 1編以上各2通

ハ 乙号 3編以上各2通

論文目録 1通

イ 論文題名が外国語の場合は，訳を付すること。

ロ 参考論文がある場合には，それぞれの題名及び冊数を記入すること。

論文要旨 1通

履歴書 1通

単位修得証明書 1通

ただし，本大学院在学中の者又は単位修得満期退学者のみ提出する。

**第4条** 学位論文の提出は，医学部事務部庶務課において受け付けるものとする。

2 前項の論文は，研究科委員会に諮り，受理するか否かを決定する。

3 本大学院所属教授の指導を受けない者の提出する論文は，あらかじめ，研究科委員会の審査を受けなければ，これを受理することができない。

4 受理した論文は，修士論文にあつては学籍番号順，博士論文については，本大学院修了によるもの（甲）と論文提出によるもの（乙）に分け，それぞれ受理順に整理するものとする。

5 学位記の授与番号は前項に準ずる。ただし、博士論文の要旨を公表する場合には、それぞれ甲、乙を付し区分する。

**第5条** 前条第3項の予備審査の手続・審査・学力の確認等に関しては規則第15条を準用する。

**第6条** 学位論文は、原則として印刷公表したものでなければならない。

2 論文が単行本なる場合は、研究科委員会において審査のうえ決定する。

**第7条** 学位論文は、原則として、受理順に若干名ずつ研究科委員会の審査に付し、6ヵ月以内に審査を完了するものとする。ただし、事情により研究科委員会の議を経て変更することができる。

2 論文の審査委員は主査1名、副主査2名とする。ただし、修士論文の審査委員は主査1名、副主査1名でも可とする。なお、いずれも2ヵ月以内に規則第10条に規定する報告書を作成し、研究科長に提出しなければならない。

3 本学学位規則第7条第2項に規定している研究科委員以外の者とは、教授、准教授又はそれに準ずる者でなければならない。

4 審査を受けようとする時は、指導教授及び共著者は、主査及び副主査になることができない。

5 研究科長は、論文審査に関する研究科委員会開催前日までに、主論文別冊に前項報告書を添えて配布するものとする。ただし、修士論文については配布しないものとする。

**第8条** 研究科委員会において学位を授与すべきか否かを決定する場合および学位授与の取消しに関する決議を行う場合には、無記名投票によるものとする。

**第9条** 海外旅行中の者及び休職中の者は、研究科委員会構成定員に算入しないものとする。

**第10条** 学位論文の審査料は、別にこれを定める。

2 既納の料金は、返還しない。

#### 附 則

この施行細則は、昭和34年10月1日から施行する。

#### 附 則

この施行細則は、昭和52年1月1日から施行する。

(参考) 37.2.10 医学研究科委員会

37.5.9 医学研究科委員会改正

37.6.13 医学研究科委員会改正

#### 附 則

この施行細則は、昭和55年4月1日から施行する。

#### 附 則

この施行細則は、昭和59年4月16日から施行する。

#### 附 則

この施行細則は、昭和63年4月1日から施行する。

#### 附 則

この施行細則は、平成3年4月1日から施行する。

#### 附 則

この施行細則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成7年10月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成15年1月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成20年10月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成23年1月1日から施行する。

附 則

1 この施行細則は、平成27年4月1日から施行する。

2 第1条については、平成26年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則

この施行細則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、令和元年5月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、令和元年10月1日から施行する。

別紙様式

甲様式 2

A 大学院課程修了の場合

論文目録

甲様式 1

年 月 日

甲第 号 氏名

主 論 文

題名 (印刷公表したもののについては、その方法および年月日) 冊

医学研究科 系専攻

年入学

氏 名 印

参考論文

題名 ( 同 上 )

冊

学位論文審査願

このたびは久留米大学学位規則第4条第3項により博士の学位を受けたいので、下記の  
とおり関係書類を添え、学位論文を提出いたしますから御審査下さい。

記

- 1 主 論 文 編 冊
- 2 参 考 論 文 編 冊
- 3 論 文 目 録
- 4 論 文 要 旨
- 5 履 歴 書
- 6 単 位 修 得 ( 取 得 ) 証 明 書

甲様式 3

論文の要旨

甲第 号 氏名

論文の要旨

甲様式 4  
甲第 号

履歴書

氏名  
ふりがな  
生年月日  
本籍  
現住所  
学歴

年 月 日生

男  
女

年 月 日  
年 月 日  
年 月 日

大学医学部医学科卒業  
久留米大学大学院医学研究科  
系専攻博士課程入学  
第 年次在学中

研究歴  
職歴

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏名 印

乙様式 1

単位修得（取得）証明書

久留米大学大学院医学研究科博士課程 系専攻  
 年入学 氏名

久留米大学学長（氏名）殿

年 月 日

学 科 目	科 目	単 位	備 考
主 科 目			
副 科 目			
計			
選 択 科 目			
計			
合 計			

提出者氏名 印

学 位 申 請 書

このたび久留米大学学位規則第13条第2項により博士の学位を受けたいので、下記のとおり関係書類を添え申請します。

記

- 1 主 論 文 編 冊
- 2 参 考 論 文 編 冊
- 3 論 文 目 録
- 4 論 文 要 旨
- 5 履 歴 書

上記のとおり単位修得（取得）したことを証明する。  
 年 月 日

- 乙様式 2 論 文 目 録
- 乙様式 3 論 文 要 旨
- 乙様式 4 履 歴 書

久留米大学大学院医学研究科科长

以上はそれぞれAの甲様式に準ずる。ただし、甲第 号の甲を乙に読み替えるものとする。

C 学位規則施行細則第4条第3項該当者の予備審査を要する者

年 月 日

久留米大学学長 殿

氏名 印

学位論文予備審査願

このたび久留米大学学位規則第13条第2項により博士の学位を受けたいので、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

- |   |      |    |
|---|------|----|
| 1 | 主論文  | 編冊 |
| 2 | 参考文献 | 編冊 |
| 3 | 論文目録 |    |
| 4 | 論文要旨 |    |
| 5 | 履歴書  |    |

備考

- 1 この審査願関係書類の諸様式は、Bの乙様式のものを用いる。(学位申請書を除く。)
- 2 学位申請書は、予備審査に合格したる後審査料を添えて提出する。



# 医学研究科参考論文に関する申し合せ

(昭和35年3月9日)

- 1 学位論文提出の際には、印刷公表済又は公表予定の参考論文を甲号については1編以上、乙号については3編以上を添付すること。ただし、公表予定で提出する場合は、校正刷り又は掲載証明書に論文原稿写しを添付し、提出すること。また、医学研究科委員会の承認を得ている場合は、参考論文の提出は要しないものとする。
- 2 博士(医学バイオ統計学)の学位を申請する場合の参考論文の取扱いについては、別に定める。
- 3 共著論文でも参考論文として認める。
- 4 本学以外で研究した場合も前記に準ずる。

(昭和35年3月9日医学研究科委員会制定・施行)

附 則

この申し合せは、昭和54年1月1日から施行する。

附 則

この申し合せは、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この申し合せは、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この申し合せは、平成27年4月1日から施行する。

# 大学院医学研究科博士課程における学位授与に関する手続き及び審査基準に関する内規

平成18年11月14日  
内規第18 6号

## 第1章 試験及び学位授与に関する手続き

**第1条** 研究題目及び履修科目決定の時期については、専攻科目指導教授の指示を受け2年次の前期が始まるまでに決定する。

**第2条** 博士課程の学科過程（学年別単位配当）については、以下のとおりとする。

専攻科目については、24単位以上を原則として3年次までに修得する。

選択科目については、6単位以上を原則として3年次までに修得する。

**第3条** 博士課程の履修方法については、以下のとおりとする。

専攻科目については、専攻科目指導教授の確認のもと、履修届を提出させる。

選択科目については、専攻科目指導教授の指示を受け、他の専攻科目から履修する。

**第4条** 博士課程単位修得試験の時期及び方法については、以下のとおりとする。

時期については、各開講期末に試験を行い、原則として4年前期末までに全科目修了する。

単位修得試験の方法については、授業科目担当責任者の一任とする。

**第5条** 博士課程における学位論文提出及び審査の時期については、以下のとおりとする。

学位論文の提出は、原則として12月上旬の医学研究科委員会とする。

学位論文の審査については、2月上旬の医学研究科委員会で行う。

提出する学位論文は、印刷公表したものを原則とする。なお、提出部数は主論文については所定の部数とし、参考論文については1編以上各3部とする。

**第6条** 博士課程における学位論文審査結果の要旨の字数については、論文審査結果の要旨を400字以内でまとめることとする。

**第7条** 博士課程における学位記日付については、大学院に所定の年限在学し、所定の単位を修得して定められた期間内に論文を提出し、学年末までに審査を終了した者は3月31日とする。

前項以外の学期途中で論文を提出して審査を終了した者は、審査医学研究科委員会が行われた月の末日とする。

## 第2章 審査基準

**第8条** 医学研究科博士課程学位論文の審査基準については、以下のような基準を設ける。

主査1名、副主査2名による面接及び集談会における発表審査において、研究主題の背景及び方法論が正しく理解され、結論が適切な解析により導き出され、各専攻におけるディプロマポリシーに従い、問題解決に向けた将来の発展性が熟考されていると認められること。

原則として、学位論文は原著であること。英文論文は、査読制度の確立された英文雑誌に掲載受諾されていること。また、和文論文（日本固有な研究主題の場合）は、研究主題に適した査読制度の確

立された国内学会の機関紙に掲載受諾されており，かつ，医学英語論文スキルアップコースの単位を取得していること。なお，英文論文，和文論文共に学位授与後1年以内に機関リポジトリ等で公開するものとする。

医の倫理及び研究の倫理習得において，日本学術振興会が提供するeラーニング及びICR臨床研究入門が提供するeラーニングを定期的に通講し修了してはならない。

前各号の基準をもとに，審査の評価は合格，不合格の二段階とする。

#### 附 則

- 1 この内規は，平成19年4月1日から施行する。
- 2 この内規の施行により，「昭和35年以降の大学院医学研究科博士課程学生の履修方法，単位修得試験，最終試験，論文審査に関する取扱い」は平成19年3月31日を以って廃止する。

#### 附 則

この内規は，平成27年4月1日から施行する。

#### 附 則

この内規は，令和5年4月1日から施行する。

# 大学院医学研究科博士課程における学位授与に関する手続き及び審査基準に関する内規

平成18年11月14日  
内規第18 6号

## 第1章 試験及び学位授与に関する手続き

**第1条** 研究題目及び履修科目決定の時期については、専攻科目指導教授の指示を受け2年次の前期が始まるまでに決定する。

**第2条** 博士課程の学科過程（学年別単位配当）については、以下のとおりとする。

専攻科目については、24単位以上を原則として3年次までに修得する。

選択科目については、6単位以上を原則として3年次までに修得する。

**第3条** 博士課程の履修方法については、以下のとおりとする。

専攻科目については、専攻科目指導教授の確認のもと、履修届を提出させる。

選択科目については、専攻科目指導教授の指示を受け、他の専攻科目から履修する。

**第4条** 博士課程単位修得試験の時期及び方法については、以下のとおりとする。

時期については、各開講期末に試験を行い、原則として4年前期末までに全科目修了する。

単位修得試験の方法については、授業科目担当責任者の一任とする。

**第5条** 博士課程における学位論文提出及び審査の時期については、以下のとおりとする。

学位論文の提出は、原則として12月上旬の医学研究科委員会とする。

学位論文の審査については、2月上旬の医学研究科委員会で行う。

提出する学位論文は、印刷公表したものを原則とする。なお、提出部数は主論文については所定の部数とし、参考論文については1編以上各3部とする。

**第6条** 博士課程における学位論文審査結果の要旨の字数については、論文審査結果の要旨を400字以内でまとめることとする。

**第7条** 博士課程における学位記日付については、大学院に所定の年限在学し、所定の単位を修得して定められた期間内に論文を提出し、学年末までに審査を終了した者は3月31日とする。

2 前項以外の学期途中で論文を提出して審査を終了した者は、審査医学研究科委員会が行われた月の末日とする。

## 第2章 審査基準

**第8条** 医学研究科博士課程学位論文の審査基準については、以下のような基準を設ける。

主査1名、副主査2名による面接及び集談会における発表審査において、研究主題の背景及び方法論が正しく理解され、結論が適切な解析により導き出され、各専攻におけるディプロマポリシーに従い、問題解決に向けた将来の発展性が熟考されていると認められること。

原則として、学位論文は原著であること。英文論文は、査読制度の確立された英文雑誌に掲載受諾されていること。また、和文論文（日本固有な研究主題の場合）は、研究主題に適した査読制度の確

立された国内学会の機関紙に掲載受諾されており，かつ，医学英語論文スキルアップコースの単位を取得していること。なお，英文論文，和文論文共に学位授与後1年以内に機関リポジトリ等で公開するものとする。

医の倫理及び研究の倫理習得において，日本学術振興会が提供するeラーニング及びICR臨床研究入門が提供するeラーニングを定期的に受講し修了してはならない。

本研究科研究発表会等における発表内容について，論理的構成，プレゼンテーション技術，問題点に対する今後の研究計画等から評価される発表能力がC判定以上，また，発表者に対する質問内容について，科学的論理性，問題点の克服につながる生産的質疑等から評価される質疑能力がC判定以上でなくてはならない。なお，審査の評価は，AA（100～90），A（89～80），B（79～70），C（69～60），D（59以下）の五段階とする。

前各号の基準をもとに，審査の評価は合格，不合格の二段階とする。

#### 附 則

- 1 この内規は，平成19年4月1日から施行する。
- 2 この内規の施行により，「昭和35年以降の大学院医学研究科博士課程学生の履修方法，単位修得試験，最終試験，論文審査に関する取扱い」は平成19年3月31日を以って廃止する。

#### 附 則

この内規は，平成27年4月1日から施行する。

#### 附 則

この内規は，令和5年4月1日から施行する。

#### 附 則

この内規は，令和7年1月1日から施行する。

## 学位申請の取扱いについて（申し合わせ）（博士）

学位論文は、査読制度の確立された学術雑誌に掲載，または掲載予定であること。なお，下記の1～7を満たす場合は，共著論文を審査の対象とすることができる。

共著論文による学位申請がなされた場合は，大学院医学小委員会において検討を行い，その結果を大学院医学研究科委員会で審議するものとする。

- 1 査読制度の確立された欧文学術雑誌に掲載，または掲載予定であること。なお，掲載予定で提出する場合は，校正刷り又は，掲載証明書に論文原稿写しを添付し提出すること。
- 2 学位申請者は，筆頭著者であること。ただし，著者名がアルファベット順になっている投稿誌では，その事由書を提出すること。なお，当該論文の著者の欄に，複数の筆頭著者の equal contribution による研究である旨の明確な記載があり，equally contributed author が2名以内の場合は，そのいずれをも筆頭著者として認める。ただし，もう一人の equally contributed author が，当該論文を学位申請論文(主論文)として使用することについて合意していること(共著者からの承諾書，誓約書の提出)。
- 3 指導教授による共著者全員の役割分担証明書，学位申請論文として提出することについての共著者全員の承諾書及び，提出される学位論文を学位論文として過去において使用したことがなく，将来においても使用しないことを誓約する誓約書を提出すること。(承諾書，誓約書は同一書式)
- 4 指導教授(主科目担当教授)との共著を認める。
- 5 留学先との共著論文による学位申請を受けつけることができる。手続きは前各号に準ずる。
- 6 原則として症例報告は認めない。correspondence 等の場合は，学位論文として適切か否かを大学院医学小委員会にて審議する。
- 7 e-journal の場合は，査読誌であることを証明する書類の提出を求め，学位論文として適切か否かを大学院医学小委員会にて審議する。
- 8 人を対象とした研究の場合，久留米大学医に関する倫理委員会あるいはそれに準じた委員会等において承認されていること。また，審査結果通知書・臨床研究実施許可通知書あるいはそれに準じた書類を提出すること。提出された書類は大学院医学小委員会において検討する。
- 9 動物を対象とした研究の場合，久留米大学動物実験委員会あるいはそれに準じた委員会等において承認されていること。また，久留米大学動物実験計画書あるいはそれに準じた書類を提出すること。提出された書類は大学院医学小委員会において検討する。

10 遺伝子組換えを行った研究の場合，久留米大学遺伝子組換え実験安全委員会あるいはそれに準じた委員会において承認されていること。また，久留米大学遺伝子組換え実験安全委員会が発行する承認書あるいはそれに準じた書類を提出すること。提出された書類は大学院医学小委員会において検討する。

(省 略)

附 則

この申し合わせは，平成31年3月1日から施行する。

この申し合わせは，令和5年4月1日から施行する。



# 大学院早期修了者（3年以上4年未満在学）の論文審査手続について

（平成13年度以降入学者から適用）  
 （平成14年11月12日大学院医学研究科委員会承認）  
 （平成19年6月7日大学院医学研究科委員会一部変更承認）  
 （平成22年6月9日大学院医学研究科委員会一部変更承認）  
 （平成23年1月12日大学院医学研究科委員会一部変更承認）  
 （平成26年11月12日大学院医学研究科委員会一部変更承認）  
 （平成29年12月13日大学院医学研究科委員会一部変更承認）

## 医学研究科博士課程

審査要件	大学院早期修了者
早期修了者の認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>論文は査読制度が確立した雑誌で申請時点でインパクトファクターがあるものに投稿し，受理されたものとする。</li> <li>論文の受理は，研究科委員会に諮る前に医学小委員会で認定する。</li> </ul>
早期修了に必要な授業科目の取得について	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学院学則第4章「授業科目，履修方法，単位取得の認定」の第9条および大学院医学研究科規程第3章「授業科目及び履修方法」の第6条に基づく科目を申請時点までに履修し，単位認定を受けること。</li> <li>【生理系・病理系・社会医学系・個別最適医療系】 <ul style="list-style-type: none"> <li>専攻科目：20単位以上（講義8単位，実習12単位を含む）</li> <li>論文実習：5単位</li> <li>共通科目：6単位以上</li> </ul> </li> <li>【個別最適医療系先端癌治療学悪性腫瘍専門医養成ユニット】</li> <li>《化学・薬物療法専門医養成コース》 <ul style="list-style-type: none"> <li>専攻科目：12単位</li> <li>コース科目：講義8単位，実習12単位</li> <li>論文実習：5単位</li> <li>共通科目：6単位以上</li> </ul> </li> <li>《放射線療法専門医養成コース》 <ul style="list-style-type: none"> <li>専攻科目：4単位</li> <li>コース科目：講義4単位，実習16単位</li> <li>論文実習：5単位</li> <li>共通科目：6単位以上</li> </ul> </li> <li>《希少がん診療養成コース》 <ul style="list-style-type: none"> <li>専攻科目：4単位</li> <li>コース科目：講義4単位，実習12単位</li> <li>論文実習：5単位</li> <li>共通科目：6単位以上</li> </ul> </li> </ul> <p>専攻科目分担，各専攻系の詳細な履修条件は省略するが，規程に沿って単位認定を受けていること。                      平成27年度までの入学生には適応せず，改正前の規定による。</p>
論文提出期日	<ul style="list-style-type: none"> <li>論文提出は，3年次11月末から4年次10月末まで随時受付を行う。審査には最短でも3ヶ月を要するため，提出期限は，学位記日付から遡って3ヶ月前に開催される大学院医学小委員会の1週間前とする。</li> <li>雑誌の受理通知後に，論文提出を受け付ける。</li> </ul>
学位記日付	日付は審査が行われた月の末日とする。 （3年次は3月31日とする。）



授業料その他	博士課程を3年以上4年未満で修了する者については、授業料及び実験実習料を月割りで返還する。
その他	休学期間がある者については、早期修了は認めない。

### 【関係規程】

#### 久留米大学大学院学則

##### 第6章 第14条

博士の学位は、比較文化研究科若しくは心理学研究科においては5年以上（前期博士課程の在学期間を含む。）又は医学研究科博士課程においては4年以上在学し、所定の単位を履修し、かつ、学位論文審査及び最終試験に合格した者

- 2 前項の規定にかかわらず、優れた研究業績を上げた者については、ビジネス研究科修士課程若しくは医学研究科修士課程において1年以上又は医学研究科博士課程において3年以上在学すればたりるものとする。ただし、ビジネス研究科修士課程及び医学研究科修士課程における長期履修学生には適用しない。

#### 久留米大学学位規則

##### （博士論文の提出）

第4条 博士論文の審査を申請し得る者は、比較文化研究科後期博士課程又は心理学研究科後期博士課程においては2年以上在学し、所定の科目について16単位以上を修得し、また、医学研究科博士課程においては3年以上在学し、所定の科目について15単位以上修得しなければ提出することができない。

#### 久留米大学大学院医学研究科規程

第4章 試験 第14条 学位論文は、博士課程にあつては研究科に3年以上在学し、修士課程にあつては1年以上在学し、所定の単位を取得した後でなければ、これを提出することができない。

#### 医学研究科学位記日付に関する申し合せ事項

学位記日付は、次の通りとする。

##### 1 大学院の課程を修了した場合

- イ 大学院に所定の年限在学し、所定の単位を修得して定められた期間内に論文を提出し、学年末までに審査を終了した者は3月31日とする。
- ロ 前項以外の学期途中で論文を提出して審査を終了した者は、審査医学研究科委員会が行なわれた月の末日とする。

#### 久留米大学大学院学則

##### （学納金の返還）

第34条 入学金、授業料その他の既納の学納金は返還しない。ただし、第14条第2項に該当する者で修士課程を1年以上2年未満、博士課程を3年以上4年未満で修了する者については、授業料及び実験実習料を月割りで返還する。

# 久留米大学大学院医学研究科における 学位論文指導計画等策定に関する内規

〔平成18年11月14日〕  
〔内規第18 4号〕

**第1条** この内規は久留米大学大学院医学研究科規程第4条に基づき「学位論文の作成等に対する指導の計画」を策定するための取り扱いを定めることを目的とする。

2 前項の目的を達するため設置された課程における標準的な研究ならびに学位論文指導計画を以下のとおりとする。

(修士課程)

学 年	指 導 内 容
1 学 年	授業科目の履修 研究計画の策定 研究題目の策定 研究に必要なデータの作成と解析 論文作成にかかわる指導 学位論文提出(1年次修了の場合)
2 年 次	授業科目の履修 研究遂行, データ作成・評価・解析・討議 論文作成にかかわる指導 学位論文提出

(博士課程)

学 年	指 導 内 容
1 学 年	授業科目の履修 研究計画の策定 研究題目の策定 研究に必要なデータの作成と解析
2 学 年	授業科目の履修 研究遂行, データ作成・評価・解析・討議
3 学 年	研究遂行, データ作成・評価・解析・討議 論文作成にかかわる指導 学位論文の公表と提出(3年次修了の場合)
4 学 年	論文作成にかかわる指導 学位論文の公表と提出

**第2条** 医学研究科指導教授は前条の標準的な研究指導計画ならびに学位論文指導計画を学生に提示し達成目標に合致する指導を行う。

2 学生は指導教授の指導の下研究ならびに学位論文作成に関し計画的な実施に努める。

**第3条** 医学研究科授業担当責任者は本内規第2条に明示した「授業科目」についてシラバスを作成し指導計画を学生に提示する。

附 則

この内規は平成19年4月1日から施行する。

## 単位修得満期退学者の取扱い（医学研究科）

- 1 単位修得満期退学者（以下「退学者」という。）とは4年以上在学し、所定の単位を修得したが、在学時に学位論文の審査が不合格又は未提出（未審査を含む。）で退学した者をいう。
- 2 退学者の学位論文が、退学後2年以内或いは2年を越えて受理され審査に合格した場合、前者を「甲号」、後者を「乙号」とする。
- 3 退学者の学位論文の受理は随時とし、受付手続きや審査料等については、「久留米大学学位規則」及び「久留米大学大学院医学研究科学位規則施行細則」に拠るものとする。
- 4 退学者には「単位修得満期退学証明書」を発行することができる。なお、「修了証明書」は発行できない。

ただし、2・3については平成26年度までの入学者に適用する。

（平成27年3月11日医学研究科委員会制定）

附 則

この取扱いは、平成27年4月1日から施行する。

## 大学院医学研究科博士課程入学生の 専攻科目分担についての取扱い

- 1 志願者のうち他の専攻科目を志望する者があるときは、両科目との専攻科目分担として入学させることができる。

附 則

この取扱いは、昭和42年度以降の入学者から適用し、昭和42年4月1日から実施する。

附 則

この取扱いは、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この取扱いは、平成7年7月19日から施行する。

附 則

この取扱いは、平成14年4月1日から施行する。

# 久留米大学大学院医学研究科奨学金規程

〔昭和48年3月27日〕  
規程第47 8号

(目 的)

**第1条** 医学における優秀な研究者及び指導者の育成を図ることを目的として、久留米大学大学院医学研究科(以下「研究科」という。)に奨学金制度を設ける。

(資 格)

**第2条** この制度による奨学生は、学業、人物ともにすぐれ、健康であって、経済的理由により修学が困難な者とする。ただし、日本学生支援機構及び地方公共団体等による奨学金制度を利用する者は、この奨学金は受けられない。

(出願手続)

**第3条** この制度による奨学金の貸与を希望する者は、所定期日までに願書及び所得に関する書類を提出しなければならない。

(選考基準)

**第4条** 奨学生の選考基準については、日本学生支援機構奨学生の選考基準を準用する。

(選 考)

**第5条** 奨学生の選考は、大学院医学研究科委員会の選考を経るものとする。

(貸与期間)

**第6条** 奨学金の貸与期間は、1年以内とする。ただし、毎年出願することができる。

(借用証書等の提出)

**第7条** 奨学生に採用された者は、貸与終了時に借用証書、誓約書等の必要書類を提出しなければならない。

(奨学金の停止)

**第8条** 奨学生が次の各号の一に該当するときには、奨学金の貸与を停止し、かつ、その間貸与した奨学金について返還させる。

学則により退学又は転学が認められたとき。

学則によって放學、除籍の処分を受けたとき。

奨学生として不適當と認められたとき。

(奨学金の額並びに返還等)

**第9条** 奨学金の額、奨学金の返還、返還方法、返還猶予、利子等は別に定める。

(細 則)

**第10条** この規程の運用については、別に施行細則を設ける。

附 則

この規程は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則(13.7.27)

1 この規程は、平成13年7月27日から施行し、同年4月1日から適用する。

2 「久留米大学大学院医学研究科奨学金施行内規（内規第47 8号）」は、この規程の施行の日から廃止する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

# 久留米大学大学院医学研究科奨学金規程施行細則

〔昭和48年3月28日〕  
〔細則第47 8号〕

(趣 旨)

**第1条** 久留米大学大学院医学研究科奨学金規程の運用については、同規程によるほか、この施行細則の定めるところによる。

(奨学金の額)

**第2条** 奨学金の額は、修士課程においては月額85,000円、博士課程においては月額120,000円とし、毎月本人指定口座に振込むものとする。

(奨学金の利子)

**第3条** 貸与した奨学金の利子は、1%とする。

(返還及び返還方法)

**第4条** 奨学金の貸与を受けた者は、研究科終了後15年以内に返還しなければならない。

2 奨学金の返還は、年1回の元本均等返還とする。

3 奨学金の返還は、毎年度3月31日迄に大学指定の銀行口座に振込むものとする。

(返還猶予)

**第5条** 奨学金の貸与を受けた者が、病気、災害等により返還が困難なときは、願い出により返還を猶予することができる。

(返還免除)

**第6条** 奨学金の貸与を受けた者が、死亡したとき、又は、病気、事故などのやむを得ない事由が認められるときは、願い出により医学研究科委員会の議を経て免除できるものとする。

2 前項の免除額については、学長が決定する。

(滞 納)

**第7条** 奨学金の返還が本人、連帯保証人及び保証人に対して督促請求を重ねても実行されないときは、民事訴訟法による措置を次のとおり講ずるものとする。

支払命令

奨学金の返還を滞納した者に対しては、その居住地を管轄する簡易裁判所に対し、支払命令の申し立てを行う。

仮執行宣言付支払命令

支払命令の申し立てを行っても、なお返還をしない者には支払命令を行った簡易裁判所に対して仮執行宣言付支払命令の申し立てを行う。

強制執行

仮執行宣言付支払命令の申し立てを行っても、なお返還に応じない者に対しては、強制執行の手続きをとる。

(延滞金)

**第8条** 延滞金は、延滞期間1ヵ年につき延滞額の5%に相当する額とする。

(異動届)

**第9条** 本人，連帯保証人，保証人に異動を生じた場合には遅滞なく異動届を提出しなければならない。

(所管事務)

**第10条** この奨学金制度の事務は，医学部事務部教務課の所管とする。

(補則)

**第11条** この施行細則に定めるもののほか，必要な事項は，医学研究科委員会の議を経て，医学研究科長が定める。

附則

この細則は，昭和48年4月1日から施行する。

附則

この施行細則は，平成13年7月27日から施行し，同年4月1日から適用する。



# 久留米大学大学院医学研究科学生納入金減額規程

〔平成24年11月22日〕  
〔規程第24 4号〕

(納入金の減額及び減額項目)

**第1条** 久留米大学大学院医学研究科博士課程に入学する学生で、初期臨床研修医(歯科を含む。)である者については、納入金を減額することができる。

2 減額できる納入金は、授業料及び実験実習料とし、それぞれの半額を免除することができる。

(減額の対象期間)

**第2条** 納入金を減額できる対象期間は、初期臨床研修医である期間とする。

(申請手続)

**第3条** 減額を希望する者は、所定の願書を学長に提出しなければならない。

(選考及び決定)

**第4条** 願書を提出した者について、大学院医学研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

# 久留米大学大学院私費外国人留学生学納金免除規程

〔昭和63年10月28日〕  
〔規程第63 4号〕

(目 的)

**第1条** この規程は、久留米大学大学院に入学する私費外国人留学生のうち、学業成績、人物とも優秀で、かつ、経済的に修学困難な者に対し、学納金の免除を行うことにより私費外国人留学生の勉学助成に寄与することを目的とする。

(免除項目)

**第2条** この規程により免除できる学納金は、次のとおりとする。

入学金

授業料

(免除人員及び免除額)

**第3条** 免除対象人員は、全額免除及び半額免除について、それぞれ若干名とする。

(選 考)

**第4条** 免除対象者の選考は、各研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

2 免除対象者の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(入学金免除額の返還)

**第5条** 入学金免除を決定された学生が入学金を納入していた場合には、免除額を返還する。

附 則

この規程は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行し、平成13年度入学生から適用する。

# 優れた学位論文に対する表彰制度要項

〔平成11年2月22日〕  
〔学長決裁〕

(趣旨)

**第1条** この要項は、久留米大学大学院学則第44条の規定に基づき、久留米大学大学院医学研究科(以下「医学研究科」という。)の表彰制度について定める。

2 医学研究科は、先駆的な学術研究を推進し、国際的に活躍し得る研究者を育成することを目指している。当研究科は、優れた研究業績をあげた学位記授与者のさらなる将来への意欲を鼓舞するために顕彰する。

(賞の名称)

**第2条** 賞は、久留米大学学術奨励賞(以下「学術奨励賞」という。)と称する。

(応募資格)

**第3条** 久留米大学(大学院医学研究科)から授与された学位の学位記年月日が、前年度4月30日から翌年4月1日までの者は、その学位論文をもって応募できる。

2 前項の応募論文の研究は、久留米大学内において行われたものに限る。

3 申請者は、応募の際久留米大学に在籍していることを問わない。

(応募方法等)

**第4条** 学術奨励賞の応募者は、次に掲げる書類を研究科科长に提出するものとする。

2 応募期間は、毎年4月1日から10月末日までとする。

申請書

履歴書

応募論文要旨(500字程度)

所属長の推薦書(400字以内、自薦の場合は不要)

応募論文別冊 5部

(選考方法)

**第5条** 大学院医学小委員会内の学術奨励賞選考委員会により6編以下に絞り込み、大学院医学小委員会により原則として1編以上を選考する。

2 大学院医学小委員会による選考結果については、医学研究科委員会の議を経るものとする。

(表彰)

**第6条** 表彰は、次のとおりとする。

2 受賞者には、表彰状及び表彰金を贈呈する(総額30万円の範囲内での運用)とする。

3 表彰は毎年医学研究科委員会において行うものとする。

(庶務)

**第7条** この要項に関する庶務は、医学部事務部庶務課において処理する。

附則

この要項は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成15年11月12日から施行し、同年11月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年12月15日から施行する。

# 久留米大学学生医療費補助規程

〔昭和43年3月16日〕  
〔規程第42 6号〕

**第1条** 学校法人久留米大学（以下「本学」という。）は、設置する学校に在学する学生または生徒（以下「学生」という。）が傷病にかかり、久留米大学医学部附属病院（以下「大学病院または医療センター」という。）において医療を受ける場合、この規程の定めるところにより医療費の一部を補助する。

**第2条** 補助の対象となる医療の内容は、次の各号に掲げるとおりとする。

診察

薬剤または治療材料の支給

処置、手術その他の治療

大学病院または医療センターへの入院

看護

紹介状なし初診時負担金

紹介状なし再診時負担金

**第3条** 前条の医療に要した費用に対する補助額は、次の各号に掲げるとおりとする。

保険証のある者にあつては、健康保険法による自己負担額とする。ただし、高額療養費、附加給付その他公的機関が行う医療給付があるものについては、当該給付額を控除した残りの額とする。

保険に加入してない者にあつては、医療単価15円を基礎として算出した自由診療額の3割とする。

前2号の規定にかかわらず、本学に加え本学外の機関より医療費の補助を受ける者については、その補助額を控除した残りの額とする。

**第4条** 学生が医療を受けようとするときは、学生証若しくは身分証明書を大学病院または医療センターの受診受付窓口に掲示するものとする。

2 学生が医療を受けたときには、本人が医療費の自己負担額を支払うものとする。

**第5条** 学生が次の各号の一に該当する場合は、医療費の補助を行わない。

学生が精密健康診断またはそれに相当する検査を経ずして入学を許可されて、入学後最初の学生健康診断において要療養の診断を受けた場合

学生の傷病が、学生の品格を傷つけるが如き原因による場合

**第6条** 第2条第4号及び第5号に該当し、補助を受けている者が卒業し、または学資不足のために退学し、次の各号の一に該当する場合には、第1条の規定にかかわらず、次の各号に規定する期間を限度として補助を継続することができる。

その傷病が本人において注意をおこたらなかったにもかかわらず、授業中の不慮の事故または公認運動競技に基づいて発生した場合 適当な期間

経済的に著しく困難なために補助なくしては、医療を継続しえない場合 3ヶ月

**第7条** この規程で定められた医療費の補助は、学生本人の申請に基づき、御井学舎事務部学生課において事務手続きを行うものとする。

附 則

この規程は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則（48．12．24）

この規程は、昭和48年12月24日から施行し、昭和48年10月1日から適用する。

附 則（51．12．7）

この規程は、昭和51年12月7日から施行し、昭和51年2月27日から適用する。

附 則（52．3．24）

この規程は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則（57．12．24）

この規程は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成6年7月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 久留米大学学生医療費補助規程の運用に関する内規は、この規程の施行の日から廃止する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

# 大学病院及び医療センターにおいて本学学生が受診した場合の診療費の還付方法について

## 1. 診療費還付の対象となるもの

医事課窓口で支払った保険診療費(本人負担分)のうち、高額療養費等公的給付金を除いた金額  
初診時紹介状を持参しなかった場合の特定療養費

大学病院3,240円 医療センター1,500円

当該診察時に処方された薬剤費(調剤薬局へ支払われた一部負担金)

## 2. 診療費還付の対象とならないもの

保険給付外の医療費や健康診断費(人間ドック等)、入院時食事療養費標準負担額、第三者行為(交通事故、けんか等)による診療費、学校保健給付の対象となる診療費、室料差額代、分娩費、高度先進医療等の特定療養費等、装具等(ギブス、コルセット等)

## 3. 医事課窓口での診療費の支払いは、診療後速やかにお支払いください。

## 4. 還付の手続き方法について

医事課窓口で支払った診療費については、診療月の翌月1日から1ヶ月単位(1日~末日)および医療機関別単位で、診療費還付申請書(別紙1)に必要事項を記載のうえ、病院発行の診療費領収書 保険証(コピー可) 振込指定銀行口座通帳(支店名、口座番号、名義が記載されている部分のコピーでも可)を添付し、学生課へ還付申請をしてください。医学科および大学院医学研究科学生については医学部事務部教務課、看護学科学生については看護学科事務室、臨検校学生については臨検事務室で受け付けます。

例えば4月診療分の還付申請は5月1日からお願いします。4月中には還付申請は受け付けません。「診療費還付申請書」の記載方法については、申請書用紙と同時にお渡しする記入例を参照ください。

「診療費還付申請書」および「記入例」は学生課、医学部事務部教務課、看護学科事務室、臨検校事務室に配置いたします。

薬剤費の還付申請は、大学病院または医療センター診療費還付申請と同時に当該診察時に処方された薬剤費の領収証を添えて行ってください。(薬剤費のみの申請はできません。)

保険外金額や久留米大学病院および医療センター以外の医療機関で発行された処方箋による薬の費用は診療費還付の対象外です。

注1) 診療費還付は学生の申請によります。申請がない場合には還付はいたしません。

注2) 原則として申請書提出期限は病院の領収書発行日の翌月から起算して6ヶ月目の末日までとします。適切な理由がある場合はこの限りではありません。

注3) 病院発行の診療費領収書は原則として原本を提出していただきます。しかし、高額療養費等給付申請や生命保険給付申請等の理由で、手元に領収書の原本がない場合は、写しの提出でも差し支えありません。

注4) 病院発行の領収書は再発行はいたしません。絶対紛失しないようにご注意ください。(紛失された場合、領収証明書の発行はしますが有料(2,100円)です)

注5) 支払った診療費が高額療養費等に該当する場合は、先に高額療養費等の給付申請を各自で行い、保険者からの給付を受けてください。

大学への還付金申請はその給付を受けた後に行ってください。

各医療保険者へ申請する高額療養費等（高額療養費，高額医療費，附加給付金）の給付対象となる診療費領収書金額欄は別紙1の欄です。この金額がある一定の金額を超過すると各医療保険者へ自己申請することにより，超過した分を給付金として受給することができます。

「ある一定の金額」については，保険の種類や所得によって基準となる金額が異なります（一般的には80,100円）ので，基準金額や申請方法について，加入されている医療保険の担当窓口へ各自お問合せください。

高額療養費等の問合せ・申請先

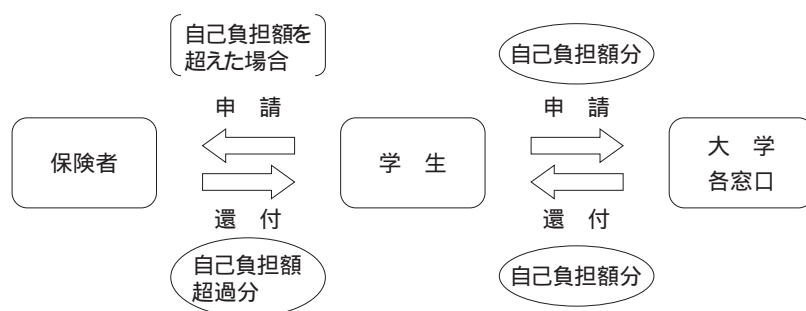
[ 国民健康保険 ] ...各市町村国保窓口

[ 全国健康保険協会 ] ...全国健康保険協会各支部

[ 健康保険組合 ] ...各事業所（会社）

[ 共済組合 ] ...各職場の共済組合担当窓口

この場合大学は，大学病院または医療センター会計窓口で支払った診療費から，受診者等各医療保険者から給付を受けた金額を差し引いた金額（つまり自己負担金限度額）を還付いたします。



注6) 医療費の支払いが高額になりそうな場合(入院等)，限度額認定証の交付申請を各医療保険者へ行うことにより，病院窓口での支払いが自己負担額のみとなります。

これにより，高額療養費の申請は不要になります。

学生医療費還付申請手続を円滑に行うためにも，入院が決定，もしくは高額な支払になることが決定した場合は，各医療保険者へ限度額認定証の交付申請をしていただきますようお願いいたします。

申請後学生課にてチェックおよび計算・振込み処理を行い，申請月の翌々月末頃を目安として還付金を申請書に記載の学生または保証人名義等指定の銀行口座に振り込みます。

学生課は窓口で支払った金額から保険者から給付された高額療養費等の金額を差し引いた金額(自己負担限度額)を学生もしくは保証人名義の指定の銀行口座に振り込みます。

5. 大学病院および医療センターを受診される際には，学生証および保険証を必ず医事課窓口へ提出してください。提出されなかった場合には，原則として診療費の還付を受けることはできませんのでご注意ください。

以上の件についてご不明な点があれば，学生課（電話 直通0942 - 44 - 2712）までお問い合わせください。



【申請日】 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

学校法人久留米大学 理事長 殿

【申請者】 学籍番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

携帯番号( \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ )

## 診 療 費 還 付 申 請 書

下記のとおり、診療費を支払いましたので、領収書を添えて還付金の申請を致します。

診療年月	_____ 年 _____ 月	受診分	医療機関 (該当に☑)	<input type="checkbox"/> 久留米大学病院 <input type="checkbox"/> 久留米大学医療センター
------	-----------------	-----	----------------	--

単位：円

診療区分	本人負担額 (A)	高額医療費 (B)	付加給付金 (C)	申請額 (A) - (B) - (C)
入院				
外来(医科)				
外来(歯科)				
薬代				
合計				

保険証 について	国民健康保険 ・ 全国健康保険協会 ・ 共済 ・ 組合健保 (該当を○で囲む)												
	保険者の名称 _____ (国民健康保険・全国健康保険協会以外)												
	保険者の番号 (左詰め) <table border="1" style="display: inline-table; width: 100px; height: 20px; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>												
振込先 (ゆうちょ銀行不可)	(フリガナ)	銀行番号 (左詰め)	(フリガナ)	店番号 (左詰め)									
	銀行・信用金庫 農協・労働金庫		支店・営業部 出張所										
	口座番号 (左詰め)	口座名義人 (本人または保証人)		(フリガナ) (漢字)									

\*申請日・申請者及び太枠の部分記入して下さい。

\*本用紙は1ヶ月単位(1日～末日)で記入して下さい。

\*申請受付期限：診療月の翌日から起算して6ヶ月目の末日まで。〔例：4月診療の場合、受付期間は5月1日～10月31日まで〕

(本人の過失によらず、かつやむを得ない事情により6ヶ月を超えることとなった場合にはこの限りではありません。)

\*診療費の還付については、申請者(学生)本人または保証人の銀行口座(普通口座)に振込み致します。(ゆうちょ銀行不可)

受付印

\*受付月の翌々月の月末に指定口座へ振込予定。(書類不備等で振込が遅れる場合がありますのでご了承下さい。)

※主要銀行番号・・・福岡銀行 177 西日本シティ銀行 190  
筑邦銀行 178 佐賀銀行 179

# 久留米大学医学図書館利用細則

〔昭和53年3月30日〕  
〔細則 第52 5号〕

## （趣 旨）

**第1条** この細則は、久留米大学附属図書館規則第8条の規定に基づき、久留米大学医学図書館（以下「医学図書館」という。）の利用に関する事項を定める。

## （利 用 者）

**第2条** 医学図書館を利用することのできる者は、次のとおりとする。

- 本学の学生及び大学院生
- 本学の教職員
- 本学名誉教授
- 本学医学部卒業生
- 学外における医療従事者
- その他医学図書館長が特に認めた者

## （開館時間）

**第3条** 医学図書館の開館時間は、次のとおりとする。

- 平 日                8時30分から22時まで
- 土・日曜日        10時から20時まで

2 医学図書館長が特に必要と認めたときは、臨時に開館時間を変更することができる。

## （休 館 日）

**第4条** 医学図書館の休館日は、次のとおりとする。

- 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する日
- 特別休日 8月15日
- 年末 12月29日から同月31日まで
- 年始 1月2日及び3日

2 医学図書館長が特に必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、臨時に開館又は休館することができる。

## （入 館）

**第5条** 医学図書館に入館するときは、第2条第1号及び第2号の者については、学生証又は教職員用名札を、同条第3号、第4号及び第5号の者については、医学図書館利用許可証を携帯し、係員から提示の要求があった場合は、それに応じなければならない。

## （館内閲覧）

**第6条** 図書を閲覧しようとする者は、次の事項を守らなければならない。

- 閲覧済の図書は、所定の場所に置くこと。
- その他係員の指示に従うこと。

2 図書の閲覧は、すべて閲覧室で行い館外に持出してはならない。

## （館外帯出）

**第7条** 図書を館外帯出（以下「帯出」という。）するときは、第2条第1号及び第2号の者については、学生証又は教職員用名札を、同条第3号、第4号及び第5号の者については、医学図書館利用許可証を係員に提出しなければならない。

- 2 帯出できる図書の冊数及び期間は、次のとおりとする。  
本学の学生 1人5冊以内 1週間以内（但し、未製本雑誌は1日）  
教職員、名誉教授及び大学院生 1人10冊以内 2週間以内（但し、未製本雑誌は1日）  
本学医学部卒業生及び学外における医療従事者 1人3冊以内 1週間以内（但し、参考図書、指定図書及び未正本並びに正本を含む雑誌は、帯出できないものとする。）
- 3 第2条第1号、第2号及び第3号の者が、期間を超え引続き帯出するときは、他に閲覧帯出の希望者がいない場合に限り、帯出の更新を2回限り行うことができる。
- 4 帯出図書は、借用者が保管の責任をもち、他に転貸してはならない。

（禁帯出図書）

**第8条** 次の図書は、帯出することができない。

貴重図書

地図、年鑑、統計表、辞典、事典等

新聞

AV資料及び電子出版物

- 2 前項の図書は、学術研究上、特に医学図書館長が必要と認めたものは、所定の手続きを経て帯出することができる。

（図書の返納）

**第9条** 帯出中の図書は、次の場合直ちに返納しなければならない。

職員が退職するとき。

学生が卒業、退学、休学、停学又は放學に処せられたとき。

その他医学図書館長が必要と認めたとき。

（書庫内検索）

**第10条** 医学図書館長が認めた者は、書庫内で検索し閲覧することができる。

（参考業務）

**第11条** 利用者は、次の事項について参考業務を求めることができる。

図書検索上の指導、助言

研究機関研究者等の調査

学術文献の書誌的調査

学術文献の所在調査

文献探索の援助

（文献複写）

**第12条** 利用者は、所定の料金を負担して文献の複写を求めることができる。

（他の図書館等の利用）

**第13条** 第2条第1号及び第2号の者は、他の図書館等が所蔵する資料の利用及び施設利用の照会又は斡旋について依頼することができる。

- 2 前項の資料の利用に要する費用は依頼者が負担しなければならない。

（視聴覚室等の利用）

**第14条** 医学図書館の視聴覚室及びグループ学修室 ・ を利用しようとするときは、所定の手続きによらなければならない。

（講座・部局備付）

**第15条** 講座・部局予算で購入した資料は、次の事項を遵守の上、講座・部局に備付け利用することができる。

できる。

講座・部局の長は、図書取扱者を決めなければならない。

備付資料は、全学的利用を妨げてはならない。

備付資料の責任者は、それぞれの講座・部局の長とする。

備付資料の帯出は、所定の様式によらなければならない。

図書取扱者は、図書管理簿と資料を照合点検して、その結果を講座・部局の長及び医学図書館長に報告しなければならない。

(館内規律)

**第16条** 医学図書館内では、次の事項を遵守しなければならない。

館内では静粛にし、他人の妨げとなるような行為をしてはならない。

図書は大切に扱い、書き込み、切取り又は汚損してはならない。

館内では所定の場所以外で談話、飲食、喫煙などをしてはならない。ただし、水分補給を目的とする場合は、ペットボトル、水筒など栓ができるものだけに限り許可する。

(弁償)

**第17条** 医学図書館の設備及び備品並びに借受けた図書を汚損、破損及び亡失したときは、修理費又は損害額を弁償しなければならない。

(罰則)

**第18条** この細則に違反した場合には、医学図書館長は、直ちに退館を命じ又は期間を定めて図書館の利用を停止することができる。

2 帯出期間経過後返却の督促を受けてなお返却しない場合には、亡失とみなしてその弁償を命ずる。

附 則

この細則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、昭和62年1月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成16年7月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成21年10月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成26年3月25日から施行する。

附 則

この細則は、平成29年6月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和6年4月1日から施行する。

# 久留米大学御井図書館利用細則

〔昭和53年3月30日〕  
〔細則 第52 4号〕

(趣 旨)

**第1条** この細則は、久留米大学附属図書館規則第8条の規定に基づき、久留米大学御井図書館（以下「御井図書館」という。）の利用に関する事項を定める。

(利 用 者)

**第2条** 御井図書館を利用することのできる者は、次のとおりとする。

- 本学の学生
- 本学の教職員及び名誉教授
- 地域住民
- その他御井図書館長が特に認めた者

(開館時間)

**第3条** 御井図書館の開館時間は、次のとおりとする。

- 月曜日から金曜日 8時45分から21時まで
- 土曜日及び日曜日 10時から18時まで

2 御井図書館長が特に必要と認めるときは、臨時に開館時間を変更することができる。

(休 館 日)

**第4条** 御井図書館の休館日は、次のとおりとする。

- 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する日
- 本学創立記念日 4月28日、特別休日 8月15日
- 年末 12月29日から同月31日まで
- 年始 1月2日及び3日

2 御井図書館長が特に必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に開館又は休館することができる。

(入 館)

**第5条** 御井図書館に入館するときは、学生証、教職員用名札又は御井図書館利用許可証を携帯し、係員から学生証の提示の要求があった場合は、それに応じなければならない。

(館内閲覧)

**第6条** 図書の館内閲覧（以下「閲覧」という。）は、次のとおりとする。

- 退館する際係員から求められた場合は、検査に応じなければならない。
- その他係員の指示に従うこと。

2 閉架書庫内の図書の閲覧は、所定の用紙に必要事項を記入し、学生証を添えて係員に提出しなければならない。

3 図書は、所定の場所で閲覧しなくてはならない。

(館外帯出)

**第7条** 図書を館外帯出（以下「帯出」という。）するときは、学生証を添えて係員に提出しなければな

らない。

2 帯出できる図書の冊数及び期間は、次のとおりとする。

本学の学部学生及び科目等履修生	10冊以内	14日以内
本学の大学院生，専攻科学生及び研究生	20冊以内	1ヶ月以内
本学の教員，名誉教授	無制限	1年以内
本学の非常勤講師，研究員及び職員	20冊以内	3ヶ月以内
地域住民	5冊以内	14日以内
その他御井図書館長が認めた者	5冊以内	14日以内

3 前項の規定にかかわらず，論文作成など必要と認められる理由がある場合は，指定した期日までを帯出の期限とすることができる。

4 第2項の規定にかかわらず，夏季，春季の長期休暇期間中は，図書を帯出することができる。

5 期間を超え引続き帯出するときは，他に閲覧帯出の希望者がいない場合に限り，帯出の更新をすることができる。

6 帯出図書は，借用者が保管の責任をもち，他に転貸してはならない。

(禁帯出図書)

**第8条** 次の図書は，帯出することができない。

貴重図書

参考図書(辞典，事典，目録，索引等)

新聞，未製本及び製本雑誌

AV資料

電子出版物

2 前項の図書は，学術研究上，特に御井図書館長が必要と認めたものは，所定の手続きを経て帯出することができる。

(図書の返納)

**第9条** 帯出中の図書は，次の場合直ちに返納しなければならない。

職員が退職するとき。

学生が卒業，退学，又は除籍に処せられたとき。

その他御井図書館長が必要と認めたとき。

(書庫内検索)

**第10条** 御井図書館長の承認を得た者は，閉架書庫内の図書を検索することができる。ただし，入庫前と退庫の際に係員にその旨を告げなければならない。

(参考業務)

**第11条** 利用者は，次の事項について参考業務を求めることができる。

情報検索上の指導，助言に関すること。

教育，研究情報の提供に関すること。

他館の図書及び施設利用についての照会又は斡旋に関すること。

**第12条** 御井図書館は，利用者が他大学等の図書館が所蔵する資料の利用(以下「相互利用」という。)を希望する場合は，その利用又は複写の依頼を行う。



- 2 他大学図書館等から本学図書館の利用又は資料等の利用申込があった場合は、学内の利用に支障のない範囲でこれに応じるものとする。
- 3 相互利用に係る費用については、利用者が負担する。
- 4 利用者は、他の図書館等を利用する場合、当該図書館の定める事項を遵守しなければならない。

(館内規律)

**第13条** 御井図書館内では、次の事項を遵守しなければならない。

館内では静粛にし、他人の妨げとなるような行為をしてはならない。

図書は大切に扱い、書き込み、切取り又は汚損してはならない。

館内では、喫煙及び飲食してはならない。

(弁償)

**第14条** 御井図書館の設備及び備品並びに借受けた図書を汚損、破損及び亡失したときは、修理費又は損害額を弁償しなければならない。

(罰則)

**第15条** この細則に違反し、又は図書館職員の指示に従わない者にたいしては、図書館の利用を停止し、又は退館を命ずることができる。

- 2 図書の帯出期限が過ぎ、返却の督促を受けて1カ月を過ぎてもなお返却しない場合には、亡失とみなしてその弁償を命ずることができる。

附 則

この細則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成24年4月1日から施行する。

# 久留米大学校歌

作詞 丸山 豊

作曲 團 伊玖磨

明るくおおらかに (♩=112)



(一) み ど り は な み う ち み な み の ひ か り は は ず む ゆ  
 (二) み ど り は な な み う ち み な な の ひ か り は は は ず む た し  
 (三) み ど り は な な み う ち み な な の ひ か り は は は ず む む



たい かが なは つく し の わ れ ら が しゅ が が の ふ る さ と わ れ ら の の  
 ん が り の で ん ど う わ れ ら が しゅ が が の ふ る さ と わ れ ら の の



き ば い そ の の わ か さ そ の の ゅ ん けい つ つ こ こ に に つ つ ど ど う  
 せ い き そ の の わ か さ そ の の ゅ ん けい つ つ こ こ に に つ つ ど ど う



て お お ぞ ら つ つ ね に こ こ ん べ べ き き こ れ う き あ る く る め だ だ い が く  
 て お お ぞ ら つ つ ね に こ こ ん べ べ き き こ れ う き あ る く る め だ だ い が く



一 お お お お お 一  
 一 お お お お お 一

## 久留米大学校歌

丸山 豊 作詞  
 團 伊玖磨 作曲

一、緑は波うち南の光はずむ

豊かな筑紫野われらが修学のふるさと  
 われらの希望 その若さ その純潔  
 こゝに集つて大空つねに紺碧  
 光輝ある久留米大学

おゝ 久留米大学

二、緑は波うち南の光はずむ

大河は悠々われらが修学のふるさと  
 われらの知性 その深さ その充溢  
 こゝに集つて大空つねに紺碧  
 歴史ある久留米大学

おゝ 久留米大学

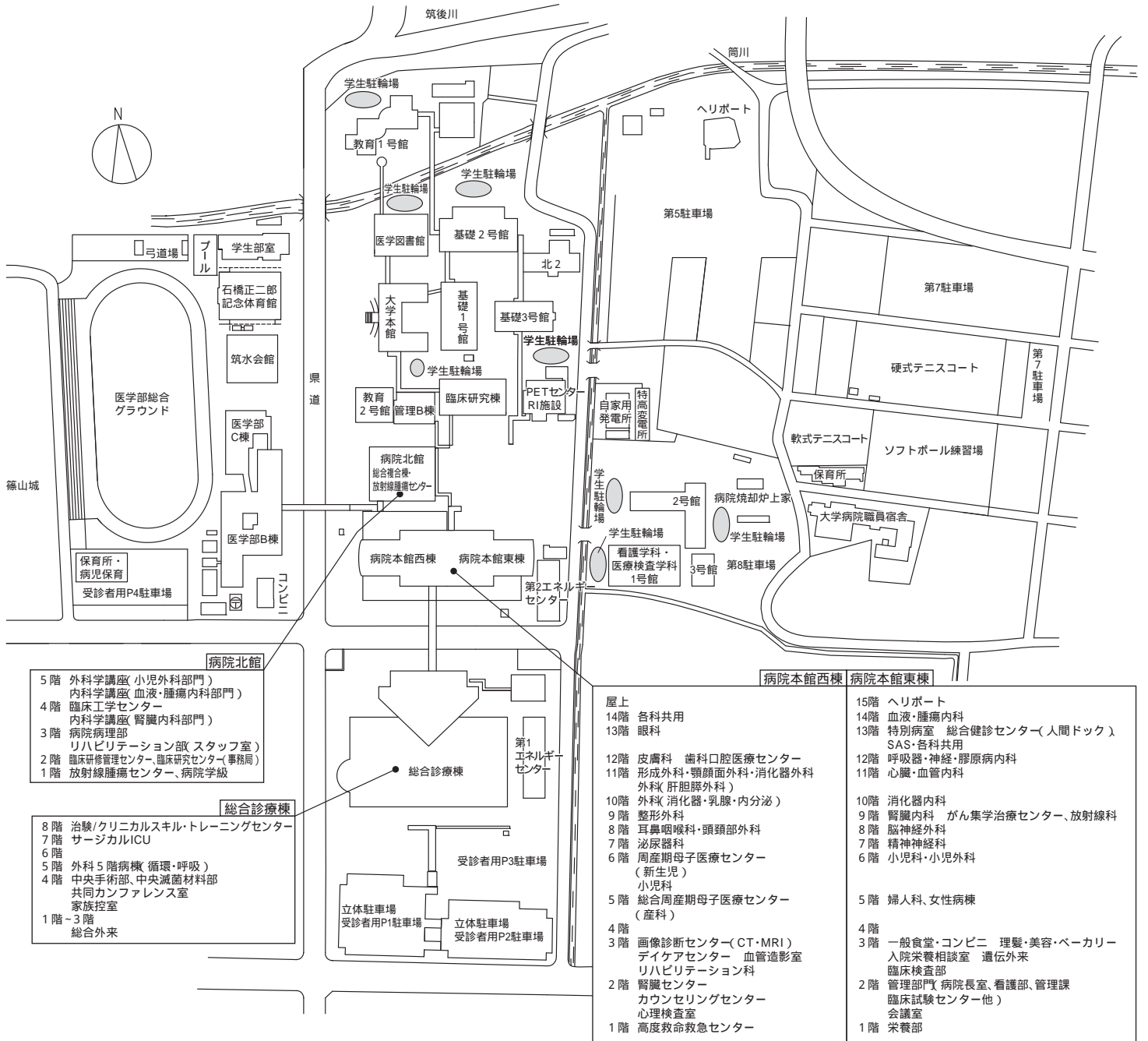
三、緑は波うち南の光はずむ

真理の殿堂われらが修学のふるさと  
 われらの正義 その強さ その情熱  
 こゝに集つて大空つねに紺碧  
 未来ある久留米大学

おゝ 久留米大学



# 久留米大学旭町キャンパス配置図



**病院北館**

5階	外科学講座(小児外科部門)
4階	内科学講座(血液・腫瘍内科部門)
3階	臨床工学センター 内科学講座(腎臓内科部門)
2階	病院病理部 リハビリテーション部(スタッフ室)
1階	臨床研修センター、臨床研究センター(事務局)
1階	放射線腫瘍センター、病院学級

**総合診療棟**

8階	治験/クリニカルスキル・トレーニングセンター
7階	サージカルICU
6階	
5階	外科5階病棟(循環・呼吸)
4階	中央手術部、中央滅菌材料部 共同カンファレンス室
3階	家族控室
1階-3階	総合外来

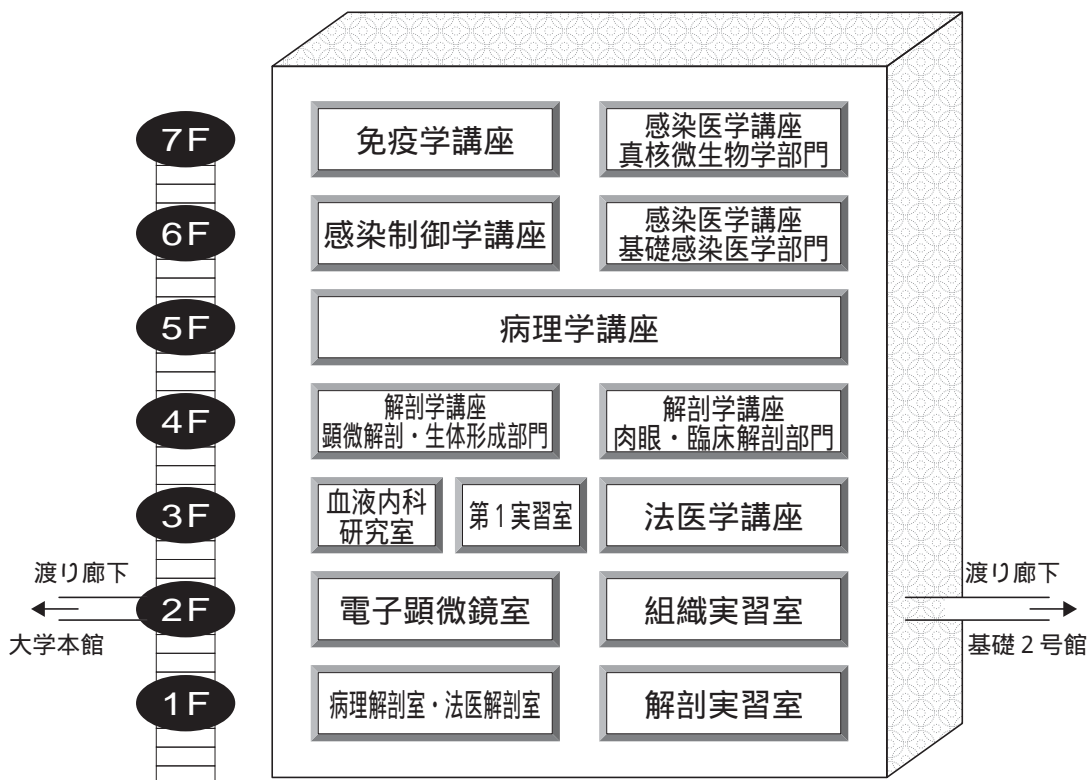
**病院本館西棟**

屋上	各科共用
14階	各科共用
13階	眼科
12階	皮膚科 歯科口腔医療センター
11階	形成外科・顎顔面外科・消化器外科 外科(肝胆膵外科)
10階	外科(消化器・乳腺・内分泌)
9階	整形外科
8階	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
7階	泌尿器科
6階	周産期母子医療センター (新生児)
5階	小児科 総合周産期母子医療センター (産科)
4階	
3階	画像診断センター(CT・MRI) ディケアセンター 血管造影室 リハビリテーション科
2階	腎臓センター カウンセリングセンター 心理検査室
1階	高度救命救急センター

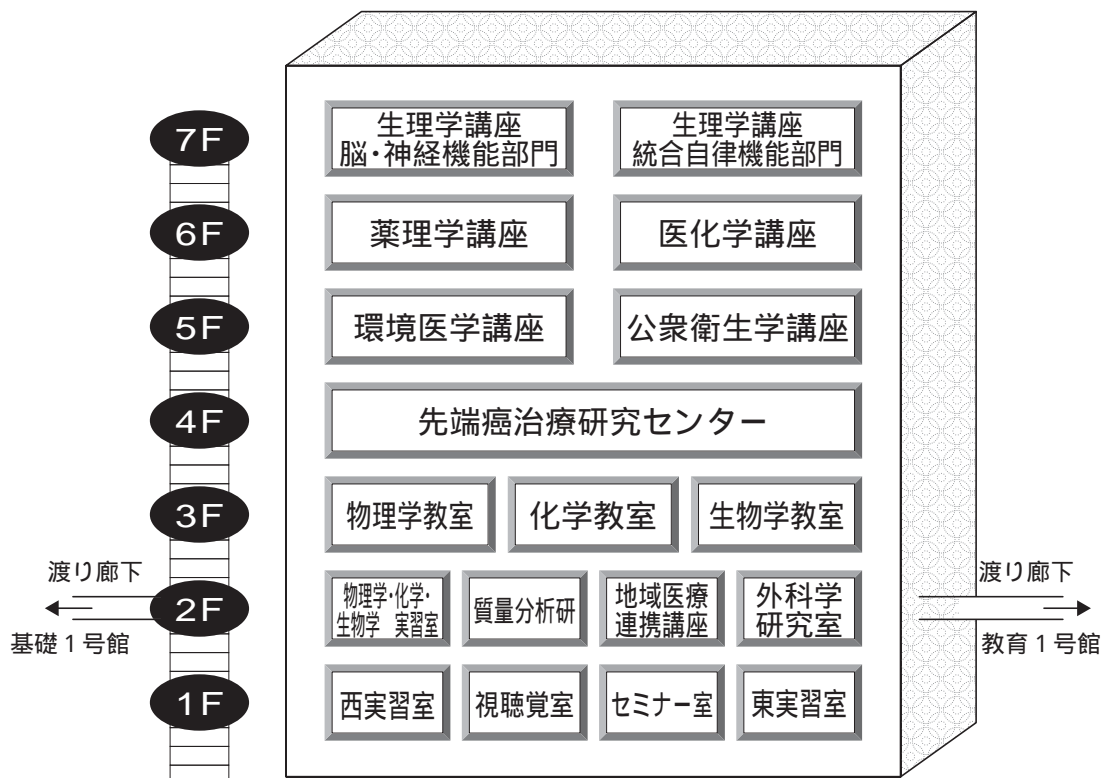
**病院本館東棟**

15階	ヘリポート
14階	血液・腫瘍内科
13階	特別病室 総合健診センター(人間ドック) SAS・各科共用
12階	呼吸器・神経・膠原病内科
11階	心臓・血管内科
10階	消化器内科
9階	腎臓内科 がん集学治療センター、放射線科
8階	脳神経外科
7階	精神神経科
6階	小児科・小児外科
5階	婦人科、女性病棟
4階	一般食堂・コンビニ 理髪・美容・バーカー
3階	入院栄養相談室 遺伝外来 臨床検査部
2階	管理部門(病院長室、看護部、管理課 臨床試験センター他)
1階	会議室 栄養部

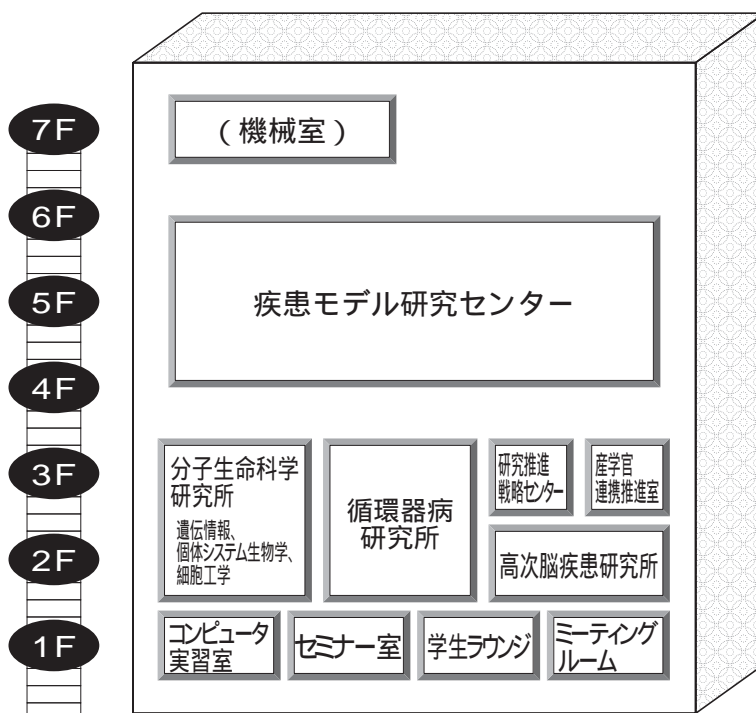
## 基礎 1 号館



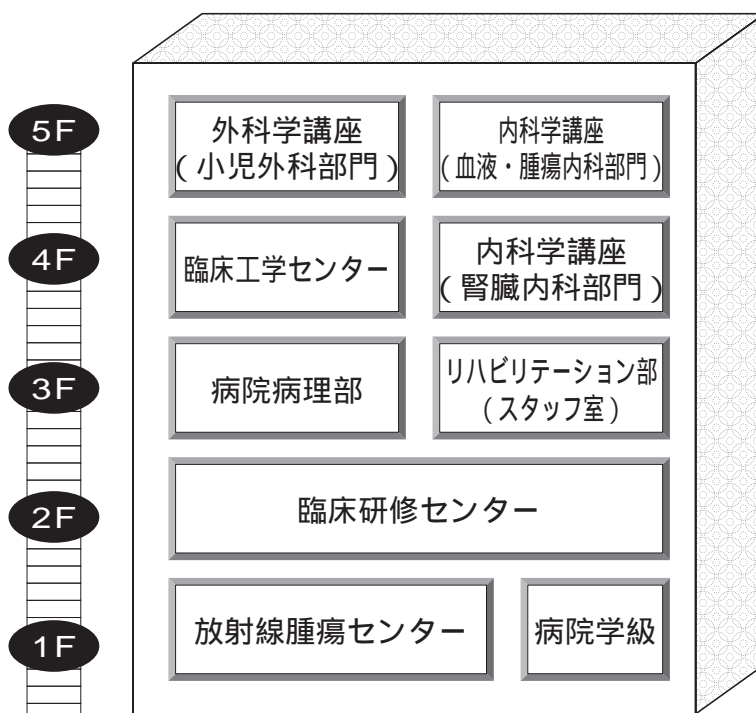
## 基礎 2 号館



## 基礎3号館



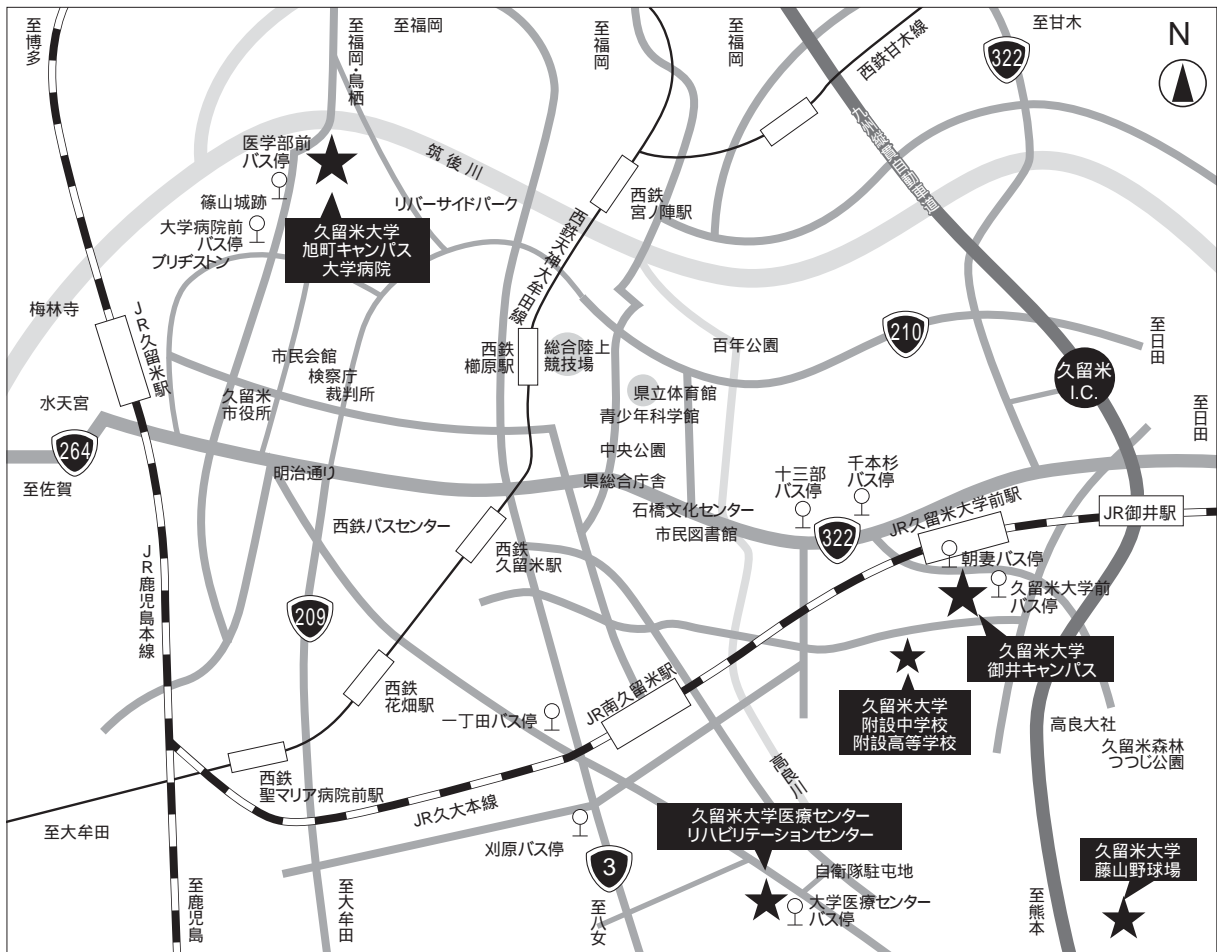
## 病院北館 (総合複合棟・放射線腫瘍センター)



# 臨床研究棟



# 久留米大学案内図



## 旭町キャンパス・大学病院 本部・医学部・大学院(医学研究科)・臨床検査 専門学校

西鉄をご利用の場合  
西鉄久留米駅下車

西鉄バス系統番号8(大学病院, 高専方面行にて大学病院または医学部前下車)  
所要時間 西鉄久留米駅から約17分  
JRをご利用の場合  
JR久留米駅下車

西鉄バス系統番号18(高専方面行にて大学病院または医学部前下車)  
所要時間 JR久留米駅から約7分

## 御井キャンパス 文学部・人間健康学部・法学部・経済学部・商学部 / 大学院(比較文化研究科・心理学研究科・ビジネス研究科)

西鉄をご利用の場合  
西鉄久留米駅下車

西鉄バス系統番号1・1-1・2・7・9(久留米大学前, 信愛学院 久留米, 竹の子行にて朝妻または久留米大学前下車)  
所要時間 西鉄久留米駅から約15分

JRをご利用の場合

JR久大本線「久留米大学前」駅下車 徒歩約3分  
またはJR「久留米駅」下車

西鉄バス系統番号1・7・40・48(信愛学院 久留米行にて朝妻または久留米大学前下車)  
所要時間 JR久留米駅から約25分

## 附設中学校・附設高等学校

JR久留米大学前駅から徒歩10分  
西鉄バス系統番号2, 7  
(信愛女学院行にて附設高校前下車)  
所要時間 JR久留米駅から25分, 西鉄久留米駅から15分

## 医療センター・リハビリテーションセンター

西鉄バス系統番号3  
(信愛女学院・青峰団地行にて大学医療センター下車)  
堀川バス  
(大学医療センター・八女行にて大学医療センター下車)  
所要時間 JR久留米駅から30分, 西鉄久留米駅から15分

